

令和7年度行政評価シート

目次

基本目標１ みんなが認め支え合い夢や希望が実現でき人材きらめくまちをつくる		
１－１	互いを認め合い一人ひとりの人権を尊重する	… 1
１－２	すべての人々が暮らしやすい共生社会をつくる	… 9
１－３	心豊かな人材を育む学校教育を充実し夢と希望の実現を支える	… 17
１－４	地域に根差した生涯にわたる学びを進め郷土の歴史文化を大切に する	… 31
基本目標２ いつまでも健やかに生き生きと幸せに暮らせるまちをつくる		
２－１	市民の健康を守り充実した地域医療体制を推進する	… 39
２－２	スポーツを通じて健康で幸せに暮らせる環境をつくる	… 47
２－３	地域みんなで支え合い社会保障制度で暮らしを支える	… 55
２－４	子どもがのびのびと育つ安心の子育て環境をつくる	… 63
２－５	シニアが元気に生き生きと輝ける社会をつくる	… 73
２－６	障がいのある人が安心して暮らせる社会をつくる	… 81
基本目標３ いつまでも安全・安心な暮らしの環境が整っているまちをつくる		
３－１	災害への備えと対応を強化し安心して暮らせる環境をつくる	… 89
３－２	地域の防犯体制を充実し安心して暮らせるまちを目指す	… 95
３－３	みんなが交通ルールやマナーを守り交通事故のないまちを目指す	… 99
基本目標４ 豊かな自然と調和し便利で快適な住み心地よいまちをつくる		
４－１	良好な景観を守り質の高い都市機能・住環境を整備する	… 105
４－２	安全で快適な道路の整備と公共交通の利便性を高める	… 111
４－３	憩いとやすらぎの空間を充実する	… 121
４－４	安全・安心な水道水の供給と衛生的な生活環境をつくる	… 127

基本目標 5 産業が元気で魅力と活力にあふれ働きがいのあるまちをつくる		
5-1	自然の恵みを生かし豊かで持続可能な農業を守り育てる	… 135
5-2	まちの賑わいを支える商工業を振興し経済の活性化を図る	… 145
5-3	誰もが働きがいを感じられる雇用と働きやすい環境をつくる	… 153
基本目標 6 水や緑と共生しやすさが生まれ地球環境にやさしいまちをつくる		
6-1	生物多様性の保全と快適な自然環境の創造により自然との共生社会をつくる	… 159
6-2	廃棄物の適正処理と効果的な資源循環を推進する	… 165
6-3	地球環境問題に対応したゼロカーボンシティを目指す	… 171
基本目標 7 市民一人ひとりが主役！絆を大切にし協働・共創のまちをつくる		
7-1	地域コミュニティと協働のまちづくりを推進し絆を深める	… 179
7-2	地域間や国外との幅広い交流を促し出会いを大切にする	… 185
7-3	多種多様なステークホルダーと連携する	… 191
7-4	広く久喜をPRして賑わいを創出しまちの魅力を高める	… 199
基本目標 8 持続可能でスマートな行政を運営し市民生活を支えるまちをつくる		
8-1	時代に順応した行政改革を推進する	… 209
8-2	DXによる行政のデジタル化を推進し市民の利便性を高める	… 217
8-3	持続可能で健全な財政運営と透明性の高い行政運営を確立する	… 225

事務事業一覧及び施策の方向性

基本目標	施策	施策の 方向性	まちづくり 重点施策	事業名	所管課	予算の 方向性	成果の 方向性	ページ
1 みんなが認め支え合い夢や希望が実現でき人材きらめくまちをつくる	1－1 互いを認め合い一人ひとりの人権を尊重する	1	－	人権啓発推進事業	総務部人権推進課 市民部各行政センター	維持	維持	3
			－	人権尊重事業	総務部人権推進課 市民部各行政センター	維持	維持	3
		2	－	人権擁護事業	総務部人権推進課	縮小	維持	4
		3	3	しょうぶ会館事業	総務部人権推進課	維持	維持	5
			－	人権教育推進事業	教育部生涯学習課	維持	維持	5
		4	－	人権教育事業	教育部指導課	維持	維持	6
			－	人権教育推進事業 〈再掲〉	教育部生涯学習課	維持	維持	6
		5	－	人間尊重・平和都市宣言推進事業	総務部人権推進課	維持	維持	7
	1－2 すべての人々が暮らしやすい共生社会をつくる	1	－	パートナーシップ宣誓制度推進事業 〔ゼロ予算事業〕	総務部人権推進課	維持(ゼロ予算)	維持	11
			－	男女共同参画啓発事業	総務部人権推進課	維持	維持	11
		2	－	男女共同参画啓発事業 〈再掲〉	総務部人権推進課	維持	維持	12
			－	女性の悩み相談事業	総務部人権推進課	維持	維持	12
		3	1	外国籍市民支援事業	市民部市民生活課	維持	維持	13
			－	姉妹・友好都市事業	市民部市民生活課	縮小	維持	13
			－	中学生派遣・受入事業	市民部市民生活課	維持	維持	14
	1－3 心豊かな人材を育む学校教育を充実し夢と希望の実現を支える	1	－	幼稚園運営事業	こども未来部保育幼稚園課	縮小	維持	20
			－	子育てのための施設等利用給付事業(教育費)	こども未来部保育幼稚園課	縮小	維持	20
		2	－	教育活動補助事業	教育部指導課	維持	維持	21
			－	中学生学力アップ教育推進事業	教育部指導課	拡充	維持	21
			－	情報教育機器維持管理事業（小・中）	教育部指導課	縮小	維持	22
			5	G I G A スクール L a b 事業	教育部指導課	拡充	拡大	22
		3	－	教育相談事業	教育部指導課	維持	維持	23
			－	教育支援センター事業	教育部指導課	維持	維持	23
			－	特別支援教育事業	教育部教育総務課 教育部指導課	維持	維持	24
		4	－	コミュニティ・スクール事業	教育部指導課	維持	維持	25
			－	教職員研修事業	教育部指導課	維持	維持	25
		5	－	児童生徒安全事業	教育部教育総務課	拡充	維持	26
		6	5	小・中学校適正規模・適正配置推進事業	教育部学校施設課	縮小	維持	27
			5	（仮称）久喜市鷲宮義務教育学校開校準備事業	教育部学校施設課	縮小	縮小	27
			－	小・中学校教材整備事業	教育部教育総務課	拡充	維持	27
			5	小・中学校耐震化整備事業	教育部学校施設課	皆減	休廃止	28
			5	小・中学校大規模改造事業	教育部学校施設課	縮小	縮小	28
		7	－	児童生徒等健康診断・健康管理事業	教育部教育総務課	維持	維持	29
			5	学校給食運営事業	教育部学校給食課	拡充	維持	29
			－	学校給食費補助事業	教育部学校給食課	維持	維持	30

基本目標	施策	施策の 方向性	まちづくり 重点施策	事業名	所管課	予算の 方向性	成果の 方向性	ページ
	1－4 地域に根差した生涯にわたる学びを進め郷土の歴史文化を大切にする	1	4	図書館管理運営事業	教育部生涯学習課	維持	維持	33
			－	公民館事業推進事業	教育部生涯学習課	維持	維持	33
			－	地域学校協働活動推進事業	教育部生涯学習課	維持	維持	34
			5	生涯学習推進事業	教育部生涯学習課	維持	維持	34
			5	市民大学推進事業	教育部生涯学習課	拡充	拡大	35
			5	高齢者大学推進事業	教育部生涯学習課	拡充	拡大	35
		2	－	文化振興事業	教育部文化振興課	維持	維持	36
			－	文化団体補助事業	教育部文化振興課	維持	維持	36
		3	－	文化財保護事業	教育部文化振興課	縮小	維持	37
			－	郷土資料館特別展事業	教育部文化振興課	維持	維持	37
2 いつまでも健やかに生き生きと幸せに暮らせるまちをつくる	2－1 市民の健康を守り充実した地域医療体制を推進する	1	－	予防接種事業	健康スポーツ部地域保健課	縮小	維持	41
			4	成人健康診査事業	健康スポーツ部地域保健課	維持	拡大	41
			－	健康づくり・食育推進事業	健康スポーツ部健康医療課	維持	維持	42
			4	健康づくり推進事業	健康スポーツ部地域保健課	維持	維持	42
			4	歯科健康診査事業	健康スポーツ部地域保健課	維持	維持	43
		2	4	地域医療対策事業	健康スポーツ部健康医療課	維持	維持	44
			－	地域医療推進事業	健康スポーツ部健康医療課	休廃止	休廃止	44
			4	産婦人科医療機関開業支援事業	健康スポーツ部健康医療課	維持(ゼロ予算)	維持	44
		3	－	特定健康診査事業	健康スポーツ部国民健康保険課	維持	維持	45
			－	特定保健指導事業	健康スポーツ部国民健康保険課	維持	維持	45
			－	人間ドック事業	健康スポーツ部国民健康保険課	維持	維持	46
	2－2 スポーツを通じて健康で幸せに暮らせる環境をつくる	1	－	体育施設管理事業	健康スポーツ部スポーツ振興課	維持	維持	49
			1	体育施設改修事業	健康スポーツ部スポーツ振興課	拡充	維持	49
			－	学校体育施設開放事業	健康スポーツ部スポーツ振興課	縮小	維持	50
			7	総合運動公園施設整備事業	健康スポーツ部スポーツ振興課	拡充	維持	50
		2	－	スポーツ・レクリエーション団体補助事業	健康スポーツ部スポーツ振興課	維持	維持	51
			－	スポーツ推進委員運営事業	健康スポーツ部スポーツ振興課	維持	維持	51
			－	生涯スポーツ推進事業	健康スポーツ部スポーツ振興課	維持	維持	52
			7	スポーツ活性化事業	健康スポーツ部スポーツ振興課	拡充	拡大	52
			－	市民体育祭事業	教育部生涯学習課	維持	維持	53
		3	－	久喜マラソン大会事業	健康スポーツ部スポーツ振興課	維持	維持	54
	2－3 地域の人みんなで支え合い社会保障制度で暮らしを支える	1	－	社会福祉協議会補助事業	福祉部社会福祉課	維持	維持	57
			－	久喜市民生委員及び児童委員活動補助事業	福祉部社会福祉課	維持	維持	57
			－	要援護者見守り支援事業	福祉部社会福祉課	維持	維持	58

基本目標	施策	施策の 方向性	まちづくり 重点施策	事業名	所管課	予算の 方向性	成果の 方向性	ページ
		2	-	生活保護事業	福祉部生活支援課	拡充	拡大	59
			-	生活困窮者自立支援事業	福祉部生活支援課	維持	維持	59
			-	生活困窮の子どもに対する学習支援事業	福祉部生活支援課	維持	維持	60
		3	-	国民年金制度理解促進事業 〔ゼロ予算事業〕	市民部市民課（総合窓口） 市民部各行政センター	維持（ゼロ予算）	維持	61
	2-4 子どもが のびのびと育つ安 心の子育て環境を つくる	1	-	母子健康診査事業	こども未来部こども家庭保健課	維持	維持	66
			4	不妊検査・不育症検査・不妊治療費助成事業	こども未来部こども家庭保健課	維持	維持	66
			4	産後ケア事業	こども未来部こども家庭保健課	維持	維持	66
			1	こども家庭支援事業	こども未来部こども家庭保健課	維持	維持	67
			4	子ども医療費支給事業	こども未来部子育て支援課	維持	維持	67
			4	屋内型こどもの遊び場開設準備事業	こども未来部こども育成課	休廃止	休廃止	67
			4	屋内型こどもの遊び場管理事業	こども未来部こども育成課	維持	維持	68
			4	屋内型こどもの遊び場運営事業	こども未来部こども育成課	維持	維持	68
		2	-	ファミリー・サポート・センター運営事業	こども未来部子育て支援課	維持	拡大	69
			-	ひとり親家庭自立支援事業	こども未来部子育て支援課	維持	維持	69
			4	地域子育て支援事業	こども未来部子育て支援課	維持	維持	70
			4	保育士等人材確保支援事業	こども未来部保育幼稚園課	縮小	維持	70
			4	私立保育所等補助事業	こども未来部保育幼稚園課	維持	維持	70
			4	子どものための教育・保育給付事業	こども未来部保育幼稚園課	拡充	維持	71
			4	子ども食堂等支援事業 〔ゼロ予算事業〕	こども未来部こども育成課	維持（ゼロ予算）	維持	71
			4	（仮称）久喜市立鷺宮義務教育学校クラブ整備事業	こども未来部こども育成課	皆減	休廃止	71
		3	-	青少年健全育成事業	こども未来部こども育成課	縮小	維持	72
	2-5 シニアが 元気に生き生きと 輝ける社会をつく る	1	-	地域包括支援センター事業	福祉部高齢者福祉課	維持	維持	75
			-	在宅医療・介護連携推進事業	福祉部高齢者福祉課	維持	維持	75
			-	認知症総合支援事業	福祉部高齢者福祉課	維持	維持	75
			4	地域ケア会議推進事業	福祉部高齢者福祉課	維持	維持	76
		2	-	介護予防・生活支援サービス事業	福祉部高齢者福祉課	維持	維持	77
			4	一般介護予防事業	福祉部高齢者福祉課	維持	維持	77
			-	いきいきデイサービス事業	福祉部高齢者福祉課	維持	維持	77
			-	高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定事業	福祉部高齢者福祉課 福祉部介護保険課	拡充	維持	78
		3	-	老人クラブ活動補助事業	福祉部社会福祉課	維持	維持	79
			-	敬老事業	福祉部社会福祉課	維持	維持	79
			-	シルバー人材センター補助事業	環境経済部商工観光課	維持	維持	79
		4	4	介護サービス利用者負担助成事業	福祉部介護保険課	維持	維持	80
			-	任意事業	福祉部高齢者福祉課 福祉部介護保険課	維持	維持	80

基本目標	施策	施策の 方向性	まちづくり 重点施策	事業名	所管課	予算の 方向性	成果の 方向性	ページ
	2－6 障がいの ある人が安心して 暮らせる社会をつ くる	1	-	相談支援事業	福祉部障がい者福祉課	維持	維持	83
			-	地域活動支援センター事業	福祉部障がい者福祉課	維持	維持	83
			-	障がい者就労支援事業	福祉部障がい者福祉課	維持	維持	83
			-	地域生活支援事業	福祉部障がい者福祉課	維持	維持	84
		2	-	民間施設バリアフリー化支援事業	福祉部障がい者福祉課	維持	維持	85
			-	手話普及促進事業	福祉部障がい者福祉課	維持	維持	85
		3	-	成年後見推進事業	福祉部高齢者福祉課 福祉部障がい者福祉課	維持	拡大	86
			-	相談支援事業 〈再掲〉	福祉部障がい者福祉課	維持	維持	86
		4	-	発達障がい児等総合支援事業	福祉部障がい者福祉課	維持	維持	87
			-	医療的ケア児等総合支援事業	福祉部障がい者福祉課	維持	維持	87
3 いつまで も安全・安心 な暮らしの環 境が整ってい るまちをつく る	3－1 災害への 備えと対応を強化 し安心して暮らせ る環境をつくる	1	4	防災体制整備事業	市長公室危機管理課 市民部各行政センター	維持	維持	91
			4	防災訓練事業	市長公室危機管理課 市民部各行政センター 福祉部社会福祉課	維持	維持	91
			4	消防団活動事業	市長公室危機管理課	維持	維持	91
			4	自主防災組織育成事業	市長公室危機管理課 市民部各行政センター	維持	維持	92
		2	4	防災体制整備事業 〈再掲〉	市長公室危機管理課、 市民部各行政センター	維持	維持	93
			2	スマートインターチェンジ整備推進事業	まちづくり推進部産業拠点整備推進課	維持	維持	93
		3	-	利根川堤防対策事業	まちづくり推進部都市計画課	維持	維持	94
			-	河川改良事業	建設部治水河川課	維持	維持	94
			4	栗橋北二丁目土地区画整理事業	まちづくり推進部都市計画課	拡充	維持	94
		3－2 地域の防 犯体制を充実し安 心して暮らせるま ちを目指す	1	-	防犯体制充実事業	市民部市民生活課 市民部各行政センター	維持	維持
	-			防犯灯管理事業	市民部市民生活課 市民部各行政センター	維持	維持	97
	2		-	消費生活事業	市民部市民生活課	維持	維持	98
			-	法律相談事業	市民部市民生活課	維持	維持	98
			-	犯罪被害者等支援事業	市民部市民生活課	維持	維持	98
	3－3 みんなが 交通ルールやマ ナーを守り交通事 故のないまちを目 指す	1	-	交通安全対策事業	市民部交通住宅課 市民部各行政センター	縮小	維持	101
			-	市町村交通災害共済加入促進事業 〔ゼロ予算事業〕	市民部交通住宅課 市民部各行政センター	維持(ゼロ予算)	維持	101
		2	-	交通安全施設管理事業	市民部交通住宅課 市民部各行政センター 建設部道路維持課	維持	維持	102
			-	放置自転車対策事業	市民部交通住宅課 市民部栗橋行政センター 市民部鷺宮行政センター	維持	維持	102
			-	道路照明灯維持管理事業	建設部道路維持課	維持	維持	102
			-	道路レスキュー事業	建設部道路維持課	維持	維持	103
			-					
	4 豊かな自然と調和し便利で快適な住み心地よいまちをつくる	4－1 良好な景観を守り質の高い都市機能・住環境を整備する	1	-	街路樹管理事業	建設部道路維持課	維持	維持
-				景観・地区計画適合審査事業 〔ゼロ予算事業〕	まちづくり推進部都市計画課	維持(ゼロ予算)	維持	107

基本目標	施策	施策の 方向性	まちづくり 重点施策	事業名	所管課	予算の 方向性	成果の 方向性	ページ
		2	2	南栗橋8丁目周辺地区整備事業	まちづくり推進部都市計画課	維持	維持	108
			2	高柳地区開発整備推進事業	まちづくり推進部産業拠点整備推進課	維持	維持	108
			2	久喜駅周辺まちづくり推進事業	まちづくり推進部都市計画課 まちづくり推進部都市整備課	拡充	拡大	108
			2	栗橋駅東口周辺まちづくり推進事業	まちづくり推進部都市整備課	維持	維持	109
		3	2	空家等対策事業	市民部交通住宅課	拡充	拡大	110
			6	ゼロカーボン推進事業	環境経済部環境課	維持	維持	110
	4－2 安全で快適な道路の整備と公共交通の利便性を高める	1	2	鷲宮産業団地青毛線整備事業	建設部建設管理課 建設部道路建設課	維持(ゼロ予算)	維持	114
			2	佐間・八甫線整備事業	建設部道路建設課	皆減	休廃止	114
			2	東停車場線整備事業	建設部道路建設課	維持(ゼロ予算)	維持	114
			2	スマートインターチェンジ整備推進事業 〈再掲〉	まちづくり推進部 産業拠点整備推進課	維持	維持	115
			2	平沼と戸線整備事業	建設部建設管理課 建設部道路建設課	維持(ゼロ予算)	維持	115
			2	杉戸久喜線整備負担金事業	建設部建設管理課	拡充	維持	115
		2	2	道路新設改良事業	建設部道路建設課	維持	維持	116
			-	道路補修事業	建設部道路維持課	維持	維持	116
			1	橋りょう長寿命化修繕事業	建設部道路建設課	拡充	拡大	116
			4	橋りょう架換負担金事業	建設部道路建設課	維持	維持	117
		3	2	市内循環バス運行事業	市民部交通住宅課	拡充	維持	118
			2	デマンド交通運行事業	市民部交通住宅課	拡充	維持	118
			2	くきふれあいタクシー（補助タク）事業	市民部交通住宅課	維持	維持	119
			2	地域公共交通充実事業	市民部交通住宅課	維持	拡大	119
			2	鉄道輸送力増強促進事業	市民部交通住宅課	縮小	維持	119
	4－3 憩いややすらぎの空間を充実する	1	6	余熱利用施設及び(仮称)本多静六記念 市民の森・緑の公園整備事業	環境経済部資源循環推進課	拡充	維持	123
			-	栗橋駅西土地区画整理事業地内公園整備事業	まちづくり推進部公園緑地課	休廃止	休廃止	123
			-	公園施設改修事業	まちづくり推進部公園緑地課	維持	維持	123
			1	下清久鶴ノ谷公園整備事業	総合政策部企画政策課 まちづくり推進部公園緑地課	休廃止	休廃止	124
		2	-	公園施設改修事業 〈再掲〉	まちづくり推進部公園緑地課	維持	維持	125
			1	公園維持管理事業	まちづくり推進部公園緑地課	維持	維持	125
		3	-	緑化推進事業	まちづくり推進部公園緑地課	維持	維持	126
	4－4 安全・安心な水道水の供給と衛生的な生活環境をつくる	1	1	浄水場施設更新事業	上下水道部水道施設課	拡充	維持	129
			1	配水管更新整備事業	上下水道部水道施設課	維持	維持	129
			-	水道事業徴収事務事業	上下水道部上下水道経営課	拡充	維持	130
		2	1	下水道管布設事業	上下水道部下水道施設課	維持	維持	131
			-	下水道管布設替事業	上下水道部下水道施設課	拡充	拡大	131
			-	汚水ポンプ場建設改良事業	上下水道部下水道施設課	維持	維持	131

基本目標	施策	施策の 方向性	まちづくり 重点施策	事業名	所管課	予算の 方向性	成果の 方向性	ページ
		3	-	農業集落排水維持管理事業	上下水道部下水道施設課	維持	維持	132
			-	合併処理浄化槽普及促進補助事業	上下水道部下水道施設課	維持	維持	132
5 産業が元気で魅力と活力にあふれ働きがいのあるまちをつくる	5-1 自然の恵みを生かし豊かで持続可能な農業を守り育てる	1	-	生産調整推進事業	環境経済部農業振興課	維持	維持	137
			3	農業用施設補修事業	環境経済部農業振興課	縮小	縮小	137
			3	県費単独土地改良事業	環境経済部農業振興課	拡充	拡大	137
			3	土地改良施設負担金事業	環境経済部農業振興課	拡充	維持	138
			-	人・農地問題解決推進事業	環境経済部農業振興課	維持	維持	138
		2	-	農業経営安定推進事業	環境経済部農業振興課	維持	維持	139
			-	新規就農者育成総合対策事業	環境経済部農業振興課	維持	維持	139
			-	しみん農園運営事業	環境経済部農業振興課	休廃止	休廃止	139
			3	新規就農・担い手育成事業	環境経済部農業振興課	維持	維持	140
		3	3	農産物ブランド化推進事業	環境経済部農業振興課	維持(ゼロ予算)	維持	141
			3	環境保全型農業推進事業	環境経済部農業振興課	維持	維持	141
		4	3	新規就農・担い手育成事業〈再掲〉	環境経済部農業振興課	維持	維持	142
		5	3	農業振興拠点（道の駅）整備事業	環境経済部農業振興課	拡充	維持	143
	5-2 まちの賑わいを支える商工業を振興し経済の活性化を図る	1	-	商工融資事業	環境経済部商工観光課	維持	維持	148
			3	商工会補助事業	環境経済部商工観光課	維持	維持	148
			3	商店街活性化補助事業	環境経済部商工観光課	維持	維持	148
		2	3	創業支援補助事業	環境経済部商工観光課	維持	維持	149
			4	移動販売等導入事業費補助事業	環境経済部商工観光課	休廃止	休廃止	149
			3	ビジネスグランプリ事業	環境経済部商工観光課	拡充	維持	149
		3	2	企業等誘致事業	環境経済部商工観光課	維持	維持	150
			2	高柳地区開発整備推進事業〈再掲〉	まちづくり推進部産業拠点整備推進課	維持	維持	150
		1	-	シルバー人材センター補助事業〈再掲〉	環境経済部商工観光課	維持	維持	155
			-	雇用対策事業	環境経済部商工観光課	維持	維持	155
			-	勤労者住宅資金貸付事業	環境経済部商工観光課	維持	維持	155
	5-3 誰もが働きがいを感じられる雇用と働きやすい環境をつくる	2	-	勤労福祉センター管理事業	環境経済部商工観光課	拡充	維持	156
			-	労働会館管理事業	環境経済部商工観光課	拡充	維持	156
		3	2	企業等誘致事業〈再掲〉	環境経済部商工観光課	維持	維持	157
			2	高柳地区開発整備推進事業〈再掲〉	まちづくり推進部産業拠点整備推進課	維持	維持	157
6 水や緑と共生しやすい地球環境にやさしいまちをつくる	6-1 生物多様性の保全と快適な自然環境の創造により自然との共生社会をつくる	1	-	環境学習事業	環境経済部環境課	維持(ゼロ予算)	維持	161
			-	自然保護事業	環境経済部環境課	縮小	維持	161
			-	地域保健衛生事業	環境経済部環境課	維持	維持	162

基本目標	施策	施策の 方向性	まちづくり 重点施策	事業名	所管課	予算の 方向性	成果の 方向性	ページ
		2	-	環境保全業務経費	環境経済部環境課	維持	維持	163
			-	ポイ捨て等及び路上喫煙防止対策事業	環境経済部環境課	維持	維持	163
			-	公害監視調査事業	環境経済部環境課	維持	維持	163
		3	-	自然保護事業 〈再掲〉	環境経済部環境課	縮小	維持	164
			-	畜犬対策事業	環境経済部環境課	維持	維持	164
	6-2 廃棄物の 適正処理と効果的 な資源循環を推進 する	1	-	久喜宮代衛生組合負担金事業	環境経済部資源循環推進課	縮小	維持	167
		2	-	久喜宮代衛生組合負担金事業 〈再掲〉	環境経済部資源循環推進課	縮小	維持	168
			6	ごみ処理施設整備推進事業	環境経済部資源循環推進課	拡充	維持	168
			6	余熱利用施設及び(仮称)本多静六記念 市民の森・緑の公園整備事業 〈再掲〉	環境経済部資源循環推進課	拡充	維持	168
	6-3 地球環境 問題に対応したゼ ロカーボンシティ を目指す	1	-	緑のカーテン事業	環境経済部環境課	維持	維持	173
			-	環境マネジメントシステム運用事業	環境経済部環境課	維持	維持	173
		2	6	ゼロカーボン推進事業 〈再掲〉	環境経済部環境課	維持	維持	174
			2	南栗橋8丁目周辺地区整備事業 〈再掲〉	まちづくり推進部都市計画課	維持	維持	174
		3	6	地域新電力事業	環境経済部環境課	休廃止	休廃止	175
		4	6	ゼロカーボン推進事業 〈再掲〉	環境経済部環境課	維持	維持	176
			6	低公害車購入事業	総務部管財課	維持	維持	176
7 市民一人 ひとりが主 役！絆を大切 にし協働・共 創のまちをつ くる	7-1 地域コ ミュニティと協働 のまちづくりを推 進し絆を深める	1	-	自治行政区運営事業	市民部市民生活課 市民部各行政センター	維持	維持	181
			-	コミュニティ協議会運営事業	市民部市民生活課 市民部各行政センター	維持	維持	181
			1	コミュニティ施設管理事業	市民部市民生活課 市民部各行政センター	維持	維持	182
		2	-	市民活動推進事業	市民部市民生活課	維持	維持	183
			-	コミュニティ助成事業	市民部市民生活課	維持	維持	183
		3	1	若い世代の市民参加促進事業	市民部市民生活課	拡充	維持	184
	7-2 地域間や 国外との幅広い交 流を促し出会いを 大切にする	1	-	産業交流事業	環境経済部商工観光課	維持	維持	187
			-	姉妹・友好都市事業 〈再掲〉	市民部市民生活課	縮小	維持	187
		2	-	姉妹・友好都市事業 〈再掲〉	市民部市民生活課	縮小	維持	188
			-	中学生派遣・受入事業 〈再掲〉	市民部市民生活課	維持	維持	188
		3	-	国際・国内交流事業	市民部市民生活課 市民部鷺宮行政センター	休廃止	休廃止	189
	7-3 多種多様 なステークホル ダーと連携する	1	-	高等教育機関連携事業 〔ゼロ予算事業〕	総合政策部企画政策課	維持(ゼロ予算)	維持	193
			1	SDG s 推進事業	総合政策部企画政策課	維持(ゼロ予算)	維持	193
		2	-	民間事業者等連携事業 〔ゼロ予算事業〕	総合政策部企画政策課	維持(ゼロ予算)	維持	194
			2	南栗橋8丁目周辺地区整備事業 〈再掲〉	まちづくり推進部都市計画課	維持	維持	194
			1	SDG s 推進事業 〈再掲〉	総合政策部企画政策課	維持(ゼロ予算)	維持	195
		3	-	P F I 等手法推進事業 〔ゼロ予算事業〕	総合政策部企画政策課	維持(ゼロ予算)	維持	196
			-	指定管理者推進事業	総合政策部企画政策課	維持	維持	196

基本目標	施策	施策の 方向性	まちづくり 重点施策	事業名	所管課	予算の 方向性	成果の 方向性	ページ
	7－4 広く久喜をPRして賑わいを創出しまちの魅力を高める	1	－	ホームページ事業	市長公室シティセールス課	維持	維持	202
			－	広報発行事業	市長公室シティセールス課	維持	維持	202
			－	シティプロモーション推進事業	市長公室シティセールス課	維持	維持	202
			1	婚活支援事業	市長公室シティセールス課	拡充	維持	203
			1	特急券購入補助金交付事業	市長公室シティセールス課	拡充	維持	203
		2	3	コスモスふれあいロード維持管理事業	環境経済部農業振興課	維持	維持	204
			3	あやめ・ラベンダー植栽維持管理事業	環境経済部農業振興課	維持	維持	204
			3	観光協会補助事業	環境経済部商工観光課	維持	維持	204
			－	観光情報発信事業	環境経済部商工観光課	拡充	維持	205
			3	花資源活用推進事業	環境経済部商工観光課	維持	維持	205
		3	－	本多静六博士顕彰事業	教育部文化振興課	維持	維持	206
			6	余熱利用施設及び(仮称)本多静六記念市民の森・緑の公園整備事業〈再掲〉	環境経済部資源循環推進課	拡充	維持	206
8 持続可能でスマートな行政を運営し市民生活を支えるまちをつくる	8－1 時代に順応した行政改革を推進する	1	－	行政評価推進事業	総合政策部企画政策課	拡充	維持	211
		2	－	職員研修事業	総務部人事課	維持	維持	212
		3	1	公共施設アセットマネジメント推進事業	総合政策部アセットマネジメント推進課 施設所管課	維持	維持	213
	8－2 DXによる行政のデジタル化を推進し市民の利便性を高める	1	－	コンビニ交付事業	総務部市民税課 市民部市民課（総合窓口）	拡充	維持	219
			1	デジタル推進事業	総合政策部情報推進課	拡充	維持	219
			1	公衆無線LAN運用事業	総合政策部情報推進課	維持	維持	219
			1	内部情報系システム維持管理事業	総合政策部情報推進課	維持	維持	220
			－	個人番号通知書・個人番号カード交付事業	市民部市民課（総合窓口） 市民部各行政センター	維持	維持	220
		2	2	南栗橋8丁目周辺地区整備事業〈再掲〉	まちづくり推進部都市計画課	維持	維持	221
		3	1	デジタル推進事業〈再掲〉	総合政策部情報推進課	拡充	維持	222
	8－3 持続可能で健全な財政運営と透明性の高い行政運営を確立する	1	－	市税収納事業	総務部収納課 出納室	維持	維持	227
		2	－	予算編成事業〔ゼロ予算事業〕	総合政策部財政課	維持(ゼロ予算)	維持	228
		3	－	広報広聴業務経費	市長公室シティセールス課	拡充	維持	229
			－	市政情報提供事業	総務部庶務課	維持	維持	229
			－	公文書館活動事業	総務部庶務課	維持	維持	230

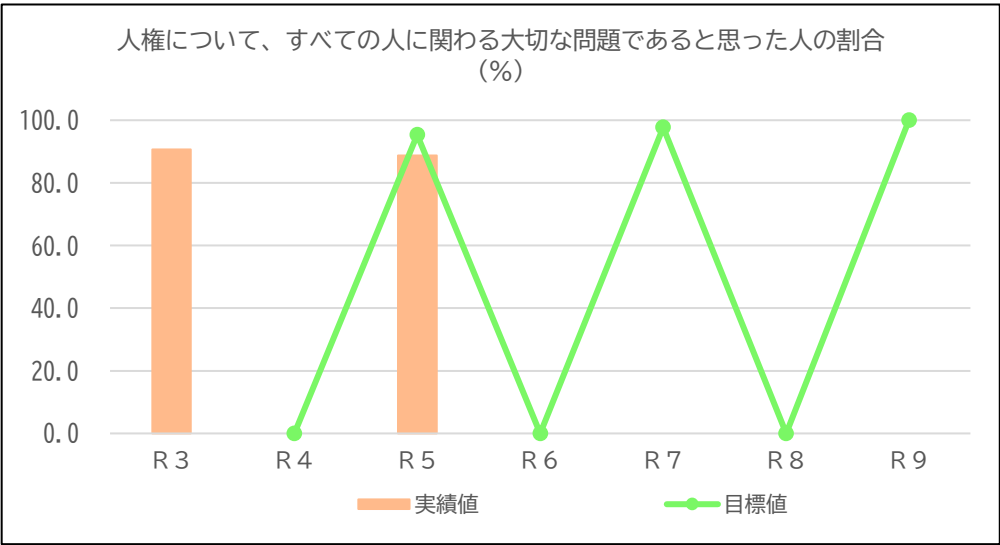
令和7年度行政評価シート

1. 前期基本計画について

基本目標	1	みんなが認め支え合い夢や希望が実現でき人材きらめくまちをつくる	
施策	1－1	互いを認め合い一人ひとりの人権を尊重する	
主管課	総務部人権推進課		関係課 市民部各行政センター、教育部指導課、教育部生涯学習課
5年後のまちの姿			
地域社会が一体となって取り組むことで、市民一人ひとりの人権問題に対する正しい理解と認識が深まり、互いの人権が尊重され、年齢や性別、国籍等による差別や偏見のない明るい地域社会が実現しています。 また、市民一人ひとりが平和の尊さを実感することができる豊かな地域社会が実現しています。			
施策の方向性			
(1) 人権を尊重する意識を高めます (2) 様々な人権問題に迅速に対応します (3) 福祉と教育の向上、環境整備を推進します (4) 学校・家庭・地域等における人権教育を推進します (5) 平和都市宣言を推進します			

2. 重要業績評価指標（K P I）について

重要業績評価指標（K P I）							
人権について、すべての人に関わる大切な問題であると思った人の割合（％）							
年度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
目標値		—	95.3	—	97.7	—	100.0
実績値	90.7		88.7				
達成率			93.1%				



3. 前年度行政評価委員会の意見について

前年度行政評価委員会の意見
多様化する人権問題に対して、相談しやすい窓口を設置し、迅速かつ丁寧な対応に努められたい。 また、市民が互いに人権を尊重する意識を高めるよう、関係機関と連携し、周知の方法を工夫されたい。
「前年度行政評価委員会の意見」に対する実施状況・今後の方向性
広報くき、市ホームページへの掲載、SNSの活用、公共施設やイベント時のチラシの配布に加え、法務局等の関係機関とも連携を図り、人権を尊重する意識の高揚と人権問題の解決に向けた相談しやすい環境づくりに努めていきます。

4. 施策の目標達成度、施策の主要課題及び今後の施策の方向性について

施策の目標達成度	☐ A	目標・予定を達成している	令和6年度重要業績評価指標（KPI）達成率が全て100%以上である。
	☐ B	目標・予定に概ね沿う成果・進捗である	令和6年度重要業績評価指標（KPI）達成率で、最も低い達成率が80%以上である。
	☐ C	目標・予定を下回る成果・進捗である	令和6年度重要業績評価指標（KPI）達成率で、80%未満の指標が1つ以上ある。
施策の主要課題及び今後の施策の方向性	【施策の主要課題】 人権を尊重する意識の向上においては、人権啓発活動を行うための新たな機会の創設や人権意識の高揚を図るために、より多くの市民等のイベント・啓発活動への参加、協力を得ることが課題です。様々な人権問題への迅速な対応として、インターネットを悪用した人権侵害等を含め、複雑・多様化する人権問題に対し、関係機関と連携した細やかな対応や人権擁護委員の資質向上が求められます。 また、人権相談・女性相談が市民に浸透しておらず十分に活用できていないので、相談事業を市民に広く周知し、利用率の向上を図ることが課題となっています。 福祉と教育の向上、環境整備においては、しょうぶ会館の設置趣旨を念頭に市民ニーズなどを勘案しながら、事業数の増減にとらわれず、事業内容の充実を図る必要があります。 また、しょうぶ会館は、隣保館と児童館を併設した特色ある複合施設であるため、その特色を活かし、地域の実情も踏まえた事業を展開していることから、今後も事業を充実させ、年齢や地域を超えた住民相互の交流をととして、人権意識の高揚と活気あるまちづくり並びに良好な地域コミュニティの形成を図ることが必要となります。 学校・家庭・地域等における人権教育においては、児童生徒や教職員の人権問題への意識高揚を効果的に継続していくことが必要です。 児童生徒の作品から成る久喜市人権文集「えがお」については、GIGAスクール構想による1人1台端末が定着しているため、従来の紙冊子での配布を廃止し、令和7年度から学習者用端末等からアクセスできるWEBサイトでの掲載へと移行します。移行を進めていく中で、児童生徒・教職員一人ひとりの人権感覚を醸成していくような効果的なサイト内の構成や周知方法を模索・検討していく必要があります。 各種教室や講座等については、市民一人ひとりが人権問題に対する正しい理解と認識を深め、人権問題の解決に主体的に取り組めるような人権教育を推進するため、継続的に事業等を実施していく必要があります。 平和都市宣言の推進においては、特定の年代や特定の市民に限らず、全ての市民が平和の尊さや大切さを考える機会を創設することが課題となっています。 【今後の方向性】 人権意識の向上については、従来の開催方法や内容を見直した「人間尊重・平和の日」を開催することで、より効果的に人権意識の高揚を図れるよう努めます。 様々な人権問題への迅速な対応については、関係機関と緊密な連携を図り、人権課題の実情の把握に努めることで、実情に即した内容の研修を開催し、人権擁護委員の資質向上に取り組みます。 児童生徒の作品から成る久喜市人権文集「えがお」については、完全デジタル化しWEBサイトでの掲載へと移行しますが、従来と同様かそれ以上の人権意識の高揚を図り、より効果的なサイトの構成や周知方法を模索し、より良いものを目指していきます。 各種教室や講座等については、継続的に事業等を実施していくとともに、各種教室や講座等の見直しを検討し、更なる充実にも努めていきます。 平和都市宣言の推進については、従来の啓発活動に加え、幅広い世代が参加する「人間尊重・平和の日」において戦争をテーマとした映画を上映し、平和の尊さを考える機会を創設します。 以上を通して、「互いを認め合い一人ひとりの人権を尊重する」を着実に推進していきます。		
評価年月日	令和7年7月2日	評価者職氏名	総務部長 関根 義寛

行政評価委員会の意見
人権に関する各種活動指標について、より実態に近く、市の課題や施策の成果を判断できる内容で設定いただきたい。 幅広い年代の人権侵害を防ぐため、今後も持続的な人権啓発活動を実施されたい。

5. 主要な事務事業

＜施策の方向性（１）に関連する事務事業＞						
取組み①	細施策名	人権を尊重する意識を高めます				
	事業名	人権啓発推進事業	所管部課	総務部人権推進課、市民部各行政センター		
	まちづくり重点施策		－			
	令和６年度の成果・実績	市民一人ひとりの人権が尊重される社会の実現を目的に、令和6年11月に「人間尊重・平和の日」を実施し、人権意識の高揚を図りました。また、市内4地区（久喜駅・モラージュ菖蒲・栗橋駅・アリオ鷺宮）で啓発品を配布することにより、人権啓発活動を実施することができました。 市内の事業者に対して企業訪問を行い、人権啓発と公正採用の推進を図ることを再確認する機会を提供することができました。				
	令和６年度決算額(円)	493,750	令和７年度当初予算額（円）	598,000		
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持		
	予算及び成果の方向性を判断した理由	令和7年度に人権推進課及び各行政センターの予算を大幅に削減し、令和8年度は現状の予算の範囲で久喜市独自の人権啓発をより一層充実させていくことから、予算の方向性を維持としました。 人権意識の高揚を図るために、駅頭や街頭、商業施設等における市民に対する啓発活動や企業に対する啓発活動を継続的、反復的に実施していく必要があることから、成果の方向性を維持としました。				
取組み②	事業名	人権尊重事業	所管部課	総務部人権推進課、市民部各行政センター		
	まちづくり重点施策		－			
	令和６年度の成果・実績	市内4地区（久喜・菖蒲・栗橋・鷺宮）の人権のつどいを統合して「人間尊重・平和の日」を久喜総合文化会館で開催（参加者1,150人）し、大ホールでは、小・中学校の児童生徒による人権作文発表・表彰や、園児や民間団体などによるアトラクション等を実施しました。会場内には、小・中学校の児童生徒による「平和の絵画」、福祉施設利用者が作成した作品等を展示し、人権、平和、広くは人間尊重に対する正しい理解と認識を深めることができました。小ホールでは、ハンセン病回復者をテーマにした映画「あん」を上映し、偏見・差別への気づき、人権・人間尊重意識の醸成を図ることができました。 また、映画「めぐみへの誓い」上映会を開催（参加者110人）し、拉致問題について市民の関心と認識を深めました。				
	令和６年度決算額(円)	2,904,196	令和７年度当初予算額（円）	2,850,000		
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持		
	予算及び成果の方向性を判断した理由	令和7年度に人権推進課及び各行政センターの人権関連事業予算を大幅に削減し、令和8年度は現状の予算の範囲で久喜市独自の人権啓発をより一層充実、発展させていくことから、予算の方向性を維持としました。 人権・平和意識の高揚を図るために、「人間尊重・平和の日」を同規模で実施する必要があることから、事業の成果の方向性を維持としました。				
	活動指標名称（単位）		年度	R 5（現状値（直近））	R 6	R 7
所管部課		総務部人権推進課				
人権啓発事業の実施回数（回）		目標値	10	10	10	10
		実績値	10	12		
		達成率	100.0%	120.0%		

＜施策の方向性（２）に関連する事務事業＞						
細施策名		様々な人権問題に迅速に対応します				
取組み①	事業名	人権擁護事業	所管部課	総務部人権推進課		
	まちづくり重点施策		－			
	令和６年度の成果・実績	人権相談・女性相談を市内4地区（久喜・菖蒲・栗橋・鷲宮）を相談会場として、原則毎月1回、計51回開催しました。 広報くさやチラシ等により相談日程を周知し、人権問題等に関する相談に応じることで、基本的な人権を擁護することができました。 また、各地区のイベント時に啓発品の配布を行ったほか、市内小・中学校における人権教室の開催や相談員の資質向上のための研修会を実施しました。				
	令和６年度決算額(円)		734,950	令和７年度当初予算額（円）	897,000	
	予算の方向性		縮小	成果の方向性	維持	
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性については、令和8年度は国による「地域人権啓発活動活性化事業（人権の花運動）」を請け負わないことから縮小としました。 成果の方向性については、人権相談・女性相談や啓発活動を引き続き実施するため、維持としました。				
活動指標名称（単位）		年度	R 5（現状値 （直近））	R 6	R 7	R 8
所管部課	総務部人権推進課					
人権擁護委員数（人）		目標値	16	16	16	16
		実績値	15	15		
		達成率	93.8%	93.8%		

<施策の方向性（３）に関連する事務事業>						
細施策名		福祉と教育の向上、環境整備を推進します				
取組み①	事業名	しょうぶ会館事業	所管部課	総務部人権推進課		
	まちづくり重点施策		③【豊かさ】豊かな地域資源を活かし、産業の中心となるまち			
	令和６年度の成果・実績	隣保館事業としては、相談や健康器具の利用等を通じて、高齢者の生きがいや交流を図りました。 児童館事業としては、会館のひよこルーム、図書室、プレイルーム等の開放により、児童の健全育成を図りました。				
	令和６年度決算額(円)	335,437	令和７年度当初予算額（円）	1,587,000		
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持		
	予算及び成果の方向性を判断した理由	隣保館や児童館としての事業を継続して行っていくことから、予算の方向性及び成果の方向性ともに維持としました。				
取組み②	事業名	人権教育推進事業	所管部課	教育部生涯学習課		
	まちづくり重点施策		－			
	令和６年度の成果・実績	様々な人権問題に関するPTA人権教育研修会を4回、久喜市社会人権教育指導者養成講座を1回開催し、参加者数は合計で468人でした。 また、人権教育に関する取組内容をまとめた啓発冊子の電子化を図り、小・中学校及び幼稚園等に配布しました。 教育集会所においては、人権学習を含む各種教室・講座や地域住民の交流事業などを実施し、集会所事業参加者数は合計1,045人でした。 人権問題の解決、差別意識の解消を図るための事業を実施することで、広く人権問題に対する正しい理解と認識を深めることができました。				
	令和６年度決算額(円)	2,305,259	令和７年度当初予算額（円）	2,527,000		
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持		
	予算及び成果の方向性を判断した理由	教育集会所事業など、引き続き人権教育推進事業の推進に努め、同様の予算規模を見込むことから、予算の方向性及び成果の方向性を維持としました。				
活動指標名称（単位）		年度	R５（現状値（直近））	R６	R７	R８
所管部課	総務部人権推進課					
しょうぶ会館事業の実施回数（回）		目標値	60	52	52	52
		実績値	40	0		
		達成率	66.7%	0.0%		

＜施策の方向性（４）に関連する事務事業＞						
細施策名		学校・家庭・地域等における人権教育を推進します				
取組み①	事業名	人権教育事業	所管部課	教育部指導課		
	まちづくり重点施策		－			
	令和６年度の成果・実績	児童生徒の人権問題等に関する啓発と意識の高揚を図ることを目的とし、市内小・中学校全31校で人権標語や人権作文の作成に取り組み、児童生徒の人権文集「えがお」や、学校人権教育の各校実践事例サイトを作成しました。 「えがお」を全児童生徒に配布し、実践事例サイトについて教職員へ周知を行い、授業や教職員研修での活用等を促しました。 これらの活用により、児童生徒や教職員の人権意識が高めることができました。				
	令和６年度決算額(円)	1,815,000	令和７年度当初予算額（円）	0		
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持		
	予算及び成果の方向性を判断した理由	児童生徒の人権文集について、令和8年度も学習者用端末等からアクセスできるWEBサイトでの掲載を継続予定であるため、予算の方向性及び成果の方向性は維持としました。				
取組み②	事業名	人権教育推進事業〈再掲〉	所管部課	教育部生涯学習課		
	まちづくり重点施策		－			
	令和６年度の成果・実績	様々な人権問題に関するPTA人権教育研修会を4回、久喜市社会人権教育指導者養成講座を1回開催し、参加者数は合計で468人でした。 また、人権教育に関する取組内容をまとめた啓発冊子の電子化を図り、小・中学校及び幼稚園等に配布しました。 教育集会所においては、人権学習を含む各種教室・講座や地域住民の交流事業などを実施し、集会所事業参加者数は合計1,045人でした。 人権問題の解決、差別意識の解消を図るための事業を実施することで、広く人権問題に対する正しい理解と認識を深めることができました。				
	令和６年度決算額(円)	2,305,259	令和７年度当初予算額（円）	2,527,000		
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持		
	予算及び成果の方向性を判断した理由	教育集会所事業など、引き続き人権教育推進事業の推進に努め、同様の予算規模を見込むことから、予算の方向性及び成果の方向性を維持としました。				
活動指標名称（単位）		年度	R 5（現状値（直近））	R 6	R 7	R 8
所管部課	教育部生涯学習課					
PTA人権教育研修会及び社会人権教育指導者養成講座の開催回数（回）		目標値	5	5	5	5
		実績値	5	5		
		達成率	100.0%	100.0%		

＜施策の方向性（５）に関連する事務事業＞						
細施策名		平和都市宣言を推進します				
取組み①	事業名	人間尊重・平和都市宣言推進事業	所管部課	総務部人権推進課		
	まちづくり重点施策		－			
	令和６年度の成果・実績	平和の尊さ、大切さを考える機会として「平和の絵画」を募集したところ、市内小中学校25校から357点の応募があり、令和6年11月に開催した「人間尊重・平和の日」の会場に展示したほか、市内4地区（久喜・菖蒲・栗橋・鷲宮）で「平和の絵画展」を実施しました。 拉致問題に対して関心と認識を深めるため、北朝鮮拉致被害者を題材とした映画「めぐみへの誓い」の上映会を令和7年2月に開催（参加者110人）し、さらに「北朝鮮拉致被害者写真パネル」を「人間尊重・平和の日」の会場に展示したほか、令和6年12月10日から17日まで久喜中央コミュニティセンターロビーにて拉致被害者写真展を開催し、多くの人を対象に啓発することができました。 「人間尊重・平和の日」において、啓発品の配布や「人間尊重・平和都市宣言文」の掲出を行い、人間尊重・平和に対する意識の高揚を図りました。				
	令和６年度決算額(円)	320,296	令和７年度当初予算額（円）	251,000		
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持		
	予算及び成果の方向性を判断した理由	「人間尊重・平和の日」、「平和の絵画展」、「北朝鮮拉致被害者写真展」を今後も継続して実施し、人間尊重・平和への意識の高揚を図っていくことから、予算の方向性及び成果の方向性を維持としました。				
活動指標名称（単位）		年度	R 5（現状値 （直近））	R 6	R 7	R 8
所管部課	総務部人権推進課					
人間尊重・平和都市宣言の啓発実施回数（回）		目標値	12	12	12	12
		実績値	12	12		
		達成率	100.0%	100.0%		

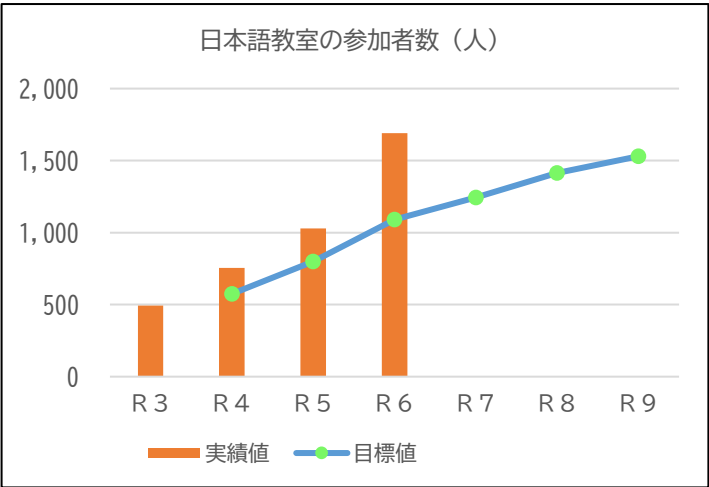
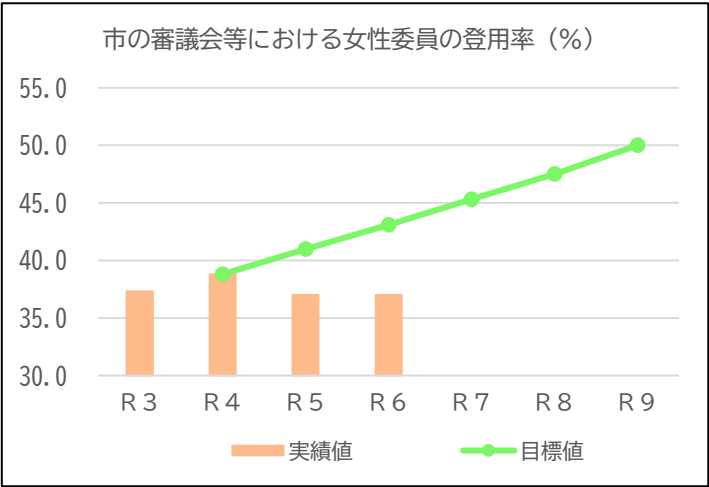
令和7年度行政評価シート

1. 前期基本計画について

基本目標	1	みんなが認め支え合い夢や希望が実現でき人材きらめくまちをつくる	
施策	1－2	すべての人々が暮らしやすい共生社会をつくる	
主管課	総務部人権推進課		関係課 総務部人事課、市民部市民生活課
5年後のまちの姿			
学校・家庭・地域等の社会における意識改革、政策・方針決定の場における男女共同参画が推進され、性別に関わらず、誰もが個性と能力が発揮できています。 また、外国籍市民と市民との間で相互理解が深まり、国籍や文化の違いを超えた、多文化共生社会が実現しています。			
施策の方向性			
(1) 性別に関わらず誰もが活躍できる地域をつくります (2) 男女共同参画社会を推進します (3) 外国籍市民が暮らしやすい環境を整えます			

2. 重要業績評価指標（KPI）について

重要業績評価指標（KPI）							
市の審議会等における女性委員の登用率（％）							
年度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
目標値		38.8	41.0	43.1	45.3	47.5	50.0
実績値	37.3	38.8	37.0	37.0			
達成率		100.0%	90.2%	85.8%			
日本語教室の参加者数（人）							
年度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
目標値		575	800	1,090	1,245	1,415	1,530
実績値	494	756	1,028	1,690			
達成率		131.5%	128.5%	155.0%			



3. 前年度行政評価委員会の意見について

前年度行政評価委員会の意見	
市の女性職員がより能力を発揮できるよう、研修体制や柔軟な働き方ができる環境を整え、女性職員の管理職登用に より力を入れて取り組んでいただきたい。 外国籍の市民が暮らしやすい環境づくりと情報発信を推進されたい。	
「前年度行政評価委員会の意見」に対する実施状況・今後の方向性	
令和6年度は、女性職員に対してキャリア形成に関する市独自の研修の実施や外部研修への職員派遣等、管理職に求め られる能力向上の機会を設けました。今後も、女性職員が積極的に管理職を目指せるよう、研修の実施や働きやすい職 場環境づくりに努めます。 また、令和6年10月に外国人市民相談窓口を開設したことから、積極的に利用していただくよう周知に努めます。	

4. 施策の目標達成度、施策の主要課題及び今後の施策の方向性について

施策の目標 達成度	☐ A	目標・予定を達成している	令和6年度重要業績評価指標（KPI）達成率が全て100%以上である。
	☒ B	目標・予定に概ね沿う成果・進捗である	令和6年度重要業績評価指標（KPI）達成率で、最も低い達成率が80%以上である。
	☐ C	目標・予定を下回る成果・進捗である	令和6年度重要業績評価指標（KPI）達成率で、80%未満の指標が1つ以上ある。
施策の主要課題 及び今後の施策 の方向性	【施策の主要課題】 性別に関わらず誰もが活躍できる地域づくりを行うためには、多様性を認め合い、すべての人々がお互いの人権を尊重する社会の実現を目指すことが重要です。そのために、パートナーシップ宣誓制度が性的少数者の方々に寄り添った制度となるよう、今後も制度の周知を図るとともに、当事者の方々の意見を反映していく必要があります。 男女共同参画社会の推進においては、男女共同参画の意識を高めるために市民に広く周知するとともに、DV等の暴力の根絶を目指す必要があります。そのため、男女共同参画の啓発事業を今後も継続して実施し、女性の悩み（カウンセリング）相談の実施により、家庭の中で起こり、相談がなければ発見しにくいDV等の暴力について相談しやすい環境づくりに努める必要があります。 国際社会に対応できる地域づくりを進めるためには、他国の文化を理解するとともに、外国籍市民にも日本のマナーや災害時の対応等を理解してもらうことが重要です。このため、市民の様々な国際交流活動を促進するとともに、外国語による生活情報の提供や日本語教室の内容の充実に努める必要があります。 多くの外国籍市民に日本語を学習する機会を提供するため、市内日本語ボランティア団体と連携を図り、団体主催の日本語教室で活動する日本語ボランティアを増やすとともに、外国籍市民への周知について継続的に支援する必要があります。そのために、外国人のための暮らしのガイドブック（やさしい日本語・英語）及びホームページについて、より市民目線の情報を提供できるよう見直し、各種行政手続きに関する窓口での対応や生活情報の発信について、多言語対応の充実に努めることが課題です。 本市の職員における女性管理職の登用率は、令和12年4月1日までに25%以上とすることを目標としていますが、令和7年4月1日現在、20.5%と目標を下回っている状況であり、女性職員のキャリア形成に向けた支援が課題となっています。 女性職員が積極的に管理職を目指すことができるようにするために、管理職として活躍できるための能力向上の機会の提供や、働きやすい職場環境づくりなど様々な取組みを複合的に実施していく必要があります。		
	【今後の方向性】 性別に関わらず誰もが活躍できる地域づくりのため、パートナーシップ宣誓制度については、当事者の利便性向上につながるよう自治体間連携を進めるとともに、当事者の意見聴取を継続するよう努めます。男女共同参画啓発のための事業については、実施事業や実施方法の見直しを行ったため、事業の周知先や方法を工夫し、より高い啓発効果が得られるよう努めます。また、女性の悩み（カウンセリング）相談については、市民ニーズを分析し、実施時間帯の調整や事業の周知方法を検討し、より相談しやすい環境づくりに努めます。 令和6年10月1日に開設した外国人市民相談窓口を広く周知し、より一層、多言語による相談・情報提供を行い、外国籍市民が地域で安心して暮らせるような環境づくりに努めます。また、日本語ボランティア養成講座を継続的に開催し、団体主催の日本語教室で活動するボランティアを増やし、多くの外国籍市民が日本語を学習する機会を提供するとともに、地域住民との交流を促進します。 管理職の女性比率を高めしていくためには、女性職員の管理職としての資質とやる気を向上させることが大切であると考えます。今後も、女性職員のキャリアアップに関する周知啓発や意識や能力の向上に資する研修等の機会の提供を行うとともに、女性職員が働きやすい職場環境づくりに努めていきます。		
評価年月日	令和7年7月2日	評価者職氏名	総務部長 関根 義寛

行政評価委員会の意見	
今後、活動指標「管理職の女性割合」の目標値25.0%を達成できるよう、女性職員が管理職を目指しやすい環境を整えていただきたい。	

5. 主要な事務事業

＜施策の方向性（１）に関連する事務事業＞						
細施策名		性別に関わらず誰もが活躍できる地域をつくります				
取組み①	事業名	パートナーシップ宣誓制度推進事業 〔ゼロ予算事業〕	所管部課	総務部人権推進課		
	まちづくり重点施策		－			
	令和６年度の 成果・実績	性的少数者の方々の生きづらさの軽減を図り、多様性を認め合いすべての人々がお互いの人権を尊重する社会の実現に向けて、パートナーシップ宣誓制度及びファミリーシップ制度を実施しています。 令和6年度は、制度利用者の自治体間の転出入に係る負担軽減を図るため、埼玉県内全域での連携協定を締結しました。また、パートナーシップ制度自治体間連携ネットワークへ加入し、連携協定締結先は国内187自治体となりました。				
	令和６年度決算額(円)		0	令和７年度当初予算額（円）	0	
	予算の方向性		維持(ゼロ予算)	成果の方向性	維持	
	予算及び成果 の方向性を判 断した理由	当該事務事業はゼロ予算事業であり、引き続き、制度の周知を図るとともに、当事者の方々の意見を伺いながら内容を検討し、また、制度利用者の負担軽減を図るための連携協定先についても協議を継続していくことから、予算の方向性及び成果の方向性ともに維持としました。				
	事業名		男女共同参画啓発事業	所管部課	総務部人権推進課	
取組み②	まちづくり重点施策		－			
	令和６年度の 成果・実績	男女共同参画推進月間事業として、「男女共同参画1日体験学習ツアー」、「ひとと人のつどい」を開催し、市民が身近なところで男女共同参画に関する知識や認識を深める機会の提供を行いました。 参加者：「男女共同参画1日体験学習ツアー」 29人 「ひとと人のつどい」 274人 男女共同参画に関する啓発として、男女共同参画情報紙「そよかぜ第15号」を発行し、広報くきに折込で全戸配布を行いました。 また、「女（ひと）と男（ひと）の共生セミナー」の実施を市民団体3団体に委託しました。 委託先：NPO法人子育てステーション たんぽぽ、オリーブの会久喜、 社会福祉法人 たいむ共生会				
	令和６年度決算額(円)		737,188	令和７年度当初予算額（円）	399,000	
	予算の方向性		維持	成果の方向性	維持	
	予算及び成果 の方向性を判 断した理由	「男女共同参画1日体験学習ツアー」、「ひとと人のつどい」の参加状況や実施後のアンケートから、事業実施における男女共同参画の理解について一定の成果が得られていると捉えられます。引き続き性別に関わらず誰もがあらゆる分野に参画し、能力を十分に発揮できる男女共同参画社会の形成につながる取組みの事業をはじめ、様々な機会を見つけて周知していくことから、予算の方向性及び成果の方向性ともに維持としました。				
	活動指標名称（単位）		年度	R 5（現状値 （直近））	R 6	R 7
所管部課		総務部人権推進課				
パートナーシップ宣誓制度宣誓組数（組）		目標値	6	8	10	10
		実績値	5	6		
		達成率	83.3%	75.0%		

＜施策の方向性（２）に関連する事務事業＞							
取組み①	細施策名		男女共同参画社会を推進します				
	事業名		男女共同参画啓発事業〈再掲〉	所管部課	総務部人権推進課		
	まちづくり重点施策		－				
	令和６年度の成果・実績		男女共同参画推進月間事業として、「男女共同参画1日体験学習ツアー」、「ひとと人のつどい」を開催し、市民が身近なところで男女共同参画に関する知識や認識を深める機会の提供を行いました。 参加者：「男女共同参画1日体験学習ツアー」 29人 「ひとと人のつどい」 274人 男女共同参画に関する啓発として、男女共同参画情報紙「そよかぜ第15号」を発行し、広報くきに折込で全戸配布を行いました。 また、「女（ひと）と男（ひと）の共生セミナー」の実施を市民団体3団体に委託しました。 委託先：NPO法人子育てステーション たんぼぼ、オリーブの会久喜、社会福祉法人 たいむ共生会				
	令和６年度決算額(円)		737,188	令和７年度当初予算額（円）	399,000		
	予算の方向性		維持	成果の方向性	維持		
	予算及び成果の方向性を判断した理由		「男女共同参画1日体験学習ツアー」、「ひとと人のつどい」の参加状況や実施後のアンケートから、事業実施における男女共同参画の理解について一定の成果が得られていると捉えられます。引き続き性別に関わらず誰もがあらゆる分野に参画し、能力を十分に発揮できる男女共同参画社会の形成につながる取組みの事業をはじめ、様々な機会を見つけて周知していくことから、予算の方向性及び成果の方向性ともに維持としました。				
取組み②	事業名		女性の悩み相談事業	所管部課	総務部人権推進課		
	まちづくり重点施策		－				
	令和６年度の成果・実績		家族や周囲との関係やDV被害等、様々な悩みを抱える女性のため、女性カウンセラーによる「女性の悩み相談」を実施しました。令和6年度の利用件数は83件で、令和5年度から7件増加しました。				
	令和６年度決算額(円)		725,736	令和７年度当初予算額（円）	629,000		
	予算の方向性		維持	成果の方向性	維持		
	予算及び成果の方向性を判断した理由		これまでの利用実績から、令和7年度より相談実施回数を年間120回から104回に変更し、予約率を基に相談時間帯の見直しを行いました。令和8年度も引き続き同じ体制で相談を実施し、一定の市民ニーズが見込まれることから、予算の方向性及び成果の方向性ともに維持としました。				
活動指標名称（単位）			年度	R 5（現状値 （直近））	R 6	R 7	R 8
所管部課		総務部人権推進課					
男女共同参画情報紙の発行回数（回）			目標値	1	1	1	1
			実績値	1	1		
			達成率	100.0%	100.0%		

<施策の方向性（3）に関連する事務事業>				
細施策名		外国籍市民が暮らしやすい環境を整えます		
取組み①	事業名	外国籍市民支援事業	所管部課	市民部市民生活課
	まちづくり重点施策	①【全市民】市民一人ひとりが主役の住みやすいまち		
	令和6年度の成果・実績	外国籍市民が日本語を学習する機会の充実を図るため、日本語教室を開催し、日本語が不自由な外国籍市民の不安解消を図るとともに、交流の機会を提供することができました。市内のボランティア団体が主催する日本語教室で活動するボランティアを増やすため、日本語ボランティア養成講座を開催しました。 市主催の日本語教室を令和6年9月から11月の土曜日に全10回開催し、延べ145人が参加しました。市内の5つの日本語ボランティア団体主催の日本語教室には、年間を通じて延べ1,545人が参加しました。また、日本語ボランティア養成講座を令和6年12月の日曜日に計3回開催し、延べ86人が参加し外国籍市民に日本語を教えるための心構えや知識について学習しました。 また、相談員の配置や多言語通訳対応可能なタブレットの導入を行い、外国人市民相談窓口を令和6年10月から市役所に開設しました。令和6年度は延べ61件の相談を受付し、外国人の日常生活全般に係る適切な情報の提供、案内、相談等を多言語で行いました。		
	令和6年度決算額(円)	1,040,710	令和7年度当初予算額(円)	723,000
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	令和7年度に市主催の日本語教室を廃止しましたが、市内全地区で日本語ボランティア団体主催の日本語教室開催の支援により、外国籍市民が日本語を学習する機会の充実を図ることや、外国人支援窓口における積極的な外国人支援の実施を、令和8年度も継続することから、予算の方向性及び成果の方向性ともに維持としました。		
取組み②	事業名	姉妹・友好都市事業	所管部課	市民部市民生活課
	まちづくり重点施策	—		
	令和6年度の成果・実績	姉妹都市であるアメリカ合衆国オレゴン州ローズバーグ市からの成人訪問団の受入れ（久喜市・ローズバーグ協会主催）を後援しました。 受入期間：令和6年10月3日～10月11日 参加者数：19人		
	令和6年度決算額(円)	97,400	令和7年度当初予算額(円)	1,437,000
	予算の方向性	縮小	成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	姉妹都市との市民（成人）の交流事業（派遣・受入れ）については、令和7年度は姉妹都市連携10周年記念事業として実施し、令和8年度については姉妹・友好都市として実施します。 予算の方向性としては、10周年記念事業である植樹等の催しを行わないことから縮小としました。 成果の方向性としては、今後も同様の規模で継続して実施していくことから維持としました。		

取組み③	事業名	中学生派遣・受入事業		所管部課	市民部市民生活課	
	まちづくり重点施策		－			
	令和６年度の成果・実績	令和6年7月22日から8月1日の11日間、久喜市内の中学生及び高校生14人、引率者4人を姉妹都市であるアメリカ合衆国オレゴン州ローズバーグ市へ派遣しました。 体験活動や市内の施設見学、ホームステイを通じてお互いの生活習慣や文化に触れるとともに、双方の学生が関わりあうことで、異文化理解を深めることができました。また、英語でコミュニケーションをとることにより語学力の向上を図ることができました。				
	令和６年度決算額(円)		1,764,000		令和７年度当初予算額（円）	1,264,000
	予算の方向性		維持		成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	姉妹都市であるローズバーグ市との相互交流を通じて、異文化理解を深め、グローバルな視点を持った人材育成の推進に大きく貢献していると考えられることから、今後も事業を同規模で継続していくため、予算の方向性及び成果の方向性ともに維持としました。				

活動指標名称（単位）		年度	R 5（現状値 （直近））	R 6	R 7	R 8
所管部課	市民部市民生活課					
日本語教室の実施回数（回）		目標値	12	12	12	12
		実績値	12	10		
		達成率	100.0%	83.3%		

6. 行政改革に資する事業・取組み

行政改革に資する事業・取組み①						
事業名	女性職員の管理職への登用推進	所管部課	総務部人事課			
実施方針	女性職員の管理職への登用を推進します。					
令和6年度の 成果・実績	女性職員のキャリア意識の啓発や視野の拡大を図るため、次の取組みを実施しました。 ・係長級以下の女性職員を対象に、働く女性のためのステップアップ研修を実施しました。講演とグループでの意見交換会の2部構成で実施し、21人の女性職員が参加しました。 ・彩の国さいたま人づくり広域連合及び市町村職員中央研修所（市町村アカデミー）が主催する女性職員のキャリア形成に関する研修へそれぞれ職員を派遣しました。					
活動指標名称（単位）		年度	R 5（現状値 （直近））	R 6	R 7	R 8
管理職の女性割合（％）		目標値	21.0	23.0	25.0	25.0
		実績値	19.7	20.5		
		達成率	93.8%	89.1%		

令和7年度行政評価シート

1. 前期基本計画について

基本目標	1	みんなが認め支え合い夢や希望が実現でき人材きらめくまちをつくる	
施策	1－3	心豊かな人材を育む学校教育を充実し夢と希望の実現を支える	
主管課	教育部指導課		関係課 こども未来部保育幼稚園課、教育部教育総務課、教育部学校施設課、教育部学校給食課
5年後のまちの姿			
「久喜市版未来の教室」における一人ひとりに個別最適な学びとSTEAM化された学びにより、誰一人取り残されることのない教育が行われ、子どもたちが持続可能な社会の創り手として、自らの力で未来を切り拓く力を身に付けることができています。 また、安全・安心で快適な教育環境が整い、おいしい学校給食が提供されています。			
施策の方向性			
(1) 質の高い幼児教育を行います (2) 子どもたちに未来を切り拓く力を育みます (3) 豊かな感性と他者を尊重する心を養います (4) 絆を深め、地域社会と連携した教育を推進します (5) 児童生徒の安全確保と、安全教育を推進します (6) 学校の適正規模・適正配置と学校施設等の整備を推進します (7) 児童生徒の健康づくりを推進します			

2. 重要業績評価指標（KPI）について

重要業績評価指標（K P I）		重要業績評価指標（K P I）に係るグラフは別紙に記載					
学力・学習状況調査における学力を伸ばした児童生徒の割合（％）							
年度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
目標値		国語70.0 算数・数学78.0 英語80.0	国語77.0 算数・数学82.0 英語82.0	国語84.0 算数・数学86.0 英語86.0	国語91.0 算数・数学90.0 英語90.0	国語97.0 算数・数学95.0 英語95.0	国語100.0 算数・数学100.0 英語100.0
実績値	国語63.4 算数・数学66.1 英語78.5 (令和4年度実施)	国語60.3 算数・数学52.6 英語63.3 (令和5年度実施)	国語60.3 算数・数学52.6 英語63.3 (令和5年度実施)	国語60.6 算数・数学62.0 英語74.5 (令和6年度実施)			
達成率		国語86.1% 算数・数学67.4% 英語79.1%	国語78.3% 算数・数学64.1% 英語77.2%	国語72.1% 算数・数学72.1% 英語86.6%			
「学校に行くのは楽しいと思う」児童生徒の割合（％）							
年度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
目標値		小学校89.0 中学校86.0	小学校89.0 中学校87.0	小学校90.0 中学校88.0	小学校90.0 中学校89.0	小学校90.0 中学校90.0	小学校90.0 中学校90.0
実績値	小学校88.9 中学校85.3 (令和4年度実施)	小学校88.4 中学校81.6 (令和5年度実施)	小学校88.4 中学校81.6 (令和5年度実施)	小学校88.9 中学校88.5 (令和6年度実施)			
達成率		小学校99.3% 中学校94.9%	小学校99.3% 中学校93.8%	小学校98.8% 中学校100.6%			
学校給食がおいしいと感じている児童生徒の割合（％）							
年度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実績値	92.3	92.6	94.3	94.6			
達成率		92.6%	94.3%	94.6%			

3. 前年度行政評価委員会の意見について

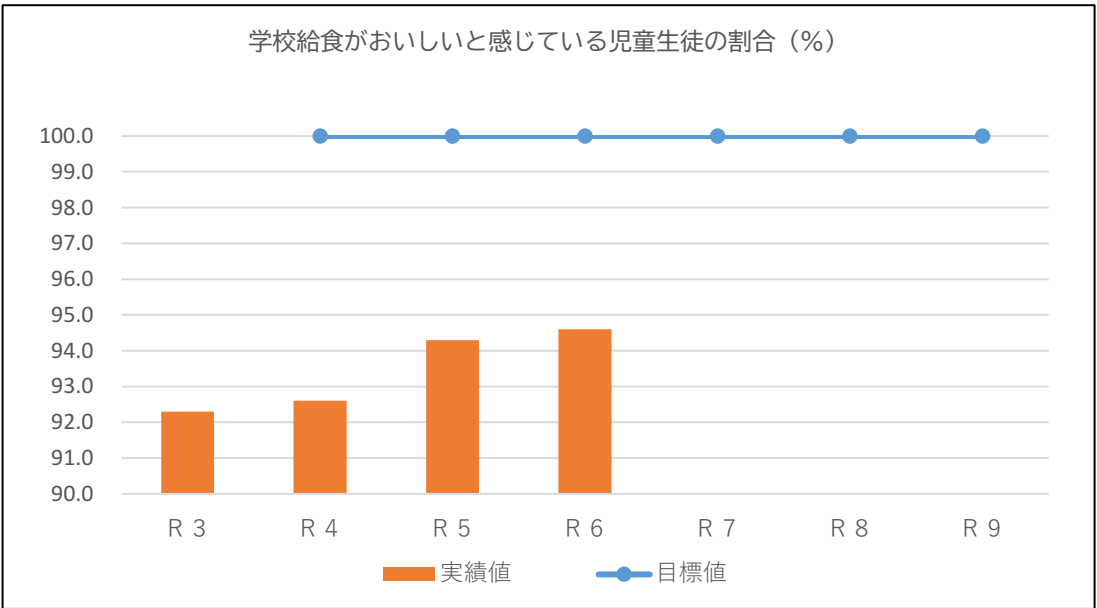
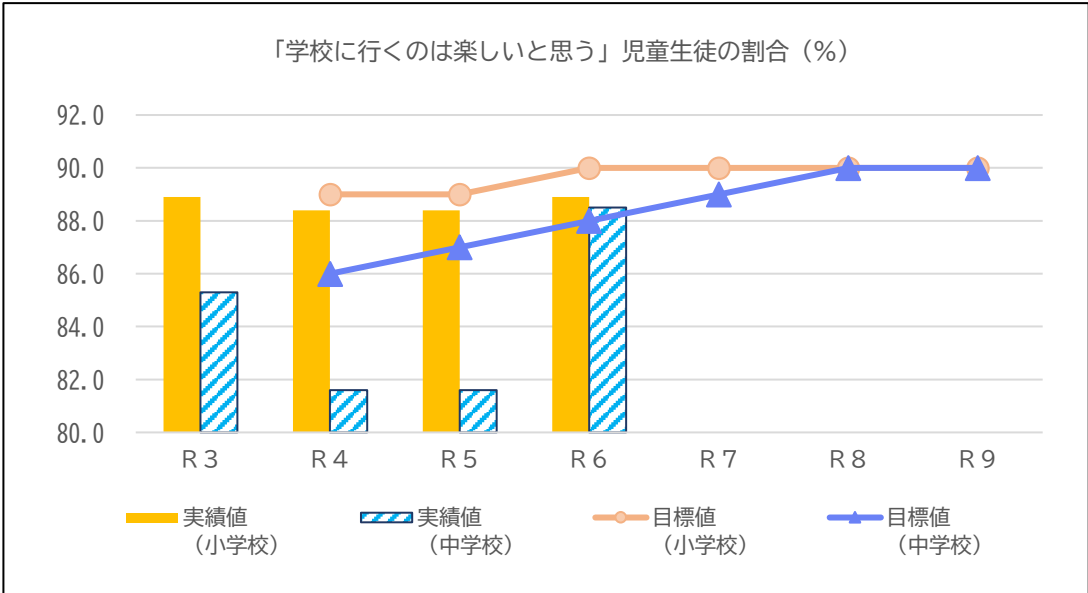
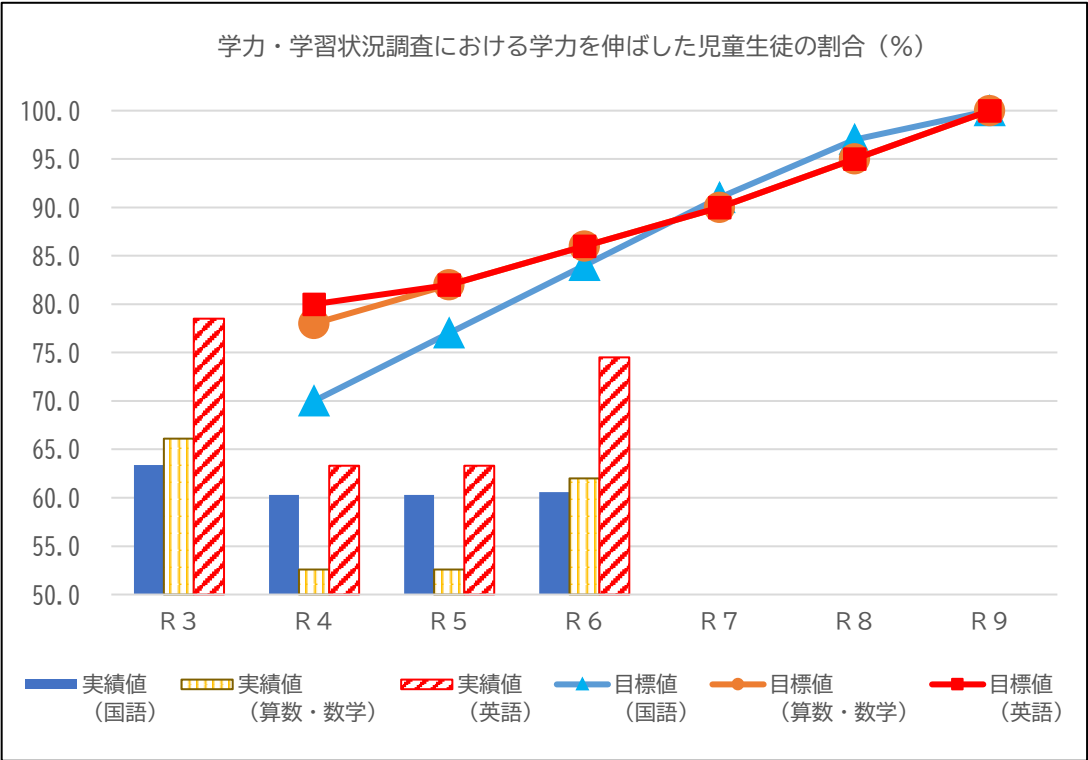
前年度行政評価委員会の意見	
不登校など様々な事情がある児童生徒について、学校と家庭の連携を含め、適切な支援を行っていただきたい。学校施設について、計画的に修繕を行い、適切で効率的な維持管理に努められたい。	
「前年度行政評価委員会の意見」に対する実施状況・今後の方向性	
不登校については、教育支援センターや共同オンライン分教室等の多様な学びの場を用意し、様々な事情がある児童生徒に対して学校と家庭とで連携しながら一人ひとりに寄り添った支援を今後も継続していきます。 学校施設については、老朽化による不具合箇所に対応するため、久喜市立小・中学校大規模改造基本方針を見直し、新たに学校施設改修基本方針を策定しました。今後は事後保全と予防保全の両方による管理への早期転換を目指していきます。	

4. 施策の目標達成度、施策の主要課題及び今後の施策の方向性について

施策の目標達成度	☐ A	目標・予定を達成している	令和6年度重要業績評価指標（KPI）達成率が全て100%以上である。
	☐ B	目標・予定に概ね沿う成果・進捗である	令和6年度重要業績評価指標（KPI）達成率で、最も低い達成率が80%以上である。
	☒ C	目標・予定を下回る成果・進捗である	令和6年度重要業績評価指標（KPI）達成率で、80%未満の指標が1つ以上ある。
施策の主要課題及び今後の施策の方向性	【施策の主要課題】 幼児教育において、少子化及び国の子育てに関する制度の変更や保護者ニーズが多様化する中でも、引き続き幼児教育環境の充実を図ることが課題となっています。 学校教育において、教育活動補助については、音楽会や陸上大会等で児童生徒が移動するバスの借上げについて、必要台数の確保がコロナ禍以前と比較し困難な状況が続いていたり、燃料費が高騰し続けたりしている社会情勢の中で、こどもたちの教育活動を効率的・効果的に補助する方法を検討し続けていく必要があります。児童生徒への学びについては、先端技術を活用した探究的な学びをとおして、次代に必要な資質や能力を育成するため、更なる授業改革を推進していく必要があります。教育相談については、学校生活に関連する様々な不安や悩みを持つ児童生徒や保護者の相談を受け止め、一人ひとりに応じた支援を実施していく必要があります。支援にあたっては、こどもの状態を的確に捉え、学びを保障するとともに、社会的自立の力を育むための環境を整えることが課題です。 インクルーシブ教育については、就学支援委員会を実施し、特別な支援を必要とする児童生徒一人ひとりにとって適切な学びの場を提供できるよう、早期相談、早期把握をしていくことが課題です。 学校の適正規模・適正配置において、児童生徒数が減少しているため、適正な統合等の推進を図る必要があります。 学校施設等の整備において、老朽化の進む学校施設を計画的に修繕する必要があります。 学校給食において、給食の質と量を確保し、栄養バランスの取れた安全・安全でおいしい学校給食を提供するため、物価高騰に伴う食材費の上昇への対応を行い、久喜市産農産物をより積極的に取り入れていく必要があります。また、より多くのこどもたちが学校給食を楽しめるよう、食物アレルギー対応についてもより一層の充実を図る必要があります。 【今後の方向性】 幼児教育において、私立幼稚園に対しては、サービスの水準を維持又は向上できるよう補助金などの財政的支援を継続し、公立幼稚園に対しては安全・安心な施設運営を引き続き行うとともに、保護者ニーズに基づき利用者満足度が向上する新たな取組みを検討していくなど、質の高い幼児教育の提供に努めます。 学校教育において、児童生徒の学びについては、「久喜市版未来の教室」構想に基づき、先端技術を活用した探究的な学びを通して、次代に必要な資質能力を育成するため、有識者や企業と積極的に連携しながら教職員の指導力向上を図るとともに、教育委員会としても各校の授業改革と一緒に取り組んでいきます。また、先端機器の更新や拡充によってより多くのこどもたちに学びの機会を提供できるよう取り組んでいきます。誰一人取り残さない教育の充実に向けては、様々な不安や悩みを持っていたり、特別な教育的支援を必要としたりする児童生徒に対し、一人ひとりに寄り添った適切な支援がなされるように努めていきます。さらに、教職員の資質・能力のより一層の向上を図る研修機会の提供にも引き続き取り組んでいきます。 児童生徒の安全において、安全確保・安全教育の推進に向け、市内小学校への安全監視員の配置並びに防犯カメラや遊具の適切な維持管理を引き続き行っていく予定です。 学校の適正規模・適正配置において、児童生徒数の減少を適正に捉えつつ、統合等の推進を図ります。 学校施設等の整備において、老朽化の進む学校施設を計画的に修繕します。また、豊かな感性と他者を尊重する心を養うため、教材備品や楽器、学校図書を整備を進めていきます。 児童生徒の健康づくりにおいて、健康診断の実施や健康管理に引き続き取り組んでいきます。学校給食では、引き続き、物価高騰に伴う食材費の上昇分を公費負担することや、久喜市産農産物をより積極的に取り入れること、より多くのこどもたちが学校給食を楽しめるように食物アレルギー対応の給食を提供することに引き続き取り組んでいきます。		
評価年月日	令和7年7月2日		評価者職氏名 教育部長 野川 和男

行政評価委員会の意見	
KPI「「学校に行くのは楽しいと思う」児童生徒の割合」について、全ての児童生徒が楽しいと思えるよう、誰一人取り残さない教育の充実を引き続き努力していただきたい。 教員の資質の向上を図るため、服務や倫理等に関する研修等を更に実施されたい。	

【別紙】 2. 重要業績評価指標（K P I）に係るグラフについて



5. 主要な事務事業

＜施策の方向性（１）に関連する事務事業＞						
細施策名		質の高い幼児教育を行います				
取組み①	事業名	幼稚園運営事業	所管部課	こども未来部保育幼稚園課		
	まちづくり重点施策		－			
	令和６年度の成果・実績	中央幼稚園及び栗橋幼稚園で幼児教育を希望する保護者の幼児（３歳児、４歳児、５歳児）に対して、幼児教育を行うとともに、特別な支援を要する幼児への対応、新２号対象児の預かり保育、食育に関する啓発活動などを実施し、幼児の心身の健全な発達を図りました。 また、市立幼稚園在園児数（毎月１日の在園児数合計）は１,５４１人（中央幼稚園８７７人、栗橋幼稚園６６４人）で、令和５年度と比較して１７８人減少しました。預かり保育の利用実績（延べ人数）は１,７２０人（中央幼稚園１,４２８人、栗橋幼稚園２９２人）で、令和５年度と比較して４０人減少しましたが、在園人数中の預かり保育利用実績数については、令和５年度比で９.２ポイントの上昇が見られました。				
	令和６年度決算額(円)	9,338,526	令和７年度当初予算額（円）	7,479,000		
	予算の方向性	縮小	成果の方向性	維持		
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性については、在園児数の減に伴う運営経費の縮減を見込み縮小としました。 成果の方向性については、預かり保育の提供、年間行事など実施事業に変更がなく、利用者サービスとしてこれまでの水準を維持するものとしていることから、維持としました。				
取組み②	事業名	子育てのための施設等利用給付事業（教育費）	所管部課	こども未来部保育幼稚園課		
	まちづくり重点施策		－			
	令和６年度の成果・実績	幼児の心身の健全な発達を図るため、幼児教育を行う子ども・子育て支援新制度に未移行の私立幼稚園に対し、幼児教育・保育の無償化による施設の運営に係る費用を給付するとともに、子育て世帯の経済的な負担を軽減するため、施設利用等認定保護者に対し、預かり保育の利用料の一部を給付しました。 令和６年度は、私立幼稚園２５園（延べ利用園児数１,５５０人）に対し、施設の運営に係る費用を給付するとともに、預かり保育の延べ利用園児数３８７人の保護者に対し、利用料の一部を償還払いすることにより、私立幼稚園の適正な運営及び保護者の負担軽減を図ることができました。				
	令和６年度決算額(円)	41,689,294	令和７年度当初予算額（円）	49,710,000		
	予算の方向性	縮小	成果の方向性	維持		
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性については、利用園児数の減に伴う施設運営費の減少を見込み縮小としました。 成果の方向性については、施設運営費や預かり保育の利用料の給付事業を継続して実施するため、これまでの水準を維持するものとしていることから、維持としました。				
活動指標名称（単位）		年度	R 5（現状値（直近））	R 6	R 7	R 8
所管部課	こども未来部保育幼稚園課					
幼稚園・保育所・認定こども園と小学校の交流活動回数（回）		目標値	10	23	24	24
		実績値	28	34		
		達成率	280.0%	147.8%		

<施策の方向性（2）に関連する事務事業>				
細施策名		子どもたちに未来を切り拓く力を育みます		
取組み①	事業名	教育活動補助事業	所管部課	教育部指導課
	まちづくり重点施策	—		
	令和6年度の成果・実績	市内中学校生徒が部活動等で全国大会や関東大会へ出場する際の交通費・宿泊費等を補助しました。水泳やマーチングの全国大会や、陸上や吹奏楽の関東大会等、延べ10校の生徒の大会参加に対し、4,637,452円の補助をすることで、保護者の負担軽減を行うことができました。 また、市内児童生徒美術展覧会の会場借上料を補助したり、市内小学校陸上大会や小・中学校音楽会において各学校と会場間で児童生徒が移動する貸切りバスの契約を行って費用を負担したりすることで、小・中学校の教育活動や行事参加に係る費用面の負担軽減や円滑な実施に寄与することができました。 さらに、英語検定の受験料の補助については、対象を中学2年生及び中学3年生に拡大し、生徒の英語力及び学習意欲の向上につなげることができました。		
	令和6年度決算額(円)	14,246,640	令和7年度当初予算額(円)	16,679,000
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性及び成果の方向性については、これまでと同様に児童生徒の大会参加等の諸活動に対し、交通費・宿泊費等多方面からの補助や、英語検定の受験料補助を継続していくため維持としました。		
	事業名	中学生学力アップ教育推進事業	所管部課	教育部指導課
取組み②	まちづくり重点施策	—		
	令和6年度の成果・実績	中学生の学力向上を図るため放課後等を活用した学習支援の場である「くき本樹塾」を市内全中学校において実施しました。令和6年度は、市内全体で283名の生徒が参加しました。学校ごとに、年間23回の実施を予定し、概ね予定通り実施することができました。 久喜市ステップアップテストにおける生徒の学力の伸びを、くき本樹塾に参加した生徒の平均と市内中学生全体の平均を比較したところ、中学1年生で約1.4倍、3年生で1.2倍と学力をより伸ばしていました。一方で、2年生は0.6倍という結果でした。年間30回の開催を予定していたところ、23回の開催だったことも要因の一つと考えられることから、今後は予定通り実施できるように取り組んでいきます。		
	令和6年度決算額(円)	2,567,520	令和7年度当初予算額(円)	4,298,000
	予算の方向性	拡充	成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性としては、国庫支出金及び県支出金を活用して、よりきめ細やかな指導のために学習支援員等の増員を見込んでいるため拡充としました。 成果の方向性としては、引き続き学習支援活動の機会を確保していくことから、維持としました。		

取組み③	事業名	情報教育機器維持管理事業（小・中）		所管部課	教育部指導課	
	まちづくり重点施策		－			
	令和６年度の成果・実績	市内小・中学校の情報教育機器の維持管理を適切に実施し、計画的に機器の更新も行うことで、児童生徒並びに教職員に対し、環境整備の充実を図りました。 ・各小・中学校の普通教室及び特別教室に大型提示装置を整備しました。 小学校32台、中学校12台　計44台				
	令和６年度決算額(円)		77,932,612		令和７年度当初予算額（円）	979,256,000
	予算の方向性		縮小		成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性については、令和7年度に児童生徒学習者用端末の更新が完了する見込みであることから、縮小としました。 成果の方向性については、令和7年度の学習者用端末更新により、これまでと同水準の学習環境を継続できることから、維持としました。				
取組み④	事業名	G I G AスクールL a b事業		所管部課	教育部指導課	
	まちづくり重点施策		⑤【夢と希望】すべての市民が夢と希望をもって学ぶことのできるまち			
	令和６年度の成果・実績	持続可能な社会の創り手として必要な汎用的な能力を育成するため、ＩＣＴ活用を基盤とした教科横断的な学びを推進しました。各校の推進者を集めて協議や情報交換をしたり、有識者を招聘して研修会を開催したりしました。研修会では、授業時数特例校制度を活用した探究的な学びの推進について話し合い、教育課程の編成方法や授業改革について研修を深めました。 また、ドローン、3Dプリンター、デジタルスクリーン製版機、プログラミングロボットに加え、データ活用探究ツールや360度カメラを購入し、市内の希望校に順次貸出して、先端機器を活用した探究的な学びの推進を図りました。令和6年度から、モラージュ菖蒲を会場として市内小・中学生によるジュニアプレゼンアワードも開催し、全校の代表から選ばれたチームが探究的な学びの成果を発表しました。				
	令和６年度決算額(円)		2,039,952		令和７年度当初予算額（円）	2,001,000
	予算の方向性		拡充		成果の方向性	拡大
	予算及び成果の方向性を判断した理由	令和8年度から全校が教育課程特例校を申請し、「久喜市版未来の教室構想」に基づいたS T E A M教育の更なる充実と展開を図り、次代に必要な資質能力を育む特色ある教育をしていきます。 予算の方向性については、機器の老朽化に伴う更新が必要となるため、拡充としました。 成果の方向性については、デジタルを基盤とする学びを更に充実させ、「ジュニアプレゼンアワード　I N　K U K I」を一つの成果発表の場としながら、市内全校において探究的な学びをより一層推進していくことから、拡大としました。				
活動指標名称（単位）		年度	R 5（現状値 （直近））	R 6	R 7	R 8
所管部課	教育部指導課					
中学校卒業段階で英語検定３級以上の英語力を有する生徒の割合（％）		目標値	64.0	68.0	70.0	70.0
		実績値	58.3	57.1		
		達成率	91.1%	84.0%		

＜施策の方向性（３）に関連する事務事業＞				
細施策名		豊かな感性と他者を尊重する心を養います		
取組み①	事業名	教育相談事業	所管部課	教育部指導課
	まちづくり重点施策		－	
	令和６年度の成果・実績	中学校のさわやか相談室に10名、小学校のふれあい相談室に8名の教育相談員を配置し、各校の相談窓口として、様々な不安や悩みを持つ児童生徒や保護者の相談に応じました。不登校及び不登校傾向の児童生徒への相談活動を通じて一人ひとりに応じた支援を行うことで、心の安定に寄与することができました。 さらに、学校に通うことが難しい児童生徒に対しても、オンライン授業や、久喜市共同オンライン分教室を設けるなど、多様な学びの場を提供することができました。また、令和6年度に市内10校の中学校すべてにスペシャルサポートルームを設置しました。これらの環境整備により、学校において悩みを抱えている児童生徒又は教室や学校に通うことが難しい児童生徒の居場所を充実させ、学習機会の保障につなげることができました。		
	令和６年度決算額(円)	4,599,895	令和７年度当初予算額（円）	67,000
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	令和8年度も引き続き全校に教育相談員を配置して適切に相談業務に当たっていくことから、予算の方向性及び成果の方向性は維持としました。		
取組み②	事業名	教育支援センター事業	所管部課	教育部指導課
	まちづくり重点施策		－	
	令和６年度の成果・実績	市内4地区（久喜・菖蒲・栗橋・鷲宮）の教育支援センターに、教員免許状を有する指導員8名を配置し、学校に通うことが難しい児童生徒に対し、学習支援や教育相談活動に当たりました。児童生徒は一人ひとりの状態に応じて、自主学習や集団活動を行うことができました。 また、心理専門員による巡回支援も週1回程度行い、支援を必要とする児童生徒の学校復帰や社会的自立を促すことができました。児童生徒や保護者に対して入所時の面談を行うことで一人ひとりに最適な支援方法を予め見定め、さらに、児童生徒に関わる職員による月1回程度の支援会議を行うことで、児童生徒の情報共有ができ支援の充実につなげることができました。		
	令和６年度決算額(円)	192,455	令和７年度当初予算額（円）	284,000
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性及び成果の方向性については、学校や教室に通うことが難しい児童生徒に対して引き続き支援していくことから、維持としました。		

取組み③	事業名	特別支援教育事業		所管部課	教育部教育総務課、教育部指導課																																																					
	まちづくり重点施策		－																																																							
	令和6年度の成果・実績	特別な教育的支援を必要とする児童生徒の状況に応じて、市内小・中学校全校に対し教育活動指導員計40名、教育活動支援員計9名を配置し支援を行いました。さらに、心理専門員や特別支援教育指導員による巡回支援も市内小・中学校全校で実施し、児童生徒と保護者一人ひとりの悩みに寄り添った適切な支援を行いました。また、児童生徒が普段在籍する学級と別に通う「ことばの教室」、「情緒の教室」を市内3校に計10教室を設置し、支援を必要とする児童生徒一人ひとりに寄り添った専門的な支援が受けられる学びの場を設けました。 また、面接相談室にて児童生徒延べ50名の相談を受付し、支援の充実を図りました。 また、保護者の経済的負担を軽減するため、特別支援学級に通学する児童生徒を介助する保護者48人に対し、障がい児通学費補助金を894,290円交付しました。																																																								
	令和6年度決算額(円)		1,366,538		令和7年度当初予算額(円)	1,858,000																																																				
	予算の方向性		維持		成果の方向性	維持																																																				
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性及び成果の方向性については、引き続き特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対して適切に対応をしていくこと、また、小・中学校特別支援学級に通学し児童生徒を送迎する保護者の経済的負担を軽減するため、継続して障がい児通学費補助金を支給することから、維持としました。																																																								
	<table><tr><th colspan="2">活動指標名称(単位)</th><th rowspan="2">年度</th><th rowspan="2">R 5 (現状値 (直近))</th><th rowspan="2">R 6</th><th rowspan="2">R 7</th><th rowspan="2">R 8</th></tr><tr><th>所管部課</th><th>教育部指導課</th></tr><tr><td colspan="2" rowspan="3">児童生徒のうち、多様な学びの場により、学習指導等を受けている児童生徒の割合(%) 【小学校】</td><td>目標値</td><td>55.0</td><td>60.0</td><td>65.0</td><td>65.0</td></tr><tr><td>実績値</td><td>55.1</td><td>54.5</td><td></td><td></td></tr><tr><td>達成率</td><td>100.2%</td><td>90.8%</td><td></td><td></td></tr><tr><th colspan="2">活動指標名称(単位)</th><th rowspan="2">年度</th><th rowspan="2">R 5 (現状値 (直近))</th><th rowspan="2">R 6</th><th rowspan="2">R 7</th><th rowspan="2">R 8</th></tr><tr><th>所管部課</th><th>教育部指導課</th></tr><tr><td colspan="2" rowspan="3">児童生徒のうち、多様な学びの場により、学習指導等を受けている児童生徒の割合(%) 【中学校】</td><td>目標値</td><td>63.0</td><td>66.0</td><td>69.0</td><td>69.0</td></tr><tr><td>実績値</td><td>42.9</td><td>62.0</td><td></td><td></td></tr><tr><td>達成率</td><td>68.1%</td><td>93.9%</td><td></td><td></td></tr></table>							活動指標名称(単位)		年度	R 5 (現状値 (直近))	R 6	R 7	R 8	所管部課	教育部指導課	児童生徒のうち、多様な学びの場により、学習指導等を受けている児童生徒の割合(%) 【小学校】		目標値	55.0	60.0	65.0	65.0	実績値	55.1	54.5			達成率	100.2%	90.8%			活動指標名称(単位)		年度	R 5 (現状値 (直近))	R 6	R 7	R 8	所管部課	教育部指導課	児童生徒のうち、多様な学びの場により、学習指導等を受けている児童生徒の割合(%) 【中学校】		目標値	63.0	66.0	69.0	69.0	実績値	42.9	62.0			達成率	68.1%	93.9%	
活動指標名称(単位)		年度	R 5 (現状値 (直近))	R 6	R 7	R 8																																																				
所管部課	教育部指導課																																																									
児童生徒のうち、多様な学びの場により、学習指導等を受けている児童生徒の割合(%) 【小学校】		目標値	55.0	60.0	65.0	65.0																																																				
		実績値	55.1	54.5																																																						
		達成率	100.2%	90.8%																																																						
活動指標名称(単位)		年度	R 5 (現状値 (直近))	R 6	R 7	R 8																																																				
所管部課	教育部指導課																																																									
児童生徒のうち、多様な学びの場により、学習指導等を受けている児童生徒の割合(%) 【中学校】		目標値	63.0	66.0	69.0	69.0																																																				
		実績値	42.9	62.0																																																						
		達成率	68.1%	93.9%																																																						

<施策の方向性（４）に関連する事務事業>						
取組み①	細施策名	絆を深め、地域社会と連携した教育を推進します				
	事業名	コミュニティ・スクール事業	所管部課	教育部指導課		
	まちづくり重点施策	－				
	令和６年度の成果・実績	学校・家庭・地域が一体となった教育活動や学校運営を展開するために、地域から学校応援団（小学校2,254人、中学校1,517人）をはじめとした多数のボランティアが参加して地域学校協働活動を行いました。ボランティアは読み聞かせ・体験活動などの学習支援や、登下校の見守り・樹木剪定などの環境整備を行いました。 また、市内全小・中学校の学校運営協議会委員が参加する研修会を実施し、地域学校協働活動の好事例について発表が行われ、情報を共有することができました。				
	令和６年度決算額(円)	1,855,092	令和７年度当初予算額（円）	2,261,000		
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持		
	予算及び成果の方向性を判断した理由	令和8年度も、引き続き学校・家庭・地域の連携及び協働を行うため、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進していくことから、予算の方向性及び成果の方向性は維持としました。				
取組み②	事業名	教職員研修事業	所管部課	教育部指導課		
	まちづくり重点施策	－				
	令和６年度の成果・実績	市内小・中学校教職員に向けた校内研修、市委嘱研究発表会及び公開授業研究会を実施しました。 市委嘱研究発表会では、市内小・中学校7校において各校1回ずつ、クラウド活用を基盤とした個別最適な学びと協働的な学びを通じた学習者主体の授業の在り方などについての研修を行いました。 リーディングDXスクール公開授業研究会では、市内小・中学校6校において計10回指導者を招いて、児童生徒の情報活用能力の育成や学習者主体の授業の在り方について研修を行ったり、校務DXに向けた取組みを通してクラウド活用を基盤とした授業や校務の実践事例を共有したりすることができました。				
	令和６年度決算額(円)	1,989,103	令和７年度当初予算額（円）	984,000		
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持		
予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性および成果の方向性については、令和8年度もこれまで同様に、国の動向を踏まえて教職員のニーズに応じた研修機会を提供して教職員の資質・能力の向上を図っていくことから、維持としました。					
活動指標名称（単位）		年度	R 5（現状値（直近））	R 6	R 7	R 8
所管部課	教育部指導課					
「保護者や地域の人との協働による取組は、学校の教育水準の向上に効果があった」と思う学校の割合（％） 【小学校】		目標値	100.0	100.0	100.0	100.0
		実績値	100.0	100.0		
		達成率	100.0%	100.0%		
活動指標名称（単位）		年度	R 5（現状値（直近））	R 6	R 7	R 8
所管部課	教育部指導課					
「保護者や地域の人との協働による取組は、学校の教育水準の向上に効果があった」と思う学校の割合（％） 【中学校】		目標値	100.0	100.0	100.0	100.0
		実績値	100.0	100.0		
		達成率	100.0%	100.0%		

＜施策の方向性（５）に関連する事務事業＞						
細施策名		児童生徒の安全確保と、安全教育を推進します				
取組み①	事業名	児童生徒安全事業	所管部課	教育部教育総務課		
	まちづくり重点施策		－			
	令和６年度の成果・実績	市内全小学校において、不審者の侵入を警戒し、また事故発生の際に迅速かつ適切な処置を行うため、安全監視員を配置しました。また、市内小・中学校の防犯カメラ交換修繕工事を行うことで、児童生徒の安全をより効果的に確保することができました。 江面小学校及び菖蒲中学校においては、スクールバスを運行し、児童生徒の安全な通学を確保することができました。				
	令和６年度決算額(円)		36,734,001	令和７年度当初予算額（円）	32,608,000	
	予算の方向性		拡充	成果の方向性	維持	
	予算及び成果の方向性を判断した理由	防犯カメラの適切な管理は、いずれも必要不可欠な取組みであり、更新時期を迎えた防犯カメラの交換修繕工事を実施することから、予算の方向性を拡大としました。 成果の方向性については、引き続き安全監視員の配置と防犯カメラの運用による学校施設の安全管理とスクールバスの運行を継続して実施していくことから、維持としました。				
活動指標名称（単位）		年度	Ｒ５（現状値（直近））	Ｒ６	Ｒ７	Ｒ８
所管部課	教育部教育総務課					
通学路の安全点検に保護者等が参加した学校の割合（％）		目標値	75.1	77.5	77.6	77.6
		実績値	80.6	83.9		
		達成率	107.3%	108.3%		

<施策の方向性（6）に関連する事務事業>				
細施策名		学校の適正規模・適正配置と学校施設等の整備を推進します		
取組み①	事業名	小・中学校適正規模・適正配置推進事業	所管部課	教育部学校施設課
	まちづくり重点施策	⑤【夢と希望】すべての市民が夢と希望をもって学ぶことのできるまち		
	令和6年度の成果・実績	旧上内小学校・鷺宮小学校及び鷺宮西中学校の統合に関する協議経過等をまとめた統合だよりを発行し、関係学校の保護者や地域の方に対して統合について周知することで、小・中学校の適正規模・適正配置を推進することができました。		
	令和6年度決算額(円)	26,678	令和7年度当初予算額(円)	12,121,000
	予算の方向性	縮小	成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	令和8年4月の義務教育学校（鷺宮西小中学校）の開校に伴い、当該学校に関する本事業での取組みは終了することから、予算の方向性は縮小としました。 今後も他の市内小・中学校の統合や休廃止等について検討していくことから、成果の方向性は維持としました。		
取組み②	事業名	（仮称）久喜市立鷺宮義務教育学校開校準備事業	所管部課	教育部教育総務課、学校施設課、指導課
	まちづくり重点施策	⑤【夢と希望】すべての市民が夢と希望をもって学ぶことのできるまち		
	令和6年度の成果・実績	義務教育学校（鷺宮西小中学校）の開校に向けて、校舎等整備工事及び監理業務委託について建築、電気設備、機械設備に関する契約を締結し、工事を実施しました。また、テニスコート用地の購入及び所有権移転、テレビ電波受信障害事前調査業務委託、家屋事前調査業務委託を行いました。		
	令和6年度決算額(円)	715,090,880	令和7年度当初予算額(円)	3,893,777,000
	予算の方向性	縮小	成果の方向性	縮小
	予算及び成果の方向性を判断した理由	令和8年4月の義務教育学校（鷺宮西小中学校）開校に向けて、令和7年度中に増築校舎、屋内運動場等の工事が完了し、令和8年度は既存校舎の屋上防水・外壁改修等工事を行う予定であることから、予算の方向性及び成果の方向性ともに縮小としました。		
取組み③	事業名	小・中学校教材整備事業	所管部課	教育部教育総務課
	まちづくり重点施策	—		
	令和6年度の成果・実績	小・中学校での教育活動に必要な顕微鏡等の教材備品や、サッカーゴールやバスケットゴール等のスポーツ器具並びにアコーディオン、ティンパニ、トランペット等の楽器等を整備することで、効果的な授業展開ができました。 また、学校図書室向けに、小学校では3,509冊、中学校では2,226冊の図書を購入することで、児童の知識をより深め広げることができました。		
	令和6年度決算額(円)	63,643,073	令和7年度当初予算額(円)	65,025,000
	予算の方向性	拡充	成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性については、教材の修繕・買替えの需要が多いことから拡大としています。 成果の方向性については、小・中学校における教育活動の充実や学習内容の理解促進、教材備品や楽器等の整備に引き続き取り組むことから、維持としています。		

取組み④	事業名	小・中学校耐震化整備事業		所管部課	教育部学校施設課		
	まちづくり重点施策		⑤【夢と希望】すべての市民が夢と希望をもって学ぶことのできるまち				
	令和6年度の成果・実績	小林小学校、三箇小学校、栢間小学校、旧上内小学校の屋内運動場について、非構造部材改修の設計を行いました。 また、令和5年度に設計を行った、本町小学校、青毛小学校、久喜東小学校、久喜北小学校の屋内運動場について、非構造部材改修工事を行いました。					
	令和6年度決算額(円)		53,765,800		令和7年度当初予算額（円）	46,294,000	
	予算の方向性		皆減		成果の方向性	休廃止	
	予算及び成果の方向性を判断した理由	令和7年度に小林小学校、三箇小学校、栢間小学校の工事を実施します。令和7年度の工事をもって全校の非構造部材改修工事が完了することから、予算の方向性を皆減、成果の方向性を休廃止としました。					
取組み⑤	事業名	小・中学校大規模改造事業		所管部課	教育部学校施設課		
	まちづくり重点施策		⑤【夢と希望】すべての市民が夢と希望をもって学ぶことのできるまち				
	令和6年度の成果・実績	令和3年度に設計を行った栗橋小学校の大規模改造工事（第3期）並びに令和5年度に設計を行った桜田小学校及び栗橋西中学校の大規模改造工事（第1期）を行いました。					
	令和6年度決算額(円)		686,983,000		令和7年度当初予算額（円）	348,822,000	
	予算の方向性		縮小		成果の方向性	縮小	
	予算及び成果の方向性を判断した理由	大規模改造事業では外壁改修工事等の複数工事を一括して実施するため、1年間に2～3校程度の工事しか実施できなかったことから、学校施設の修繕方法を見直し、本事業については、令和8年度をもって廃止することから、予算の方向性及び成果の方向性ともに縮小としました。					
活動指標名称（単位）			年度	R 5（現状値（直近））	R 6	R 7	R 8
所管部課	教育部学校施設課						
校舎及び屋内運動場の非構造部材の耐震化をした施設の割合（％）			目標値	77.8	88.9	100.0	100.0
			実績値	77.8	88.9		
			達成率	100.0%	100.0%		

<施策の方向性（7）に関連する事務事業>				
細施策名		児童生徒の健康づくりを推進します		
取組み①	事業名	児童生徒等健康診断・健康管理事業	所管部課	教育部教育総務課
	まちづくり重点施策	—		
	令和6年度の成果・実績	児童生徒等が健やかに学校生活を送れるよう学校保健安全法に基づき、学校医・学校歯科医による健康診断及び業務委託による尿検査10,031名・心臓検診2,128名・脊柱側湾症検査2,162名・小児生活習慣病予防検診1,084名・貧血検査1,071名を実施しました。健康診断結果を基に、児童生徒等の健康状態を適切に把握するとともに、必要に応じて受診勧奨を行うことにより、児童生徒等の健康の保持増進が図られました。 また、学校における感染症対策の一貫として、結核精密検査を12校20名を対象に実施しました。学校保健室の故障・老朽化した備品について、14点839,520円を新規購入しました。		
	令和6年度決算額(円)	47,438,382	令和7年度当初予算額(円)	47,084,000
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	児童生徒の健康の維持促進を図るため、今後も健康診断や健康管理に取り組むことから、予算の方向性及び成果の方向性については、維持としました。		
取組み②	事業名	学校給食運営事業	所管部課	教育部学校給食課
	まちづくり重点施策	⑤【夢と希望】すべての市民が夢と希望をもって学ぶことのできるまち		
	令和6年度の成果・実績	成長期にある児童生徒の心身の健全な発達、健康の増進、体位の向上を図るため、栄養バランスの取れた学校給食を各学校に提供しました。提供にあたっては、新鮮で安全・安心な久喜市産農産物を積極的に取り入れるとともに、多くの児童生徒が喫食できるよう、令和6年4月から、食物アレルギー対応食で対象とする食物を「卵、乳」の2種類から、「卵、乳、えび、かに」の4種類に拡大し、アレルギー対応食の充実に努めました。 また、公益財団法人埼玉県学校給食会主催の令和6年度学校給食調理コンクールに応募し、地産地消献立部門において、埼玉県学校食育研究会会長賞を受賞しました。また、第19回全国学校給食甲子園において、第2次審査を通過し、埼玉県の代表に選出されました。 7月には市内の小・中学生とその保護者を対象に、給食センターの調理場内を親子で巡るツアーを開催し、好評を博しました。 11月には米飯価格等の高騰に伴う食材費の上昇に対応するため、学校給食における公費負担を増額しました。		
	令和6年度決算額(円)	1,200,919,278	令和7年度当初予算額(円)	1,277,486,000
	予算の方向性	拡充	成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性については、給食センターの厨房機器購入時に付された5年保証が令和7年度で満了し、令和8年度からは保守点検費用及び修繕費用が発生することから、拡充としました。 成果の方向性については、市内全ての小・中学校の児童生徒に対し、学校給食の質と量を確保し、栄養バランスの取れた安全・安全でおいしい学校給食を提供するため、引き続き、物価高騰に伴う食材費の上昇分を公費負担し、食物アレルギーへの対応、地産地消の推進等に取り組んでいくことから、維持としました。		

取 組 み ③	事業名	学校給食費補助事業		所管部課	教育部学校給食課		
	まちづくり重点施策		－				
	令和6年度の 成果・実績	児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、小・中学校及び特別支援学校小・中学部に在籍し、市内在住の児童生徒を3人以上養育している保護者322人に対し、3人目以降の学校給食費全額を学校給食費補助金として合計15,189,245円交付しました。					
	令和6年度決算額(円)		15,189,245		令和7年度当初予算額(円)	15,978,000	
	予算の方向性		維持		成果の方向性	維持	
	予算及び成果 の方向性を判 断した理由	これまでと同様に、保護者の経済的負担を軽減するため、児童生徒を3人以上養育している保護者に対して学校給食費補助金を交付することから、予算の方向性及び成果の方向性について、維持としました。					
活動指標名称(単位)			年度	R5(現状値 (直近))	R6	R7	R8
所管部課	教育部学校給食課						
学校給食における久喜市産農産物の使用割合 (%)			目標値	26.0	27.0	28.0	29.0
			実績値	26.9	32.6		
			達成率	103.5%	120.7%		

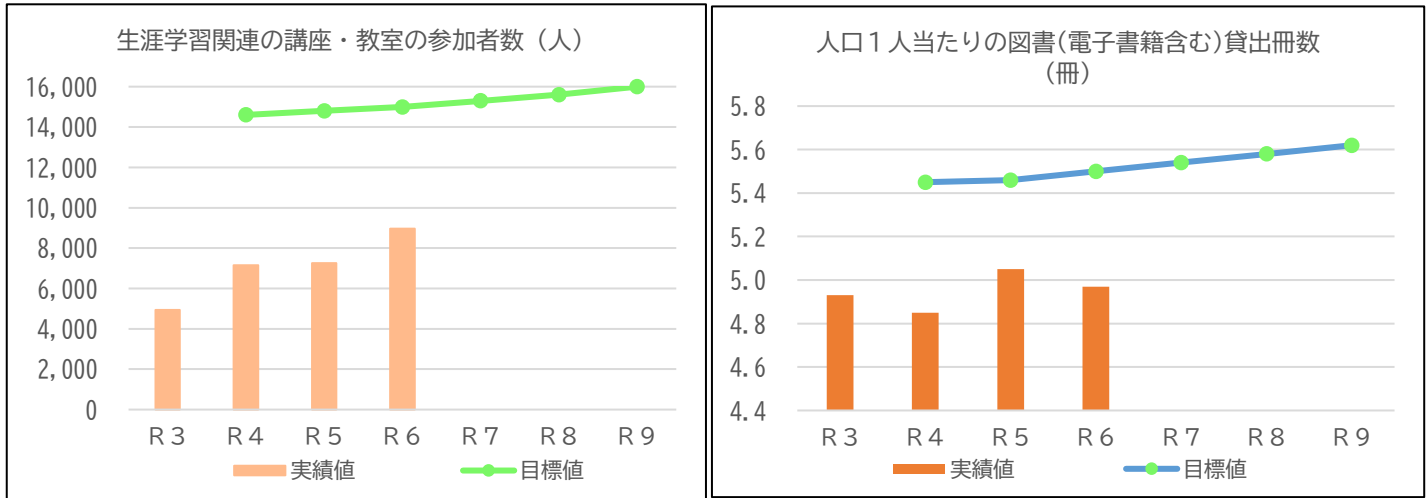
令和7年度行政評価シート

1. 前期基本計画について

基本目標	1	みんなが認め支え合い夢や希望が実現でき人材きらめくまちをつくる	
施策	1－4	地域に根差した生涯にわたる学びを進め郷土の歴史文化を大切にする	
主管課	教育部生涯学習課	関係課	教育部文化振興課
5年後のまちの姿			
地域で学ぶ機会や、学びの成果を地域社会で発揮する環境が整備され、子どもから高齢者まで、すべての市民が生涯にわたり、生きがいをもって暮らしています。 また、文化財の学術的な調査等により、保存と活用が地域で一体的に推進され、子どもたちをはじめとする市民の郷土への愛着が深められています。			
施策の方向性			
(1) 生涯にわたり学び続けるための環境をつくります (2) 年代を問わず文化芸術に親しむ機会を充実します (3) 文化財の保存・継承を通じて郷土愛を育みます			

2. 重要業績評価指標（K P I）について

重要業績評価指標（K P I）							
生涯学習関連の講座・教室の参加者数（人）							
年度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
目標値		14,600	14,800	15,000	15,300	15,600	16,000
実績値	4,930	7,155	7,252	8,970			
達成率		49.0%	49.0%	59.8%			
人口1人当たりの図書(電子書籍含む)貸出冊数（冊）							
年度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
目標値		5.45	5.46	5.50	5.54	5.58	5.62
実績値	4.93	4.85	5.05	4.97			
達成率		89.0%	92.5%	90.4%			



3. 前年度行政評価委員会の意見について

前年度行政評価委員会の意見
市民大学や高齢者大学に加えて、あらゆる年代の市民が学びの機会を得ることのできる、魅力ある講座や催しなどを実施いただきたい。 生涯学習人材バンクに関する情報発信を行って、活用を進めていただきたい。また、地域住民が生涯学習を通じて得た知識や技術を地域で発揮して活躍できる機会の創造にも取り組んでいただきたい。
「前年度行政評価委員会の意見」に対する実施状況・今後の方向性
生涯学習施設「まなびすポット」にて、生涯学習推進大会「まなびすと久喜」や生涯学習研修大会「まなびすとフォーラム」をはじめとする生涯学習事業を開催したほか、市民大学及び高齢者大学の各学年の講座数を1回増やすなど、生涯学習の更なる推進を図りました。 生涯学習人材バンク及び生涯学習出前講座については、令和5年度から市民向け公開講座を実施することで、各事業の認知度の向上及び利用や登録等の促進を図っています。

4. 施策の目標達成度、施策の主要課題及び今後の施策の方向性について

施策の目標達成度	☐ A	目標・予定を達成している	令和6年度重要業績評価指標（KPI）達成率が全て100%以上である。
	☐ B	目標・予定に概ね沿う成果・進捗である	令和6年度重要業績評価指標（KPI）達成率で、最も低い達成率が80%以上である。
	☒ C	目標・予定を下回る成果・進捗である	令和6年度重要業績評価指標（KPI）達成率で、80%未満の指標が1つ以上ある。
施策の主要課題及び今後の施策の方向性	【施策の主要課題】 生涯学習関連の講座・教室の参加者数については、コロナ禍以前（平成30年度以前）に戻っていますが完全に戻っておらず、依然として少ない状況であることが課題となっています。 講座・教室の参加者や施設利用者へのアンケート等を踏まえ、市民ニーズに合った事業を実施していくことで、参加者の更なる増加を目指す必要があります。特に、市民大学・高齢者大学の学生数が減少傾向にあることが一番の課題であるため、学生アンケートを踏まえた講座やカリキュラム変更等の検討を行い、令和6年度から市民大学・高齢者大学各学年の講座数を1回増やし、内容の充実を図りました。今後についても両大学の校友会（卒業生の団体）の協力を得ながら、学生の募集や両大学の周知を効果的に実施していくことで、入学者の増加につなげていく必要があります。また、生涯学習出前講座や生涯学習人材バンクについては、令和5年度から両事業の公開講座を開催しています。この公開講座を通して、事業内容等を広く市民に周知することで、講座への参加者の増加や制度利用の促進を図っていく必要があります。 文化芸術に親しむ機会の充実については、文化芸術団体等と協力し、文化芸術の鑑賞や発表の機会を提供していますが、今後は、幅広い世代が文化芸術に触れて関心を持てる機会を充実させることが課題となっています。 文化財の保存・継承を通じて郷土愛を育むことについては、担い手不足・高齢化により、後継者育成を図ることが困難となっている郷土伝統芸能もあり、今後も後継者育成活動の支援を継続していく必要があります。 【今後の方向性】 生涯学習関連の講座・教室の参加者数については、コロナ禍以前（平成30年度以前）の水準へ戻るよう、講座・教室の参加者や施設利用者へのアンケート等を実施し、アンケートを踏まえた市民ニーズに合った魅力ある事業を実施することで、参加者の更なる増加を目指します。特に、市民大学・高齢者大学については、学生アンケートを踏まえた事業内容の充実を図り、講座数の増加を検討していくとともに、在校生・卒業生の口コミやSNSの発信など、幅広い様々な手段で学生の募集や両大学の周知を効果的に実施していくことで、入学者の増加につなげていきます。また、生涯学習出前講座や生涯学習人材バンクについては、令和5年度から開始した両事業の公開講座を通して、事業内容等を広く市民に周知し、講座への参加者の増加や制度利用の促進を図っていきます。 文化芸術に親しむ機会の充実については、SNSを使用した情報発信や、市民向けのセミナーを開催するなど、周知方法及び事業内容を見直し、幅広い世代の市民が文化芸術に触れ、関心を持てるよう取り組みます。 文化財の保存・継承を通じて郷土愛を育むことについては、引き続き、郷土伝統芸能の後継者育成活動支援を行うとともに、指定文化財補助金交付・指定文化財維持等交付金交付を行うことで、文化財の保護と郷土伝統芸能の後継者育成に努めます。また、郷土資料館特別展事業を推進し、郷土愛の育成に努めます。		
評価年月日	令和7年7月2日	評価者職氏名	教育部長 野川 和男

行政評価委員会の意見
KPI「生涯学習関連の講座・教室の参加者数」が目標値に達していない状況を踏まえ、施設利用者からの意見の汲み取り方を工夫するなどして、今後も改善に取り組んでいただきたい。 市内の文化財を身近なものとして興味を持てるよう、イラストを入れた看板を設置するなど、市民や市を訪れた方の目を引く工夫を実施されたい。

5. 主要な事務事業

＜施策の方向性（１）に関連する事務事業＞				
細施策名		生涯にわたり学び続けるための環境をつくります		
取組み①	事業名	図書館管理運営事業	所管部課	教育部生涯学習課
	まちづくり重点施策	④【安心】誰ひとり取り残さないやさしさにあふれ、安心して暮らせるまち		
	令和6年度の成果・実績	図書館では、民間のノウハウを活用した住民サービスの向上を目的として、指定管理者制度により管理運営を実施しています。 令和6年度の図書館入館者数（4館合計）は370,408人、図書等貸出点数（4館合計）783,432点（電子書籍含む）、人口1人当たりの図書貸出冊数の実績は4.97冊でした。 また、図書館におけるレファレンスの利用件数（4館合計）は6,114件、利用満足度は46.4%でした。 こどもたちに対する取組みとして、学校と連携した図書館利用券の発行を行い、市立図書館及び電子図書館の利用促進を図りました。令和6年度は市内の各小学校新1年生を主な対象に、登録の済んでいない他の学年を含めた登録を計画・実施し、児童1,865人、教員55人、合計1,920人の登録を行うことができました。		
	令和6年度決算額(円)	358,386,009	令和7年度当初予算額(円)	333,129,000
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性については、図書館では令和6年度から令和10年度までの5年間、引き続き指定管理者制度による管理運営を実施することから維持としています。 成果の方向性については、引き続き学校と連携した図書館利用券の発行を進めるほか、令和6年度から開始したインターネットによるレファレンスサービスの受付や図書館利用券のスマートフォン連携など、デジタル技術の活用を図りながら、新たな図書館サービスの提供を進めます。また、移動図書館によるアウトリーチサービスの実施など、令和8年度以降も住民に対して質の高いサービスを提供することから維持としました。		
	事業名	公民館事業推進事業	所管部課	教育部生涯学習課
取組み②	まちづくり重点施策	—		
	令和6年度の成果・実績	市内8地区（久喜中央、江面、久喜東、青葉、清久、菖蒲、栗橋、鷺宮）の公民館事業と久喜市公民館事業連絡協議会主催事業として83事業を実施し、延べ7,516人の参加がありました。各地区の公民館事業運営委員と協力のうえ事業の立案や当日の運営を行いました。 各地区の特性や市民のニーズに沿った事業を実施することで、市民の生涯学習の一助となったほか、参加者同士の交流を図ることができました。		
	令和6年度決算額(円)	2,046,627	令和7年度当初予算額(円)	1,902,000
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	今後も時代のニーズにあった事業を実施し、市民の生涯学習の機会と交流・ふれあいの場を提供することから、予算の方向性及び成果の方向性ともに維持としました。		

取組み③	事業名	地域学校協働活動推進事業	所管部課	教育部生涯学習課
	まちづくり重点施策	—		
	令和6年度の成果・実績	放課後子ども教室（ゆうゆうプラザ）では、放課後や週末等の小学校施設等を活用し、安全・安心なこどもの活動拠点（居場所）を設け、地域の方の協力をいただき、子どもたちに勉強やスポーツ・文化芸術活動、地域との交流活動などの機会を提供することにより、地域社会の中で、子どもたちが心豊かに健やかに成長する環境づくりを推進することができました。 令和6年度の参加児童数等は以下のとおりです。 ・参加児童数:2,838人（令和5年度：2,941人） ・開設講座数:371講座（令和5年度：344講座） ・実施委員数:370人（令和5年度：393人） ・児童参加率:42.7%（令和5年度：43.9%） また、学校と地域をつなぐコーディネーターとして、37名に地域学校協働活動推進員を委嘱しています。 地域学校協働活動推進員の「地域や学校の実情に応じた地域学校協働活動の企画・立案」や「地域住民への情報提供・助言」等の活動をとおり、「学校を核とした地域づくり」を進めることができました。		
	令和6年度決算額(円)	4,789,060	令和7年度当初予算額(円)	6,365,000
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	令和6年度に予算及び運営方法の見直しを行ったところであり、令和8年度以降もこれまでと同等の事業が実施できる見込みであることから、予算の方向性及び成果の方向性ともに維持と判断しました。		
取組み④	事業名	生涯学習推進事業	所管部課	教育部生涯学習課
	まちづくり重点施策	⑤【夢と希望】すべての市民が夢と希望をもって学ぶことのできるまち		
	令和6年度の成果・実績	令和6年6月8日（土）、久喜市生涯学習研修大会「まなびすとフォーラム」を生生涯学習施設「まなびすポット」で実施しました。93名に参加いただき、「ささえあう地域と学校」というテーマについて、8グループに分かれて、活発な意見交換・討論することができました。 令和7年2月2日（日）、久喜市生涯学習推進大会「まなびすと久喜」を開催し、約900人（令和5年度：約1,300人）に参加いただきました。前日まで降雪の予報であり、当日は雨模様であったため、例年よりも参加人数は減少しましたが、各団体に日頃の学習活動の成果を発表する場を提供し、発表や活動の展示等を通して、広く市民に生涯学習の楽しさやすばらしさを体験していただくことができました。 生涯学習出前講座及び生涯学習人材バンクでは、令和5年度に引き続き、当該事業を広く市民に周知するための公開講座（生涯学習出前講座は3回、生涯学習人材バンクは6回）を開催しました。 生涯学習出前講座は、公開講座等による事業周知により、利用件数は78件と大きく増加し、コロナ禍以前の件数を上回りました（令和5年度：47件、令和4年度：22件、令和3年度：16件、令和2年度：17件、令和元年度：22件、平成30年度：26件）。 生涯学習人材バンクは、令和7年3月31日現在、延べ190人が登録しており、令和6年度は4件の活用実績がありました。市内で活動する個人・グループ・団体などの指導者を探している方々へ、講師等人材を紹介することができました。 久喜市生涯学習だより「まなびすと久喜」については、第27号（令和6年8月1日発行）、第28号（令和7年1月1日発行）を発行しました。市民大学や高齢者大学をはじめとする生涯学習事業の紹介、生涯学習研修大会「まなびすとフォーラム」や生涯学習推進大会「まなびすと久喜」の開催等について周知しました。		
	令和6年度決算額(円)	1,699,276	令和7年度当初予算額(円)	2,113,000
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	令和6年度に久喜市生涯学習推進大会「まなびすと久喜」について予算及び運営方法の見直しを行ったところであり、令和8年度以降もこれまでと同等の事業が実施できる見込みであることから、予算の方向性及び成果の方向性ともに維持と判断しました。		

取組み⑤	事業名	市民大学推進事業		所管部課	教育部生涯学習課	
	まちづくり重点施策		⑤【夢と希望】すべての市民が夢と希望をもって学ぶことのできるまち			
	令和6年度の成果・実績	令和6年度は4月6日（土）に入学式・始業式を開催しました。 1年生31講座、2年生21講座のほか、講座以外の特別活動も、予定どおり実施できました。 学生の講座への出席率は1年生90.3%、2年生87%と高く、生涯学習の推進を図ることができました。 なお、令和6年度の卒業生数・修了者数は次のとおりです。 ・1学年：10人 ・2学年：11人 ・大学院：3人				
	令和6年度決算額(円)		786,431		令和7年度当初予算額（円）	949,000
	予算の方向性		拡充		成果の方向性	拡大
	予算及び成果の方向性を判断した理由	市民大学は、市民の生涯学習及びボランティア活動への理解を深め、まちづくりのリーダーとなる人材の育成の場であり、本市の生涯学習の更なる推進に必要不可欠です。 令和8年度に各学年の講座数を1講座ずつ増やし充実を図る方針であることから、予算の方向性を拡充、成果の方向性を拡大と判断しました。				
取組み⑥	事業名	高齢者大学推進事業		所管部課	教育部生涯学習課	
	まちづくり重点施策		⑤【夢と希望】すべての市民が夢と希望をもって学ぶことのできるまち			
	令和6年度の成果・実績	令和6年度は4月10日（水）に入学式・始業式を開催しました。 各学年の講座や学校行事などを予定どおり実施できました。 学生の講座への出席率は、1年生82.7%、2年生84.6%、3年生75.5%、4年生88.9%と高く、生涯学習の推進を図ることができました。 また、令和6年度の卒業生数・修了者数は次のとおりです。 ・1学年：51人 ・2学年：43人 ・3学年：37人 ・4学年：25人				
	令和6年度決算額(円)		1,057,372		令和7年度当初予算額（円）	1,271,000
	予算の方向性		拡充		成果の方向性	拡大
	予算及び成果の方向性を判断した理由	高齢者大学は、生涯学習時代の高齢者に対し、実際生活に即した教養の向上を図り、趣味活動や社会参加による生きがいを高める場であり、本市の生涯学習の更なる推進に必要不可欠です。 令和8年度に各学年の講座数を1講座ずつ増やし充実を図る計画であることから、予算の方向性を拡充、成果の方向性を拡大と判断しました。				
活動指標名称（単位）		年度	R 5（現状値 （直近））	R 6	R 7	R 8
所管部課	教育部生涯学習課					
図書館におけるレファレンスに対する利用満足度（％）		目標値	56.0	57.0	58.0	59.0
		実績値	47.7	46.4		
		達成率	85.2%	81.4%		

<施策の方向性（２）に関連する事務事業>						
細施策名		年代を問わず文化芸術に親しむ機会を充実します				
取組み①	事業名	文化振興事業	所管部課	教育部文化振興課		
	まちづくり重点施策	－				
	令和６年度の成果・実績	市民や文化芸術団体に、当該文化芸術団体の活動支援及び文化芸術作品の発表と鑑賞の機会等を提供することにより、文化芸術の振興に寄与することができました。 ①久喜市美術展 【第1部 絵画ほか】 開催日：令和6年10月11日(金)～10月15日(火) 出品数：83点、来場者数470人 【第2部 書ほか】 開催日：令和6年10月17日(木)～10月20日(日) 出品数：100点、来場者数336人 【第3部 写真】 開催日：令和6年11月5日(火)～11月10日(日) 出品数：109点、来場者数324人 ②吹奏楽フェスティバル 開催日：令和6年11月3日(日)、出演団体数：16団体 来場者数：1,575人 ③市民芸術祭 開催日：令和7年1月19日(日)、出演団体数：14団体 来場者数：383人				
	令和６年度決算額(円)	1,555,607	令和７年度当初予算額（円）	1,941,000		
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持		
	予算及び成果の方向性を判断した理由	幅広い世代の市民が文化芸術に触れ、関心を持てるよう、引き続き文化芸術の振興に寄与するため、これまでと同規模の催しを開催していくことから、予算の方向性及び成果の方向性ともに維持としました。				
	取組み②	事業名	文化団体補助事業	所管部課	教育部文化振興課	
まちづくり重点施策		－				
令和６年度の成果・実績		各文化団体の育成支援を行い、各団体が各種文化事業を開催することにより、文化振興の推進を図ることができました。また、各文化団体の市民文化祭への支援を行いました。 ①久喜市民文化祭合同展示会及び合同発表会【久喜文化団体連合会】 開催日：令和6年10月25日(金)～10月28日(月)展示、10月13日(日)発表 来場者数：271人 ②菖蒲文化祭【菖蒲町文化団体連合会】 開催日：令和6年10月26日(土)～11月4日(月)、来場者数：800人 ③栗橋文化祭【栗橋文化協会】 開催日：令和6年11月2日(土)～11月4日(月)展示、11月3日(日)発表 来場者数：1,200人 ④鷲宮文化祭【鷲宮文化団体連合会】 開催日：令和6年10月19日(土)～10月27日(日)展示、10月27日(日)発表 来場者数：100人				
令和６年度決算額(円)		2,665,521	令和７年度当初予算額（円）	3,235,000		
予算の方向性		維持	成果の方向性	維持		
予算及び成果の方向性を判断した理由		予算の方向性については、各文化団体は各地区の文化祭を主として、各種事業を行うことで、文化芸術の振興に寄与しており、今後も文化団体への支援が必要なことから、維持としました。 成果の方向性については、各文化団体の創意工夫により、各地区の文化祭が令和5年度に比べ、来場者数がやや増となっており、今後も各文化団体が行う文化祭事業を継続していくことから、維持としました。				
活動指標名称（単位）		年度	R 5（現状値（直近））	R 6	R 7	R 8
所管部課	教育部文化振興課					
文化振興事業（久喜市美術展、吹奏楽フェスティバル、市民芸術祭）の来場者数（人）		目標値	4,800	5,250	5,700	6,150
		実績値	3,284	3,088		
		達成率	68.4%	58.8%		

<施策の方向性（３）に関連する事務事業>						
細施策名		文化財の保存・継承を通じて郷土愛を育みます				
取組み①	事業名	文化財保護事業	所管部課	教育部文化振興課		
	まちづくり重点施策		－			
	令和６年度の成果・実績	指定文化財の保護や活用等を通して、郷土に対する愛着心を醸成するため、指定文化財所有者及び市民等を対象に、指定文化財の保護と活用等に関する様々な事業を行いました。 令和６年度の文化財保護審議会は２回開催し、文化財の修理や事業計画案等について委員に審議いただきました。専門家による文化財調査としては、市内の指定・未指定の文化財調査や天王山西遺跡の整理等を行いました。郷土伝統芸能伝承事業としては、神楽保存会、獅子舞保存会、囃子保存会等が行う後継者育成活動の支援を行いました。また、指定文化財補助金交付（指定文化財８件）、指定文化財維持等交付金交付（指定文化財５６件）を行いました。 出張講座（学校教育支援）への講師派遣を３回行い、学芸員が小学校に出張して児童・生徒等に郷土の歴史や文化財を解説しました。また、いきがい大学・高齢者大学への講師派遣を６回行いました。				
	令和６年度決算額(円)	2,847,628	令和７年度当初予算額（円）	4,398,000		
	予算の方向性	縮小	成果の方向性	維持		
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性については、令和８年度は仏像修理に係る補助金交付がなくなることから、縮小としました。 成果の方向性については、引き続き、文化財調査や郷土伝芸能伝承支援などを継続して実施していくことから、維持としました。				
取組み②	事業名	郷土資料館特別展事業	所管部課	教育部文化振興課		
	まちづくり重点施策		－			
	令和６年度の成果・実績	栗橋関所設置４００年を記念して、第１４回特別展「栗橋の賑わい～松尾芭蕉も川端康成もやってきた～」と題して、栗橋地区の魅力を発信しました。この特別展の様子は、テレビや新聞などのマスメディアに取り上げられたことから、市内だけではなく県内外からも入館者がありました。好評につき開催期間を２週間延長したこともあり、令和６年度の特別展の入館者数は３,４８２人となり、令和５年度の特別展と比較して９１４人増加しました。また、特別展関連講座「栗橋の賑わい～関所と宿場と本陣と～」を開催し、４８人が受講しました。 このことにより、市民の郷土愛を醸成することができました。				
	令和６年度決算額(円)	1,072,668	令和７年度当初予算額（円）	925,000		
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持		
	予算及び成果の方向性を判断した理由	市民自ら郷土の歴史や文化を再発見する機会を提供し郷土愛を醸成するため、引き続き同水準の特別展を開催することから、予算の方向性及び成果の方向性ともに維持としました。				
活動指標名称（単位）		年度	R 5（現状値（直近））	R 6	R 7	R 8
所管部課		教育部文化振興課				
郷土資料館特別展の入館者数（人）		目標値	1,800	2,100	2,400	2,400
		実績値	2,568	3,482		
		達成率	142.7%	165.8%		

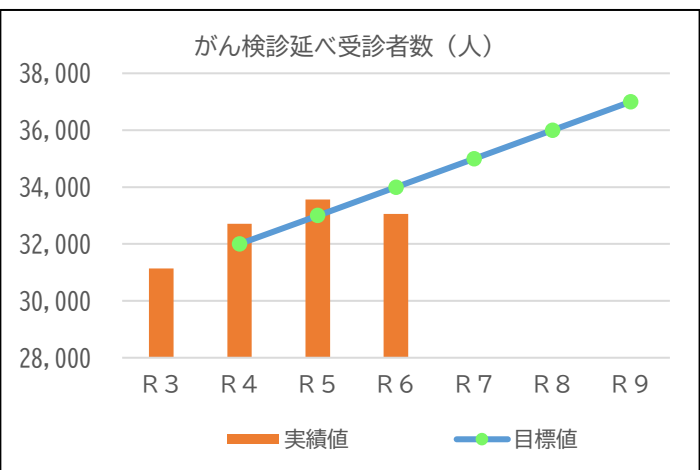
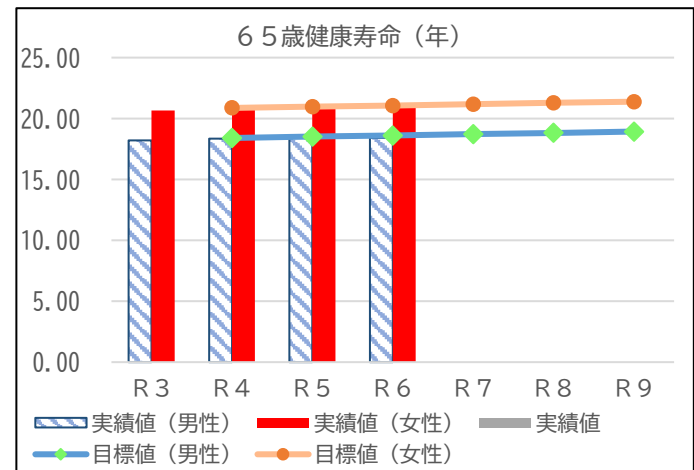
令和7年度行政評価シート

1. 前期基本計画について

基本目標	2	いつまでも健やかに生き生きと幸せに暮らせるまちをつくる	
施策	2－1	市民の健康を守り充実した地域医療体制を推進する	
主管課	健康スポーツ部健康医療課	関係課	健康スポーツ部地域保健課、 健康スポーツ部国民健康保険課
5年後のまちの姿			
市民が主体的に健康づくりや食育に取り組み、住み慣れた地域で健やかに安心して暮らし続けることができる元気なまちづくりが進められ、健康寿命が延伸されています。 また、限られた医療資源を広域で有効活用する地域完結型医療を推進し、市民生活を脅かす感染症への対策を含めた医療提供体制を確保することにより、市民の命と暮らしが守られています。			
施策の方向性			
(１) 健康意識の醸成と予防により市民の健康を守ります (２) かかりつけ医を中心とした地域医療体制を強化します (３) 医療を支える保険制度を円滑に運営します			

2. 重要業績評価指標（KPI）について

重要業績評価指標（KPI）							
65歳健康寿命（年）							
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
目標値（男性）		18.40	18.51	18.61	18.72	18.82	18.93
目標値（女性）		20.87	20.97	21.07	21.18	21.28	21.38
実績値（男性）	(R2) 18.19	(R3) 18.34	(R4) 18.53	(R5) 18.42			
実績値（女性）	(R2) 20.66	(R3) 20.86	(R4) 20.99	(R5) 20.98			
達成率（男性）		99.7%	100.1%	99.0%			
達成率（女性）		99.95%	100.1%	99.6%			
がん検診延べ受診者数（人）							
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
目標値		32,000	33,000	34,000	35,000	36,000	37,000
実績値	31,138	32,712	33,559	33,060			
達成率		102.2%	101.7%	97.2%			



3. 前年度行政評価委員会の意見について

前年度行政評価委員会の意見
市民の健康増進と疾病予防対策のため、各種健康診断や予防接種事業等を引き続き実施いただきたい。
「前年度行政評価委員会の意見」に対する実施状況・今後の方向性
市民の健康増進と疾病予防対策のため、特定健康診査やがん検診、予防接種事業などの各種保健事業を引き続き実施していきます。

4. 施策の目標達成度、施策の主要課題及び今後の施策の方向性について

施策の目標達成度	☐ A	目標・予定を達成している	令和6年度重要業績評価指標（KPI）達成率が全て100%以上である。
	☒ B	目標・予定に概ね沿う成果・進捗である	令和6年度重要業績評価指標（KPI）達成率で、最も低い達成率が80%以上である。
	☐ C	目標・予定を下回る成果・進捗である	令和6年度重要業績評価指標（KPI）達成率で、80%未満の指標が1つ以上ある。
施策の主要課題及び今後の施策の方向性	【施策の主要課題】 市民の健康を守るためには、日本人の死因の第1位である「がん」について検診を実施し、早期発見・早期治療に繋げるとともに、健康意識の醸成と予防に努めることが重要です。令和6年度は、集団検診の実施期間の延長や、回数、予約受付人数を増やすなど、受診者の増加に努めました。受診数は目標数に達していませんが、今後は、更なる取組みとして、連携協定先の企業と連携して、受診勧奨方法を検討し、受診促進につなげていく必要があります。更に、国指針の改正に伴い、HPV（ヒトパピローマウイルス）検査の導入については、近隣市町村や医療機関の実施状況を確認して検討する必要があります。 また、がん検診受診者のうち、精密検査が必要と判定されたにもかかわらず、未受診の方に対しては、受診の重要性を伝えるなど、個別の受診勧奨に尽力していますが、精密検査受診率の更なる向上が課題です。 市民が安心して出産できる環境を整備するため、産婦人科医療機関の開設又は再開の支援事業について広く周知していますが、開設に至っていないことが課題であるため、支援事業の取組みについて検討していきます。 一人当たり医療費は増加傾向にあり、特定健康診査受診率も低く推移していることが課題であることから、疾病等を早期に発見し、被保険者の健康増進及び医療費の適正化を図るため、引き続き第2期久喜市国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画）に基づき、各種保健事業を実施していく必要があります。また、特定健康診査受診率の向上を図るため、新たな取組みを検討・実施します。 【今後の方向性】 がん検診については、受診者数の更なる増加を目指し、集団がん検診の周知方法、実施方法の見直しや、効率の良い周知方法を検討することで、より効果的に実施していきます。 また、国の定める指針に従い子宮頸がん検診のHPV検査の導入については、システム改修や検診実施機関等関係者との調整、市民や対象者への周知時期など、導入にあたっての課題が多いため、近隣市町村の状況を確認しながら、実施に向けて状況の把握をしていきます。 さらに、精密検査未受診者の受診率向上のために、未受診者には引き続き、受診勧奨を実施していきます。 地域医療体制の充実のため、産婦人科医療機関開業支援事業を行うにあたり関係機関への個別通知や広報、ホームページ、包括連携協定を利用した制度の周知に努め、安心して出産できる環境の整備を目指します。 医療を支える保険制度の円滑な運営については、特定健康診査など各種保健事業の実施に当たり、医師会や医療機関との連携を強化しながら、受診機会の確保に努めていくとともに、広報紙、ホームページ、SNS、勧奨通知、受診キャンペーン、診療情報提供事業等を通して制度を周知し、被保険者の健康増進及び医療費の適正化を図ります。		
評価年月日	令和7年7月2日	評価者職氏名	健康スポーツ部 真坂 八重子

行政評価委員会の意見
インフルエンザや新型コロナウイルス感染症等の予防接種助成事業を引き続き実施されたい。

5. 主要な事務事業

＜施策の方向性（１）に関連する事務事業＞				
細施策名		健康意識の醸成と予防により市民の健康を守ります		
取組み①	事業名	予防接種事業	所管部課	健康スポーツ部地域保健課
	まちづくり重点施策	－		
	令和6年度の成果・実績	予防接種事業を久喜市医師会、埼玉県医師会、日本医師会、埼玉県立小児医療センター、その他医療機関に委託して、伝染のおそれ等のある疾病の発生及びまん延の予防を図ることができました。 令和6年度接種者数 ・子どもの予防接種（無料）延べ24,025人、 内訳：ロタウイルス1,807人、B型肝炎2,192人、ヒブ845人、小児用肺炎球菌2,997人、四種混合1,003人、五種混合2,143人、ポリオ1人、BCG749人、麻しん風しん混合1,741人、水痘1,535人、日本脳炎3,791人、二種混合957人、子宮頸がん予防4,264人 ・高齢者の予防接種（自己負担あり：インフルエンザ1,500円、高齢者肺炎球菌【定期接種】3,000円、【任意接種】5,000円、新型コロナウイルス感染症【定期接種】3,000円）延べ32,014人 内訳：インフルエンザ23,065人、 高齢者肺炎球菌【定期接種】483人、【任意接種】98人 新型コロナウイルス感染症【定期接種】8,368人 ・大人の予防接種（助成あり：大人の風しん予防接種助成事業3,000円上限、風しん追加的対策9,556円上限）延べ60人、 内訳：大人の風しん予防接種助成事業27人、風しん追加的対策33人		
	令和6年度決算額(円)	677,454,985	令和7年度当初予算額(円)	430,962,000
	予算の方向性	縮小	成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性については、新型コロナウイルス感染症予防接種の令和6年度接種状況を踏まえ、被接種者の減少を見込んだこと、また、当該予防接種の国の助成事業の終了を見込み縮小としました。 成果の方向性については、原則、法令に則った予防接種を実施しており、これまでの水準を維持するものとしていることから、維持としました。		
	事業名	成人健康診査事業	所管部課	健康スポーツ部地域保健課
取組み②	まちづくり重点施策	④【安心】誰ひとり取り残さないやさしさにあふれ、安心して暮らせるまち		
	令和6年度の成果・実績	成人健康診査事業を南埼玉郡市医師会、久喜市医師会及び埼玉県健康づくり事業団に委託し、受診対象者（胃がん検診及び肺がん検診は40歳以上、乳がん検診は40歳以上の偶数年齢の女性、子宮頸がん検診は20歳以上の偶数年齢の女性、前立腺がん検診は50歳以上の男性、結核健康診断は16歳以上）に対して実施しました。 このことにより、疾病を早期に発見し、治療につなげることで市民の健康を保持増進することができました。 令和6年度受診者数 - 肝炎ウイルス検診（集団・個別）885人、健康診査116人、 - 子宮頸がん検診（集団・個別）3,185人、乳がん検診（集団・個別）3,293人、 - 胃がん検診（集団）4,679人、肺がん検診（集団）6,901人、 - 大腸がん検診（集団・個別）15,002人、前立腺がん検診（集団・個別）7,539人、 - 結核健康診断（集団）12人		
	令和6年度決算額(円)	172,404,285	令和7年度当初予算額(円)	174,825,000
	予算の方向性	維持	成果の方向性	拡大
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性については、これまで同様に事業内容は維持しつつ、引き続き、より効果的で効率の良い周知方法への見直しを実施することから維持としました。 成果の方向性については、がん検診の延べ受診者数の増加を目標としていることから拡大としました。		

取組み③	事業名	健康づくり・食育推進事業	所管部課	健康スポーツ部健康医療課
	まちづくり重点施策	—		
	令和6年度の成果・実績	健康増進・食育推進会議、関連する作業部会及び庁内連絡会議を各2回計6回開催し、「第2次久喜市健康増進・食育推進計画」（計画期間：平成29年度から令和5年度）及び「久喜市自殺対策計画」（計画期間：平成31年度から令和5年度）について令和5年度事業実績の評価を行い、一体的な計画として策定した「第3次久喜市健康増進・食育推進計画 第2次久喜市自殺対策計画」（計画期間：令和6年度から令和17年度）の取組みについて確認、協議しました。 このことにより、健康意識の向上を図ることができました。		
	令和6年度決算額(円)	199,840	令和7年度当初予算額(円)	217,000
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性については、令和7年度も引き続き、久喜市健康増進・食育推進会議を開催することから維持としました。 成果の方向性については、引き続き会議を実施し、取組みについて確認、協議することから維持としました。		
取組み④	事業名	健康づくり推進事業	所管部課	健康スポーツ部地域保健課
	まちづくり重点施策	④【安心】誰ひとり取り残さないやさしさにあふれ、安心して暮らせるまち		
	令和6年度の成果・実績	健康づくり推進事業においてウォーキング教室や健康講座を開催し、健康維持に必要な知識の普及及び情報提供とともに適切な助言・指導を行うことで、受講者の生活習慣の改善を促しました。 このことにより、健康に関する自己管理意識を高めることで、市民の健康づくりを推進することができました。 令和6年度実施事業：今日から始めるウォーキング教室（中央・菖蒲）1回13人、 今日から始めるウォーキング教室（栗橋・鷺宮）1回20人、 女性の健康講座（鍛えよう、骨盤底筋）1回26人、 女性の健康講座（女性ホルモンと上手につきあう）1回25人、 栄養講座、食生活講座等22回1,192人、健康教育、出前講座等8回135人 食育動画（共食の大切さ）再生回数849回、（バランスのとれた食事）再生回数352回 埼玉県コバトンALKOOマイレージ事業参加者数1,252人		
	令和6年度決算額(円)	844,902	令和7年度当初予算額(円)	909,000
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性については、市民の健康の自己管理意識を向上させるため、健康に関する知識の普及や情報提供について、今後も民間企業との包括連携を積極的に活用し、実施することから維持としました。 成果の方向性については、引き続き民間企業と連携を図り、女性の健康に関する教育内容の充実に努めるため、維持としました。		

取 組 み ⑤	事業名	歯科健康診査事業		所管部課	健康スポーツ部地域保健課		
	まちづくり重点施策		④【安心】誰ひとり取り残さないやさしさにあふれ、安心して暮らせるまち				
	令和６年度の 成果・実績	歯科健康診査事業を久喜市歯科医師会に委託し、受診対象者（むし歯や歯周病が発症しやすい妊婦及び生活習慣病の関係が注目される成人期（40歳、50歳、60歳、70歳）の方）に対して実施しました。 このことにより、むし歯や歯周病等を早期に発見し、治療につなげるとともに、市民がかかりつけの歯科医を持つことについて促進することができました。 令和6年度 妊婦歯科健康診査 対象者数836人、受診者数251人 成人歯科健康診査 対象者数8,262人、受診者数483人					
	令和６年度決算額(円)		3,782,400		令和７年度当初予算額（円）	4,296,000	
	予算の方向性		維持		成果の方向性	維持	
	予算及び成果 の方向性を判 断した理由	これまで通り健診事業を対象の方に受診していただく必要があり、受診率の維持のため、今後も効率的、効果的に周知、啓発を図ることから、予算の方向性及び成果の方向性ともに維持としました。					
	活動指標名称（単位）			年度	R 5（現状値 （直近））	R 6	R 7
所管部課	健康スポーツ部健康医療課						
健康づくり・食育に関する催し参加者数(人)			目標値	8,300	7,700	7,800	7,900
			実績値	9,741	5,700		
			達成率	117.4%	74.0%		

<施策の方向性（２）に関連する事務事業>						
細施策名		かかりつけ医を中心とした地域医療体制を強化します				
取組み①	事業名	地域医療対策事業	所管部課	健康スポーツ部健康医療課		
	まちづくり重点施策		④【安心】誰ひとり取り残さないやさしさにあふれ、安心して暮らせるまち			
	令和６年度の成果・実績	初期救急医療の提供体制を確保するため、久喜市医師会及び市内医療機関の協力を得て、日曜・祝祭日等における内科・小児科の診療を行い、71回実施しました。 また、地域医療の中核を担う市内の公的病院等の運営費や、第二次救急医療圏である埼玉県東部北地区の構成市町が協調し取り組んでいる病院群輪番制病院の運営費に対する補助金を交付しました。 このことにより、市民並びに埼玉県東部北地区の住民に対し健康の支援を図ることができました。				
	令和６年度決算額(円)	69,893,293	令和７年度当初予算額（円）	69,538,000		
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持		
	予算及び成果の方向性を判断した理由	地域医療体制の整備・充実を図ることを目的に、引き続き医療機関等との連携や公的病院等の運営費への支援を行っていくことから、予算の方向性及び成果の方向性ともに維持としました。				
取組み②	事業名	地域医療推進事業	所管部課	健康スポーツ部健康医療課		
	まちづくり重点施策		－			
	令和６年度の成果・実績	久喜市地域医療推進協議会において、市・市民・医療機関等が一体となって地域医療の推進に関する協議を行っていましたが、現在では、保健所が主催する利根地域や二次医療圏での地域医療に関する会議のほかに、久喜市在宅医療・介護連携推進会議で、この協議会で取り扱う事項（地域医療や医療と介護の連携など）について協議を行う場が設けられていることから、令和7年1月29日に開催した協議会において、本協議会の廃止を決定し、久喜市地域医療推進協議会条例を廃止しました。				
	令和６年度決算額(円)	62,924	令和７年度当初予算額（円）	0		
	予算の方向性	休廃止	成果の方向性	休廃止		
	予算及び成果の方向性を判断した理由	久喜市地域医療推進協議会を令和6年度をもって廃止したため、休廃止としました。				
取組み③	事業名	産婦人科医療機関開業支援事業	所管部課	健康スポーツ部健康医療課		
	まちづくり重点施策		④【安心】誰ひとり取り残さないやさしさにあふれ、安心して暮らせるまち			
	令和６年度の成果・実績	市内で産婦人科医療機関を開業又は再開する方に対する支援事業について、広報くき及び市ホームページに掲載したほか、埼玉県内外の分娩を取り扱う医療機関計73か所、医療コンサルティング会社20か所、包括連携協定先の金融機関に対して、チラシの送付及び配架により補助金の周知を行いました。申請には至りませんでした。				
	令和６年度決算額(円)	0	令和７年度当初予算額（円）	0		
	予算の方向性	維持(ゼロ予算)	成果の方向性	維持		
	予算及び成果の方向性を判断した理由	今後も事業について広く周知し、産婦人科の開業等の相談を受け、協議の進展にあわせて補助金の交付準備を進めることとするため、予算の方向性及び成果の方向性ともに維持としました。				
活動指標名称（単位）		年度	R 5（現状値 （直近））	R 6	R 7	R 8
所管部課	健康スポーツ部健康医療課					
休日診療の日数（日）		目標値	71	71	71	71
		実績値	71	71		
		達成率	100.0%	100.0%		

<施策の方向性（3）に関連する事務事業>				
細施策名		医療を支える保険制度を円滑に運営します		
取組み①	事業名	特定健康診査事業	所管部課	健康スポーツ部国民健康保険課
	まちづくり重点施策	－		
	令和6年度の成果・実績	生活習慣病を早期に発見することで医療費の適正化につなげるため、国民健康保険被保険者に対し、南埼玉郡市医師会との契約に基づく指定医療機関において特定健康診査を実施しました。本事業により、生活習慣病の早期発見が図られました。 国民健康保険被保険者数が年々減少しており、受診者数も減少しています。 令和6年度実績 特定健康診査受診者数 8,602人（令和5年度比 △621人（△6.7%））		
	令和6年度決算額（円）	106,883,808	令和7年度当初予算額（円）	128,181,000
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性については、国民健康保険被保険者が、引き続き特定健康診査を自己負担なく受診できる環境を整えるため、維持としました。 成果の方向性については、生活習慣病の早期発見及び医療費の適正化を図るため、引き続き特定健康診査受診率の向上に努めていくことから、維持としました。		
取組み②	事業名	特定保健指導事業	所管部課	健康スポーツ部国民健康保険課
	まちづくり重点施策	－		
	令和6年度の成果・実績	生活習慣病の早期改善を図るため、各保健センター等において特定保健指導を実施しました。また、糖尿病性腎症重症化予防を図るため、埼玉県国民健康保険団体連合会との共同事業として、糖尿病性腎症重症化予防対策事業を行い、糖尿病が重症化するリスクの高い未受診者及び受診中断者に対して医療機関への受診勧奨を実施するとともに、糖尿病性腎症で治療中の患者のうち、重症化リスクの高い通院患者に対して保健指導を行いました。 本事業により、生活習慣病の早期改善及び医療費の適正化が図られました。 令和6年度実績 特定保健指導実施者数 190人 （令和5年度比 +45人（+31.0%）） 糖尿病性腎症重症化予防対策事業 受診勧奨者数 49人 （令和5年度比 △24人（△32.9%）） 糖尿病性腎症重症化予防対策事業 保健指導実施者数 27人 （令和5年度比 △2人（△6.9%））		
	令和6年度決算額（円）	6,754,276	令和7年度当初予算額（円）	25,840,000
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性については、国民健康保険被保険者のうち、メタボリックシンドロームのリスクが高いと判定された方が、自己負担なく特定保健指導を受けることのできる環境を引き続き整えるため、維持としました。 成果の方向性については、生活習慣病の早期改善及び医療費の適正化を図るため、引き続き特定保健指導実施率の向上に努めていくことから、維持としました。		

取 組 み ③	事業名	人間ドック事業		所管部課	健康スポーツ部国民健康保険課	
	まちづくり重点施策		－			
	令和6年度の 成果・実績	疾病の早期発見を図るため、国民健康保険被保険者が人間ドック又は脳ドックを受診した際に、 検診費用の一部を助成しました。 本事業により、疾病の早期発見が図られました。 令和6年度実績 人間ドック又は脳ドック検診費用助成件数 1,273件（令和5年度比 +5人（+0.4%））				
	令和6年度決算額(円)		35,602,840		令和7年度当初予算額（円）	36,600,000
	予算の方向性		維持		成果の方向性	維持
	予算及び成果 の方向性を判 断した理由	予算の方向性については、人間ドックまたは脳ドックを受診した国民健康保険被保険者に対し検 診費用の一部を引き続き助成するため、維持としました。 成果の方向性については、疾病の早期発見及び医療費の適正化を図るため、引き続き人間ドック 等受診者数の向上に努めていくことから、維持としました。				
	活動指標名称（単位）		年度	R 5（現状値 （直近））	R 6	R 7
所管部課	健康スポーツ部国民健康保険課					
特定健康診査受診者数（人）		目標値	13,073	10,654	10,985	11,285
		実績値	9,223	8,602		
		達成率	70.5%	80.7%		

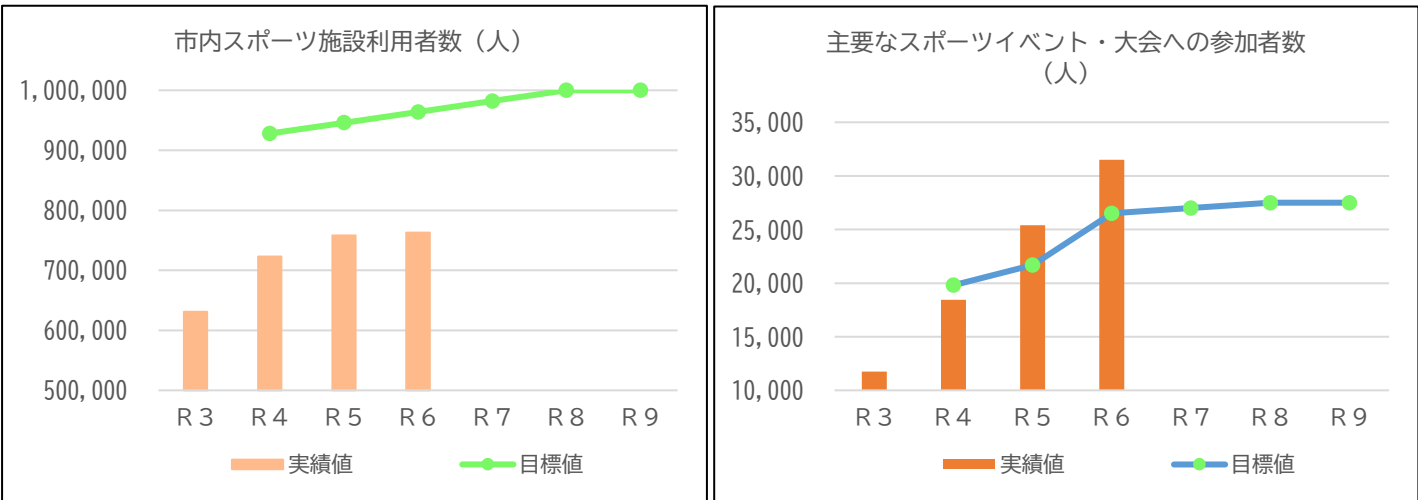
令和7年度行政評価シート

1. 前期基本計画について

基本目標	2	いつまでも健やかに生き生きと幸せに暮らせるまちをつくる		
施策	2－2	スポーツを通じて健康で幸せに暮らせる環境をつくる		
主管課	健康スポーツ部スポーツ振興課		関係課	教育部生涯学習課
5年後のまちの姿				
スポーツやレクリエーションの機会が豊富に確保され、年齢や障がいの有無に関わらず、市民の主体的な参加が進み、健康で幸せに暮らせる環境が整備されています。 また、様々なスポーツ大会・イベントが開かれるなど、本市が「健幸(けんこう)・スポーツのまち」であることが広く認知され、人々の交流や賑わいが増加しています。				
施策の方向性				
(1) スポーツ・レクリエーションに親しむ機会や環境を整えます (2) スポーツ・レクリエーションを通じて交流を促進し人材を育成します (3) 「健幸(けんこう)・スポーツ都市」としてのブランド力を高めます				

2. 重要業績評価指標（KPI）について

重要業績評価指標（KPI）							
市内スポーツ施設利用者数（人）							
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
目標値		928,000	946,000	964,000	982,000	1,000,000	1,000,000 以上
実績値	630,782	722,973	758,040	762,804			
達成率		77.9%	80.1%	79.1%			
主要なスポーツイベント・大会への参加者数（人）							
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
目標値		19,800	21,700	26,500	27,000	27,500	27,500
実績値	11,760	18,430	25,387	31,513			
達成率		93.1%	117.0%	118.9%			



3. 前年度行政評価委員会の意見について

前年度行政評価委員会の意見
普段スポーツをされない方やファミリーが気軽に参加できるスポーツイベントを開催いただき、地域におけるスポーツ活動の広報に取り組んでいただきたい。 市民体育祭については、地域の状況を考慮した上で、今後の方針を検討いただきたい。
「前年度行政評価委員会の意見」に対する実施状況・今後の方向性
令和6年12月に健幸・スポーツフェスタKUKIを開催し、誰もが気軽に参加できるスポーツ体験会を開催しました。久喜市スポーツ協会の加盟団体等が開催するスポーツ体験会についても、広報くきやホームページ等に掲載し、市民がスポーツに触れる機会を醸成しました。令和7年度についてもこれらの体験会を引き続き開催していきます。 市民体育祭については、全地区で開催のあり方を地域の代表者と協議して、地区ごとの実情に合わせた事業を検討していきます。

4. 施策の目標達成度、施策の主要課題及び今後の施策の方向性について

施策の目標達成度	☐ A	目標・予定を達成している	令和6年度重要業績評価指標（KPI）達成率が全て100%以上である。
	☐ B	目標・予定に概ね沿う成果・進捗である	令和6年度重要業績評価指標（KPI）達成率で、最も低い達成率が80%以上である。
	☒ C	目標・予定を下回る成果・進捗である	令和6年度重要業績評価指標（KPI）達成率で、80%未満の指標が1つ以上ある。
施策の主要課題及び今後の施策の方向性	【施策の主要課題】 市民の多様化するニーズを捉えたスポーツ教室等の開催や、障がいのある方々のスポーツ・レクリエーション活動の普及を図るため、関係部署及び関係機関と連携した事業の展開について検討していくことが必要です。その取組みの一つとして、令和6年度に公益財団法人スペシャルオリンピックス日本・埼玉と連携して、知的障がい者と健常者が一緒にチームに参加してスポーツを楽しむユニファイドスポーツの全国大会を誘致しています。 また、市民がスポーツ・レクリエーション活動に親しむ場を確保するため、引き続き指定管理者のノウハウを活かした体育施設の管理運営や、学校体育施設の開放事業を実施し、老朽化した施設については計画的に修繕・改修を行う必要があります。 【今後の方向性】 スポーツ・レクリエーションの推進については、既存のイベント内容を精査し、更に参加者が増加するような仕組みづくりに取り組んでいきます。 また、市民がスポーツ・レクリエーション活動に更に親しめるよう、体育施設を適切に維持管理し、施設の貸し出しやスポーツ教室等を充実するとともに、新たに整備した総合運動公園施設整備基金を活用し施設整備を進めるほか、各種スポーツイベント等の企画・運営を行うスポーツ推進委員の活動を強化します。ユニファイドスポーツについては、健幸・スポーツフェスタKUKIにおいて体験コーナーを設置しており、今後も様々な機会を捉えて、積極的に推進していきます。 さらに、「健幸・スポーツ都市」としての活動を広めていくため、SNS等を活用し、情報を発信していきます。		
評価年月日	令和7年7月2日	評価者職氏名	健康スポーツ部長 真坂 八重子

行政評価委員会の意見
市内スポーツ施設の利用者数が増加するよう、直前で施設予約のキャンセルがあった場合の活用など、施設予約システムを含めた貸出方法を再考いただきたい。

5. 主要な事務事業

＜施策の方向性（１）に関連する事務事業＞				
細施策名		スポーツ・レクリエーションに親しむ機会や環境を整えます		
取組み①	事業名	体育施設管理事業	所管部課	健康スポーツ部スポーツ振興課
	まちづくり重点施策	－		
	令和6年度の成果・実績	体育施設の管理運営を指定管理者が行い、市民がスポーツ・レクリエーション活動に親しめるよう、施設の貸出しや様々なスポーツ教室等の自主事業を実施しました。体育施設の利用者数は762,804人で、令和5年度と比較して4,764人の増となりました。		
	令和6年度決算額(円)	337,517,127	令和7年度当初予算額(円)	365,776,000
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	体育館や運動公園等体育施設の管理運営について、指定管理者と協議しながら、引き続き適正に事業を進めていくことから、予算の方向性及び成果の方向性ともに維持としました。		
取組み②	事業名	体育施設改修事業	所管部課	健康スポーツ部スポーツ振興課
	まちづくり重点施策	①【全市民】市民一人ひとりが主役の住みやすいまち		
	令和6年度の成果・実績	市民が安心して快適に体育施設を利用できるよう、老朽化した施設の改修工事等を実施しました。 ・栗橋B＆G海洋センター屋根改修工事設計業務委託 ・総合体育館ポンプユニット更新工事 ・総合体育館（第1体育館）手すり設置工事 ・南栗橋スポーツ広場整地工事 ・栗橋B＆G海洋センター第1体育室バスケットゴール改修工事 ・栗橋B＆G海洋センタープール上屋鉄骨塗装等工事 ・鷺宮体育センタースロープ手すり設置工事 ・鷺宮体育センター屋根改修工事 ・鷺宮体育センター誘導表示タイル改修工事 ・桜田運動公園テニスコート改修工事		
	令和6年度決算額(円)	77,439,101	令和7年度当初予算額(円)	0
	予算の方向性	拡充	成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	令和6年度に危険箇所の改修工事を集中的に実施したため、令和7年度当初予算は0円となっています。 予算の方向性については、市全体では老朽化した体育施設が多く、令和8年度以降に計画的に改修していく必要があることから拡充としました。 成果の方向性については、引き続き老朽化した施設を早期に改修し、利用者が安全で快適に利用できるよう、これまでのサービス水準を維持することから、維持としました。		

取組み③	事業名	学校体育施設開放事業	所管部課	健康スポーツ部スポーツ振興課		
	まちづくり重点施策		－			
	令和６年度の成果・実績	市民のスポーツ・レクリエーション活動の場を確保するため、学校教育に支障のない範囲で、学校体育施設を開放しました。また、久喜北小学校、久喜東小学校、青葉小学校、三箇小学校、小林小学校の吊下げ式バスケットゴールの修繕を実施しました。 学校体育施設の利用者数は174,817人で、令和5年度と比較して101人の増となりました。				
	令和６年度決算額(円)		6,146,198	令和７年度当初予算額（円）		7,432,000
	予算の方向性		縮小	成果の方向性		維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性については、令和7年度予算で本町小学校の吊下げ式バスケットゴールの改修工事を実施しますが、令和8年度以降は改修予定がないことから、縮小としました。 成果の方向性については、引き続き老朽化した施設を早期に改修し、利用者が安全で快適に利用できるよう、これまでのサービス水準を維持することから、維持としました。				
取組み④	事業名	総合運動公園施設整備事業	所管部課	健康スポーツ部スポーツ振興課		
	まちづくり重点施策		⑦【健幸】健幸（けんこう）でスポーツを通じた喜びを得られるまち			
	令和６年度の成果・実績	総合運動公園のグラウンド等の改修工事に向けた設計業務を実施しました。				
	令和６年度決算額(円)		51,614,000	令和７年度当初予算額（円）		0
	予算の方向性		拡充	成果の方向性		維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性については、今後、改修工事を実施していくことから拡充としました。 成果の方向性については、引き続き改修に向けた準備を行うことから維持としました。				
活動指標名称（単位）		年度	R 5（現状値 （直近））	R 6	R 7	R 8
所管部課	健康スポーツ部 スポーツ振興課					
学校体育施設開放利用者数(人)		目標値	160,000	175,000	190,000	190,000
		実績値	174,716	174,817		
		達成率	109.2%	99.9%		

<施策の方向性（2）に関連する事務事業>				
細施策名		スポーツ・レクリエーションを通じて交流を促進し人材を育成します		
取組み①	事業名	スポーツ・レクリエーション団体補助事業	所管部課	健康スポーツ部スポーツ振興課
	まちづくり重点施策	—		
	令和6年度の成果・実績	各種スポーツ・レクリエーション団体等の活動を支援することにより、市民の体力増進とスポーツ・レクリエーションの振興に寄与しました。 【交付団体等】 ・久喜市スポーツ協会 4,500,000円 ・久喜市スポーツ少年団 1,865,000円 ・久喜市レクリエーション協会 405,000円 ・久喜地方青少年健全育成剣道大会 55,000円		
	令和6年度決算額(円)	6,825,000	令和7年度当初予算額(円)	7,125,000
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	引き続きスポーツ・レクリエーション団体等の活動を支援するため、加盟団体へ補助金を交付し、スポーツ・レクリエーションの振興を行うことから、予算の方向性及び成果の方向性ともに維持としました。		
取組み②	事業名	スポーツ推進委員運営事業	所管部課	健康スポーツ部スポーツ振興課
	まちづくり重点施策	—		
	令和6年度の成果・実績	スポーツ推進委員の資質向上及び活用を進めることにより、市民がスポーツ・レクリエーション活動に参加できる機会を提供しました。 【推進員数】 27人 【活動回数】 延べ285回 【主な活動内容】 ・市民体育祭及びマラソン大会等スタッフ ・スポーツ体験会及びふれあいスポレク・フェスタ等の企画、運営		
	令和6年度決算額(円)	2,102,352	令和7年度当初予算額(円)	2,577,000
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性については、スポーツ推進委員協議会主催事業などを継続的に実施していくため維持としました。 成果の方向性については、スポーツ推進委員が市のスポーツイベント等に引き続き参加し、活動していくことから、維持としました。		

取組み③	事業名	生涯スポーツ推進事業	所管部課	健康スポーツ部スポーツ振興課
	まちづくり重点施策	—		
	令和6年度の成果・実績	スポーツ・レクリエーション大会等の実施により、市民の健康増進や交流促進を図りました。 【実施内容】 ・くき健康ウォーク 開催日 令和6年10月20日 参加者 73人 ・綱引大会 開催日 令和6年12月1日 参加者 725人		
	令和6年度決算額(円)	734,470	令和7年度当初予算額(円)	423,000
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性については、引き続き綱引大会やイベントを開催していくことから、維持としました。 成果の方向性については、今後も幅広い世代の市民がスポーツに触れるきっかけとなるイベントを開催していくことから維持としました。		
取組み④	事業名	スポーツ活性化事業	所管部課	健康スポーツ部スポーツ振興課
	まちづくり重点施策	⑦【健幸】健幸（けんこう）でスポーツを通じた喜びを得られるまち		
	令和6年度の成果・実績	久喜スポーツコミッションと連携して、スポーツイベントや大会誘致を実施し、市民の健康増進や交流促進を図りました。 【実施内容】 ・スペシャルオリンピックス日本・埼玉設立20周年記念大会を誘致（フロアボール 令和6年6月1,2日 252名、卓球令和6年9月21,22日 210名、バスケットボール 令和6年11月9日 200名） ・3x3KUKI CUP小学生大会 開催日 令和6年7月21日 参加者 800名 ・3x3KUKI CUP中高生大会 開催日 令和6年7月21日 参加者 900名 ・3x3KUKI 高校生大会 開催日 令和6年10月19日 参加者 1,000名 ・プロギングイベント 開催日 令和6年10月6日 参加者 52名 ・彩の国フェアでのバスケットコンテンツ出展 開催日 令和6年11月14日 参加者 98名 ・健幸・スポーツフェスタKUKI inアリオ鷺宮 開催日 令和6年11月24日 参加者 500名 ・3x3プロリーグ「3xs（トライクロス）」誘致 開催日 令和6年12月7日,8日 参加者 1,000名 ・健幸・スポーツフェスタKUKI 開催日 令和6年12月22日 参加者 延2,917名 ・デジタルスポーツによるフレイル予防プログラム体験 令和7年1月,2月 参加者 延225名 ・3x3小中学生体験会 開催日 令和7年3月20日 参加者 163名		
	令和6年度決算額(円)	7,089,066	令和7年度当初予算額(円)	2,209,000
	予算の方向性	拡充	成果の方向性	拡大
	予算及び成果の方向性を判断した理由	今後もスポーツコミッションと連携してスポーツ大会の誘致やイベント開催の更なる充実を図ることから、予算の方向性は拡充、成果の方向性は拡大としました。		

取組み⑤	事業名	市民体育祭事業		所管部課	教育部生涯学習課	
	まちづくり重点施策		－			
	令和６年度の成果・実績	区長会等各地域における各種団体の協力をいただきながら、市内8地区（久喜中央、江面、久喜東、青葉、清久、菖蒲、栗橋、鷺宮）において市民体育祭を実施しました。令和5年度の実績等を踏まえ、各地域とも年齢を問わず参加できる競技を中心にプログラムを編成したほか、半日での開催を中心とすることで、地域の方が参加しやすい環境を整えました。 青葉・菖蒲地区においては衆議院議員選挙のため、久喜中央地区においてはグラウンドコンディション不良により中止となりましたが、開催した5地区では市民にスポーツ・レクリエーション活動に親しむ機会を提供するとともに、地域の方が交流する場を提供し、コミュニティの連帯感を醸成することができました。 【各地区の参加人数】 江面地区：約550人、久喜東地区：約650人、清久地区：約580人、栗橋地区：約250人、鷺宮地区：約1,400人				
	令和６年度決算額(円)		3,339,265		令和７年度当初予算額（円）	4,747,000
	予算の方向性		維持		成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	市民体育祭については、全地区で開催のあり方を地域の代表者と協議して、地区ごとの実情に合わせた事業を提供する方針としていることから、予算の方向性及び成果の方向性ともに維持としました。				
	活動指標名称（単位）		年度	R 5（現状値（直近））	R 6	R 7
所管部課	健康スポーツ部 スポーツ振興課					
スポーツ・レクリエーション団体数（団体）		目標値	83	83	83	83
		実績値	81	78		
		達成率	97.6%	94.0%		

＜施策の方向性（３）に関連する事務事業＞						
細施策名		「健幸（けんこう）・スポーツ都市」としてのブランド力を高めます				
取組み①	事業名	久喜マラソン大会事業	所管部課	健康スポーツ部スポーツ振興課		
	まちづくり重点施策		－			
	令和６年度の成果・実績	市内外から多くのランナーにご参加をいただき、令和５年度よりも参加者数が増加し、市のスポーツ振興と市の認知度の向上を図ることができました。また、新種目であるハーフペアリレーの部の創設、ランニングクリニックを開催し、さらに興味を持っていただく機会の向上を図りました。 【実績数】 エントリー数 ３,４８７人（令和５年度 ３,４０６人 ８１人増） 当日参加者数 ３,０５０人（令和５年度 ２,９０４人 １４６人増）				
	令和６年度決算額(円)	８,０５８,６４３	令和７年度当初予算額（円）	１３,３０９,０００		
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持		
	予算及び成果の方向性を判断した理由	よろこびのまち久喜マラソン大会は、市内外から多くのランナーに参加いただき、市を代表するイベントであることから、今後も継続して開催していくため、予算の方向性及び成果の方向性は維持としました。				
活動指標名称（単位）		年度	Ｒ５（現状値（直近））	Ｒ６	Ｒ７	Ｒ８
所管部課	健康スポーツ部 スポーツ振興課					
新たなスポーツ事業・イベントの実施（累計）		目標値	４	９	１０	１０
		実績値	１０	１４		
		達成率	２５０.０％	１５５.６％		

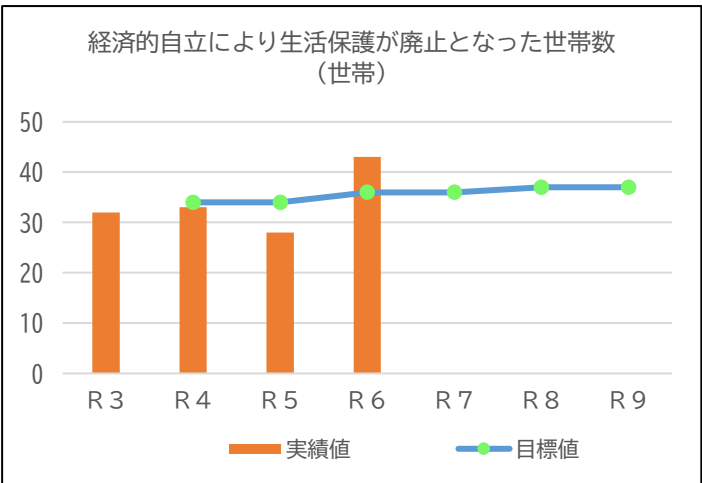
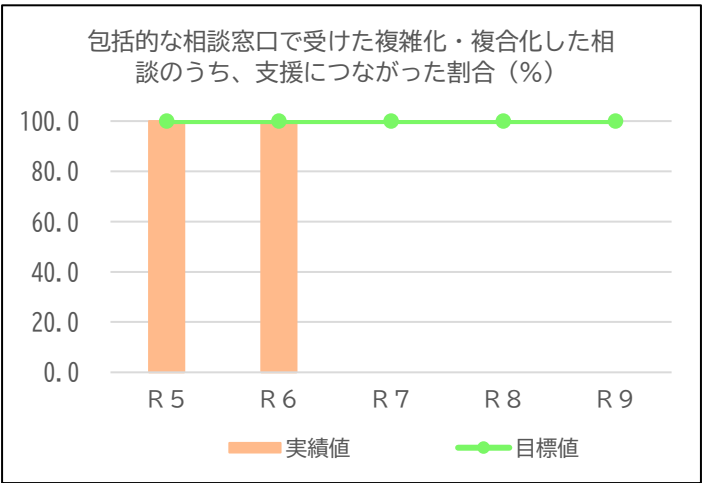
令和7年度行政評価シート

1. 前期基本計画について

基本目標	2	いつまでも健やかに生き生きと幸せに暮らせるまちをつくる	
施策	2-3	地域みんなで支え合い社会保障制度で暮らしを支える	
主管課	福祉部社会福祉課	関係課	市民部市民課（総合窓口）、市民部各行政センター、福祉部生活支援課
5年後のまちの姿			
地域のセーフティネットとして、経済的に困っている方等への相談体制の強化や生活保護等の適切な支援、経済的自立に向けた就労支援、貧困の連鎖の解消に向けた子どもたちへの学習支援に加え、包括的な支援体制が整備されることで、市民が相互に支え合い、みんなが地域で孤立することなく安心して暮らしています。 行政による適切な支援と市民相互の支え合いを地域福祉の両輪として、地域共生社会が実現しています。			
施策の方向性			
(1) 地域福祉推進体制を充実します (2) 生活困窮者の自立を支援します (3) 国民年金制度への理解を促進します			

2. 重要業績評価指標（KPI）について

重要業績評価指標（KPI）							
包括的な相談窓口で受けた複雑化・複合化した相談のうち、支援につながった割合（％）							
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
目標値		—	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実績値	—	—	100.0	100.0			
達成率		—	100.0%	100.0%			
経済的自立により生活保護が廃止となった世帯数（世帯）							
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
目標値		34	34	36	36	37	37
実績値	32	33	28	43			
達成率		97.1%	82.4%	119.4%			



3. 前年度行政評価委員会の意見について

前年度行政評価委員会の意見	
社会保障制度等の情報が支援を必要としている人に確実に届くよう、相談体制を整え、制度全般の積極的な周知に取り組んでいただきたい。 久喜市社会福祉協議会と連携して、地域福祉やコミュニティを支えるボランティア人材の確保に努められたい。	
「前年度行政評価委員会の意見」に対する実施状況・今後の方向性	
社会保障制度等の情報が支援を必要とする方に確実に届くよう、引き続き関係機関の連携を強化していくとともに、相談窓口や情報発信を強化していきます。 また、「地域福祉計画・地域福祉活動計画」のもと、社会福祉協議会と連携して、地域福祉を支える人材の確保のため、ボランティア講座の開催や情報提供及びコーディネート機能の強化に努めていきます。	

4. 施策の目標達成度、施策の主要課題及び今後の施策の方向性について

施策の目標達成度	■ A	目標・予定を達成している	令和6年度重要業績評価指標（KPI）達成率が全て100%以上である。
	□ B	目標・予定に概ね沿う成果・進捗である	令和6年度重要業績評価指標（KPI）達成率で、最も低い達成率が80%以上である。
	□ C	目標・予定を下回る成果・進捗である	令和6年度重要業績評価指標（KPI）達成率で、80%未満の指標が1つ以上ある。
施策の主要課題及び今後の施策の方向性	【施策の主要課題】 地域共生社会の実現には、市民相互の支え合いと行政による適切な支援を地域福祉の両輪としていくことが必要です。 市民相互の支え合いのためには、民生委員及び児童委員の存在が必須となりますが、現在、13地区で合計42人の欠員が生じています。また、要援護者に対し、要援護者見守り支援事業の内容が十分に伝わっていないなどの課題があると考えています。 社会福祉課内に設置したふくし総合相談窓口において、福祉に関して包括的に相談を受付しており、令和6年度における相談件数は51件（令和5年度42件）でした。多岐にわたる困りごとの解決のため、引き続き関係機関の連携を継続していくことが必要です。 また、令和7年3月末の生活保護世帯（1,423世帯）の世帯類型では、約半数が「高齢者世帯」であり、「障害世帯」「傷病世帯」と続き、全体の約78%の世帯が就労が困難で、就労が可能と思われる「その他世帯」「母子世帯」は、全体の約22%の世帯という少ない割合となっています。 生活保護受給者の経済的自立に最も効果があるのは就労支援であり、生活支援課内に就労支援相談員を配置し、稼働能力がある受給者の自立に向け相談支援に当たっていますが、就労実績のうち非正規雇用の数も多く、就職してもすぐに辞めてしまうケースも少なくない状況です。 生活支援課では、保護の決定時から受給者の就労支援に努めているところですが、様々な要因により保護が長期化し、離職期間が長くなると、受給者の就労に対する意欲が低下し、保護への依存が強くなる傾向も見受けられます。このため、就労支援員やハローワーク等を活用し、保護開始の早い段階において、いかに就労に繋がれるかが、今後の課題です。 さらに、国民年金制度への理解促進については、幅広い年代において理解を深めていただけるよう、周知方法や内容を検討しながら、様々な機会を通じて周知していく必要があります。 【今後の方向性】 包括的な相談窓口で受けた複雑化、複合化した相談については、相談内容に応じて関係課を紹介し、ケース会議を開催するなど、引き続き相談者に寄り添った支援をしていきます。 民生委員及び児童委員の欠員解消のため、当該委員の活動内容について更なる周知に努めます。 また、要援護者見守り支援事業の周知のため、当事者及びその家族等、関係者向けの事業説明会を開催するなど、支援を必要とする方の登録を促していきます。 経済的自立により生活保護が廃止となる世帯数については、稼働能力の可否の確認を行い、就労支援員やハローワーク等に適切につなげる等、自立の促進に努めるとともに、年金受給資格を持つ年金未受給の被保護者等に対し、令和6年度から被保護者等年金申請支援事業を開始し、事業を委託した社会保険労務士が年金を適切に受給できるよう支援することで、経済的に自立する世帯数の増加を図ります。 国民年金制度への理解促進については、引き続き広報紙にて、制度等の周知を図るとともに、窓口へのチラシの配架や、「二十歳の成人式」において、国民年金に関するチラシを配布し、国民年金制度の理解を深めていただくよう啓発に努めます。		
評価年月日	令和7年7月2日	評価者職氏名	福祉部長 岡田 秀之
行政評価委員会の意見			
物価上昇等により、経済的に困窮した家庭の増加が懸念される。特に、こどものいる家庭の困窮について、学校や地域と連携し、早期発見・早期通報できるような体制を構築されたい。			

5. 主要な事務事業

＜施策の方向性（１）に関連する事務事業＞				
細施策名		地域福祉推進体制を充実します		
取組み①	事業名	社会福祉協議会補助事業	所管部課	福祉部社会福祉課
	まちづくり重点施策	－		
	令和6年度の成果・実績	地域福祉活動の中核を担う団体である久喜市社会福祉協議会に対し、地域福祉の充実を図るため、在宅福祉事業、ボランティアセンター事業、小地域福祉活動などの運営費補助として、人件費を補助しました。 人件費を補助することにより、久喜市社会福祉協議会が実施する事業を通じ、地域福祉の充実が図られました。		
	令和6年度決算額(円)	124,585,466	令和7年度当初予算額(円)	132,786,000
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	引き続き、地域福祉活動の中核を担う社会福祉協議会に運営費補助として、人件費分を補助し、地域福祉の充実を図る必要があるため、予算の方向性及び成果の方向性ともに維持としました。		
取組み②	事業名	久喜市民生委員及び児童委員活動補助事業	所管部課	福祉部社会福祉課
	まちづくり重点施策	－		
	令和6年度の成果・実績	民生委員・児童委員及び久喜市民生委員・児童委員協議会の活動に対し、補助金を交付しました。 補助金の交付によるPR活動（啓発品の配布、民生委員・児童委員だよりの公共施設等への配架及び全戸配布）を行いました。 また、欠員地区に新たに6名の民生委員・児童委員が委嘱されたことで、更なる活動の充実を図ることができました。（13地区で42名の欠員）		
	令和6年度決算額(円)	26,859,560	令和7年度当初予算額(円)	25,425,000
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	地域福祉活動の推進に欠かすことのできない民生委員・児童委員の活動に対して、民生委員・児童委員協議会に補助金を交付し、活動の充実を図る必要があるため、予算の方向性及び成果の方向性ともに維持としました。		

取組み③	事業名	要援護者見守り支援事業		所管部課	福祉部社会福祉課		
	まちづくり重点施策		－				
	令和６年度の成果・実績	要援護者見守り支援登録台帳を民生委員・児童委員、区長及び自主防災組織に提供するとともに、要援護者見守り支援事業に係る合同研修会において、要援護者の特徴と支援方法について研修を行い、要援護者についての理解促進に努めました。 広報くさやホームページ等で要援護者の登録申請について周知し、令和6年度は新たに166名の要援護者見守り支援事業の登録がありました。 また、平常時における見守り支援の充実を図るため、電気・ガスといったライフライン事業者や郵便局、宅配事業者など民間事業者計53社と協定書・覚書を締結し、事業者の方々とも連携した見守り支援のネットワーク化に努めました。					
	令和６年度決算額(円)		4,019,510		令和７年度当初予算額（円）	1,259,000	
	予算の方向性		維持		成果の方向性	維持	
	予算及び成果の方向性を判断した理由	災害時に備え、支援を必要とする人を要援護者見守り支援台帳に登録するよう取組みを進めていくとともに、地域で見守り活動を行っている民生委員・児童委員、区長及び自主防災組織の方々と合同の研修会を実施する必要があることから、予算の方向性及び成果の方向性ともに維持としました。					
	活動指標名称（単位）			年度	R 5（現状値 （直近））	R 6	R 7
所管部課	福祉部社会福祉課						
要援護者見守り支援登録台帳新規登録者数(人)			目標値	95	98	101	101
			実績値	87	166		
			達成率	91.6%	169.4%		

<施策の方向性（2）に関連する事務事業>				
細施策名		生活困窮者の自立を支援します		
取組み①	事業名	生活保護事業	所管部課	福祉部生活支援課
	まちづくり重点施策	—		
	令和6年度の成果・実績	市内在住、または市内に現在地を有する要保護者に対して、生活扶助・住宅扶助・教育扶助・医療扶助・介護扶助・出産扶助・生業扶助・葬祭扶助等の公的扶助を必要に応じて支給し、最低限度の生活ができるよう対象世帯に対する生活相談、支援、援助を行いました。 生活保護から自立した世帯数（稼働・年金収入の増加）は43件あり、令和5年度と比較して15件増加しました。 稼働収入の増加を理由とする生活保護からの自立については、多くの業種での人手不足、それに伴う雇用市場の活性化などの社会情勢の影響を大きく受けていると考えられます。		
	令和6年度決算額(円)	3,276,468,078	令和7年度当初予算額(円)	3,109,652,000
	予算の方向性	拡充	成果の方向性	拡大
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性については、近年の物価高騰等を要因として生活保護の相談・申請件数が増加傾向であり、物価高騰に合わせて生活保護の基準額が令和7年4月と10月に増額改定となることから、拡充としました。 成果の方向性については、年金受給資格を持つ年金未受給の被保護者に対して、年金を適切に受給できるよう支援することで、経済的に自立する世帯数の増加が期待されることから、拡大としました。		
取組み②	事業名	生活困窮者自立支援事業	所管部課	福祉部生活支援課
	まちづくり重点施策	—		
	令和6年度の成果・実績	生活保護に至る前の段階における自立支援の強化を図るため、生活困窮者に対して、生活困窮者自立支援法に基づき、包括的な相談や自立支援に向けたプランの作成等を行い、自立の支援を行いました。 令和6年度の生活困窮に係る新規相談件数は507件で、令和5年度と比較して8件減少しました。（令和3年度:1,577件、令和4年度:828件、令和5年度:515件、令和6年度:507件） 生活困窮者の自立支援に向けたプランの作成数は20件と、令和5年度と比較して9件減少しました。（令和3年度:23件、令和4年度:18件、令和5年度:29件、令和6年度:20件）		
	令和6年度決算額(円)	24,748,110	令和7年度当初予算額(円)	25,512,000
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	生活困窮者の自立支援に向け、寄り添った支援を継続していくことから、予算の方向性及び成果の方向性ともに維持としました。		

取組み③	事業名	生活困窮の子どもに対する学習支援事業		所管部課	福祉部生活支援課	
	まちづくり重点施策		－			
	令和6年度の成果・実績	生活保護受給世帯及び生活困窮世帯の中学生及び高校生とその保護者に対して、生活困窮者自立支援法に基づき、学習支援、生活支援、相談支援等を行いました。 令和6年度において、第2・第4水曜日及び土曜日に開催している学習教室への参加者数は17人で、令和5年度と比較し4人減少しました。（令和5年度：21人） 令和6年度の生活保護を受給している世帯における参加者数は59人で、令和5年度と比較して13人減少しました。（令和5年度：72人） また、開催日以外の水曜日に、自習支援スペースとして教室を開放したほか、学習支援教室への参加の有無を問わずに家庭訪問を実施し、こども及び保護者からの相談に対する支援等を行いました。				
	令和6年度決算額(円)		7,572,400		令和7年度当初予算額（円）	7,573,000
	予算の方向性		維持		成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	事業体制を継続し、支援の対象となる世帯に対して、各関係機関から学習教室の利用の呼びかけを行い、参加者に対し、個別指導のほか、進路相談等を行っていくことから、予算の方向性及び成果の方向性ともに維持としました。				
	活動指標名称（単位）		年度	R 5（現状値 （直近））	R 6	R 7
所管部課	福祉部生活支援課					
学習教室参加者数（人）		目標値	22	25	28	28
		実績値	21	17		
		達成率	95.5%	68.0%		

<施策の方向性（３）に関連する事務事業>							
細施策名		国民年金制度への理解を促進します					
取組み①	事業名	国民年金制度理解促進事業〔ゼロ予算事業〕	所管部課	市民部市民課（総合窓口）、市民部各行政センター			
	まちづくり重点施策						
	令和６年度の成果・実績	毎月広報紙に、国民年金に関する制度や様々な手続きについての記事を掲載し、国民年金制度の周知と理解向上を図りました。 「二十歳の成人式」において、国民年金に関するチラシを配布し、国民年金への加入が必要となる年齢に合わせて理解を深めていただくよう啓発に努めました。					
	令和６年度決算額(円)	0	令和７年度当初予算額（円）	0			
	予算の方向性	維持（ゼロ予算）	成果の方向性	維持			
	予算及び成果の方向性を判断した理由	広報紙による制度等の周知や窓口へのチラシの配架、「二十歳の成人式」における国民年金に関するチラシの配布など、引き続きゼロ予算で取り組む予定であり、予算の方向性及び成果の方向性ともに維持としました。					
活動指標名称（単位）			年度	R 5（現状値（直近））	R 6	R 7	R 8
所管部課	市民部市民課（総合窓口）、市民部各行政センター						
国民年金制度周知回数(回)			目標値	12	12	12	12
			実績値	12	12		
			達成率	100.0%	100.0%		

令和7年度行政評価シート

1. 前期基本計画について

基本目標	2	いつまでも健やかに生き生きと幸せに暮らせるまちをつくる	
施策	2-4	子どもがのびのびと育つ安心の子育て環境をつくる	
主管課	こども未来部子育て支援課	関係課	こども未来部こども家庭保健課、こども未来部保育幼稚園課、こども未来部こども育成課
5年後のまちの姿			
多様な子育てサービスの提供や子育て支援施設の整備、各種相談体制の充実のほか、地域全体で子どもを見守り、子育て家庭を支える環境づくりが進み、安心して子どもを産み、子どもが健やかに育つことができるまちが実現しています。 また、子どもたちが社会の一員としてたくましく自立できるよう、体験活動や交流活動を通して未来を切り拓く生きる力を育みながら、夢や希望を持ち健全に成長できる環境が実現しています。			
施策の方向性			
(1) 妊娠・出産・子育てを通じた切れ目のない支援を強化します (2) 地域全体で子育てを支援する環境を整えます (3) 青少年の成長を支える環境をつくります			

2. 重要業績評価指標（KPI）について

重要業績評価指標（KPI）に係るグラフは別紙に記載

重要業績評価指標（KPI）							
合計特殊出生率							
年度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
目標値		1.24	1.25	1.27	1.28	1.30	1.31
実績値	(R2) 1.24	(R3) 1.05	(R4) 1.01	(R5) 0.94			
達成率		84.7%	80.8%	74.0%			
保育所等待機児童数（人）							
年度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
目標値		0	0	0	0	0	0
実績値	0	0	0	0			
達成率		100.0%	100.0%	100.0%			
ファミリー・サポート・センター会員数（人）							
年度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
目標値		901	921	941	961	981	1000
実績値	883	903	939	992			
達成率		100.2%	102.0%	105.4%			

3. 前年度行政評価委員会の意見について

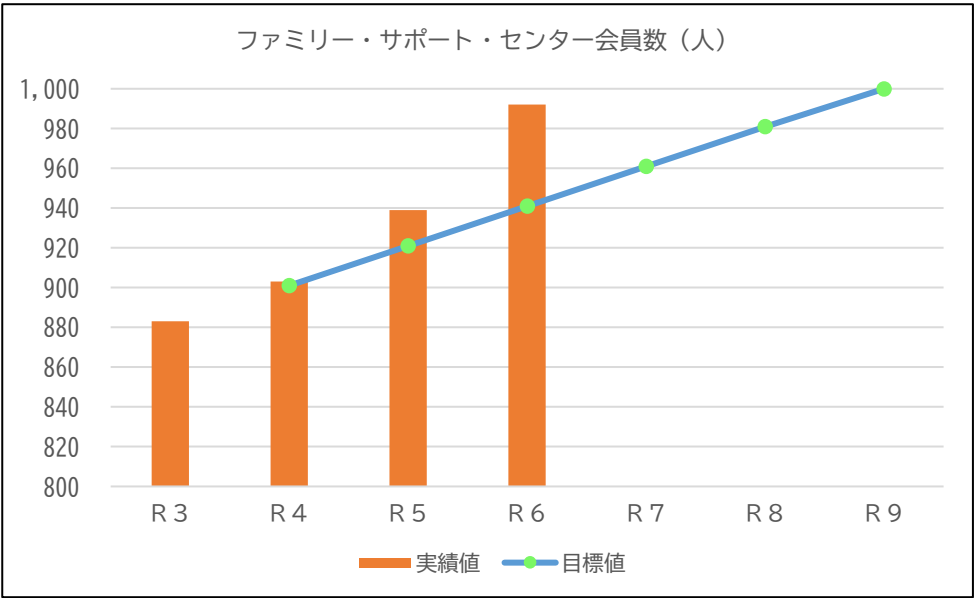
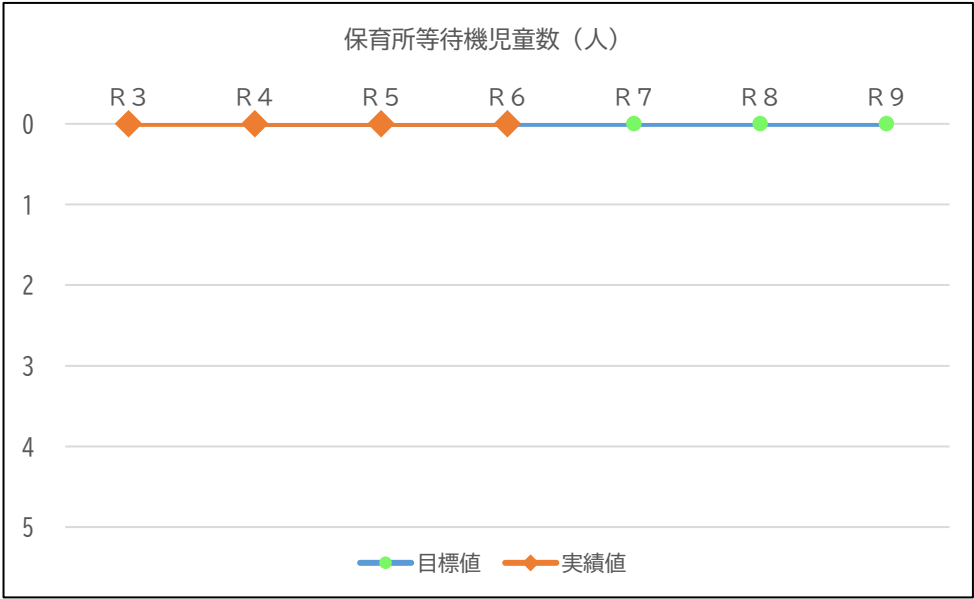
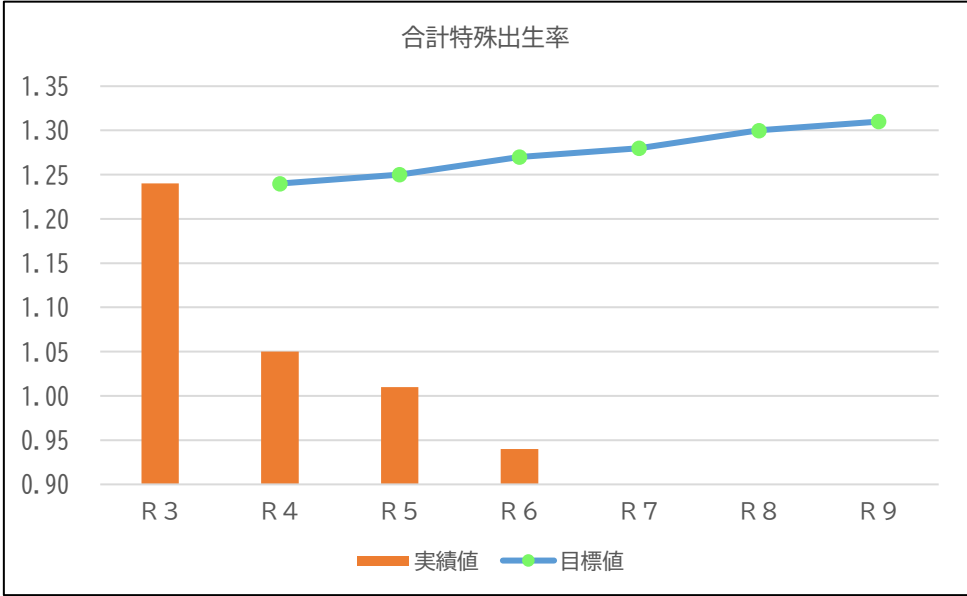
前年度行政評価委員会の意見
保育所等待機児童数ゼロを継続できるように努めるとともに、地域全体で子育てを支援する環境を整えられたい。また、保育士確保等のため、保育所への補助金等の支援を継続いただきたい。
「前年度行政評価委員会の意見」に対する実施状況・今後の方向性
保育所等待機児童数ゼロを継続できるよう、保育所等と協議し、歳児別の受入枠の拡大を図るとともに、市内在住の方を優先して選考するなど選考方法の見直しを行いました。 また、児童を安心して育てることのできる体制を整備し、多様化する保育ニーズに対応するため、保育士等の人材確保に対する支援を継続して実施します。

4. 施策の目標達成度、施策の主要課題及び今後の施策の方向性について

施策の目標達成度	☐ A	目標・予定を達成している	令和6年度重要業績評価指標（KPI）達成率が全て100%以上である。
	☐ B	目標・予定に概ね沿う成果・進捗である	令和6年度重要業績評価指標（KPI）達成率で、最も低い達成率が80%以上である。
	☒ C	目標・予定を下回る成果・進捗である	令和6年度重要業績評価指標（KPI）達成率で、80%未満の指標が1つ以上ある。
施策の主要課題及び今後の施策の方向性	【施策の主要課題】 妊娠・出産・子育て期を通じた切れ目のない支援の強化においては、児童手当について、制度改正に伴う所得制限の撤廃、高校生年代までの支給期間延長、第3子以降の多子加算を増額する等、支給対象児童を拡大しました。また、母子保健と児童福祉の機能を有することも家庭センターを設置し、妊産婦・子育て世帯・こどもの包括的な相談支援の体制を強化しました。さらに、乳幼児期から発達に応じた様々な遊びの提供と子育て相談室を兼ね備えた屋内型こどもの遊び場を開設し、こどもの遊びを通じた成長と保護者の相談支援の充実を図りました。引き続き、ライフスタイルの変化や核家族化の進行等に伴う、妊産婦や乳幼児の多様化したニーズに応える支援を行う必要があります。 地域全体で子育てを支援する環境の整備においては、ファミリー・サポート・センター事業やひとり親家庭自立支援事業により子育てと仕事の両立を支援するとともに、フードドライブや公共施設へ設置したフードポストを活用し、こども食堂等の活動を支援し、子育て家庭の孤立を防ぐ体制の充実に努めました。また、保護者の就労形態の変化や、市内の開発状況に伴う保育需要の伸びが見込まれる中、多様化する保育ニーズに応えるべく、保育所等との連携を図りながら、保育サービスの充実に努めました。引き続き、児童を安心して育てることのできる体制を整備し、様々な需要に対応するため、保育士の確保に努める必要があります。 青少年の成長を支える環境の整備においては、青少年の健やかな成長を推進するための体制の充実に課題となっており、青少年育成団体と連携して非行防止パトロールの実施や、青少年が交流する各種行事での周知を通じて、青少年健全育成団体等の活動支援を充実する必要があります。 【今後の方向性】 子育て世帯が安心してこどもを産み育て、こどもが健やかに育つ環境づくりについては、妊娠から子育て期を通じた切れ目のない支援の強化として、母子健康診査事業や産後ケア事業の実施とともに、こども家庭センターでの包括的な支援により、妊産婦や子育て世帯が抱える不安や負担の軽減を図ります。また、こどもの健康保持と子育て世帯の経済的支援として、こども医療費や児童手当の支給を通じて、負担の軽減を推進します。 地域全体で子育てを支援する環境の整備については、こども家庭支援団体補助事業により、児童虐待の防止やこどもの貧困の解消に向けた事業を行う団体への補助金交付、利用者支援事業をはじめとする各種地域子育て支援事業の実施により、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育て家庭の孤立を防ぎます。また、待機児童対策や保育所等に対する補助金などの財政的支援の継続などにより、こどもを安心して育てることができる体制整備の充実を図っていくとともに、こども誰でも通園制度の実施により、満足度の高い更なる保育サービスの提供に努めます。 青少年の健全な成長を支える環境づくりについては、青少年関係団体への活動補助金交付や各種活動協力等を通じて、青少年の健やかな成長を推進します。 これらの施策により、「妊娠・出産・子育てを通じた切れ目のない支援の強化」、「地域全体で子育てを支援する環境の整備」、「青少年の成長を支える環境の整備」を着実に推進します。		
評価年月日	令和7年7月2日	評価者職氏名	こども未来部長 尾崎 弘章

行政評価委員会の意見
地域におけるこどもの人数の多寡にかかわらず、こどもの体験の機会が確保されるよう、ICTの活用など様々な交流事業を実施されたい。

【別紙】 ２．重要業績評価指標（K P I）に係るグラフについて



5. 主要な事務事業

＜施策の方向性（１）に関連する事務事業＞				
細施策名		妊娠・出産・子育てを通じた切れ目のない支援を強化します		
取組み①	事業名	母子健康診査事業	所管部課	こども未来部こども家庭保健課
	まちづくり重点施策	－		
	令和6年度の成果・実績	妊産婦の健康管理及び健康の保持増進を図るため、母子健康手帳や、妊産婦健康診査の助成券を交付し、医療機関での妊産婦健康診査を実施しました。令和6年度は、母子健康手帳を745件交付し、妊産婦一人当たり妊婦健康診査14回、産婦健康診査1回の計15回分の健康診査費用について助成を行いました。 また、乳幼児の健全な育成を促進するため、4か月児健康診査39回、10か月児健康診査38回、1歳6か月児健康診査35回、3歳児健康診査36回の計148回、乳幼児健康診査を実施し、乳幼児の発達育児の確認及び疾病の早期発見などを行いました。1か月児健康診査については、医療機関で受けた健康診査費用の助成を行いました。		
	令和6年度決算額(円)	84,337,572	令和7年度当初予算額(円)	87,968,000
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	母子健康手帳の交付及び妊産婦健康診査費の助成、乳幼児健康診査（4か月児・10か月児・1歳6か月児・3歳児）の実施、1か月児健康診査費の助成を継続することから、予算の方向性及び成果の方向性については、維持としました。		
取組み②	事業名	不妊検査・不育症検査・不妊治療費助成事業	所管部課	こども未来部こども家庭保健課
	まちづくり重点施策	④【安心】誰ひとり取り残さないやさしさにあふれ、安心して暮らせるまち		
	令和6年度の成果・実績	不妊検査・不育症検査・不妊治療を受けた方へ、費用の一部を助成しました。 令和6年度は、不妊検査費助成50件、不育症検査費助成4件、不妊治療費助成1件助成しました（不妊治療の保険適用が令和4年4月に開始されたことに伴い、不妊治療費助成は令和6年度をもって終了しました）。		
	令和6年度決算額(円)	1,384,000	令和7年度当初予算額(円)	1,560,000
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	こどもを望む夫婦が必要な検査を受けることができるよう、不妊検査及び不育症検査に係る経済的支援を継続することから、予算の方向性及び成果の方向性については維持としました。		
取組み③	事業名	産後ケア事業	所管部課	こども未来部こども家庭保健課
	まちづくり重点施策	④【安心】誰ひとり取り残さないやさしさにあふれ、安心して暮らせるまち		
	令和6年度の成果・実績	出産後の母子を対象に、医療機関への宿泊・通所や訪問により、母親の心身のケアや育児に関する助言を行いました。 令和6年度は、宿泊型148日、デイサービス型57日、訪問型39日の利用実績がありました。		
	令和6年度決算額(円)	4,325,900	令和7年度当初予算額(円)	5,540,000
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	引き続き事業を推進し、産後に健やかな育児ができるよう支援していくことから、予算の方向性及び成果の方向性ともに維持としました。		

取組み④	事業名	こども家庭支援事業	所管部課	こども未来部こども家庭保健課
	まちづくり重点施策	①【全市民】市民一人ひとりが主役の住みやすいまち		
	令和6年度の成果・実績	こども家庭支援全般に係る業務、要支援児童及び要保護児童等並びに特定妊婦への家事援助や育児支援等の各種事業及び家庭児童相談等を実施しました。 令和6年度は、次のとおり利用実績がありました。 ・子育て世帯訪問支援事業 12世帯 延べ989時間の訪問支援員の派遣 ・子育てホームヘルプ派遣事業 18世帯 延べ347時間の家事・育児支援員の派遣 ・子育て緊急サポート事業 利用会員63人 サポート会員9人 延べ15件の援助活動の実施 ・利用者支援事業 利用者延べ人数 2,101人 相談件数 252件 ・家庭児童相談 1,218件		
	令和6年度決算額(円)	21,436,956	令和7年度当初予算額(円)	85,985,000
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	引き続き家事及び育児支援や家庭児童相談等を実施して、子育てに悩む多くの方に寄り添い、安心してこどもを産み育てる環境整備を行っていくことから、予算の方向性及び成果の方向性ともに維持としました。		
取組み⑤	事業名	子ども医療費支給事業	所管部課	こども未来部子育て支援課
	まちづくり重点施策	④【安心】誰ひとり取り残さないやさしさにあふれ、安心して暮らせるまち		
	令和6年度の成果・実績	子ども医療費支給事業は、令和5年4月1日受診分より入院・通院ともに対象年齢を満15歳から満18歳に達する日の属する年度末まで、対象年齢を3年間拡大しました。 この事業は、こどもの健康保持並びに子育て世帯の経済的負担の軽減を図る重要な制度であることから、子ども医療費の受給資格者の登録や医療費の支給について適正に事務を執行しました。 なお、登録児童数は令和7年3月末時点で19,166人であり、医療費扶助費は641,568,414円でした。 また、令和5年度と比較して対象児童が234人減少しましたが、医療費扶助費は38,061,217円増加しました。		
	令和6年度決算額(円)	641,497,800	令和7年度当初予算額(円)	644,436,000
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性については、令和7年度も引き続き、保険診療の自己負担額に対する助成金の支給を実施することから、維持としました。 成果の方向性については、必要とする医療を容易に受けられるようにすることで、こどもの健康保持と福祉の増進を図ることから、維持としました。		
取組み⑥	事業名	屋内型こどもの遊び場開設準備事業	所管部課	こども未来部こども育成課
	まちづくり重点施策	④【安心】誰ひとり取り残さないやさしさにあふれ、安心して暮らせるまち		
	令和6年度の成果・実績	天候に左右されることなく、こどもとその保護者等が遊具等を通じた運動と多彩な遊びを経験することのできる場所を整備する目的で、JR東鷲宮駅東口ヤオコー東鷲宮店2階に屋内型こどもの遊び場を令和6年10月24日に開設しました。 屋内型こどもの遊び場のレイアウトの調整や案内表示を作成するとともに、屋内型こどもの遊び場及び相談室（利用者支援事業）を円滑に運営するために必要な消耗品や備品を購入しました。 また、屋内型こどもの遊び場が多くの方に親しまれる施設となるよう、愛称及び愛称をイメージしたロゴデザインを公募し、市民等による決選投票により決定しました。		
	令和6年度決算額(円)	3,756,997	令和7年度当初予算額(円)	0
	予算の方向性	休廃止	成果の方向性	休廃止
	予算及び成果の方向性を判断した理由	屋内型こどもの遊び場開設準備事業としては、令和6年10月24日に屋内型こどもの遊び場を開設したことから、令和6年度をもって事業が完了しました。 本事業は完了しましたが、今後も多くのこども達やその保護者に安心・安全に楽しんでいただける屋内型こどもの遊び場の運営を継続します。		

取組み⑦	事業名	屋内型こどもの遊び場管理事業	所管部課	こども未来部こども育成課		
	まちづくり重点施策		④【安心】誰ひとり取り残さないやさしさにあふれ、安心して暮らせるまち			
	令和6年度の成果・実績	令和6年10月24日に開設した屋内型こどもの遊び場については、民間商業施設の2階を使用していることから、施設借上料を支払っており、電気水道使用料や警備業務委託料についても支払うことで、こども達やその保護者が安心して利用できるよう、施設の維持管理を行いました。				
	令和6年度決算額(円)		54,774,934	令和7年度当初予算額（円）		56,369,000
	予算の方向性		維持	成果の方向性		維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	引き続き、こども達やその保護者が屋内型こどもの遊び場を安心して利用できるよう維持管理するため、予算の方向性及び成果の方向性ともに維持としました。				
取組み⑧	事業名	屋内型こどもの遊び場運営事業	所管部課	こども未来部こども育成課		
	まちづくり重点施策		④【安心】誰ひとり取り残さないやさしさにあふれ、安心して暮らせるまち			
	令和6年度の成果・実績	プロポーザル方式により、屋内型こどもの遊び場及び相談室（利用者支援事業）を運営する事業者を選定し、運営方法等について協議・決定のうえ、令和6年10月24日から施設の運営を開始しました。 屋内型こどもの遊び場については、令和6年度に延べ48,416人の方に利用いただき、こどもの心身の健康の維持・増進を図ることができました。 相談室（利用者支援事業）では、延べ123件の子育て相談業務を実施し、相談内容に応じた助言や情報提供を行いました。				
	令和6年度決算額(円)		23,416,124	令和7年度当初予算額（円）		40,102,000
	予算の方向性		維持	成果の方向性		維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	今後も屋内型こどもの遊び場及び相談室（利用者支援事業）の運営を継続することから、予算の方向性及び成果の方向性ともに維持としました。				
活動指標名称（単位）		年度	R 5（現状値 （直近））	R 6	R 7	R 8
所管部課	こども未来部こども家庭保健課					
家庭児童相談件数(件)		目標値	1,431	1,481	1,500	1,500
		実績値	1,424	1,218		
		達成率	99.5%	82.2%		

<施策の方向性（2）に関連する事務事業>				
細施策名		地域全体で子育てを支援する環境を整えます		
取組み①	事業名	ファミリー・サポート・センター運営事業	所管部課	こども未来部子育て支援課
	まちづくり重点施策	—		
	令和6年度の成果・実績	有償ボランティアによる子育て支援として、概ね生後6か月から小学校6年生以下までの児童の保護者を援助活動の対象とし、育児の援助を受けたい人と育児の援助を行いたい人がそれぞれ会員となって援助活動を行いました。 子育て世帯が育児をしながら働き続けられる環境を整備することで、仕事と育児の両立の支援を図ることができました。 ・依頼会員数683人、協力会員数226人、両方会員数83人、会員数合計992人 ・相互援助活動件数4,396件		
	令和6年度決算額(円)	2,021,699	令和7年度当初予算額(円)	2,199,000
	予算の方向性	維持	成果の方向性	拡大
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性については、会員数及び相互援助活動件数の増加を目指し、市民はもとより、民生委員・児童委員協議会やシルバー人材センター等へPR活動を引き続き積極的に行うことから、維持としました。 成果の方向性については、会員数の増加により、地域で育児をしながら働き続けられる環境が整備され、子育て世帯の仕事と育児の両立の支援を通じて、こどもや家族が安心して暮らせるまちづくりを推進することから、拡大としました。		
	事業名	ひとり親家庭自立支援事業	所管部課	こども未来部子育て支援課
取組み②	まちづくり重点施策	—		
	令和6年度の成果・実績	高等職業訓練促進給付金等の給付は、母子家庭の母又は父子家庭の父で看護師、准看護師、美容師の資格取得のために養成機関へ修業した方に対し、月額100,000円（課税世帯は70,500円）を支給し、母子家庭及び父子家庭の自立の促進を図りました。 ・高等職業訓練促進給付金（非課税世帯）3件、（課税世帯）2件 ・高等職業訓練促進給付金（修業最終12か月は+40,000円）（非課税世帯）3件、（課税世帯）2件 ・高等職業訓練修了支援給付金（非課税世帯）2件、（課税世帯）3件 令和6年4月から開始した、養育費確保支援事業補助金の給付は、ひとり親等に対し、養育費の取決めに係る経費（上限50,000円）の一部を補助しました。 ・公正証書等作成経費補助金 9件		
	令和6年度決算額(円)	19,307,000	令和7年度当初予算額(円)	24,314,000
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性については、引き続き、母子家庭の母又は父子家庭の父が就労につながる資格等を取得するための受講等費用の一部を支給することから、維持としました。 成果の方向性については、ひとり親等の資格取得・就労に関する支援をこれまでの水準を維持するものとしていることから、維持としました。		

取組み③	事業名	地域子育て支援事業	所管部課	こども未来部子育て支援課
	まちづくり重点施策	④【安心】誰ひとり取り残さないやさしさにあふれ、安心して暮らせるまち		
	令和6年度の成果・実績	地域の子育て支援機能の充実とこどもの健やかな育ちを支援するため、民間子育て支援施設に対して地域子育て支援拠点の運営や活動の充実を図ることを目的に、補助金を交付しました。 子育て家庭や妊産婦が教育・保育施設や地域の子育て支援事業等を円滑に利用できるよう、市内10か所の民間子育て支援施設において、延べ27,291人が利用し、利用者支援や子育て相談機能の充実を図ることができました。		
	令和6年度決算額(円)	81,514,000	令和7年度当初予算額(円)	87,819,000
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性については、核家族世帯が増加する中、子育て家庭同士の交流や情報交換をはじめ、子育てに関する不安や悩み、困りごとに対する相談の場である地域子育て支援センターに対する需要は高いことから、維持としました。 成果の方向性については、子育て支援団体と協働して各種講座や講演会の開催、子育て支援情報の発信等により地域における子育て支援活動を推進していくことから、維持としました。		
取組み④	事業名	保育士等人材確保支援事業	所管部課	こども未来部保育幼稚園課
	まちづくり重点施策	④【安心】誰ひとり取り残さないやさしさにあふれ、安心して暮らせるまち		
	令和6年度の成果・実績	児童を安心して保育所等に預けられる体制を充実させるため、新規採用保育士等に就労支援金を支給する市内民間保育所等に対し、補助金を交付しました。 令和6年度は、保育所等10園（対象保育士数17人）に補助金を交付し、新たな人材の確保に対する支援を行うことができました。 また、保育士等の人材確保のため、当該補助制度及び県が実施する保育士等の確保に関する補助制度について、特定教育・保育施設等事業者説明会において周知を図りました。		
	令和6年度決算額(円)	1,429,000	令和7年度当初予算額(円)	2,500,000
	予算の方向性	縮小	成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性については、令和8年度から埼玉県の新卒保育士就職準備金を活用することで、保育士等の人材確保に係る支援制度の見直しを行い、支給額及び支給対象者の変更を行うことから、縮小としました。 成果の方向性については、埼玉県の新卒保育士就職準備金の活用など代替となる施策を実施予定であり、これまでの水準を維持するものとしていることから、維持としました。		
取組み⑤	事業名	私立保育所等補助事業	所管部課	こども未来部保育幼稚園課
	まちづくり重点施策	④【安心】誰ひとり取り残さないやさしさにあふれ、安心して暮らせるまち		
	令和6年度の成果・実績	多様化する保育ニーズに対応するとともに、保育所等の安定した運営と保育サービスの充実を図るため、延長保育や一時預かり事業などの特別保育事業等を実施する保育所等に対し、補助金を交付しました。 令和6年度は、保育所等延べ104園に対し、特別保育事業等に係る補助金を交付し、こどもを安心して育てることができる体制整備の充実を図ることができました。		
	令和6年度決算額(円)	163,744,551	令和7年度当初予算額(円)	198,536,000
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性については、延長保育や一時預かり事業などに対する補助事業を継続して実施することから、維持としました。 成果の方向性については、延長保育や一時預かり事業など実施事業に変更がないため、これまでの水準を維持するものとしていることから、維持としました。		

取組み⑥	事業名	子どものための教育・保育給付事業	所管部課	こども未来部保育幼稚園課		
	まちづくり重点施策	④【安心】誰ひとり取り残さないやさしさにあふれ、安心して暮らせるまち				
	令和6年度の成果・実績	児童の心身の健全な発達を図るため、特定教育・保育を児童に提供する保育所等に対し、国が定める公定価格に基づき、保育所等の運営に係る費用を給付しました。 令和6年度は、保育所等119園（延べ利用児童数43,704人）に対し、給付費等を給付することにより、保育所等の適正な運営及び保護者の負担軽減を図ることができました。 また、給付費の算定及び給付に当たっては、給付費等申請システムを使用することにより、事務の効率化を図ることができました。				
	令和6年度決算額(円)	4,504,969,762	令和7年度当初予算額（円）	4,135,665,000		
	予算の方向性	拡充	成果の方向性	維持		
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性については、国が定める公定価格の上昇などに伴う保育所等の運営に係る給付費の増額を見込み、拡充としました。 成果の方向性については、子ども・子育て支援法に基づく事業として継続して実施し、これまでの水準を維持するものとしていることから、維持としました。				
取組み⑦	事業名	こども食堂等支援事業〔ゼロ予算事業〕	所管部課	こども未来部こども育成課		
	まちづくり重点施策	④【安心】誰ひとり取り残さないやさしさにあふれ、安心して暮らせるまち				
	令和6年度の成果・実績	市内8か所に設置したフードポストに寄付された食材（8,674点）及び令和6年10月に実施したフードドライブにおいて集まった食材（1,541点）を、市内で活動するこども食堂・フードパントリー活動団体（10団体）に提供しました。 また、各活動団体に対し、活動及び事業に必要な施設の手配の支援等を行いました。				
	令和6年度決算額(円)	0	令和7年度当初予算額（円）	0		
	予算の方向性	維持(ゼロ予算)	成果の方向性	維持		
	予算及び成果の方向性を判断した理由	フードポストやフードドライブで集まった食材の提供等の側面的支援を、引き続きゼロ予算で実施することから、予算の方向性及び成果の方向性ともに維持としました。				
取組み⑧	事業名	(仮称)久喜市立鷺宮義務教育学校クラブ整備事業	所管部課	こども未来部こども育成課		
	まちづくり重点施策	④【安心】誰ひとり取り残さないやさしさにあふれ、安心して暮らせるまち				
	令和6年度の成果・実績	鷺宮小学校・旧上内小学校及び鷺宮西中学校を統合した義務教育学校（鷺宮西小中学校）が、令和8年4月に開校することに伴い、放課後児童クラブ（学童保育）についても新たに整備する必要があります。 新たな放課後児童クラブである（仮称）久喜市立鷺宮義務教育学校クラブ（名称は「鷺宮西学童クラブ」を予定）の開所に向け、校舎等整備工事及び監理業務委託について建築、機械設備、電気設備に関する契約を締結し、工事に着手しました。また、鷺宮学童クラブ（鷺宮小学校内）の移転に向け、当該放課後児童クラブの運営団体と協議を継続しました。				
	令和6年度決算額(円)	43,289,520	令和7年度当初予算額（円）	239,240,000		
	予算の方向性	皆減	成果の方向性	休廃止		
	予算及び成果の方向性を判断した理由	令和7年度中に（仮称）久喜市立鷺宮義務教育学校クラブ（名称は「鷺宮西学童クラブ」を予定）を開所し、整備事業が完了することから、予算の方向性を皆減、成果の方向性を休廃止としました。				
活動指標名称（単位）		年度	R 5（現状値（直近））	R 6	R 7	R 8
所管部課	こども未来部子育て支援課					
ファミリー・サポート・センター事業援助件数（件）		目標値	3,500	4,000	4,000	4,000
		実績値	2,786	4,374		
		達成率	79.6%	109.4%		

＜施策の方向性（３）に関連する事務事業＞						
細施策名		青少年の成長を支える環境をつくれます				
取 組 み ①	事業名	青少年健全育成事業	所管部課	こども未来部こども育成課		
	まちづくり重点施策		－			
	令和６年度の 成果・実績	市内で活動する青少年健全育成活動団体（８団体）に対し、合計1,191,558円の補助金を交付し、各団体の活動を支援しました。 また、青少年健全育成団体の会員や、少年補導員等と連携し、駅前や公園等の青少年が立ち寄りそうな場所を重点的にパトロールを実施しました。				
	令和６年度決算額(円)		1,287,558	令和７年度当初予算額（円）	1,389,000	
	予算の方向性		縮小	成果の方向性	維持	
	予算及び成果 の方向性を判 断した理由	予算の方向性については、各青少年関係団体が事業内容の見直しを行い、令和8年度に補助金の申請が減額になると見込まれるため、縮小としました。 成果の方向性については、見直しを行った各事業等について代替の方法にて実施予定であり、これまでの水準を維持するものとしていることから、維持としました。				
活動指標名称（単位）		年度	R 5（現状値 （直近））	R 6	R 7	R 8
所管部課	こども未来部こども育成課					
青少年健全育成団体数（団体）		目標値	10	10	10	10
		実績値	10	10		
		達成率	100.0%	100.0%		

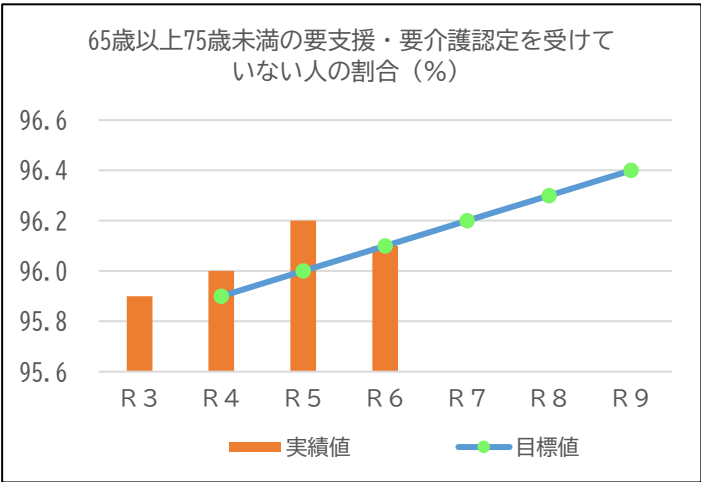
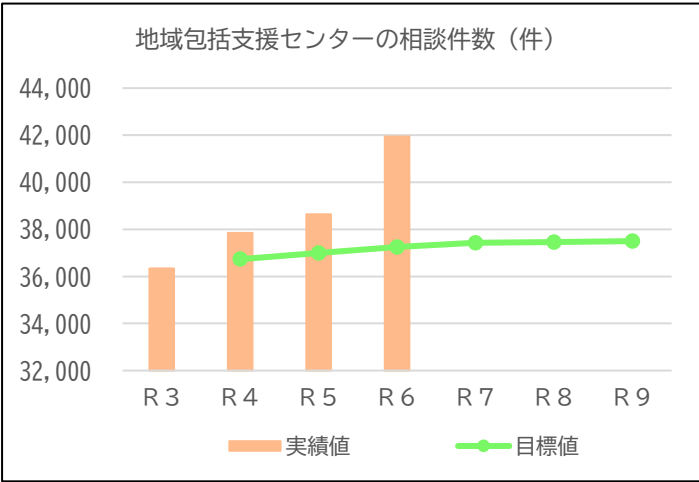
令和7年度行政評価シート

1. 前期基本計画について

基本目標	2	いつまでも健やかに生き生きと幸せに暮らせるまちをつくる	
施策	2-5	シニアが元気に生き生きと輝ける社会をつくる	
主管課	福祉部高齢者福祉課	関係課	環境経済部商工観光課、福祉部社会福祉課、福祉部介護保険課
5年後のまちの姿			
住まいや医療、介護等を一体的に支援する地域包括ケアシステムが確立され、高齢者(シニア)が住み慣れた地域で安心して生活を送っています。 また、高齢者の豊かな経験や知識を活用し、地域社会で活躍できる機会が拡充され、高齢者がいつまでも生きがいを持って生活できる社会が実現しています。			
施策の方向性			
(1) 地域包括ケアシステムの拡充を図ります (2) 高齢者の日常生活を支え健康づくりの機会をつくります (3) 生きがいづくりと活躍機会の拡充を図ります (4) 適正な介護保険サービスを提供します			

2. 重要業績評価指標（KPI）について

重要業績評価指標（KPI）							
地域包括支援センターの相談件数（件）							
年度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
目標値		36,733	36,990	37,248	37,434	37,464	37,500
実績値	36,334	37,842	38,641	41,938			
達成率		103.0%	104.5%	112.6%			
65歳以上75歳未満の要支援・要介護認定を受けていない人の割合（％）							
年度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
目標値		95.9	96.0	96.1	96.2	96.3	96.4
実績値	95.9	96.0	96.2	96.1			
達成率		100.1%	100.2%	100.0%			



3. 前年度行政評価委員会の意見について

前年度行政評価委員会の意見
シルバー人材センター等と連携して、シニア世代が地域において「人財」として活躍できるような場を拡大していただきたい。
「前年度行政評価委員会の意見」に対する実施状況・今後の方向性
引き続き久喜市シルバー人材センターの活動を支援するとともに、県や関係団体と連携したシニア世代向けの就職面接会等を開催することで、高齢者の就業機会の拡大を図っていきます。

4. 施策の目標達成度、施策の主要課題及び今後の施策の方向性について

施策の目標達成度	■ A	目標・予定を達成している	令和6年度重要業績評価指標（KPI）達成率が全て100%以上である。
	□ B	目標・予定に概ね沿う成果・進捗である	令和6年度重要業績評価指標（KPI）達成率で、最も低い達成率が80%以上である。
	□ C	目標・予定を下回る成果・進捗である	令和6年度重要業績評価指標（KPI）達成率で、80%未満の指標が1つ以上ある。
施策の主要課題及び今後の施策の方向性	【施策の主要課題】 地域包括ケアシステムの拡充については、高齢者人口の増加に伴い、相談件数も年々増加しています。委託により4か所の地域包括支援センターを運営し、相談にあたっていますが、多様化、複雑化する高齢者の相談に適切に対応するためには、人員の確保に加え、様々な専門職や関係機関と連携を図ることが必要です。 また、認知症の方やそのご家族の意向を取り入れた事業を新たに展開するとともに、引き続き地域ケア会議の開催、多職種によるケアプランの検討、在宅医療と介護の連携等を通して、地域包括ケアシステムの構築・拡充を進めていくことが今後の課題です。 高齢者の日常生活を支え健康づくりの機会をつくることについては、はつらつ運動教室を運営するはつらつリーダーの担い手が不足していることから、はつらつリーダー養成講座の周知に努め、担い手の確保が図れるよう今後は更に広報活動に取り組む必要があります。また、はつらつリーダーが継続して運営ができるよう、柔軟なサポートを行っていくことも今後の課題です。 介護サービス利用者負担助成事業については、介護サービス利用者の増加に伴い、助成者数も予測を上回る状況となっています。今後も、高齢化、特に要介護リスクの高い75歳以上人口の急激な増加が予測されており、介護サービスの需要が高まることが見込まれています。介護が必要となっても、介護サービス等を利用しながら住み慣れた地域で「健幸」で安心して暮らし続けていただけるよう、事業対象者数や助成金額等の適正化に努めます。 【今後の方向性】 高齢者人口の増加に伴い、総合相談や介護サービスの利用者、認知症高齢者の増加が見込まれることから、高齢者及び介護者家族等に対し、適切な支援ができるように努めていきます。 介護サービス利用者負担助成事業については、引き続き現在の支給対象要件を維持し、介護が必要となっても、居宅介護サービス等を利用しながら住み慣れた地域で安心して暮らすことができるように努めます。		
評価年月日	令和7年7月2日	評価者職氏名	福祉部長 岡田 秀之

行政評価委員会の意見
高齢者に対して、就業支援だけではなく、自らの得意分野での創業について相談できる機会や場所の拡大を図られたい。 シニア世代が「人財」として活躍できる、地域としての環境づくりに努められたい。

5. 主要な事務事業

＜施策の方向性（１）に関連する事務事業＞				
取組み①	細施策名	地域包括ケアシステムの拡充を図ります		
	事業名	地域包括支援センター事業	所管部課	福祉部高齢者福祉課
	まちづくり重点施策		－	
	令和６年度の成果・実績	市内に地域包括支援センターを５か所設置しています（【市直営】久喜中央地域包括支援センター、【委託】久喜東地域包括支援センター、菖蒲地域包括支援センター、栗橋地域包括支援センター、鷲宮地域包括支援センター）。各地域包括支援センターに、保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員の３職種を配置し、総合相談支援業務、権利擁護業務、包括的・継続的ケアマネジメント支援業務等を行い、高齢者の自立に向けて支援を行いました。		
	令和６年度決算額(円)	122,270,287	令和７年度当初予算額（円）	131,363,000
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	地域包括支援センターについて、今後も現在の事業内容を基本として、高齢者の自立に向けた支援を引き続き行っていくことから、予算の方向性及び成果の方向性ともに維持としました。		
取組み②	事業名	在宅医療・介護連携推進事業	所管部課	福祉部高齢者福祉課
	まちづくり重点施策		－	
	令和６年度の成果・実績	医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、関係機関が連携し多職種協働により、在宅医療と介護を一体的に提供できる体制の構築を推進しました。 ・久喜市在宅医療・介護連携推進会議 ３回開催 ・在宅医療・介護関係者研修会 ２回開催 ・近隣市町（蓮田市、白岡市、宮代町）とともに南埼玉郡市医師会に業務委託し、在宅医療・介護連携に関する相談窓口となる在宅医療サポートセンターを設置しました。 年間相談件数 77件（久喜市分 44件、蓮田市・白岡市・宮代町分 33件）		
	令和６年度決算額(円)	11,539,264	令和７年度当初予算額（円）	7,254,000
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	今後も会議や研修を開催することで、多職種の連携体制を整え、在宅医療サポートセンターについても継続して設置することから、予算の方向性及び成果の方向性ともに維持としました。		
取組み③	事業名	認知症総合支援事業	所管部課	福祉部高齢者福祉課
	まちづくり重点施策		－	
	令和６年度の成果・実績	認知症になっても住み慣れた地域で暮らすことができるよう、認知症の早期発見とその対応に向けた支援体制の構築を推進しました。 ・オレンジカフェの開催 23回 ・久喜カフェ・チェリッシュの実施 5回 ・物忘れ相談 相談件数 23件		
	令和６年度決算額(円)	323,480	令和７年度当初予算額（円）	653,000
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	認知症総合支援事業は、一部事業を見直しつつ、これまでと同様に高齢者の認知症に関する相談等各種事業を実施する予定であることから、予算の方向性及び成果の方向性ともに維持としました。		

取 組 み ④	事業名	地域ケア会議推進事業		所管部課	福祉部高齢者福祉課		
	まちづくり重点施策		④【安心】誰ひとり取り残さないやさしさにあふれ、安心して暮らせるまち				
	令和6年度の 成果・実績	事例を取り上げて、専門職の助言を得ながら、自立支援に向けた取組みについて検討する地域ケア会議と、地域ケア会議で抽出された地域課題について検討する地域ケア推進会議を開催しました。 ・地域ケア会議の実施 5回 ・地域ケア推進会議の実施 1回					
	令和6年度決算額(円)		150,677		令和7年度当初予算額(円)	222,000	
	予算の方向性		維持		成果の方向性	維持	
	予算及び成果 の方向性を判 断した理由	今後も、自立支援に向けた介護分野の地域課題の検討と、権利擁護分野の地域課題の検討をこれまでと同程度の回数で行っていくことから、予算の方向性及び成果の方向性ともに、維持としました。					
	活動指標名称(単位)			年度	R5(現状値 (直近))	R6	R7
所管部課	福祉部高齢者福祉課						
オレンジカフェの開催回数(回)			目標値	24	24	24	24
			実績値	24	23		
			達成率	100.0%	95.8%		

<施策の方向性（2）に関連する事務事業>				
細施策名		高齢者の日常生活を支え健康づくりの機会をつくります		
取組み①	事業名	介護予防・生活支援サービス事業	所管部課	福祉部高齢者福祉課
	まちづくり重点施策	－		
	令和6年度の成果・実績	要支援1・2認定者及び基本チェックリストによる事業対象者等に対し、介護予防ケアマネジメントを実施し、訪問型サービスや通所型サービス等の多様なサービスを提供しました。また、負担が一定額を超えて高額になった場合については、高額介護予防サービス費相当事業により、負担額を軽減しました。		
	令和6年度決算額(円)	253,254,408	令和7年度当初予算額(円)	257,924,000
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性については、高齢者人口の増加に伴い、サービス利用者数の増加が見込まれるが、サービス内容の変更はないため、維持としました。成果の方向性については、現在提供しているサービスを継続して実施していくことから、維持としました。		
取組み②	事業名	一般介護予防事業	所管部課	福祉部高齢者福祉課
	まちづくり重点施策	④【安心】誰ひとり取り残さないやさしさにあふれ、安心して暮らせるまち		
	令和6年度の成果・実績	はつらつリーダー（介護予防ボランティア）によるはつらつ運動教室、柔道整復師による元気アップ体操教室等の各種教室を開催し、健康相談・健康教育を実施しました。その他、はつらつリーダー養成講座を実施しました。 ・はつらつ運動教室の開催 1,607回 延べ利用者数20,134人 ・はつらつ運動教室リーダー養成講座の開催 14回 延べ参加者数 104人 ・元気アップ体操教室の開催 8回 延べ利用者数 165人		
	令和6年度決算額(円)	8,929,560	令和7年度当初予算額(円)	10,095,000
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	一般介護予防事業は、一部事業を見直しつつ、これまでと同様に高齢者の介護予防に資する各種事業を実施する予定であることから、予算の方向性及び成果の方向性ともに維持としました。		
取組み③	事業名	いきいきデイサービス事業	所管部課	福祉部高齢者福祉課
	まちづくり重点施策	－		
	令和6年度の成果・実績	要支援・要介護認定を受けていないが、家に閉じこもりがちで、介護予防が必要な高齢者を対象に、看護師による血圧測定や健康チェック・健康体操を行いました。 ・実施会場数 24会場 ・年間実利用者数 291人 ・年間延べ利用者数 8,476人		
	令和6年度決算額(円)	31,334,273	令和7年度当初予算額(円)	33,222,000
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	いきいきデイサービスとして、健康チェックなどの取組みを引き続き市内全体で開催し、高齢者の介護予防に努めていくことから、予算の方向性及び成果の方向性ともに維持としました。		

取組み④	事業名	高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定事業		所管部課	福祉部高齢者福祉課、福祉部介護保険課		
	まちづくり重点施策		－				
	令和6年度の成果・実績	「久喜市高齢者福祉計画・第10期介護保険事業計画」の策定に向けて、久喜市介護保険運営協議会委員20名を委嘱し、運営協議会を3回開催しました。					
	令和6年度決算額(円)	0		令和7年度当初予算額(円)	8,802,000		
	予算の方向性	拡充		成果の方向性	維持		
	予算及び成果の方向性を判断した理由	当該計画については3年周期で策定しており、直近では令和5年度に策定を行いました。令和7年度から令和8年度にかけて、国の示す新たな事業や取組みを盛り込んだ新たな計画を策定するため、策定支援業務の委託などを行うことから予算の方向性を拡充とし、引き続き計画策定に取り組むことから成果の方向性を維持としました。					
活動指標名称(単位)			年度	R 5 (現状値(直近))	R 6	R 7	R 8
所管部課	福祉部高齢者福祉課						
いきいきデイサービス利用者数(人)			目標値	400	400	400	400
			実績値	284	291		
			達成率	71.0%	72.8%		

＜施策の方向性（３）に関連する事務事業＞							
細施策名		生きがいづくりと活躍機会の拡充を図ります					
取組み①	事業名	老人クラブ活動補助事業	所管部課	福祉部社会福祉課			
	まちづくり重点施策		－				
	令和６年度の成果・実績	久喜市彩愛クラブ連合会及び単位老人クラブに対して補助金を交付することにより、高齢者の生きがいや社会参加を促すことにつながり、明るい長寿社会の実現と地域福祉の推進を図ることができました。 久喜市彩愛クラブ連合会加盟団体数 43クラブ、 連合会活動費補助金 979,000円、単位老人クラブ活動費補助金 1,428,745円					
	令和６年度決算額(円)		2,407,745	令和７年度当初予算額（円）		2,538,000	
	予算の方向性		維持	成果の方向性		維持	
	予算及び成果の方向性を判断した理由	今後も健康長寿の活動を継続し、高齢者の生きがいづくりと活躍の機会をつくるため、予算の方向性及び成果の方向性ともに維持としました。					
取組み②	事業名	敬老事業	所管部課	福祉部社会福祉課			
	まちづくり重点施策		－				
	令和６年度の成果・実績	長年、社会の発展及び地域への貢献に寄与してきた高齢者に対し、長寿祝いを贈呈することで敬老の意を表するとともに、高齢者福祉の向上を図ることができました。 併せて、敬老祝金は、久喜市商工会が発行する市内共通商品券にて支給しているため、久喜市内の中小企業の振興にも寄与することができました。 なお、支給方法については、民生委員を通し、地域の高齢者の見守りの一環として手渡しで行っています。 令和6年度の支給者数 3,665人					
	令和６年度決算額(円)		8,750,034	令和７年度当初予算額（円）		13,221,000	
	予算の方向性		維持	成果の方向性		維持	
	予算及び成果の方向性を判断した理由	今後も対象となる高齢者全員に敬老祝品を配布するため、予算の方向性及び成果の方向性ともに維持としました。					
取組み③	事業名	シルバー人材センター補助事業	所管部課	環境経済部商工観光課			
	まちづくり重点施策		－				
	令和６年度の成果・実績	補助金交付要綱に基づき、シルバー人材センターが実施する、高齢者の就業機会の確保等の事業に対して補助金を交付し、シルバー人材センターの円滑な事業推進及び高齢者の就業ニーズに応えることができました。					
	令和６年度決算額(円)		13,419,000	令和７年度当初予算額（円）		13,419,000	
	予算の方向性		維持	成果の方向性		維持	
	予算及び成果の方向性を判断した理由	シルバー人材センターに補助金を引き続き交付することで、高齢者の雇用を促進し、企業等における人手不足の解消や高齢者の生きがいづくりにつなげていくことから、予算の方向性及び成果の方向性ともに維持としました。					
活動指標名称（単位）			年度	R 5（現状値（直近））	R 6	R 7	R 8
所管部課		福祉部社会福祉課					
老人クラブ新規加入者数（人）			目標値	40	40	40	40
			実績値	35	34		
			達成率	87.5%	85.0%		

＜施策の方向性（４）に関連する事務事業＞						
細施策名		適正な介護保険サービスを提供します				
取組み①	事業名	介護サービス利用者負担助成事業	所管部課	福祉部介護保険課		
	まちづくり重点施策		④【安心】誰ひとり取り残さないやさしさにあふれ、安心して暮らせるまち			
	令和６年度の成果・実績	利用者負担助成金として、世帯全員が住民税非課税の低所得者で居宅介護（介護予防）サービスを利用した方に対し、利用者負担額の25%を助成し、在宅介護を支援しました。（助成者数：2,428人） 支給限度基準額上乘せ助成金として、支給限度基準額を超えて居宅介護（介護予防）サービスを利用した方に対し、上乘せ額（支給限度基準額の1割が上限）のうち、利用した居宅介護（介護予防）サービス費の50%を助成し、在宅介護を支援しました。（助成者数：90人）				
	令和６年度決算額(円)	59,483,737	令和７年度当初予算額（円）	64,483,000		
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持		
	予算及び成果の方向性を判断した理由	支給対象要件の変更を行わず、これまでと同様の施策を実施することから、予算の方向性及び成果の方向性ともに維持としました。				
	取組み②	事業名	任意事業	所管部課	福祉部高齢者福祉課、福祉部介護保険課	
まちづくり重点施策		－				
令和６年度の成果・実績		配食サービスとして、日常的に調理が困難となっている65歳以上の高齢者世帯や、障害者手帳の交付を受けている方などの世帯を対象として、利用者の栄養改善を図るとともに、利用者の安否確認を行うことができました。 ・配食サービス 76,517食 年間実利用者619人 介護保険相談員による介護保険サービス利用者等への相談等を実施しました。（相談数1,048件） その他、介護に関する講座や講演会、認知症サポーター養成講座などを開催し、地域における支援の輪を広げる取組み等を実施しました。				
令和６年度決算額(円)		56,212,065	令和７年度当初予算額（円）	63,478,000		
予算の方向性		維持	成果の方向性	維持		
予算及び成果の方向性を判断した理由		配食サービス事業については、事業者及び食形態（メニュー）選択制の導入等の事業内容の変更を行いました。今後は変更後の内容で事業を継続することや、介護保険相談員による介護保険サービス利用者等への相談等については、これまでと同様に実施する予定であることから、予算の方向性及び成果の方向性についてともに維持としました。				
活動指標名称（単位）		年度	R 5（現状値（直近））	R 6	R 7	R 8
所管部課	福祉部介護保険課					
介護サービス利用者負担助成の申請者数（人）		目標値	2,134	2,190	2,248	2,306
		実績値	2,317	2,428		
		達成率	108.6%	110.9%		

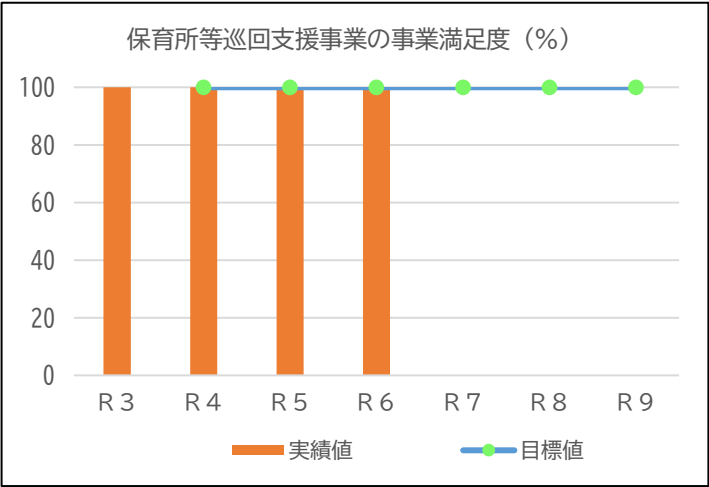
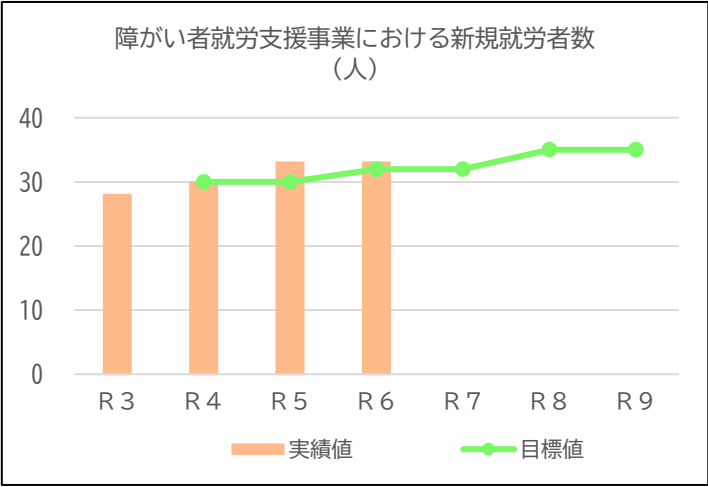
令和7年度行政評価シート

1. 前期基本計画について

基本目標	2	いつまでも健やかに生き生きと幸せに暮らせるまちをつくる	
施策	2－6	障がいのある人が安心して暮らせる社会をつくる	
主管課	福祉部障がい者福祉課	関係課	福祉部高齢者福祉課
5年後のまちの姿			
障がいの特性についての理解が進み、個々のニーズに対応した福祉サービスが提供されるとともに、障がいのある人に対する差別や偏見、物理的な障壁が少なくなり、地域参画や就業の機会が拡大し、障がいの有無に関わらず、誰もが平等に自分らしく生活できる社会が実現しています。			
施策の方向性			
(1) 障がい者（児）が自分らしく暮らせる環境を整備します (2) バリアフリー及びユニバーサルデザインの環境を整備します (3) 障がい者（児）の権利擁護を推進します (4) 発達障がい児や医療的ケア児に対する支援体制の整備を推進します			

2. 重要業績評価指標（K P I）について

重要業績評価指標（K P I）							
障がい者就労支援事業における新規就労者数（人）							
年度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
目標値		30	30	32	32	35	35
実績値	28	30	33	33			
達成率		100.0%	110.0%	103.1%			
保育所等巡回支援事業の事業満足度（％）							
年度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実績値	100.0	100.0	100.0	100.0			
達成率		100.0%	100.0%	100.0%			



3. 前年度行政評価委員会の意見について

前年度行政評価委員会の意見
障がい者（児）やその家族等を直接的に支援する事業と併せて、周囲の理解を促進するための事業を推進し、思いやりを持って支え合うことのできる地域共生社会の実現に努められたい。
「前年度行政評価委員会の意見」に対する実施状況・今後の方向性
地域共生社会の実現に向けて、令和6年度は障がいのある方の世帯に対して各種給付の支給やサービスの提供を行いました。また、発達障がいを考える講演会を実施するなど、障がいについて周囲の理解促進に努めました。令和7年度以降は就労選択支援サービスも始まることから、引き続き障がい者に寄り添った対応を続けていきます。

4. 施策の目標達成度、施策の主要課題及び今後の施策の方向性について

施策の目標達成度	☒ A	目標・予定を達成している	令和6年度重要業績評価指標（KPI）達成率が全て100%以上である。
	☐ B	目標・予定に概ね沿う成果・進捗である	令和6年度重要業績評価指標（KPI）達成率で、最も低い達成率が80%以上である。
	☐ C	目標・予定を下回る成果・進捗である	令和6年度重要業績評価指標（KPI）達成率で、80%未満の指標が1つ以上ある。
施策の主要課題及び今後の施策の方向性	【施策の主要課題】 令和6年度重要業績評価（KPI）に挙げた2つの指標に関しては、どちらも達成率100%以上であり、計画中の最終的な目標値の達成に向けてこのまま事業を推進していきたいと考えますが、障がい者の就労支援に関しては知的障がい者及び精神障がい者の職場定着率の向上、保育所等巡回支援事業については、保護者が障がい受容できていない発達障がい児をどのように療育支援につなげるかが、今後の課題となっています。 障がい者（児）が自分らしく暮らせる環境の整備として、地域生活支援事業においては、障がい者の地域における活動や社会的交流を図るために必要な各種福祉サービスを提供できていますが、昨今の物価高騰の影響で、提供事業者の人的・物的コストも年々上昇しており、現在のサービス単価を見直す時期に来ていると考えられます。 バリアフリー及びユニバーサルデザインの環境の整備として、民間施設バリアフリー化支援事業においては、毎年一定の申請はあるものの目標値を達成しておらず、機会をとらえて区長会議にて制度の周知や久喜市商工会広報誌への掲載等、様々な方法で周知を図っていますが、今後も周知方法の改善を検討していく必要があります。 障がい者（児）の権利擁護にあたっては、成年後見制度利用支援事業を適切に進めており、後見人等を必要とする方に代わって、市長が家庭裁判所に対して申立てを行い、要綱の要件を満たす被後見人に対して、後見人に支払う報酬の助成を行っています。課題としては、増加傾向にある知的障がい者・精神障がい者について、今後、後見人等を必要とする方がかなり増えていくことが考えられるため、申立てを担う担当課の事務量が飛躍的に増加する懸念があります。 発達障がい児や医療的ケア児に対する支援体制の整備の推進として、医療的ケア児等総合支援事業につきましても、近年の医療的ケア児の増加に伴い、在宅重症心身障がい児等レスパイトケアの対象者も年々増えており、必要経費も以前に比べると大幅に増加しています。このような状況を受けて、埼玉県も補助制度の見直しを検討しているという情報もあり、今後の国や県の動向を注視していく必要があります。 【今後の方向性】 障がい者の増加に伴い、相談支援のほか就労支援については今後も利用が増加していくことが見込まれます。また、同様に障がい者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう実施している、地域生活支援事業についても利用希望者の増加が見込まれており、財政負担を考慮したうえでサービス単価を含めた事業内容の見直しを検討していきます。 委託で実施している地域活動支援センターについては、今後も引き続き同センターの運営を行っていきます。 バリアフリー及びユニバーサルデザインの環境の整備として実施している民間施設バリアフリー化支援事業については、障がい者の社会参加が進む一方、以前からある民間施設や店舗では、利用しにくい等の問題が多く残っていることから、バリアフリー化を推進していきます。 手話普及の取組みとして、市内小学校でICT教育が進んでいることから、小学生に手話に関するリーフレットを生徒の個人端末に電子データの配布を今後も行います。手話教室は、これまでと同様に開催し子どもにも大人にも手話に興味関心をもってもらえるよう取り組んでいきます。 発達障がい児や医療的ケア児に対する支援体制の整備の推進として、発達障がい児等総合支援事業につきましても、引き続き講演会の開催や保育所等巡回支援等を実施し、発達障がい児やその家族の支援を行っていきます。また、医療的ケア児が増加していることから、在宅重度心身障がい児等レスパイトケア事業を継続して実施していきます。		
評価年月日	令和7年7月2日	評価者職氏名	福祉部長 岡田 秀之

行政評価委員会の意見
障がいのある方が社会に出た後の生活や就業に関する支援に、より力を入れていただきたい。 また、障がいのある勤労者や、障がいのある方を積極的に雇用している事業所を後押しするため、県の表彰制度のPRに加えて、市独自の事業を検討いただきたい。

5. 主要な事務事業

＜施策の方向性（１）に関連する事務事業＞				
取組み①	細施策名	障がい者（児）が自分らしく暮らせる環境を整備します		
	事業名	相談支援事業	所管部課	福祉部障がい者福祉課
	まちづくり重点施策	－		
	令和６年度の成果・実績	障がい者に関する様々な相談を受付するため、各種相談業務を福祉事業所等へ委託し、相談事業を行いました。 ・令和６年度久喜市基幹相談支援センター（身体・知的障がい担当分）業務委託 7,993,260円 ・令和６年度久喜市基幹相談支援センター（精神障がい担当分）業務委託 7,766,000円 ・令和６年度久喜市相談支援事業（身体・知的障がい担当分）業務委託 27,597,900円 ・令和６年度久喜市相談支援事業（精神障がい担当分）業務委託 18,205,000円 主に身体障がい者及び知的障がいに関する相談 2,857件 主に精神障がい者に関する相談 3,803件		
	令和６年度決算額（円）	79,983,834	令和７年度当初予算額（円）	65,448,000
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性については、相談支援に係る委託費を同水準とすることから、維持としました。 成果の方向性については、これまでの事業内容を継続することから、維持としました。		
取組み②	事業名	地域活動支援センター事業	所管部課	福祉部障がい者福祉課
	まちづくり重点施策	－		
	令和６年度の成果・実績	障がい者の創作的活動や社会との交流促進を支援するため、地域活動支援センターⅠ～Ⅲ型をそれぞれ福祉事業所等に委託し、運営しました。 ・地域活動支援センターⅠ型業務委託 14,065,700円 延べ利用者数 516人 ・地域活動支援センターⅡ型業務委託 17,160,000円 延べ利用者数 4,694人 ・地域活動支援センターⅢ型業務委託 15,000,000円 延べ利用者数 1,257人		
	令和６年度決算額（円）	46,709,500	令和７年度当初予算額（円）	48,435,000
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性については、各センターの運営に係る委託費を同水準とすることから、維持としました。 成果の方向性については、これまでの事業内容を継続することから、維持としました。		
	事業名	障がい者就労支援事業	所管部課	福祉部障がい者福祉課
取組み③	まちづくり重点施策	－		
	令和６年度の成果・実績	障がい者の就労を包括的に支援するため、久喜市障がい者就労支援センターを市内福祉事業所に委託して運営しました。 ・障がい者就労支援事業業務委託 5,737,000円 ・登録者数 485人 ・相談件数 2,779件 ・就労実績 33人 ・職場開拓 79件 ・ジョブコーチ 462件 ・職場定着率 84.4%		
	令和６年度決算額（円）	5,737,000	令和７年度当初予算額（円）	9,757,000
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性については、当該センターに係る委託費を同水準とすることから、維持としました。 成果の方向性については、当該センターの登録者数や就労実績が新型コロナウイルス感染症の感染拡大以前に戻りつつあり、今後も事業を実施していくことから、維持としました。		

取 組 み ④	事業名	地域生活支援事業		所管部課	福祉部障がい者福祉課		
	まちづくり重点施策		－				
	令和6年度の 成果・実績	障がい者（児）の外出や入浴、創作的活動や社会的交流などの地域生活全般に渡る支援のために、当該福祉サービスの提供事業所に対して、補助金等を交付しました。 ・移動支援事業補助金 3,841,640円 52件 ・地域活動支援センターⅢ型事業運営費負担金 1,671,728円 4施設 6人 ・地域活動支援センターⅡ型事業運営費補助金 28,924,461円 1施設 ・訪問入浴サービス事業費補助金 6,474,000円 12人 720回 ・日中一時支援事業費補助金 2,760,380円 19人 704回					
	令和6年度決算額(円)		48,400,325		令和7年度当初予算額（円）	52,195,000	
	予算の方向性		維持		成果の方向性	維持	
	予算及び成果 の方向性を判 断した理由	予算の方向性については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大以前のサービス利用状況に戻りつつあり、今後も制度を継続していくことから、維持としました。 成果の方向性については、これまでの事業内容を継続することから、維持としました。					
活動指標名称（単位）			年度	R 5（現状値 （直近））	R 6	R 7	R 8
所管部課	福祉部障がい者福祉課						
相談支援事業における相談件数（件）			目標値	9,250	10,000	10,500	10,500
			実績値	7,668	6,660		
			達成率	82.9%	66.6%		

＜施策の方向性（２）に関連する事務事業＞							
細施策名		バリアフリー及びユニバーサルデザインの環境を整備します					
取組み①	事業名	民間施設バリアフリー化支援事業	所管部課	福祉部障がい者福祉課			
	まちづくり重点施策		－				
	令和６年度の成果・実績	地域集会施設、営業施設等のバリアフリー化を進めるため、広報や各地区区長会、商工会等を通じて事業の周知を行いました。 申請のあった2件について、バリアフリー化に係る工事費用の2分の1（上限20万円）を補助しました。 ・市内飲食店…小上がり席を全て椅子席に改修 200,000円（工事費3,977,270円） ・市内飲食店…階段に手すりを設置 82,000円（工事費165,000円）					
	令和６年度決算額(円)		282,000	令和７年度当初予算額（円）		400,000	
	予算の方向性		維持	成果の方向性		維持	
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性については、今後も制度を継続していくことから、維持としました。 成果の方向性については、対象施設や対象工事内容についてこれまでの水準を維持するものとしていることから、維持としました。					
取組み②	事業名	手話普及促進事業	所管部課	福祉部障がい者福祉課			
	まちづくり重点施策		－				
	令和６年度の成果・実績	久喜市聴覚障害者協会及び久喜市手話サークルの協力を得て、長期休業期間中に小・中学生を対象とした手話教室を開催したほか、大人を対象とした手話教室を開催し、関心のある方が手話に触れる機会を確保し、普及に努めました。 また、市内の小学4年生へ手話リーフレットを配布し、手話や聴覚障がい者への理解促進に努めました。 ・夏休み手話教室 全3回（7月22日から24日） 参加者 延べ26人 ・大人向け手話教室 全3回（11月12日、11月19日、11月26日） 参加者 延べ45人					
	令和６年度決算額(円)		90,500	令和７年度当初予算額（円）		108,000	
	予算の方向性		維持	成果の方向性		維持	
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性については、これまで作成していたリーフレットを廃止し、電子データでの配布とすることとしましたが、手話教室についてはこれまでと同様に実施していくことから、維持としました。 成果の方向性については、これまでの水準で手話教室を開催していくことから、維持としました。					
活動指標名称（単位）			年度	R５（現状値 （直近））	R６	R７	R８
所管部課	福祉部障がい者福祉課						
民間施設バリアフリー化支援件数(件)			目標値	6	4	4	4
			実績値	2	2		
			達成率	33.3%	50.0%		

＜施策の方向性（３）に関連する事務事業＞																																
細施策名		障がい者（児）の権利擁護を推進します																														
取組み①	事業名	成年後見推進事業	所管部課	福祉部高齢者福祉課、福祉部障がい者福祉課																												
	まちづくり重点施策		－																													
	令和６年度の成果・実績	「久喜市成年後見センター」を中心に、成年後見制度の周知や相談を通じて、利用促進を図ることができました。 中核機関運営委員会を年２回開催し、司法、福祉の専門職や関係機関から成年後見制度の利用促進に対する意見や助言をいただきました。 成年後見相談会を年２回開催し、成年後見制度に関する相談・助言を行いました。 市民後見人養成については、久喜市社会福祉協議会に事業を委託し、市民後見人養成講座基礎編を実施し、修了者は９名でした。また、修了者を対象にフォローアップ講座を実施して、市民後見人としての知識の習得や意欲の維持向上を図ることができました。 市民後見人候補者名簿登録にあたり、面談を実施し、１２名を名簿に登録しました。																														
	令和６年度決算額(円)		8,437,759	令和７年度当初予算額（円）		8,796,000																										
	予算の方向性		維持	成果の方向性		拡大																										
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性については、一部事業を見直しつつ、これまでと同様に各種事業を実施する予定であることから、維持としました。 成果の方向性については、久喜市成年後見センターの機能として広報・啓発、相談に加え、後見人支援や受任調整会議の開催等に取り組むことから、拡大としました。																														
	取組み②	事業名	相談支援事業〈再掲〉	所管部課	福祉部障がい者福祉課																											
まちづくり重点施策		－																														
令和６年度の成果・実績		障がい者（児）の権利擁護を推進するため、久喜市成年後見制度利用支援事業実施要綱に基づき、後見人等の申立てが必要な対象者について、市長による成年後見人の申立てを実施しました。 また、久喜市成年後見人等に係る報酬助成要綱に基づき、対象者の後見人等に報酬の助成を行いました。 ・新規申立て件数 １件 ・報酬助成額 ６件 1,673,430円																														
令和６年度決算額(円)		79,983,834	令和７年度当初予算額（円）		65,448,000																											
予算の方向性		維持	成果の方向性		維持																											
予算及び成果の方向性を判断した理由		予算の方向性については、今後も久喜市成年後見人等に係る報酬助成要綱に基づき、対象者の後見人等に報酬の助成を行っていくことから、維持としました。 成果の方向性については、知的・精神障がい者の増加に伴い、新規申立ての発生や報酬助成は、今後も継続していくことから、維持としました。																														
<table><tr><th colspan="2">活動指標名称（単位）</th><th rowspan="2">年度</th><th rowspan="2">Ｒ５（現状値（直近））</th><th rowspan="2">Ｒ６</th><th rowspan="2">Ｒ７</th><th rowspan="2">Ｒ８</th></tr><tr><th>所管部課</th><th>福祉部高齢者福祉課、福祉部障がい者福祉課</th></tr><tr><td colspan="2" rowspan="3">成年後見センターの相談件数（件）</td><td>目標値</td><td>50</td><td>50</td><td>51</td><td>51</td></tr><tr><td>実績値</td><td>151</td><td>144</td><td></td><td></td></tr><tr><td>達成率</td><td>302.0%</td><td>288.0%</td><td></td><td></td></tr></table>							活動指標名称（単位）		年度	Ｒ５（現状値（直近））	Ｒ６	Ｒ７	Ｒ８	所管部課	福祉部高齢者福祉課、福祉部障がい者福祉課	成年後見センターの相談件数（件）		目標値	50	50	51	51	実績値	151	144			達成率	302.0%	288.0%		
活動指標名称（単位）		年度	Ｒ５（現状値（直近））	Ｒ６	Ｒ７	Ｒ８																										
所管部課	福祉部高齢者福祉課、福祉部障がい者福祉課																															
成年後見センターの相談件数（件）		目標値	50	50	51	51																										
		実績値	151	144																												
		達成率	302.0%	288.0%																												

＜施策の方向性（４）に関連する事務事業＞						
細施策名		発達障がい児や医療的ケア児に対する支援体制の整備を推進します				
取組み①	事業名	発達障がい児等総合支援事業	所管部課	福祉部障がい者福祉課		
	まちづくり重点施策		－			
	令和６年度の成果・実績	発達障がい児やその家族等の支援のために、講演会の開催やペアレントメンター事業、保育所等巡回支援事業を実施しました。 ・発達障がいを考える講演会 テーマ 発達障がい～特性から個性へ～ 参加人数 58人 ・ペアレントメンター事業 参加者 保護者14人、メンター、コーディネーター等 ・保育所等巡回支援業務委託 巡回施設数 18か所 巡回回数 27回				
	令和６年度決算額(円)	1,144,000	令和７年度当初予算額（円）	1,507,000		
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持		
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性については、ここ数年の予算額の動向や今後の見込みを鑑みて、これまでの水準を維持しながら事業を継続できると考えられるため、維持としました。 成果の方向性については、これまでの事業内容を継続することから、維持としました。				
	取組み②	事業名	医療的ケア児等総合支援事業	所管部課	福祉部障がい者福祉課	
まちづくり重点施策		－				
令和６年度の成果・実績		医療的ケアを要する児童等やその家族の支援のために、在宅重症心身障がい児等レスパイトケア事業を実施しました。 ・在宅重症心身障がい児等レスパイトケア事業補助金 超重症心身障がい児 4人 延べ103日 2,060,000円 重症心身障がい児 6人 延べ314日 3,140,000円 合計 5,200,000円				
令和６年度決算額(円)		5,200,000	令和７年度当初予算額（円）	6,860,000		
予算の方向性		維持	成果の方向性	維持		
予算及び成果の方向性を判断した理由		予算の方向性については、医療的ケア児の増加に伴い、特に在宅重症心身障がい児等レスパイトケア事業補助金を今後も支出していくことから、維持としました。 成果の方向性については、これまでの事業内容を継続することから、維持としました。				
活動指標名称（単位）		年度	R 5（現状値（直近））	R 6	R 7	R 8
所管部課	福祉部障がい者福祉課					
発達障がいを考える講演会参加者数（人）		目標値	35	40	40	40
		実績値	42	58		
		達成率	120.0%	145.0%		

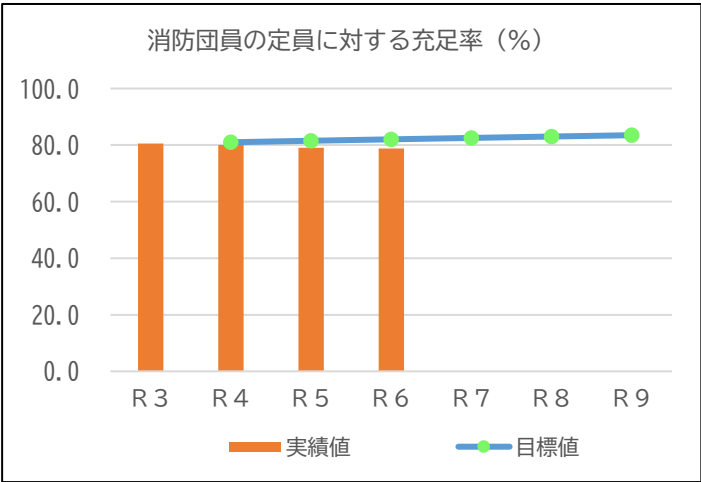
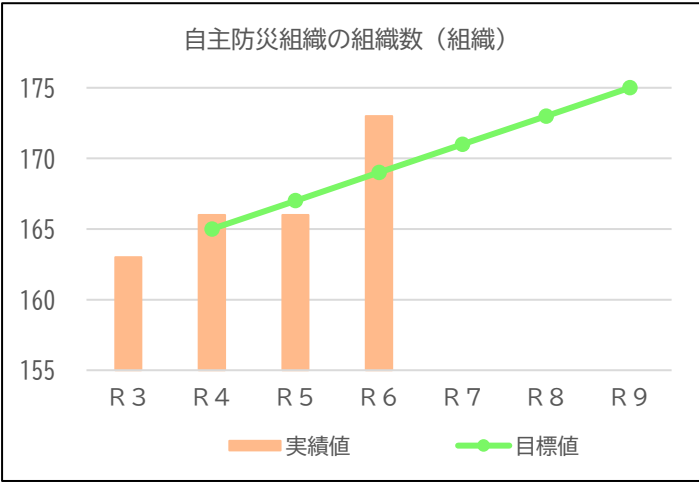
令和7年度行政評価シート

1. 前期基本計画について

基本目標	3	いつまでも安全・安心な暮らしの環境が整っているまちをつくる	
施策	3-1	災害への備えと対応を強化し安心して暮らせる環境をつくる	
主管課	市長公室危機管理課	関係課	市民部各行政センター、福祉部社会福祉課、建設部治水河川課、まちづくり推進部都市計画課、まちづくり推進部産業拠点整備推進課
5年後のまちの姿			
市民の防災意識や地域における共助意識の向上、防災体制の強化、防災設備や備蓄の充実、他自治体や事業者等との相互応援体制の充実、利根川の堤防強化対策等により、地震や台風、洪水等の自然災害に強く、安心して暮らせるまちが実現しています。			
施策の方向性			
(1) 地域一体となって防災・消防体制を強化します (2) 公共施設・交通インフラの防災・減災対策を推進します (3) 治水対策を充実し水害リスクを軽減します			

2. 重要業績評価指標（KPI）について

重要業績評価指標（KPI）							
自主防災組織の組織数（組織）							
年度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
目標値		165	167	169	171	173	175
実績値	163	166	166	173			
達成率		100.6%	99.4%	102.4%			
消防団員の定員に対する充足率（％）							
年度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
目標値		81.0	81.5	82.0	82.5	83.0	83.5
実績値	80.5	80.0	79.1	78.8			
達成率		98.8%	97.1%	96.1%			



3. 前年度行政評価委員会の意見について

前年度行政評価委員会の意見	
市全域での防災対策等について様々な機会を通じて情報提供を行い、地域で災害に備える体制づくりを進めていただきたい。 災害発生時の避難情報等が速やかに市民に伝わるよう、防災アプリが普及するよう努められたい。 地域に根付いた防災活動を行っている消防団員等の確保を積極的に行っていただきたい。	
「前年度行政評価委員会の意見」に対する実施状況・今後の方向性	
自主防災組織への出前講座や、小・中学生への防災授業等の場で防災対策等に関する講座を行い、地域で災害に備える体制づくりを推進しました。 市民に防災アプリへの登録を推進するため、ホームページ等での周知のほか、上記講座の場でも周知を行いました。 消防団員の処遇改善として、消防団条例及び消防団員退職報償金の支給に関する条例を改正し、消防団員の報酬額の増額、退職報償金に勤続35年以上の支給区分の追加を行いました。 今後も、引き続き自主防災組織や小・中学生等に講座を実施すると共に、防災アプリの更なる普及に努めます。消防団員の確保については、ホームページ、広報くき等での周知のほか、各種イベントでの啓発活動を行うとともに、時代に即した効果的な募集方法について消防団本部と連携し、その確保に取り組みます。	

4. 施策の目標達成度、施策の主要課題及び今後の施策の方向性について

施策の目標 達成度	☐ A	目標・予定を達成している	令和6年度重要業績評価指標（KPI）達成率が全て100%以上である。
	☒ B	目標・予定に概ね沿う成果・進捗である	令和6年度重要業績評価指標（KPI）達成率で、最も低い達成率が80%以上である。
	☐ C	目標・予定を下回る成果・進捗である	令和6年度重要業績評価指標（KPI）達成率で、80%未満の指標が1つ以上ある。
施策の主要課題 及び今後の施策 の方向性	【施策の主要課題】 防災・消防体制の強化については、防災行政無線等の適切な維持管理・運用及び防災情報に関するサービス利用者の拡大を図る必要があります。また、災害発生時において、地域住民による防災活動が必要不可欠であるため、今後も引き続き自主防災組織の設立を促すとともに、既に設立している自主防災組織については、活動の充実・育成を図ることが課題です。また、災害時において地域防災の要として消火活動、防災活動を担う消防団の重要性からも、消防団員の充足率を高める必要があります。しかし、高齢化やサラリーマン化、社会コミュニティの希薄化など社会情勢の変化により消防団員数は減少傾向にあり、消防団員の確保及び育成が課題となっています。 公共施設・交通インフラの防災・減災対策の推進については、圏央道等の緊急輸送道路へのアクセスを向上させ、災害時における自衛隊や消防機関等の広域応援、救援物資の受入れ体制を強化する必要があります。しかし、圏央道の高架構造区間におけるインターチェンジの設置に要する橋脚の建設費などが嵩み事業費が高額となるため、国による事業化採択を受けることが難しい状況です。このことから、費用負担の少ないインターチェンジを実現するため、国の制度変更が必要となっています。 治水対策の充実については、利根川堤防上の平場に整備する（仮称）防災公園管理棟の施設内に利根川の治水の歴史や本市の防災について学習できる機能を設けることについて、国や庁内関係課と調整を図る必要があります。		
	【今後の方向性】 災害の拡大を防止するための防災関連施設などの整備推進や維持管理を適切に行っていきます。 防災訓練では、市民の防災意識の高揚と災害時における行動が培われるよう取り組んでいきます。 また、防災や災害に関する市民への情報提供について、伝達手段の確保と複数の媒体での通信手段により実施できるよう取り組んでいきます。 災害発生時において、地域住民による防災活動として必要不可欠となる自主防災組織の充実・育成を継続して推進していきます。 地域防災の要として消火活動、防災活動を担う消防団員の確保及び育成について、ホームページ、広報くき等での周知のほか、各種イベントでの啓発活動を行うとともに、教育研修及び訓練を実施するなど継続して推進していきます。 インターチェンジの整備については、（仮称）久喜東インターチェンジ設置促進連絡協議会による要望活動を継続して実施します。 利根川堤防上の平場では、地震等の災害発生時における一時的な避難場所や、大雨時における水防団の活動拠点としての機能などを備えた（仮称）防災公園の整備を進めていきます。 以上を通して、「災害への備えと対応を強化し安心して暮らせる環境づくり」を着実に推進していきます。		
評価年月日	令和7年7月2日	評価者職氏名	市長公室長 渡辺 文勝

行政評価委員会の意見	
火災や災害時における市民の安全確保のため、消防団員の人数が定数に近づくよう、周知や啓発活動により力を入れていただきたい。 また、市内で火災が多発していたことから、埼玉東部消防組合と連携して、火災の要因について注意喚起するなど、火災の予防について意識啓発に取り組んでいただきたい。	

5. 主要な事務事業

＜施策の方向性（１）に関連する事務事業＞				
細施策名		地域一体となって防災・消防体制を強化します		
取組み①	事業名	防災体制整備事業	所管部課	市長公室危機管理課、市民部各行政センター
	まちづくり重点施策		④【安心】誰ひとり取り残さないやさしさにあふれ、安心して暮らせるまち	
	令和６年度の成果・実績	防災行政無線の保守点検業務を実施し、適切な維持管理を行うほか、避難場所標識の更新工事（６か所）を実施し、ピクトグラムを用い災害対応種別を明確にするなど、視認性の向上を図ることができました。 また、令和５年度に運用を開始した防災アプリの普及・啓発を行いました。 さらに、市内の小学校を対象とした防災教育講座、市民を対象とした防災講演会等、防災意識の高揚を図る啓発活動を実施しました。		
	令和６年度決算額(円)	26,835,833	令和７年度当初予算額（円）	22,388,000
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性については、防災行政無線の維持管理や防災アプリの保守など、令和７年度と同規模を想定していることから維持としました。 成果の方向性については、防災行政無線の適切な維持管理や防災アプリの普及・啓発、防災講演会等、これまでの事業を継続して実施するものとしていることから維持としました。		
	取組み②	事業名	防災訓練事業	所管部課
まちづくり重点施策		④【安心】誰ひとり取り残さないやさしさにあふれ、安心して暮らせるまち		
令和６年度の成果・実績		令和６年９月７日（土）の総合防災訓練において、毎日興業アリーナ久喜（久喜総合体育館）、本町小学校、小林小学校、栗橋南小学校、東鷲宮小学校の５会場に市民が参集して避難所運営訓練等を実施し、市民の防災意識の高揚と災害時に必要となる知識・技術の向上を図ることができました。 また、福祉避難所施設職員及び市職員を対象とした、福祉避難所開設訓練を令和６年１０月１９日（土）に鷲宮地域子育て支援センターすまいるにて、１１月２日（土）にあゆみの郷にて実施し、相互の職員の連携を図ることができました。		
令和６年度決算額(円)		1,351,548	令和７年度当初予算額（円）	1,501,000
予算の方向性		維持	成果の方向性	維持
予算及び成果の方向性を判断した理由		予算の方向性については、防災訓練の実施にあたり、令和７年度と同規模を想定していることから維持としました。 成果の方向性については、これまでどおり、防災訓練の実施により、市民の防災意識の高揚と災害時の知識・技術の向上を図ることを目的としているため維持としました。		
取組み③		事業名	消防団活動事業	所管部課
	まちづくり重点施策		④【安心】誰ひとり取り残さないやさしさにあふれ、安心して暮らせるまち	
	令和６年度の成果・実績	久喜市消防団条例に基づき、消防団員へ報酬、出動手当等を支払いました。 また、消防団員の被服や装備品を整備することで、火災・災害が発生した際の安全な消防活動に資することができました。 久喜市消防団条例を改正し、消防団員報酬を増額することで消防団員の処遇改善を図りました。 ・消防団員数 316名（令和７年３月３１日時点）		
	令和６年度決算額(円)	61,418,704	令和７年度当初予算額（円）	57,149,000
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性については、消防団活動に対する報酬、出動手当の支払い及び被服、装備品の配備が令和７年度と同規模を想定していることから維持としました。 成果の方向性については、消防団活動に対する報酬、出動手当の支払い、被服と装備品の配備、教育研修、訓練の実施及び派遣を行うことで、消防団活動の充実及び消防団員の育成が図られることから維持としました。		

取組み④	事業名	自主防災組織育成事業		所管部課	市長公室危機管理課、市民部各行政センター																											
	まちづくり重点施策		④【安心】誰ひとり取り残さないやさしさにあふれ、安心して暮らせるまち																													
	令和6年度の成果・実績	自主防災組織未設置の行政区等へ組織の結成を促すとともに、自主防災組織の活動に対する補助金（自主防災組織設立事業、防災資機材等購入事業、防災訓練実施事業、啓発事業等参加・実施事業）の交付を行いました。 また、自主防災組織が主催する防災訓練への参加、非常食の提供等を行ったほか、各地区における自主防災組織連絡会の活動支援等を行い、自主防災組織の活動の充実・育成、地域における防災力の向上を図りました。 ・補助金の交付実績 設立補助金 1件 22,800円、防災資機材等購入補助金 59件 2,710,300円、 防災訓練実施補助金 48件 1,363,900円、啓発事業等参加・実施補助金 24件 226,200円																														
	令和6年度決算額(円)		4,393,200	令和7年度当初予算額（円）		8,746,000																										
	予算の方向性		維持	成果の方向性		維持																										
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性については、自主防災組織の活動に対する補助金を、令和7年度と同規模を想定していることから維持としました。 成果の方向性については、補助金を交付することにより、自主防災組織の充実・育成が図られることから、維持としました。																														
	<table><tr><th colspan="2">活動指標名称（単位）</th><th rowspan="2">年度</th><th rowspan="2">R 5（現状値 （直近））</th><th rowspan="2">R 6</th><th rowspan="2">R 7</th><th rowspan="2">R 8</th></tr><tr><th>所管部課</th><th>市長公室危機管理課</th></tr><tr><td colspan="2" rowspan="3">情報伝達媒体登録者数(人)</td><td>目標値</td><td>12,400</td><td>13,300</td><td>14,200</td><td>15,100</td></tr><tr><td>実績値</td><td>18,041</td><td>21,133</td><td></td><td></td></tr><tr><td>達成率</td><td>145.5%</td><td>158.9%</td><td></td><td></td></tr></table>							活動指標名称（単位）		年度	R 5（現状値 （直近））	R 6	R 7	R 8	所管部課	市長公室危機管理課	情報伝達媒体登録者数(人)		目標値	12,400	13,300	14,200	15,100	実績値	18,041	21,133			達成率	145.5%	158.9%	
活動指標名称（単位）		年度	R 5（現状値 （直近））	R 6	R 7	R 8																										
所管部課	市長公室危機管理課																															
情報伝達媒体登録者数(人)		目標値	12,400	13,300	14,200	15,100																										
		実績値	18,041	21,133																												
		達成率	145.5%	158.9%																												

＜施策の方向性（２）に関連する事務事業＞							
細施策名		公共施設・交通インフラの防災・減災対策を推進します					
取組み①	事業名	防災体制整備事業〈再掲〉		所管部課	市長公室危機管理課、市民部各行政センター		
	まちづくり重点施策		④【安心】誰ひとり取り残さないやさしさにあふれ、安心して暮らせるまち				
	令和６年度の成果・実績	防災行政無線の保守点検業務を実施し、適切な維持管理を行うほか、避難場所標識の更新工事（６か所）を実施し、ピクトグラムを用い災害対応種別を明確にするなど、視認性の向上を図ることができました。 また、令和５年度に運用を開始した防災アプリの普及・啓発を行いました。 さらに、市内の小学校を対象とした防災教育講座、市民を対象とした防災講演会等、防災意識の高揚を図る啓発活動を実施しました。					
	令和６年度決算額(円)		26,835,833		令和７年度当初予算額（円）	22,388,000	
	予算の方向性		維持		成果の方向性	維持	
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性については、防災行政無線の維持管理や防災アプリの保守など、令和７年度と同規模を想定していることから維持としました。 成果の方向性については、防災行政無線の適切な維持管理や防災アプリの普及・啓発、防災講演会等、これまでの事業を継続して実施するものとしていることから維持としました。					
	令和６年度決算額(円)		26,076		令和７年度当初予算額（円）	30,000	
取組み②	事業名	スマートインターチェンジ整備推進事業		所管部課	まちづくり推進部産業拠点整備推進課		
	まちづくり重点施策		②【発展性】土地の高度利用や交通利便性の向上を図り、発展し続けるまち				
	令和６年度の成果・実績	（仮称）久喜東インターチェンジ設置促進連絡協議会（久喜市・幸手市・杉戸町・宮代町）による国土交通省への要望活動を実施しました。					
	令和６年度決算額(円)		26,076		令和７年度当初予算額（円）	30,000	
	予算の方向性		維持		成果の方向性	維持	
	予算及び成果の方向性を判断した理由	（仮称）久喜東インターチェンジ設置促進連絡協議会による要望活動を継続して実施することから、予算の方向性及び成果の方向性ともに維持としました。					
	活動指標名称（単位）		年度	R 5（現状値（直近））	R 6	R 7	R 8
所管部課	市長公室危機管理課						
災害時応援協定締結数（件）			目標値	65	68	71	74
			実績値	70	76		
			達成率	107.7%	111.8%		

＜施策の方向性（３）に関連する事務事業＞							
細施策名		治水対策を充実し水害リスクを軽減します					
取組み①	事業名	利根川堤防対策事業		所管部課	まちづくり推進部都市計画課		
	まちづくり重点施策		－				
	令和６年度の成果・実績	利根川堤防に係る工事説明会において、国が実施する工事内容を周知することができました。また、堤防上の平場に整備する（仮称）防災公園管理棟に設ける設備について、地域住民の意見や要望を把握することができました。					
	令和６年度決算額(円)		494,626	令和７年度当初予算額（円）		520,000	
	予算の方向性		維持	成果の方向性		維持	
	予算及び成果の方向性を判断した理由	堤防強化対策に係る工事は概成しましたが、盛土工事による地盤沈下の影響を受けた道路や階段の補修工事が残っており、引き続き国や地元協議会との協議が必要と判断したため、予算の方向性及び成果の方向性ともに維持としました。					
取組み②	事業名	河川改良事業		所管部課	建設部治水河川課		
	まちづくり重点施策		－				
	令和６年度の成果・実績	令和6年度は、大雨の際に流れが悪く水が滞留し、水路の土留が崩れそうな状況にあった水路の改良工事を1件実施し、治水対策の充実を図ることができました。また、桜田小学校において校庭に降った雨水を一時的に貯留する雨水貯留施設の設計業務や既存水路の改良設計業務を2件実施し、事業を推進することができました。引き続き治水対策として浸水被害軽減に資する河川・水路の改良整備を推進していきます。					
	令和６年度決算額(円)		18,608,607	令和７年度当初予算額（円）		222,857,000	
	予算の方向性		維持	成果の方向性		維持	
	予算及び成果の方向性を判断した理由	引き続き豪雨時等の浸水被害の軽減を図るため、国や県の補助金などを活用し河川等の改良、雨水貯留・浸透施設の設置等の治水対策を推進することから、予算の方向性及び成果の方向性ともに維持としました。					
取組み③	事業名	栗橋北二丁目土地区画整理事業		所管部課	まちづくり推進部都市計画課		
	まちづくり重点施策		④【安心】誰ひとり取り残さないやさしさにあふれ、安心して暮らせるまち				
	令和６年度の成果・実績	利根川堤防上の平場への（仮称）防災公園の整備に向け、関係機関や堤防強化事業対策協議会から伺ったご意見やご要望を反映させた実施設計を完了することができました。					
	令和６年度決算額(円)		40,346,900	令和７年度当初予算額（円）		670,000	
	予算の方向性		拡充	成果の方向性		維持	
	予算及び成果の方向性を判断した理由	令和6年度に完了した実施設計を基に、利根川堤防上に（仮称）防災公園を整備するため、予算の方向性を拡充、成果の方向性を維持としました。					
活動指標名称（単位）			年度	R 5（現状値（直近））	R 6	R 7	R 8
所管部課	建設部治水河川課						
河川・水路改良工事箇所数（箇所）			目標値	1	1	1	1
			実績値	1	1		
			達成率	100.0%	100.0%		

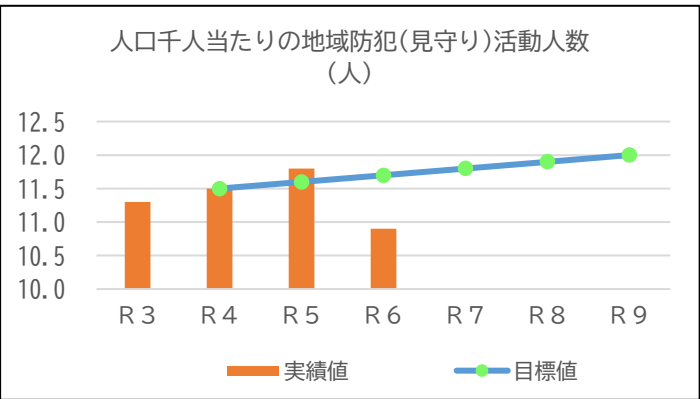
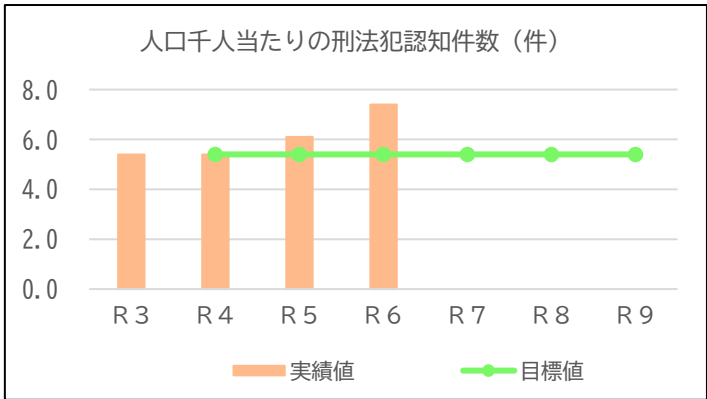
令和7年度行政評価シート

1. 前期基本計画について

基本目標	3	いつまでも安全・安心な暮らしの環境が整っているまちをつくる	
施策	3-2	地域の防犯体制を充実し安心して暮らせるまちを目指す	
主管課	市民部市民生活課	関係課	市民部各行政センター
5年後のまちの姿			
警察や防犯協会等の関係機関・団体との連携のもと、地域の防犯体制や市民による見守り体制が強化され、安心して暮らせるまちが実現しています。 また、人や社会・地域・環境に配慮した消費行動(エシカル消費)の普及や相談体制の充実等を通じ、自立した消費者が育成され、消費生活のトラブルから市民が守られています。			
施策の方向性			
(1) 地域における防犯・安全対策を強化します (2) 消費者の自立を支援し、消費生活の充実を図ります			

2. 重要業績評価指標（KPI）について

重要業績評価指標（KPI）							
人口千人当たりの刑法犯認知件数（件）							
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
目標値		5.4	5.4	5.4	5.4	5.4	5.4
実績値	5.4	5.4	6.1	7.4			
達成率		100.0%	87.0%	63.0%			
人口千人当たりの地域防犯(見守り)活動人数（人）							
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
目標値		11.5	11.6	11.7	11.8	11.9	12.0
実績値	11.3	11.5	11.8	10.9			
達成率		100.0%	101.7%	93.2%			



3. 前年度行政評価委員会の意見について

前年度行政評価委員会の意見
近年、特殊詐欺等犯罪が複雑化していることから、警察等の関係機関と連携のうえ、住民一人ひとりの防犯意識の向上と、安心して暮らせる地域コミュニティづくりを推進されたい。
「前年度行政評価委員会の意見」に対する実施状況・今後の方向性
特殊詐欺被害抑止対策として、警察からの情報提供に基づき、防災行政無線放送やSNS等を通じて注意喚起の情報を発信しているほか、関係機関と連携し、防犯啓発活動を実施しています。日頃の活動等を通じて、住民一人ひとりの防犯意識の向上を図っていくとともに、家族や地域による見守り等が地域全体へと繋がっていくよう、引き続き防犯・安全対策の推進に取り組んでいきます。

4. 施策の目標達成度、施策の主要課題及び今後の施策の方向性について

施策の目標達成度	☐ A	目標・予定を達成している	令和6年度重要業績評価指標（KPI）達成率が全て100%以上である。
	☐ B	目標・予定に概ね沿う成果・進捗である	令和6年度重要業績評価指標（KPI）達成率で、最も低い達成率が80%以上である。
	☒ C	目標・予定を下回る成果・進捗である	令和6年度重要業績評価指標（KPI）達成率で、80%未満の指標が1つ以上ある。
施策の主要課題及び今後の施策の方向性	【施策の主要課題】 地域における防犯・安全対策の強化については、埼玉県内における刑法犯認知件数が、ここ数年にわたり増加しており、久喜市内も同様の傾向となりました。依然として、特殊詐欺や不審者等に関する情報も多く寄せられているほか、自転車盗といった生活に身近な犯罪も増加しています。また、地域の高齢化やコミュニティの低下のほか、犯罪の手口等も巧妙化していることから、引き続き、関係機関、団体、事業者、市民との連携を図っていく必要があります。 消費生活の充実については、インターネットを活用した商品やサービスの提供等により、消費者の利便性が向上した一方で、商品やサービスの販売方法等が複雑かつ多様化していることから、消費者自身がトラブルの発生を未然に防いだり、トラブルに対応できる力を養うために、消費者の保護や自立した消費者の育成を進めていく必要があります。 【今後の方向性】 地域における防犯・安全対策の強化については、迅速な防犯情報の提供や警察署や地域と連携した防犯啓発活動の実施等により、市民の防犯意識の向上や地域の防犯体制の強化を引き続き図っていきます。 消費生活の充実については、広報紙・ホームページでの情報提供や消費生活講座などを開催し、自立した消費者の育成に取り組めます。また、国民生活センターが運営する情報ネットワーク「PIO-NET（パイオネット）」の活用や埼玉県消費生活支援センター等との連携を図っていくとともに、弁護士による法律相談や各種専門家の相談窓口の利用促進など、相談体制を充実させ、消費者の支援・保護に取り組んでいきます。		
評価年月日	令和7年7月2日	評価者職氏名	市民部長 小澤 敦子

行政評価委員会の意見
パトロール活動を行う地域団体等への支援や、地域や警察と連携した防犯体制の強化に努められたい。

5. 主要な事務事業

＜施策の方向性（１）に関連する事務事業＞							
細施策名		地域における防犯・安全対策を強化します					
取組み①	事業名	防犯体制充実事業	所管部課	市民部市民生活課、市民部各行政センター			
	まちづくり重点施策		－				
	令和６年度の成果・実績	・こどもレディース110番の家の設置及び相談員としての委嘱を行いました。 （令和7年3月31日現在、委嘱者数896人） ・久喜地方防犯協会、幸手地区防犯協会へ負担金を拠出しました。 ・久喜地区暴力排除推進協議会、幸手地区暴力排除推進協議会へ負担金を拠出しました。 ・青色回転灯パトロール車をパトロール活動を行う地域団体に貸出しを行いました。 ・警察や事業者との協働によるドライブレコーダーを活用した、まちの見守り活動事業を実施しました。					
	令和６年度決算額(円)		5,420,788	令和７年度当初予算額（円）		4,808,000	
	予算の方向性		維持	成果の方向性		維持	
	予算及び成果の方向性を判断した理由	引き続き、市民への防犯情報の提供や警察署や地域と連携した防犯活動の実施等、これまでの水準を維持することから、予算の方向性及び成果の方向性については維持としました。					
	取組み②	事業名	防犯灯管理事業	所管部課	市民部市民生活課、市民部各行政センター		
まちづくり重点施策		－					
令和６年度の成果・実績		令和6年度は、防犯灯を104基設置し、維持管理を行いました。 令和6年度設置基数 久喜 36基、菖蒲 13基、栗橋 36基、鷲宮 19基					
令和６年度決算額(円)		48,860,194	令和７年度当初予算額（円）		54,082,000		
予算の方向性		維持	成果の方向性		維持		
予算及び成果の方向性を判断した理由		毎年、地元行政区長から多くの設置要望をいただいております。今後も計画的に防犯灯の設置を行っていく必要があることから、予算の方向性及び成果の方向性は維持としました。					
活動指標名称（単位）		年度	R 5（現状値（直近））	R 6	R 7	R 8	
所管部課		市民部市民生活課					
防犯灯設置基数(基)		目標値	10,585	10,685	10,785	10,785	
		実績値	10,639	10,743			
		達成率	100.5%	100.5%			

<施策の方向性（2）に関連する事務事業>						
細施策名		消費者の自立を支援し、消費生活の充実を図ります				
取組み①	事業名	消費生活事業	所管部課	市民部市民生活課		
	まちづくり重点施策		－			
	令和6年度の成果・実績	専門の消費生活相談員による消費生活相談を実施しました。本庁舎においては、毎週月～金曜日、各行政センターにおいては特設消費生活相談として、計3日間、相談窓口を開設しました。 令和6年度の消費生活相談の件数は425件で、令和5年度から2件減少となりました。 また、消費者自身がトラブルの発生を未然に防ぐ力や、トラブルに対応できる力を養うために、消費生活講座を実施しました。 令和6年度の消費生活講座の実施回数は5回で、令和5年度より1回増加となりました。				
	令和6年度決算額(円)	513,596	令和7年度当初予算額（円）	607,000		
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持		
	予算及び成果の方向性を判断した理由	国民生活センターや埼玉県消費生活支援センターと連携し、相談体制の充実を図るとともに、市民が様々な消費生活に関するトラブルなどに巻き込まれないために、引き続き消費生活講座の定期的な開催や広報での情報提供等、これまでの水準を維持することから、予算の方向性及び成果の方向性については維持としました。				
取組み②	事業名	法律相談事業	所管部課	市民部市民生活課		
	まちづくり重点施策		－			
	令和6年度の成果・実績	弁護士による法律相談を実施しました。本庁舎においては月2回、各行政センターにおいては月1回、年間で60回相談窓口を開設しました。 令和6年度の法律相談の件数は316件で、令和5年度から11件減少となりました。 また、民間の有識者から委嘱した行政相談員による行政相談を実施しました。本庁舎や各行政センターにおいて、毎月第3火曜日に相談窓口を開設しました。 令和6年度の行政相談の件数は67件で、令和5年度から8件減少しました。				
	令和6年度決算額(円)	2,026,580	令和7年度当初予算額（円）	2,028,000		
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持		
	予算及び成果の方向性を判断した理由	法律相談については、ほぼ毎回予約が埋まり、相談希望者は依然として多数いることから、予算の方向性及び成果の方向性は維持としました。				
取組み③	事業名	犯罪被害者等支援事業	所管部課	市民部市民生活課		
	まちづくり重点施策		－			
	令和6年度の成果・実績	埼玉県が主催する研修会に参加し、犯罪被害者等支援の理解を深めました。 支援制度に関するリーフレットを作成して窓口等で配布したほか、広報くきやホームページにおいて支援制度に関する周知を行いました。				
	令和6年度決算額(円)	98,230	令和7年度当初予算額（円）	1,000		
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持		
	予算及び成果の方向性を判断した理由	引き続き、犯罪被害者等支援体制の整備を図る必要があることから、予算の方向性及び成果の方向性については維持としました。				
活動指標名称（単位）		年度	R 5（現状値（直近））	R 6	R 7	R 8
所管部課		市民部市民生活課				
消費生活講座実施回数（回）		目標値	3	4	5	5
		実績値	4	5		
		達成率	133.3%	125.0%		

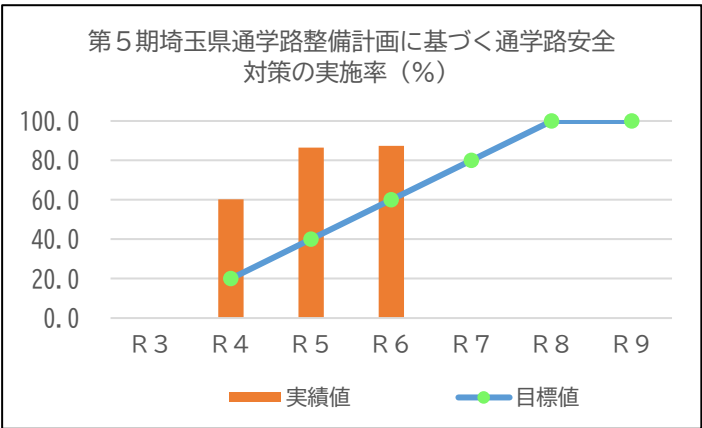
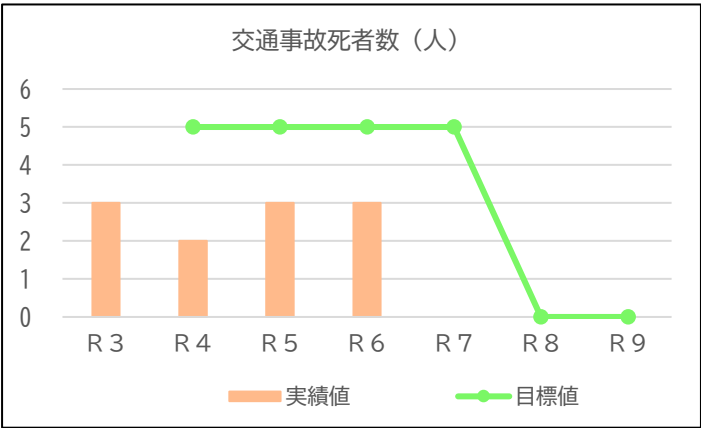
令和7年度行政評価シート

1. 前期基本計画について

基本目標	3	いつまでも安全・安心な暮らしの環境が整っているまちをつくる	
施策	3-3	みんなが交通ルールやマナーを守り交通事故のないまちを目指す	
主管課	市民部交通住宅課	関係課	市民部各行政センター、建設部道路維持課
5年後のまちの姿			
様々な機会を通じて交通安全運動や交通安全教育が行われ、市民の交通安全意識が高まっています。 また、歩行者や自転車が安心して通行できる道路・交通環境が整備され、交通死亡事故のないまちが実現しています。			
施策の方向性			
(1) 交通安全意識を高め、事故のない環境づくりを進めます (2) 安全・安心な道路・交通環境を整備します			

2. 重要業績評価指標（KPI）について

重要業績評価指標（KPI）							
交通事故死者数（人）							
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
目標値		5	5	5	5	0	0
実績値	3	2	3	3			
達成率		160.0%	140.0%	140.0%			
第5期埼玉県通学路整備計画に基づく通学路安全対策の実施率（%）							
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
目標値		20.0	40.0	60.0	80.0	100.0	100.0
実績値	0.0	60.3	86.5	87.3			
達成率		301.5%	216.3%	145.5%			



3. 前年度行政評価委員会の意見について

前年度行政評価委員会の意見
引き続き、安全な道路交通環境を整えるとともに、交通安全に関する啓発活動を推進されたい。
「前年度行政評価委員会の意見」に対する実施状況・今後の方向性
道路交通環境については、不具合箇所の早期修繕など引き続き適切な維持管理を実施していきます。 交通安全については、各期の交通安全運動期間中に街頭啓発活動を行ったほか、交通指導員を配置し、歩行者の安全確保を図りました。今後、啓発内容については、交通安全関係団体の解散や活動内容の縮小等に対応した内容に見直しを行っていきます。

4. 施策の目標達成度、施策の主要課題及び今後の施策の方向性について

施策の目標達成度	☒ A	目標・予定を達成している	令和6年度重要業績評価指標（KPI）達成率が全て100%以上である。
	☐ B	目標・予定に概ね沿う成果・進捗である	令和6年度重要業績評価指標（KPI）達成率で、最も低い達成率が80%以上である。
	☐ C	目標・予定を下回る成果・進捗である	令和6年度重要業績評価指標（KPI）達成率で、80%未満の指標が1つ以上ある。
施策の主要課題及び今後の施策の方向性	【施策の主要課題】 交通事故の発生件数を減少させていくためには、道路環境のみならず、交通安全意識の醸成を図ることが重要であることから、ハード・ソフトの両面から効果が発揮される事業を推進する必要があります。 このうち、ハード面では、計画的な点検を実施し、不具合箇所を早期に修繕するなどの対応を引き続き進めていく必要がありますが、経年劣化が進む施設が多く、限られた財源をどのように活用していくかが今後の課題です。 ソフト面では、交通安全運動や交通安全教育などの実施により、市民の交通安全意識の醸成を引き続き進めていく必要がありますが、当該活動に係る関係団体などの解散や活動内容の変更などに伴い啓発内容を見直すことが課題です。 また、交通指導員については、他自治体と比較し、多くの人員が配置されていることや高齢化が進んでいることから、学校の統廃合等の状況等も踏まえながら配置計画を見直しする必要があります。 【今後の方向性】 交通事故の発生件数を減少させていくため、引き続き、道路環境というハード面と、交通安全意識の醸成等のソフト面の両面から事業を推進していきます。 このうち、ハード面については、安全・安心な道路・交通環境を整備するため、引き続き、道路の不具合箇所の補修や交通安全施設の設置等を実施していきます。 また、ソフト面では、交通指導員について、他自治体の配置状況を踏まえ、適正な人員配置を検討するとともに、啓発内容については、街頭啓発活動に参加する交通安全関係団体の解散や活動内容の縮小等に対応した内容に見直し、関係団体と連携して、交通安全意識の醸成を図っていきます。		
評価年月日	令和7年7月2日	評価者職氏名	市民部長 小澤 敦子

行政評価委員会の意見
横断中の歩行者が死亡する事故が発生していることから、ドライバーの交通ルール遵守を徹底させるため、より効果のある交通安全の啓発活動に取り組まれない。 外国籍市民に向けて、国内での交通ルールや各種制度について、講習の開催やパンフレットの作成などの啓発活動を検討されたい。

5. 主要な事務事業

＜施策の方向性（１）に関連する事務事業＞						
細施策名		交通安全意識を高め、事故のない環境づくりを進めます				
取組み①	事業名	交通安全対策事業	所管部課	市民部交通住宅課、市民部各行政センター		
	まちづくり重点施策		－			
	令和６年度の成果・実績	各季の交通安全運動期間中、久喜市交通安全母の会、久喜市交通安全対策協議会、久喜市交通指導員、久喜市を管轄する警察署及び交通安全協会等、関係機関団体と協力し、駅頭や大規模商業施設等において啓発品等の配布を実施しました。 また、市内各所に交通指導員を配置し、歩行者の安全確保を図りました。 ・交通指導員数 79名				
	令和６年度決算額(円)		37,048,482	令和７年度当初予算額（円）	38,016,000	
	予算の方向性		縮小	成果の方向性	維持	
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性については、交通指導員の被服支給（貸与）品の見直しや交通安全啓発活動内容の見直しにより、消耗品費等を減額することから、縮小としました。 成果の方向性については、引き続き、交通安全意識を高め、事故のない環境づくりを進めていくことから維持としました。				
取組み②	事業名	市町村交通災害共済加入促進事業〔ゼロ予算事業〕	所管部課	市民部交通住宅課、市民部各行政センター		
	まちづくり重点施策		－			
	令和６年度の成果・実績	市町村交通災害共済加入申込書を全戸配布し、ゆうちょ銀行・郵便局窓口における加入受付、交通住宅課、各行政センター窓口における加入及び給付受付を行いました。 ・加入者数 ゆうちょ銀行・郵便局窓口 5,513名 交通住宅課、各行政センター窓口 4,451名 ・見舞金請求件数 57件				
	令和６年度決算額(円)		0	令和７年度当初予算額（円）	0	
	予算の方向性		維持(ゼロ予算)	成果の方向性	維持	
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性及び成果の方向性については、市町村交通災害共済制度は市民の交通事故救済に寄与しており、引き続きゼロ予算で当該制度への加入を推進していくことから維持としました。				
活動指標名称（単位）		年度	R 5（現状値（直近））	R 6	R 7	R 8
所管部課		市民部交通住宅課				
交通安全街頭啓発の実施回数(回)		目標値	16	16	16	16
		実績値	16	15		
		達成率	100.0%	93.8%		

<施策の方向性（２）に関連する事務事業>				
細施策名		安全・安心な道路・交通環境を整備します		
取組み①	事業名	交通安全施設管理事業	所管部課	市民部交通住宅課、市民部各行政センター、建設部道路維持課
	まちづくり重点施策	－		
	令和６年度の成果・実績	道路反射鏡を新規に21基（久喜：9基、菖蒲：3基、栗橋：5基、鷲宮：4基）設置し、68基（久喜：20基、菖蒲：20基、栗橋：8基、鷲宮：20基）を修繕しました。また、8基（久喜：3基、栗橋：3基、鷲宮：2基）の道路反射鏡について、移設工事を実施しました。 交通安全施設整備工事を11件、交通安全施設補修工事を23件実施しました。		
	令和６年度決算額(円)	55,681,115	令和７年度当初予算額(円)	55,776,000
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性及び成果の方向性については、交通安全施設を適切に管理していくとともに、経年劣化等に伴う補修と新規設置により、引き続き生活道路の安全を確保するため、維持としました。		
取組み②	事業名	放置自転車対策事業	所管部課	市民部交通住宅課、市民部栗橋行政センター、市民部鷲宮行政センター
	まちづくり重点施策	－		
	令和６年度の成果・実績	放置自転車禁止区域内において、156台（久喜：113台、栗橋：21台、鷲宮：22台）の自転車を撤去しました。 放置自転車禁止区域内で撤去され保管していた自転車について、78台（久喜：66台、栗橋：6台、鷲宮：6台）を所有者へ返還しました。		
	令和６年度決算額(円)	11,741,699	令和７年度当初予算額(円)	10,740,000
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性及び成果の方向性については、久喜市自転車等放置防止条例に基づき、自転車等の放置による市民の生活環境の障害を防止し、良好な生活環境の保持を図るため、維持としました。		
取組み③	事業名	道路照明灯維持管理事業	所管部課	建設部道路維持課
	まちづくり重点施策	－		
	令和６年度の成果・実績	道路照明灯の不具合等について、業務委託により、故障時コールセンターを活用し、市民等からの円滑な通報の受付を行うとともに、道路照明灯の迅速な復旧を図ることにより、適正な維持管理を行うことができました。		
	令和６年度決算額(円)	65,359,855	令和７年度当初予算額(円)	77,720,000
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性及び成果の方向性については、現在の道路照明灯ＬＥＤ化事業による、道路照明灯の適正な維持管理を継続するとともに、経年劣化等による道路照明灯の転倒や灯具の落下などの事故を未然に防ぐための点検業務を、継続して計画的に実施する必要があるため維持としました。		

取組み④	事業名	道路レスキュー事業		所管部課	建設部道路維持課		
	まちづくり重点施策		－				
	令和6年度の成果・実績	道路等の不具合について、速やかに現場に駆けつけ、道路の穴・陥没等の補修1,208件、側溝・柵等の補修268件、カーブミラーの角度調整64件、その他（不法投棄物の回収、除草等）690件、計2,230件の応急対応を実施することにより、安全・安心に利用できる道路を維持することができました。					
	令和6年度決算額(円)		2,287,316		令和7年度当初予算額（円）	2,225,000	
	予算の方向性		維持		成果の方向性	維持	
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性及び成果の方向性については、安全・安心に利用できる道路を維持するうえで、道路レスキュー事業による応急対応が不可欠であり、市民等からの道路等の不具合通報や、道路パトロールによる不具合等への対応を、継続して行う必要があるため維持としました。					
活動指標名称（単位）			年度	R 5（現状値 （直近））	R 6	R 7	R 8
所管部課	市民部交通住宅課						
道路反射鏡の新規設置基数（基）			目標値	60	20	20	20
			実績値	45	21		
			達成率	75.0%	105.0%		

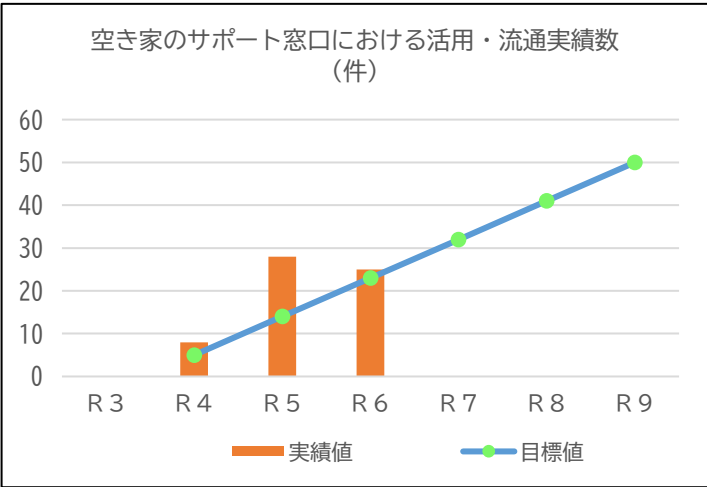
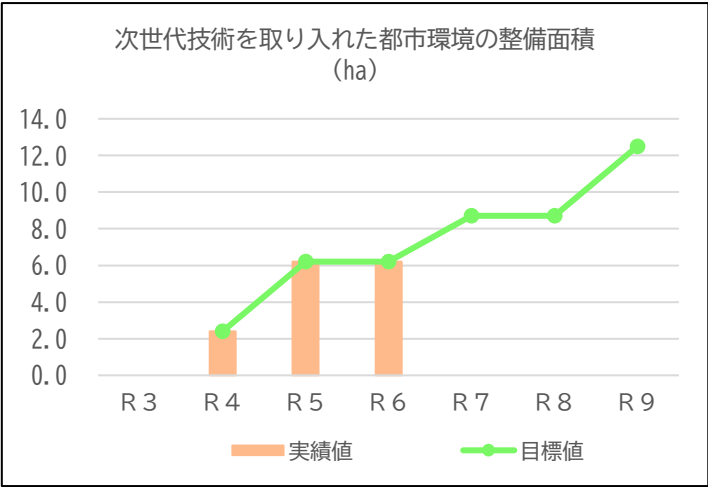
令和7年度行政評価シート

1. 前期基本計画について

基本目標	4	豊かな自然と調和し便利で快適な住み心地よいまちをつくる	
施策	4－1	良好な景観を守り質の高い都市機能・住環境を整備する	
主管課	まちづくり推進部都市計画課		関係課 市民部交通住宅課、環境経済部環境課、建設部道路維持課、まちづくり推進部都市整備課、まちづくり推進部産業拠点整備推進課
5年後のまちの姿			
都市と田園の風景が調和した景観と良好な街並みが保全されています。また、都市に求められる様々な機能が集約された、持続可能な都市の実現に向けた取組みが進められています。 さらに、駅周辺地域におけるまちづくりや空家等対策の取組みにより、良好な住環境が整備されています。			
施策の方向性			
(1) 緑豊かで良好な景観を守り続けます (2) 総合的な視点から質の高い都市をつくります (3) 住みやすく快適な住環境をつくります			

2. 重要業績評価指標（K P I）について

重要業績評価指標（K P I）							
次世代技術を取り入れた都市環境の整備面積（ha）							
年度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
目標値		2.4	6.2	6.2	8.7	8.7	12.5
実績値	0.0	2.4	6.2	6.2			
達成率		100.0%	100.0%	100.0%			
空き家のサポート窓口における活用・流通実績数（件）							
年度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
目標値		5	14	23	32	41	50
実績値	0	8	28	25			
達成率		160.0%	200.0%	108.7%			



3. 前年度行政評価委員会の意見について

前年度行政評価委員会の意見
良好な景観や住環境を保つため、県等と連携しつつ、地域の生活環境の適切な維持管理に努められたい。 地域住民や企業等と連携して、美しい街並みを保つことを推進するよう取り組まれたい。
「前年度行政評価委員会の意見」に対する実施状況・今後の方向性
埼玉県景観計画や地区計画に基づき、建築物等の建築をする地域住民や企業等に対して、周辺環境と調和した美しい景観の維持や、良好な街並みの保全及び形成を図るため、引き続き適切な指導を行います。 また、地域の方や関係権利者等とまちづくりに対する意見交換を重ねながら、地域の生活環境や美しい街並みの維持を推進していきます。

4. 施策の目標達成度、施策の主要課題及び今後の施策の方向性について

施策の目標達成度	☒ A	目標・予定を達成している	令和6年度重要業績評価指標（KPI）達成率が全て100%以上である。
	☐ B	目標・予定に概ね沿う成果・進捗である	令和6年度重要業績評価指標（KPI）達成率で、最も低い達成率が80%以上である。
	☐ C	目標・予定を下回る成果・進捗である	令和6年度重要業績評価指標（KPI）達成率で、80%未満の指標が1つ以上ある。
施策の主要課題及び今後の施策の方向性	【施策の主要課題】 美しい景観の保全や良好な街並みの形成に向け、埼玉県景観計画及び地区計画に基づく制限内容を市民の方や事業者等に分かりやすい形で周知する必要があります。 質の高い都市機能を整備するため、高柳地区産業団地周辺の整備については、道路用地の一部が未買収であることから、用地の取得に向け、引き続き関係権利者と交渉していく必要があります。 鉄道駅周辺のまちづくりの推進については、地元協議会等を通じて意見交換を重ねながら、関係権利者をはじめ地域の方にまちづくりに対する理解をより深めていただく必要があります。 また、住みやすく快適な住環境を整備するため、空家等対策事業については、空き家の利活用を促進するとともに、所有者不明の空家等に対し相続財産清算人の申立てを計画的に行う必要があります。 ゼロカーボンシティの実現については、令和5年3月に策定した「第2次久喜市環境基本計画」において設定した2013（平成25）年度と比較して、2030（令和12）年度までに温室効果ガス排出量を50%削減するという目標を達成するために、市民による電気やガスの節約や効率的な利用などの取組みを推進する必要があります。 【今後の方向性】 美しい景観の保全や良好な街並みの形成に向け、街路樹の剪定や植樹帯の除草等を行い、埼玉県景観計画や地区計画に基づき、建築行為等に対する適切な指導を行います。 高柳地区産業団地周辺の整備については、産業団地内を整備している埼玉県企業局のスケジュールに遅れることのないよう進めていきます。 鉄道駅周辺のまちづくりについては、関係権利者をはじめ地元協議会等と意見交換を重ねながら、事業の進捗が図れるよう取り組んでいきます。 空家等対策については、所有者に対して空家等の適切な管理を促すとともに、いえかつKUKI及び空き家バンクを通じて、空き家の利活用を促進します。また、所有者不明空家等の利活用及び歳入確保に向け、相続財産清算人の申立てを行います。 ゼロカーボンシティの実現については、再生可能エネルギー機器や省エネルギー機器を購入する市民に対し、補助金を交付するなど、市民の環境保全意識を高める取組みを推進します。		
評価年月日	令和7年7月2日	評価者職氏名	まちづくり推進部長 小沢 亮二

行政評価委員会の意見
市民や企業との協働による環境美化活動を推進するとともに、市民が自ら景観を守る意識の啓発に努められたい。

５．主要な事務事業

＜施策の方向性（１）に関連する事務事業＞							
細施策名		緑豊かで良好な景観を守り続けます					
取組み①	事業名	街路樹管理事業		所管部課	建設部道路維持課		
	まちづくり重点施策		－				
	令和６年度の成果・実績	街路樹を適正に管理するため、害虫被害の予防対策として、街路樹に薬剤打込を1,875か所で行ったほか、街路樹の剪定や植樹帯の除草等を58件実施しました。					
	令和６年度決算額(円)		49,081,275	令和７年度当初予算額（円）	49,799,000		
	予算の方向性		維持	成果の方向性	維持		
	予算及び成果の方向性を判断した理由	良好な道路交通環境を保全し、道路を安全・安心に利用してもらうためには、街路樹の適切な管理が重要であり、継続的に剪定業務等を実施する必要があると判断したため、予算の方向性及び成果の方向性をともに維持としました。					
取組み②	事業名	景観・地区計画適合審査事業〔ゼロ予算事業〕		所管部課	まちづくり推進部都市計画課		
	まちづくり重点施策		－				
	令和６年度の成果・実績	埼玉県景観計画に基づき、一定の規模を超える建築物の建築等に関し、適切な指導を行うことにより、周辺環境と調和した美しい景観の維持を図ることができました。令和6年度の届出受理件数は15件でした。 また、市内16か所で定めているそれぞれの地区計画に基づき、建築物の建築等に関し適切な指導を行うことにより、良好な街並みの保全及び形成を図ることができました。令和6年度の届出受理件数は111件でした。					
	令和６年度決算額(円)		0	令和７年度当初予算額（円）	0		
	予算の方向性		維持(ゼロ予算)	成果の方向性	維持		
	予算及び成果の方向性を判断した理由	当該事務事業はゼロ予算事業であり、引き続き、美しい景観の保全や良好な街並みの形成を図る必要があると判断したため、予算の方向性及び成果の方向性をともに維持としました。					
活動指標名称（単位）			年度	R 5（現状値（直近））	R 6	R 7	R 8
所管部課	まちづくり推進部 都市計画課						
地区計画を定めている地区数(地区)			目標値	15 以上	16 以上	16 以上	16 以上
			実績値	16	16		
			達成率	106.7%	100.0%		

<施策の方向性（２）に関連する事務事業>				
細施策名		総合的な視点から質の高い都市をつくります		
取組み①	事業名	南栗橋8丁目周辺地区整備事業	所管部課	まちづくり推進部都市計画課
	まちづくり重点施策	②【発展性】土地の高度利用や交通利便性の向上を図り、発展し続けるまち		
	令和6年度の成果・実績	産官学連携のまちづくりプロジェクト「BRIDGE LIFE Platform構想」の進捗に合わせて、南栗橋近隣公園の改修工事を実施しました。 改修工事については、公園利用者に配慮し、公園全体の利用を制限することがないよう、工区を分けて工事を進める計画とし、令和6年度は健康遊具、野外ステージ及び休憩施設の設置、トイレの改修などを行いました。		
	令和6年度決算額(円)	186,273,200	令和7年度当初予算額(円)	148,476,000
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	令和3年11月10日に産官学の5者で締結した「まちづくりに係る連携・協力に関する協定書」に基づき、本市が担う役割を着実に実行することが求められており、南栗橋近隣公園の改修を継続して、早期に完成させる必要があると判断したため、予算の方向性及び成果の方向性をともに維持としました。		
取組み②	事業名	高柳地区開発整備推進事業	所管部課	まちづくり推進部産業拠点整備推進課
	まちづくり重点施策	②【発展性】土地の高度利用や交通利便性の向上を図り、発展し続けるまち		
	令和6年度の成果・実績	主要地方道さいたま栗橋線から高柳産業団地に進入する南北取付道路のうち、市道栗橋675号線の工事を実施するとともに、同路線の延伸先である市道栗橋747号線の用地交渉（土地の関係権利者4名、2,622㎡）を行うことにより、周辺開発整備を推進することができました。		
	令和6年度決算額(円)	77,163,794	令和7年度当初予算額(円)	197,160,000
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	高柳地区における開発整備事業を引き続き推進していく必要があると判断したため、予算の方向性及び成果の方向性をともに維持としました。		
取組み③	事業名	久喜駅周辺まちづくり推進事業	所管部課	まちづくり推進部都市計画課、まちづくり推進部都市整備課
	まちづくり重点施策	②【発展性】土地の高度利用や交通利便性の向上を図り、発展し続けるまち		
	令和6年度の成果・実績	関係権利者を中心とする久喜駅西口周辺まちづくり協議会において、委員の知見を高められるよう、先進地視察を2回行うとともに、3回開催した協議会で意見交換を重ね、地域における将来の構想となる基本計画案を取りまとめました。		
	令和6年度決算額(円)	8,510,270	令和7年度当初予算額(円)	11,645,000
	予算の方向性	拡充	成果の方向性	拡大
	予算及び成果の方向性を判断した理由	久喜駅西口周辺のまちづくりは、関係権利者の方々と意見交換を行いながら、基本計画を策定し、事業化に向けて、より具体的な検討を進めていくことを予定しており、予算の方向性及び成果の方向性を拡充・拡大としました。		

取組み④	事業名	栗橋駅東口周辺まちづくり推進事業		所管部課	まちづくり推進部都市整備課		
	まちづくり重点施策		②【発展性】土地の高度利用や交通利便性の向上を図り、発展し続けるまち				
	令和６年度の成果・実績	関係権利者や駅東まちづくり推進協議会の委員など地域の方々にまちづくりに対する理解をより深めていただけるよう、土地区画整理事業に関する勉強会を開催し、意見交換を行いました。 また、令和５年度の意見交換会の結果を踏まえ、新たな整備案を作成しました。					
	令和６年度決算額(円)		2,750,000		令和７年度当初予算額(円)	3,531,000	
	予算の方向性		維持		成果の方向性	維持	
	予算及び成果の方向性を判断した理由	栗橋駅東口周辺のまちづくりは、整備案について協議会委員や地域の方々と意見交換を重ねながら検討している段階であることから、予算の方向性及び成果の方向性をともに維持としました。					
活動指標名称(単位)			年度	R 5 (現状値 (直近))	R 6	R 7	R 8
所管部課	まちづくり推進部 都市計画課						
南栗橋８丁目周辺地区整備進捗率(%)			目標値	49.6	49.6	69.6	89.6
			実績値	49.6	49.6		
			達成率	100.0%	100.0%		

＜施策の方向性（３）に関連する事務事業＞							
細施策名		住みやすく快適な住環境をつくれます					
取組み①	事業名	空家等対策事業	所管部課	市民部交通住宅課			
	まちづくり重点施策		②【発展性】土地の高度利用や交通利便性の向上を図り、発展し続けるまち				
	令和６年度の成果・実績	「久喜市空き家の活用サポート窓口（いえかつＫＵＫＩ）」において、協定事業者と連携して、空き家の相談対応を行いました。（令和6年度の相談件数は104件） 空家家バンクに1件登録（契約成立済）し、所有者が不明である管理不全空家等に対する緊急安全措置を1件実施しました。 また、空家等の除却に対して、補助金を2件交付しました。					
	令和６年度決算額(円)		905,460	令和７年度当初予算額（円）		2,218,000	
	予算の方向性		拡充	成果の方向性		拡大	
	予算及び成果の方向性を判断した理由	現在の施策を継続的に実施することに加え、第2次久喜市空家等対策計画を策定し、更に予防に重点をおいた空家等対策を図る必要があると判断したため、予算の方向性及び成果の方向性を拡充・拡大としました。					
	取組み②	事業名	ゼロカーボン推進事業	所管部課	環境経済部環境課		
まちづくり重点施策		⑥【環境】ゼロカーボンシティの実現を目指す環境にやさしいまち					
令和６年度の成果・実績		ゼロカーボンシティの実現に向け、再生可能エネルギー機器や省エネルギー機器を購入する市民に対し、394件19,698,000円の補助金を交付しました。 これにより、地球温暖化防止に寄与するとともに、市民の環境保全意識を高めることができました。					
令和６年度決算額(円)		19,698,000	令和７年度当初予算額（円）		22,561,000		
予算の方向性		維持	成果の方向性		維持		
予算及び成果の方向性を判断した理由		令和5年3月に策定した「第2次久喜市環境基本計画」において、2030（令和12）年度までに温室効果ガス排出量を50%削減する目標（2013（平成25）年度比）を掲げており、この目標を達成するため、市民による電気やガスの節約や利用の効率化などの取組みを推進する必要があると判断したことから、予算の方向性及び成果の方向性をともに維持としました。					
活動指標名称（単位）			年度	R 5（現状値（直近））	R 6	R 7	R 8
所管部課		市民部交通住宅課					
空家等除却件数（件）			目標値	16	28	41	53
			実績値	41	32		
			達成率	256.3%	114.3%		

令和７年度行政評価シート

１．前期基本計画について

基本目標	４	豊かな自然と調和し便利で快適な住み心地よいまちをつくる	
施策	４－２	安全で快適な道路の整備と公共交通の利便性を高める	
主管課	建設部道路建設課	関係課	市民部交通住宅課、建設部建設管理課、建設部道路維持課、まちづくり推進部産業拠点整備推進課
５年後のまちの姿			
地域間や拠点間を結ぶ幹線道路や生活道路の整備、橋梁の長寿命化の推進、歩行者や自転車の安全の確保により、安全で円滑な移動が実現しています。また、圏央道が４車線化され、久喜駅東側でスマートインターチェンジの整備が進んでいます。 さらに、民間事業者と市により公共交通が維持され、高齢化による交通弱者の増加にも対応しています。			
施策の方向性			
(１) 広域的交通利便性を最大限に生かすための道路整備を進めます (２) 生活道路と橋梁の安全性を高めます (３) 市内公共交通の利用を促します			

２．重要業績評価指標（ＫＰＩ）について

重要業績評価指標（ＫＰＩ）に係るグラフは別紙に記載

重要業績評価指標（ＫＰＩ）							
歩道整備延長（ｍ）							
年度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
目標値		160,660	161,300	161,700	165,000	165,000	165,000
実績値	159,250	160,118	160,735	161,519			
達成率		99.7%	99.6%	99.9%			
舗装整備率（％）							
年度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
目標値		75.12	75.20	75.28	75.36	75.44	75.52
実績値	75.04	75.13	75.22	75.27			
達成率		100.0%	100.0%	100.0%			
市が運行する公共交通利用者数（人）							
年度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
目標値		160,300	166,400	172,400	178,400	184,400	190,500
実績値	154,229	167,145	179,137	174,720			
達成率		104.3%	107.7%	101.3%			

3. 前年度行政評価委員会の意見について

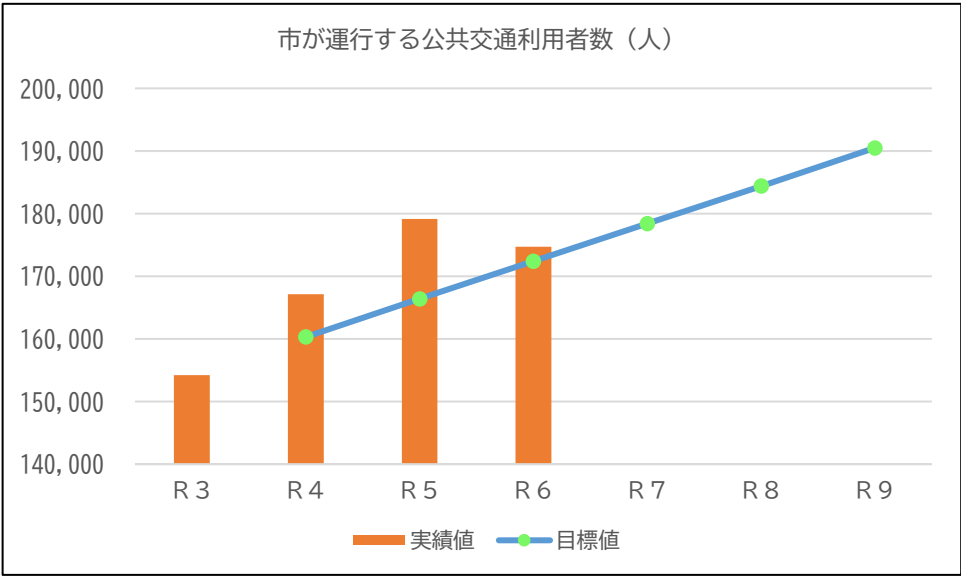
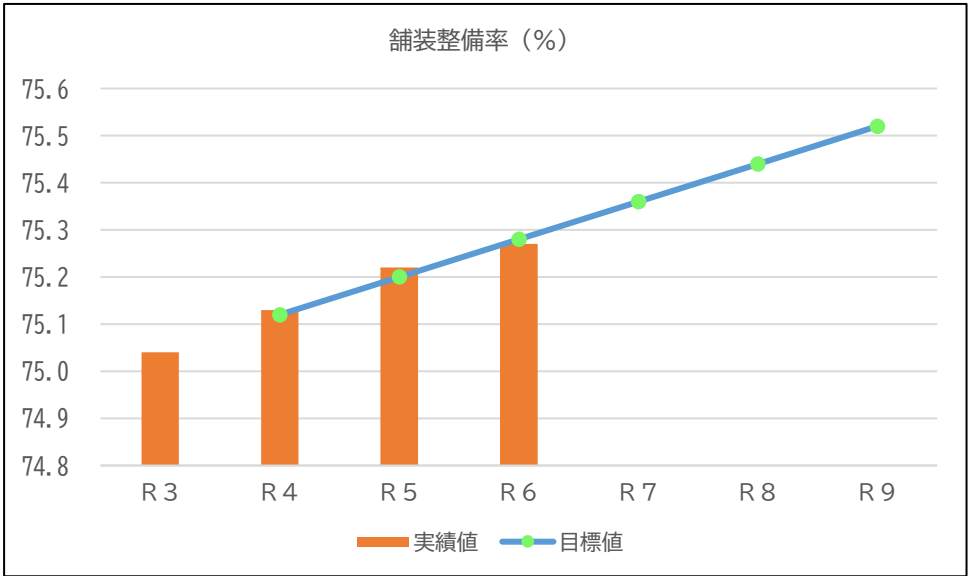
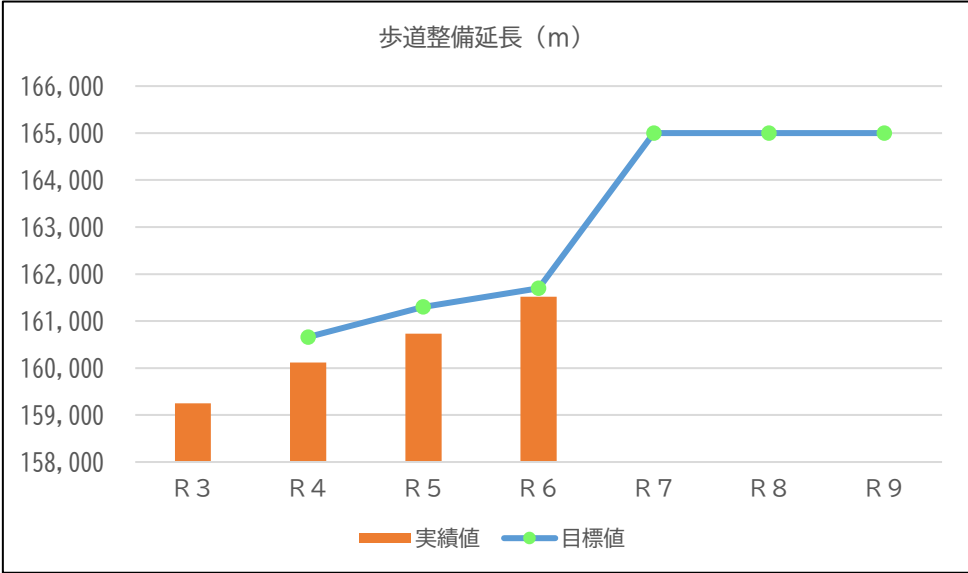
前年度行政評価委員会の意見
超高齢社会が進行し、交通弱者の増加が予想されることから、市内公共交通の利便性がより向上するよう取り組まれない。
「前年度行政評価委員会の意見」に対する実施状況・今後の方向性
令和6年度に「こどもから高齢者まで、誰もがわかりやすい公共交通」や「住みやすいまちを支える持続的な公共交通」などを基本理念に掲げた「久喜市地域公共交通計画」を策定しており、令和7年度に同計画に基づく「久喜市地域公共交通利便増進実施計画」を策定し、市公共交通の見直しを今後実施する予定です。

4. 施策の目標達成度、施策の主要課題及び今後の施策の方向性について

施策の目標達成度	☐ A	目標・予定を達成している	令和6年度重要業績評価指標（KPI）達成率が全て100%以上である。
	☒ B	目標・予定に概ね沿う成果・進捗である	令和6年度重要業績評価指標（KPI）達成率で、最も低い達成率が80%以上である。
	☐ C	目標・予定を下回る成果・進捗である	令和6年度重要業績評価指標（KPI）達成率で、80%未満の指標が1つ以上ある。
施策の主要課題及び今後の施策の方向性	【施策の主要課題】 広域的交通便利性を最大限に生かすための道路整備の推進に関しては、地区の関係権利者や周辺住民の理解と協力を得ながら、必要な事業用地を確保し、整備を推進していく必要があります。行政界に架かる橋梁については、橋梁整備費用に係る負担割合について関係自治体と協議する必要があります。 また、圏央道の高架構造区間におけるインターチェンジの設置については、橋脚の建設費などが嵩み事業費が高額となるため、国による事業化採択を受けることが難しい状況です。このことから、費用負担の少ないインターチェンジを実現するためには、国の制度変更が必要となっています。 生活道路と橋梁の安全性の向上については、生活の利便性向上を図るため、関係権利者や周辺住民の理解と協力を得ながら生活道路の整備を進めるとともに、道路や橋梁の修繕、計画的な橋梁点検を実施し、市民が安心・安全に道路や橋梁を利用できるよう事業を推進する必要があります。 市内公共交通の利用については、令和5年度に実施した市民アンケートにおいて、市内循環バスの再編や交通不便地域の解消を求める声が多くあり、運行開始時と比較して社会情勢等が変化していることから、市公共交通の見直しを行い、より多くの方が日常の移動手段として利用できるよう利便性の向上等を図ることが今後の課題です。 また、同アンケート結果では、市が運行する公共交通の今後について、「市が運行する公共交通を維持できるように利用料金を見直す」、「現行の費用の範囲内でサービス等を見直し運行を継続する」という回答が7割を超えていることから、今般の物価高騰を踏まえ、市が運行する公共交通の再編を検討していく必要があります。 【今後の方向性】 広域的交通便利性を最大限に生かすための道路整備の推進に関しては、関係権利者や周辺住民の理解と協力を得ながら、計画的な整備を進めていきます。行政界に架かる橋梁については、関係自治体が整備する路線の進捗状況を踏まえながら、橋梁整備に係る費用負担について関係自治体と協議を進めていきます。 また、（仮称）久喜東インターチェンジ設置促進連絡協議会による要望活動を継続して実施します。 生活道路と橋梁の安全性の向上については、道路や橋梁の現状を正確に把握することに努めるとともに、関係権利者や周辺住民の理解と協力を得ながら計画的な生活道路の整備や橋梁点検及び修繕工事を進めていきます。 市内公共交通の利用については、令和6年度において、公共交通のマスタープランである「久喜市地域公共交通計画」を策定し、令和7年度に、具体的な実施計画となる「久喜市地域公共交通利便増進実施計画」を策定する予定です。今後については、これらの計画において、令和5年度に整理した市公共交通の現状及び課題を踏まえた交通施策を検討し、市公共交通の見直しを実施していきます。		
評価年月日	令和7年7月2日	評価者職氏名	建設部長 島田 満

行政評価委員会の意見
超高齢社会に対応できるよう、市内循環バスなどの公共交通の更なる利便性の向上に取り組んでいただきたい。

【別紙】2. 重要業績評価指標（KPI）に係るグラフについて



5. 主要な事務事業

＜施策の方向性（１）に関連する事務事業＞				
細施策名		広域的交通利便性を最大限に生かすための道路整備を進めます		
取組み①	事業名	鷲宮産業団地青毛線整備事業	所管部課	建設部建設管理課、建設部道路建設課
	まちづくり重点施策	②【発展性】土地の高度利用や交通利便性の向上を図り、発展し続けるまち		
	令和6年度の成果・実績	事業対象の土地の関係権利者へ事業概要を説明するとともに、今後の用地買収時期等についての協議を行いました。		
	令和6年度決算額(円)	0	令和7年度当初予算額(円)	0
	予算の方向性	維持(ゼロ予算)	成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性及び成果の方向性については、各事業対象の土地の関係権利者の意向を踏まえながら用地交渉及び用地買収をしていく必要があるため、維持としました。		
取組み②	事業名	佐間・八甫線整備事業	所管部課	建設部道路建設課
	まちづくり重点施策	②【発展性】土地の高度利用や交通利便性の向上を図り、発展し続けるまち		
	令和6年度の成果・実績	一部の区間において道路改良工事を実施し、全長950mのうち約648mが完成しました。 また、佐間・八甫線と接続する県道阿佐間幸手線については、埼玉県との基本協定に基づき、歩道未整備区間の拡幅工事に着手しました。 このことにより、事業の推進を図ることができました。		
	令和6年度決算額(円)	176,621,940	令和7年度当初予算額(円)	137,663,000
	予算の方向性	皆減	成果の方向性	休廃止
	予算及び成果の方向性を判断した理由	佐間・八甫線の整備が令和8年3月に完了見込みであることから、予算の方向性については皆減、また成果の方向性については休廃止としました。		
取組み③	事業名	東停車場線整備事業	所管部課	建設部道路建設課
	まちづくり重点施策	②【発展性】土地の高度利用や交通利便性の向上を図り、発展し続けるまち		
	令和6年度の成果・実績	標準地価格の時点修正業務を実施し、事業対象の土地の関係権利者との用地交渉を行いました。		
	令和6年度決算額(円)	44,000	令和7年度当初予算額(円)	0
	予算の方向性	維持(ゼロ予算)	成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性及び成果の方向性については、各事業対象地権者の意向を踏まえながら用地交渉及び用地買収をしていく必要があることから、ともに維持としました。		

取組み④	事業名	スマートインターチェンジ整備推進事業〈再掲〉	所管部課	まちづくり推進部産業拠点整備推進課			
	まちづくり重点施策	②【発展性】土地の高度利用や交通利便性の向上を図り、発展し続けるまち					
	令和6年度の成果・実績	(仮称)久喜東インターチェンジ設置促進連絡協議会(久喜市・幸手市・杉戸町・宮代町)による国土交通省への要望活動を実施しました。					
	令和6年度決算額(円)	26,076	令和7年度当初予算額(円)	30,000			
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持			
	予算及び成果の方向性を判断した理由	(仮称)久喜東インターチェンジ設置促進連絡協議会による要望活動を継続して実施することから、予算の方向性及び成果の方向性ともに維持としました。					
取組み⑤	事業名	平沼和戸線整備事業	所管部課	建設部建設管理課、建設部道路建設課			
	まちづくり重点施策	②【発展性】土地の高度利用や交通利便性の向上を図り、発展し続けるまち					
	令和6年度の成果・実績	一部の区間において路盤改良から上層路盤までの道路築造工事に着手しました。					
	令和6年度決算額(円)	12,257,000	令和7年度当初予算額(円)	0			
	予算の方向性	維持(ゼロ予算)	成果の方向性	維持			
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性及び成果の方向性については、各事業対象の土地の関係権利者の意向を踏まえながら用地交渉及び用地買収をしていく必要があることから、ともに維持としました。					
取組み⑥	事業名	杉戸久喜線整備負担金事業	所管部課	建設部建設管理課			
	まちづくり重点施策	②【発展性】土地の高度利用や交通利便性の向上を図り、発展し続けるまち					
	令和6年度の成果・実績	整備負担金を支出することで、埼玉県杉戸県土整備事務所により、道路工事を実施する上で必要な詳細構造等を決定するための道路詳細設計業務が実施され、事業の進捗が図られました。 また、令和6年11月2日に住民説明会が開催され、用地測量の段階に進みました。					
	令和6年度決算額(円)	2,979,034	令和7年度当初予算額(円)	10,900,000			
	予算の方向性	拡充	成果の方向性	維持			
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性については、令和7年度以降は用地測量・物件調査・用地買収業務を実施することとなり、用地買収等の進捗状況により負担金の増額が見込まれるため、拡充としました。 成果の方向性については、杉戸久喜線の整備に向けた用地測量・物件調査・用地買収業務が継続して実施されることから維持としました。					
活動指標名称(単位)		年度	R 5 (現状値(直近))	R 6	R 7	R 8	
所管部課	建設部道路建設課						
東停車場線の延伸整備進捗率(%)			目標値	14.6	12.6	17.5	17.5
			実績値	11.3	11.3		
			達成率	77.4%	89.7%		

<施策の方向性（2）に関連する事務事業>				
細施策名		生活道路と橋梁の安全性を高めます		
取組み①	事業名	道路新設改良事業	所管部課	建設部道路建設課
	まちづくり重点施策	②【発展性】土地の高度利用や交通利便性の向上を図り、発展し続けるまち		
	令和6年度の成果・実績	市内6路線、延長約490mの整備工事を実施しました。 また、設計業務4件、境界標埋設等業務2件、物件移転補償2件を実施し、事業の進捗が図られました。		
	令和6年度決算額(円)	70,832,989	令和7年度当初予算額(円)	87,917,000
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	道路新設改良事業については、国や県等の補助金を受けて整備を行う道路や、開発を行っている地域の道路整備を引き続き進めるため、予算の方向性及び成果の方向性ともに維持としました。		
取組み②	事業名	道路補修事業	所管部課	建設部道路維持課
	まちづくり重点施策	—		
	令和6年度の成果・実績	道路や側溝、道路付属物等の損傷箇所への対応として、冠水調査業務1件、補修工事131件を実施し、安全・安心に利用できる道路を確保することができました。		
	令和6年度決算額(円)	208,478,867	令和7年度当初予算額(円)	165,300,000
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	市内全域の道路環境を保全し、安全・安心に利用してもらうためには、道路等の現状把握に努め、適切な補修工事等を継続的に実施する必要があるため、予算の方向性及び成果の方向性ともに維持としました。		
取組み③	事業名	橋りょう長寿命化修繕事業	所管部課	建設部道路建設課
	まちづくり重点施策	①【全市民】市民一人ひとりが主役の住みやすいまち		
	令和6年度の成果・実績	道路法施行規則により5年に1回の頻度で定期点検を実施することが義務化されており、「久喜市橋梁長寿命化修繕計画」（令和6年11月見直し）に基づき、橋りょう定期点検を実施し、判定Ⅲ以上と診断された橋りょうについては、次回点検までに修繕を実施する必要があります。 橋長2.0m以上の橋りょうについて、149橋の定期点検を実施しました。 また、定期点検の結果、判定Ⅲと診断された橋りょうの修繕工事を15橋実施し、計画的な修繕を行うことで橋りょうの長寿命化と安全性の確保を図りました。		
	令和6年度決算額(円)	98,411,200	令和7年度当初予算額(円)	149,548,000
	予算の方向性	拡充	成果の方向性	拡大
	予算及び成果の方向性を判断した理由	令和8年度については、鉄道を跨ぐ橋りょう修繕工事及び点検や橋りょう架換工事等を実施する必要があることから、予算の方向性については拡充、成果の方向性については拡大とし、事業を継続し橋りょうの長寿命化と安全性の確保に努めます。		

取組み④	事業名	橋りょう架換負担金事業		所管部課	建設部道路建設課		
	まちづくり重点施策		④【安心】誰ひとり取り残さないやさしさにあふれ、安心して暮らせるまち				
	令和6年度の成果・実績	埼玉県が実施する河川改修事業に伴う橋りょうの架換事業について、市道橋の拡幅等に係る割合の費用を負担することで整備の促進が図られました。 ①一級河川中川：島川橋、古門樋橋 ②一級河川青毛堀川：東大境橋					
	令和6年度決算額(円)		98,108,878	令和7年度当初予算額（円）	138,442,000		
	予算の方向性		維持	成果の方向性	維持		
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性及び成果の方向性については、引き続き、令和7年度と同等の橋りょう整備を推進していくことから、ともに維持としました。					
活動指標名称（単位）			年度	R 5（現状値 （直近））	R 6	R 7	R 8
所管部課	建設部道路建設課						
橋りょう点検判定Ⅲの修繕率（％）			目標値	58.0	79.0	100.0	100.0
			実績値	58.3	82.7		
			達成率	100.5%	104.7%		

＜施策の方向性（３）に関連する事務事業＞				
細施策名		市内公共交通の利用を促します		
取組み①	事業名	市内循環バス運行事業	所管部課	市民部交通住宅課
	まちづくり重点施策		②【発展性】土地の高度利用や交通利便性の向上を図り、発展し続けるまち	
	令和６年度の成果・実績	市内循環バスとして、ノンステップバス４台を月曜日から土曜日（祝日及び年末年始を除く）に、７ルート６６便で運行しました。 また、令和５年にタクシー事業者や路線バス事業者が運賃改定を実施したことを受け、民間事業者と競合することのないよう均衡を図る必要があることから、令和６年９月１日に市内循環バスの運賃改定を実施するとともに、無料対象者の拡充等の制度見直しを実施しました。 当該改正内容については、各停留所において事前周知を実施したほか、市ホームページやＳＮＳ等への掲載等により周知を図りました。 併せて、公共交通の積極的な利用を図るため、市ホームページなどで周知を実施した結果、令和６年度の利用者数は、延べ１２７，５１６人でした。（令和５年度と比較して３，１８９人の減少）		
	令和６年度決算額(円)	68,802,582	令和７年度当初予算額（円）	66,655,000
	予算の方向性	拡充	成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性については、物価高騰に伴う燃料費等の上昇や車両の老朽化に伴う車両の入替を実施する必要があることから、拡充としました。 成果の方向性については、現在の運行内容を継続することから維持としました。		
取組み②	事業名	デマンド交通運行事業	所管部課	市民部交通住宅課
	まちづくり重点施策		②【発展性】土地の高度利用や交通利便性の向上を図り、発展し続けるまち	
	令和６年度の成果・実績	月曜日から土曜日（祝日及び年末年始を除く）に、１日４０便（１台１０便×４台）で運行しました。 また、令和５年にタクシー事業者や路線バス事業者が運賃改定を実施したことを受け、民間事業者と競合することのないよう均衡を図る必要があることから、令和６年９月１日にデマンド交通の運賃改定を実施するとともに、半額対象者の拡充等の見直しを実施しました。 当該改正内容については、市ホームページやＳＮＳ等への掲載等により周知を図りました。 より多くの方に市内の公共交通等を積極的にご利用いただくため、ホームページなどで周知を実施した結果、令和６年度の利用者数は、延べ１８，４７６人でした。（令和５年度と比較して７１０人の減少） また、新たに整備した公共施設や名称等が変更となっている箇所のほか、休止・廃止となっている箇所について、乗降ポイントの見直しを実施しました。		
	令和６年度決算額(円)	51,741,753	令和７年度当初予算額（円）	53,171,000
	予算の方向性	拡充	成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性については、物価高騰に伴う燃料費等の上昇や車両の老朽化に伴う車両の入替を実施する必要があることから、拡充としました。 成果の方向性については、現在の運行内容を継続することから維持としました。		

取組み③	事業名	くきふれあいタクシー（補助タク）事業	所管部課	市民部交通住宅課		
	まちづくり重点施策	②【発展性】土地の高度利用や交通利便性の向上を図り、発展し続けるまち				
	令和6年度の成果・実績	月曜日から土曜日（祝日及び年末年始を除く）の、9時～17時に運行しました。 より多くの市民に市内の公共交通を積極にご利用いただくため、ホームページなどで周知を図りました。 また、令和6年9月1日に利用者負担額の平準化と利用対象者の拡大（妊産婦を追加）などの見直しを実施し、改正内容について、市ホームページやSNS等で周知を図りました。 令和6年度の利用者数は、延べ28,728人でした。（令和5年度と比較して518人の減少）				
	令和6年度決算額(円)	23,082,920	令和7年度当初予算額（円）	24,203,000		
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持		
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性については、令和6年9月1日から利用者負担額の平準化と利用対象者の拡充を実施しましたが、本事業の対象をタクシー会社1社当たり2台運行することを上限としており、稼働台数の変更はないため維持としました。 成果の方向性については、現在の運行内容を継続することから維持としました。				
取組み④	事業名	地域公共交通充実事業	所管部課	市民部交通住宅課		
	まちづくり重点施策	②【発展性】土地の高度利用や交通利便性の向上を図り、発展し続けるまち				
	令和6年度の成果・実績	久喜市地域公共交通計画の策定等に係る審議を行う地域公共交通会議を4回開催しました。 令和7年3月に、今後の久喜市における公共交通のマスタープランとなる久喜市地域公共交通計画を策定しました。				
	令和6年度決算額(円)	8,304,000	令和7年度当初予算額（円）	10,852,000		
	予算の方向性	維持	成果の方向性	拡大		
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性については、「久喜市地域公共交通利便増進実施計画」を令和7年度に策定することに引き続き、同計画に掲げる公共交通再編支援業務に係る委託料が必要となるため、維持としました。 成果の方向性については、市が運行する公共交通の再編を検討することから拡大としました。				
取組み⑤	事業名	鉄道輸送力増強推進事業	所管部課	市民部交通住宅課		
	まちづくり重点施策	②【発展性】土地の高度利用や交通利便性の向上を図り、発展し続けるまち				
	令和6年度の成果・実績	JR宇都宮線整備促進連絡協議会、東武伊勢崎線輸送力増強推進協議会、地下鉄7号線建設誘致期成同盟会及び東北新幹線久喜駅設置促進期成同盟会にて、それぞれの関係機関へ要望活動を実施しました。				
	令和6年度決算額(円)	32,806	令和7年度当初予算額（円）	31,000		
	予算の方向性	縮小	成果の方向性	維持		
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性については、東北新幹線久喜駅設置促進期成同盟会の要望活動を郵送にて実施することとしたため、縮小としました。 成果の方向性については、現在の活動内容を継続することから維持としました。				
活動指標名称（単位）		年度	R 5（現状値（直近））	R 6	R 7	R 8
所管部課	市民部交通住宅課					
市内循環バス1日当たり運行便数（便）		目標値	66	66	66	66
		実績値	66	66		
		達成率	100.0%	100.0%		

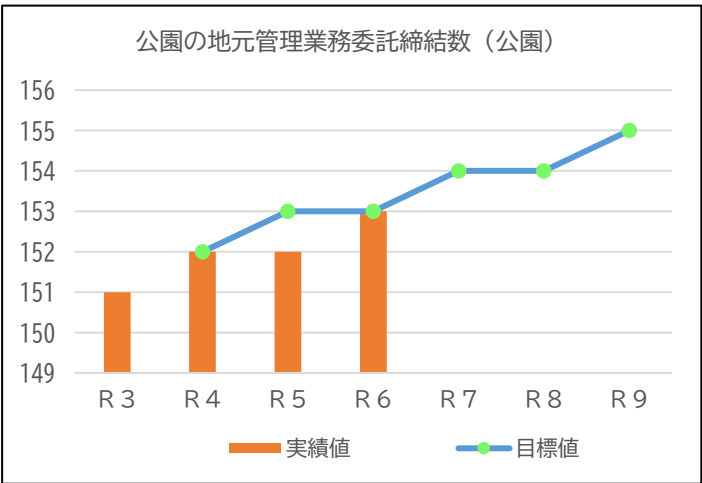
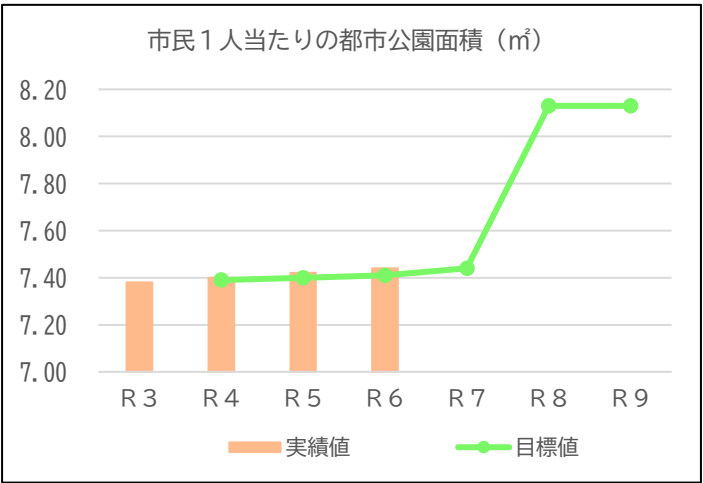
令和7年度行政評価シート

1. 前期基本計画について

基本目標	4	豊かな自然と調和し便利で快適な住み心地よいまちをつくる	
施策	4－3	憩いとやすらぎの空間を充実する	
主管課	まちづくり推進部公園緑地課	関係課	総合政策部企画政策課、 環境経済部資源循環推進課
5年後のまちの姿			
身近な公園施設が整備されるとともに、行政と市民の協働のもと、維持管理が適切に行われ、市民の憩いとやすらぎの空間が実現しています。 また、多様な生態系の保全に繋がる生物の生息・生育に配慮した水辺環境の保全や、市民参加による緑化が実現しています。			
施策の方向性			
(1) 市民等に親しまれる公園を整備します (2) 公園施設の計画的な長寿命化等の推進と、管理への市民参加を促します (3) 良好な水辺環境を保全し、公共空間の緑化を推進します			

2. 重要業績評価指標（KPI）について

重要業績評価指標（KPI）							
市民1人当たりの都市公園面積（㎡）							
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
目標値		7.39	7.40	7.41	7.44	8.13	8.13
実績値	7.38	7.40	7.42	7.44			
達成率		100.1%	100.3%	100.4%			
公園の地元管理業務委託締結数（公園）							
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
目標値		152	153	153	154	154	155
実績値	151	152	152	153			
達成率		100.0%	99.3%	100.0%			



3. 前年度行政評価委員会の意見について

前年度行政評価委員会の意見
市内の公園や緑地について、能動的な維持管理や点検を実現されたい。
「前年度行政評価委員会の意見」に対する実施状況・今後の方向性
令和7年度に公園施設長寿命化計画の見直しを行うとともに、引き続き、公園施設の計画的な予防保全を推進していきます。

4. 施策の目標達成度、施策の主要課題及び今後の施策の方向性について

施策の目標達成度	■ A	目標・予定を達成している	令和6年度重要業績評価指標（KPI）達成率が全て100%以上である。
	□ B	目標・予定に概ね沿う成果・進捗である	令和6年度重要業績評価指標（KPI）達成率で、最も低い達成率が80%以上である。
	□ C	目標・予定を下回る成果・進捗である	令和6年度重要業績評価指標（KPI）達成率で、80%未満の指標が1つ以上ある。
施策の主要課題及び今後の施策の方向性	【施策の主要課題】 市民等に親しまれる公園の整備については、市民の憩いと安らぎの空間を充実させるため、（仮称）本多静六記念市民の森・緑の公園の整備等の推進が必要です。 また、市内における公園施設の老朽化に対応するため、公園施設長寿命化計画や遊具点検に基づく計画的な修繕や更新が求められています。 さらに、公園を安全かつ快適に利用していただくため、除草や樹木剪定等を適宜行う必要があります。 良好な水辺環境の保全と、公共空間の緑化の推進については、多様な生態系の保全に繋がる生物・生育に配慮した水辺環境を保全するとともに、市民が憩える美しく潤いのある水辺の環境づくりが必要です。 また、街路樹や公園等の公共空間の緑化を推進するとともに、市民参加による緑の保全と緑化の推進が求められています。 【今後の方向性】 市民等に親しまれる公園の整備については、（仮称）本多静六記念市民の森・緑の公園の整備等を進め、市民の憩いと安らぎの空間の充実を図ります。 公園施設長寿命化計画の見直しや遊具点検を実施し、計画的に効率よく施設の修繕・更新を行っていきます。 また、公園・緑地の管理については、引き続き、地元による管理を周知し、市民との協同による管理を推進していきます。 良好な水辺環境の保全については、市民参加などの様々な手法により、多様な生態系に配慮した水辺環境の保全を推進します。また、レクリエーションや水に親しむ場の創出に努めます。 公共空間の緑化の推進については、公園をはじめとした公共空間の緑化を推進し、一般家庭への苗木配布等を進めるとともに、保存樹木・樹林等の緑の保全に努めます。		
評価年月日	令和7年7月2日	評価者職氏名	まちづくり推進部長 小沢 亮二

行政評価委員会の意見
公園の遊歩道や市有林等の資産について適切な保全を行い、地域に開かれた活用を検討いただきたい。また、市民や企業との協働による維持管理についても検討いただきたい。

5. 主要な事務事業

＜施策の方向性（１）に関連する事務事業＞				
取組み①	細施策名	市民等に親しまれる公園を整備します		
	事業名	余熱利用施設及び(仮称)本多静六記念 市民の森・緑の公園一体整備事業	所管部課	環境経済部資源循環推進課
	まちづくり重点施策	⑥【環境】ゼロカーボンシティの実現を目指す環境にやさしいまち		
	令和６年度の成果・実績	令和6年3月19日に契約締結した余熱利用施設及び（仮称）本多静六記念 市民の森・緑の公園一体整備運営事業に関する事業契約に基づき、余熱利用施設及び公園の設計業務を行いました。 また、同事業が要求水準書や提案書どおりに進んでいるか確認するため、業務委託によりモニタリング業務を実施しました。 その他、公園内への記念樹木の植栽を目的として、記念樹木の挿木苗88本の育成管理業務を行いました。		
	令和６年度決算額(円)	62,919,252	令和７年度当初予算額（円）	479,799,000
	予算の方向性	拡充	成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性について、P F I 事業契約に基づく支払額が増額となることから、拡充としました。 成果の方向性は、余熱利用施設及び公園について令和7年度から継続して、令和9年4月の供用開始に向けた建設・工事監理業務等を予定していることから、維持としました。		
取組み②	事業名	栗橋駅西土地区画整理事業地内公園整備事業	所管部課	まちづくり推進部公園緑地課
	まちづくり重点施策	－		
	令和６年度の成果・実績	12号街区公園の整備工事を実施し、令和7年3月13日に供用を開始することができました。		
	令和６年度決算額(円)	42,317,656	令和７年度当初予算額（円）	972,000
	予算の方向性	休廃止	成果の方向性	休廃止
	予算及び成果の方向性を判断した理由	令和8年度については事業の緊急性を考慮し、公園の新規整備に係る事業を延期することとしたため、予算の方向性及び成果の方向性を休廃止としました。		
取組み③	事業名	公園施設改修事業	所管部課	まちづくり推進部公園緑地課
	まちづくり重点施策	－		
	令和６年度の成果・実績	公園施設等の改修に係る業務委託及び工事を実施しました。 ・弦代公園園路改修工事に伴う設計業務委託 ・沼井公園及び弦代公園時計設置工事 公園施設の改修工事を実施したことにより、公園利用者が安心して快適に利用できる状態を保つことができました。		
	令和６年度決算額(円)	1,461,900	令和７年度当初予算額（円）	28,667,000
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	久喜市公園施設長寿命化計画に基づき、引き続き、公園施設の改修工事を実施していくため、予算の方向性及び成果の方向性をともに維持としました。		

取組み④	事業名	下清久鶴ノ谷公園整備事業		所管部課	総合政策部企画政策課、まちづくり推進部公園緑地課		
	まちづくり重点施策		①【全市民】市民一人ひとりが主役の住みやすいまち				
	令和6年度の成果・実績	令和6年度に設計業務を行う予定でしたが、事業見直しの結果、事業実施を延期することとしました。					
	令和6年度決算額(円)		0	令和7年度当初予算額(円)		0	
	予算の方向性		休廃止	成果の方向性		休廃止	
	予算及び成果の方向性を判断した理由	令和7年度に引き続き、事業の緊急性を考慮し、公園の設計業務を延期することから、予算の方向性及び成果の方向性を休廃止としました。					
活動指標名称(単位)			年度	R 5 (現状値(直近))	R 6	R 7	R 8
所管部課	まちづくり推進部公園緑地課						
栗橋駅西土地区画整理事業地内公園整備箇所数(全8箇所)(箇所)			目標値	5	6	6	7
			実績値	5	6		
			達成率	100.0%	100.0%		

＜施策の方向性（２）に関連する事務事業＞						
細施策名		公園施設の計画的な長寿命化等の推進と、管理への市民参加を促します				
取組み①	事業名	公園施設改修事業〈再掲〉	所管部課	まちづくり推進部公園緑地課		
	まちづくり重点施策		－			
	令和６年度の成果・実績	公園施設等の改修に係る業務委託及び工事を実施しました。 ・弦代公園園路改修工事に伴う設計業務委託 ・沼井公園及び弦代公園時計設置工事 公園施設の改修工事を実施したことにより、公園利用者が安心して快適に利用できる状態を保つことができました。				
	令和６年度決算額(円)		1,461,900	令和７年度当初予算額（円）	28,667,000	
	予算の方向性		維持	成果の方向性	維持	
	予算及び成果の方向性を判断した理由	久喜市公園施設長寿命化計画に基づき、引き続き、公園施設の改修工事を実施していくため、予算の方向性及び成果の方向性をともに維持としました。				
取組み②	事業名	公園維持管理事業	所管部課	まちづくり推進部公園緑地課		
	まちづくり重点施策		①【全市民】市民一人ひとりが主役の住みやすいまち			
	令和６年度の成果・実績	公園等の清掃、除草及び樹木剪定のほか、各施設の点検並びに修繕等を実施しました。 ・施設等修繕（54件）、施設等の維持管理業務（64件）、保守点検業務（遊具618基他）、樹木剪定業務（31件）、除草業務（15件）、施設改修工事（5件）、施設の管理運営に係る経費（光熱水費他） 適正な維持管理に努めたことにより、公園利用者が安心して快適に利用できる状態を保つことができました。				
	令和６年度決算額(円)		206,413,082	令和７年度当初予算額（円）	221,002,000	
	予算の方向性		維持	成果の方向性	維持	
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性及び成果の方向性については、市民の憩いの場である公園を、利用者が安心して快適に利用できる状態に保つため、点検や修繕を引き続き実施していくことから、維持としました。				
活動指標名称（単位）		年度	R 5（現状値（直近））	R 6	R 7	R 8
所管部課	まちづくり推進部公園緑地課					
公園施設改修数（件）		目標値	21	30	19	21
		実績値	17	30		
		達成率	81.0%	100.0%		

＜施策の方向性（３）に関連する事務事業＞							
細施策名		良好な水辺環境を保全し、公共空間の緑化を推進します					
取組み①	事業名	緑化推進事業		所管部課	まちづくり推進部公園緑地課		
	まちづくり重点施策		－				
	令和６年度の成果・実績	市内の緑の減少傾向に歯止めをかけ、緑豊かな住みよい環境をつくるため、保存樹木（183本）及び保存樹林（6か所）の所有者に対し奨励金を交付するとともに、市内の一般家庭へ苗木（170本）を配布しました。 また、現行の「久喜市緑の基本計画」が令和6年度に目標年次を迎えたため、新たな緑の基本計画を令和7年度から令和16年度までの10年間を計画期間として令和7年3月に策定しました。					
	令和６年度決算額(円)		14, 206, 116		令和７年度当初予算額（円）	1, 247, 000	
	予算の方向性		維持		成果の方向性	維持	
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性及び成果の方向性については、久喜市緑の基本計画等に基づき、引き続き緑地の保全及び緑化の推進を図ることから、維持としました。					
活動指標名称（単位）			年度	R 5（現状値（直近））	R 6	R 7	R 8
所管部課	まちづくり推進部 公園緑地課						
樹木樹林生垣奨励金交付件数（件）			目標値	260	219	240	260
			実績値	197	190		
			達成率	75. 8%	86. 8%		

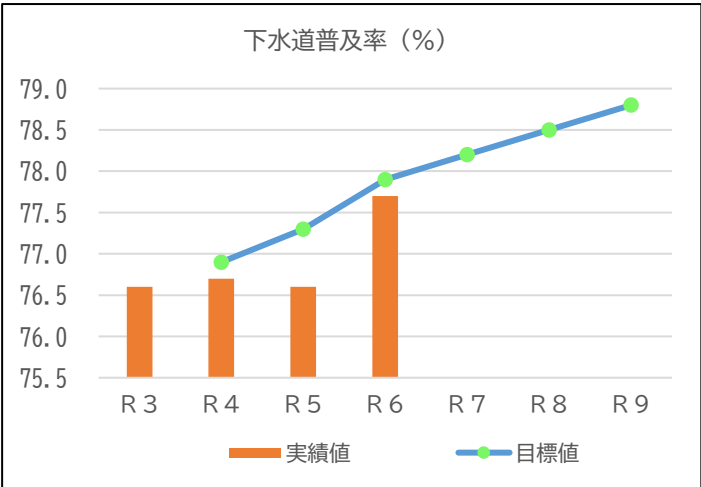
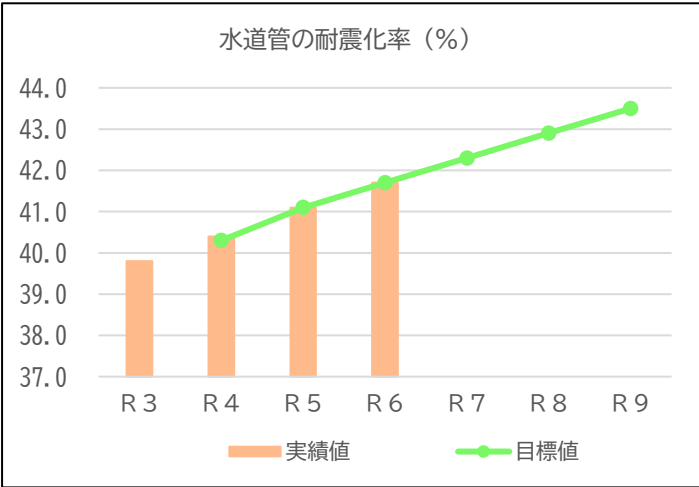
令和7年度行政評価シート

1. 前期基本計画について

基本目標	4	豊かな自然と調和し便利で快適な住み心地よいまちをつくる	
施策	4－4	安全・安心な水道水の供給と衛生的な生活環境をつくる	
主管課	上下水道部上下水道経営課		関係課 上下水道部水道施設課、上下水道部下水道施設課
5年後のまちの姿			
計画的な水道施設の更新・耐震化及び効率的な事業運営が図られ、水道水が安定的に供給されています。 また、公共下水道の計画的な整備、農業集落排水処理施設の適切な維持管理及び合併処理浄化槽の普及により、衛生的で快適なまちが実現しています。			
施策の方向性			
(１) 水道水を安定的に供給します (２) 公共下水道施設の整備を推進します (３) 農業集落排水処理施設の適切な維持管理と合併処理浄化槽への転換を進めます			

2. 重要業績評価指標（KPI）について

重要業績評価指標（KPI）							
水道管の耐震化率（％）							
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
目標値		40.3	41.1	41.7	42.3	42.9	43.5
実績値	39.8	40.4	41.1	41.7			
達成率		100.2%	100.0%	100.0%			
下水道普及率（％）							
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
目標値		76.9	77.3	77.9	78.2	78.5	78.8
実績値	76.6	76.7	76.6	77.7			
達成率		99.7%	99.1%	99.7%			



3. 前年度行政評価委員会の意見について

前年度行政評価委員会の意見
老朽化した配水管について、計画的な更新を引き続き実施されたい。 また、下水道整備を推進し、衛生的な環境整備を今後も進めていただきたい。
「前年度行政評価委員会の意見」に対する実施状況・今後の方向性
老朽化した配水管については、使用年数や漏水調査の結果などを勘案し、計画的に更新、耐震化を行いました。今後についても、水道水の安定供給を図るべく、計画的な整備を実施します。 また、衛生的で快適なまちを実現するため、令和6年度は、公共下水道を3401.5m整備し、農業集落排水処理施設の維持管理については、マンホールポンプの清掃を1件、修繕を9件、管の清掃を3件、マンホール蓋の交換を6件、処理施設の修繕を20件実施し、合併処理浄化槽も19基転換を行いました。今後も同様に環境整備を進めていきます。

4. 施策の目標達成度、施策の主要課題及び今後の施策の方向性について

施策の目標達成度	☐ A	目標・予定を達成している	令和6年度重要業績評価指標（KPI）達成率が全て100%以上である。
	☒ B	目標・予定に概ね沿う成果・進捗である	令和6年度重要業績評価指標（KPI）達成率で、最も低い達成率が80%以上である。
	☐ C	目標・予定を下回る成果・進捗である	令和6年度重要業績評価指標（KPI）達成率で、80%未満の指標が1つ以上ある。
施策の主要課題及び今後の施策の方向性	【施策の主要課題】 水道水の安定供給については、人口減少や物価高騰等に伴う水需要の減少、水道施設の老朽化による更新需要の増大、配水池や配水管の耐震化による自然災害に強い施設や危機管理体制の構築、水道料金を滞納している給水契約者への対応などが、直面している課題と捉えています。 また、公共下水道施設を整備する中で、健全な経営を確保するための取り組みとして、下水道普及率の向上を目的とした未接続世帯への戸別訪問や通知の発送などを実施しておりますが、更なる接続促進にあたっては、ひとり暮らしの高齢者や不便を感じていない世帯に対する意識改革の方策や、接続工事に要する多額の費用などが課題に挙げられます。 次に、農業集落排水処理施設の適切な維持管理については、各処理場の老朽化が顕在化しており、修繕や維持管理費用が増加傾向にあることから、『久喜市下水道事業中期経営計画』に定められた処理場の機能強化事業や公共下水道への接続を、今後も計画的に進めていく必要があります。 また、合併処理浄化槽への転換においても、公共下水道施設の未接続と同様の要因で、転換が進まない世帯があることが課題となっています。 【今後の方向性】 安全な水道水を安定的に供給するため、老朽化した施設の計画的な更新や耐震化の推進を図り、災害に強い施設を構築していきます。また、健全な経営を確保するため、引き続き経費の削減を図りながら、給水契約者の利便性の向上のため、収納方法の拡充を行うとともに、滞納者への対策を強化し、大切な財源である水道料金の収納率の向上に努めます。 公共下水道施設を整備する中で下水道普及率向上のための取り組みとしては、未接続世帯の現状把握を進め、引き続き戸別訪問や促進通知による接続促進を行います。 農業集落排水処理施設の維持管理については、委託先の維持管理事業者からの報告を基に各施設の状況を適格に把握し、速やかな修繕を行うなど、引き続き施設の適切な維持管理に努めます。また、『久喜市下水道事業中期経営計画』に定められた処理場の機能強化事業や公共下水道への接続を、今後も計画的に進めていきます。 また、合併処理浄化槽への転換についても、通知による補助制度の周知を進め、対象者への転換促進を図ります。 なお、上下水道事業の施設の更新については、法定耐用年数や耐震化を念頭に、適切な維持管理を実施し、計画的な事業展開を図っていきます。		
評価年月日	令和7年7月2日	評価者職氏名	上下水道部長 神谷 久孝

行政評価委員会の意見
他市で発生した道路陥没事故と同様の事故が発生することを防ぐために、引き続き配水管や下水道管の点検や更新等の業務を適切に行っていただきたい。

5. 主要な事務事業

＜施策の方向性（１）に関連する事務事業＞				
細施策名		水道水を安定的に供給します		
取組み①	事業名	浄水場施設更新事業	所管部課	上下水道部水道施設課
	まちづくり重点施策		①【全市民】市民一人ひとりが主役の住みやすいまち	
	令和６年度の成果・実績	経年劣化した浄水場施設を更新する「佐間浄水場配水設備更新工事」及び「八甫浄水場配水設備更新等工事」を実施するとともに、令和６年度から２か年継続事業で実施する「吉羽・本町浄水場配水設備及び県水受水設備更新工事」に着手しました。 また、配水池の耐震化を図るため、「八甫浄水場No.２PC配水池耐震補強及び改修工事」を実施しました。 これらを実施したことにより、水道水の安定供給を図ることができました。		
	令和６年度決算額(円)	563,229,000	令和７年度当初予算額（円）	733,854,000
	予算の方向性	拡充	成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性については、久喜市水道ビジョンで計画した浄水場施設の更新やPC配水池の耐震補強及び改修工事を実施することから、拡充としました。 成果の方向性については、今後も浄水場施設の更新やPC配水池の耐震化を行うことにより、水道水の安定供給を図ることから、維持としました。		
取組み②	事業名	配水管更新整備事業	所管部課	上下水道部水道施設課
	まちづくり重点施策		①【全市民】市民一人ひとりが主役の住みやすいまち	
	令和６年度の成果・実績	配水管の使用年数や漏水調査の結果などを勘案し、計画的に更新及び耐震化を行いました。 令和６年度は、配水管の更新・新設工事を１４本、配水管の更新に伴う舗装本復旧工事を８本、合計２２本の工事を実施しました。 配水管の整備を推進したことにより、管路の耐震化率が令和５年度末と比較し０.６ポイント増の４１.７％となりました。		
	令和６年度決算額(円)	1,173,463,500	令和７年度当初予算額（円）	1,306,709,000
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	今後も老朽化した配水管を計画的に整備することにより、水道水の安定供給を図ることから、予算の方向性及び成果の方向性ともに維持としました。		

取組み③	事業名	水道事業徴収事務事業		所管部課	上下水道部上下水道経営課		
	まちづくり重点施策		－				
	令和6年度の成果・実績	各戸の水道使用水量に応じて各給水契約者から水道料金を徴収するにあたり、給水装置工事の竣工検査、各戸検針を踏まえ、水道料金の調定確定・収納・更正を実施しました。なお、水道料金を滞納している給水契約者に対し、督促を20,403件、催告を6,199件、給水停止を478件、支払督促申立を13件実施しました。					
	令和6年度決算額(円)		109,606,300		令和7年度当初予算額(円)	115,938,000	
	予算の方向性		拡充		成果の方向性	維持	
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性については、上下水道料金システムが導入から8年を経過（令和7年3月31日時点）しており、その更改のための費用が必要となることから拡充としました。 成果の方向性については、給水契約者の利便性の向上のため収納方法の拡充を行うとともに、自主財源の確保と公平性の観点から引き続き滞納者への対策を強化し、収納率の向上に取り組みますが、既に高い水準を維持していることから維持としました。					
活動指標名称（単位）			年度	R 5（現状値 （直近））	R 6	R 7	R 8
所管部課	上下水道部水道施設課						
老朽化した水道管の更新延長（m）			目標値	6,484.0	5,325.0	5,476.0	5,476.0
			実績値	6,197.1	5,670.2		
			達成率	95.6%	106.5%		

＜施策の方向性（２）に関連する事務事業＞						
細施策名		公共下水道施設の整備を推進します				
取組み①	事業名	下水道管布設事業	所管部課	上下水道部下水道施設課		
	まちづくり重点施策		①【全市民】市民一人ひとりが主役の住みやすいまち			
	令和６年度の成果・実績	下水道事業計画区域内の未整備地区【菖蒲地区4か所（菖蒲町三箇3か所、菖蒲町菖蒲）、栗橋地区5か所（伊坂北1丁目2か所、伊坂北2丁目、伊坂中央1丁目、伊坂南1丁目）、鷺宮地区1か所（西大輪1丁目）】に下水道管を布設しました。 整備面積 9.4ha 整備延長 3401.5m 整備率 85.5%				
	令和６年度決算額(円)	647,969,300	令和７年度当初予算額（円）	1,165,117,000		
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持		
	予算及び成果の方向性を判断した理由	中期経営計画の整備率目標90%に向けて、引き続き菖蒲地区及び栗橋地区を重点的に整備を進めて行く必要があるため、予算の方向性及び成果の方向性ともに維持としました。				
	取組み②	事業名	下水道管布設替事業	所管部課	上下水道部下水道施設課	
まちづくり重点施策		－				
令和６年度の成果・実績		管路の定期的な点検を行い、令和6年度において早急に布設替え工事が必要となる箇所がないと判断し、下水道未整備地区の工事を優先したため、布設替え工事を実施しませんでした。				
令和６年度決算額(円)		0	令和７年度当初予算額（円）	11,660,000		
予算の方向性		拡充	成果の方向性	拡大		
予算及び成果の方向性を判断した理由		下水道管の老朽化が進む中、調査・点検によって管のたるみや漏水の箇所を把握することにより、今後、布設替え工事を必要とする箇所の増加が見込まれることから、予算の方向性を拡充、成果の方向性を拡大としました。				
取組み③	事業名	汚水ポンプ場建設改進黨業	所管部課	上下水道部下水道施設課		
	まちづくり重点施策		－			
	令和６年度の成果・実績	吉羽中継ポンプ破砕機修繕工事（吉羽）・北中継ポンプ場N o.2汚水ポンプ吐出弁電動機更新工事（北）及び上内中継ポンプ場高圧引込ケーブル更新工事を実施しました。 ・吉羽中継ポンプ破砕機修繕工事 破砕機更新材料17箇所 ・北中継ポンプ場N o.2汚水ポンプ吐出弁電動機更新工事 汚水ポンプ吐出弁電動機1基 ・上内中継ポンプ場高圧引込ケーブル更新工事 高圧E E ケーブル50m、端末処理材6本、中実碍子3個				
	令和６年度決算額(円)	17,358,000	令和７年度当初予算額（円）	290,087,000		
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持		
	予算及び成果の方向性を判断した理由	施設の老朽化に対応して、汚水ポンプ場の施設更新、浸水対策及び耐震化などを引き続き計画的に進めていく必要があることから、予算の方向性及び成果の方向性ともに維持としました。				
活動指標名称（単位）		年度	R 5（現状値（直近））	R 6	R 7	R 8
所管部課	上下水道部下水道施設課					
新たな下水道管の布設延長（m）		目標値	3,500.0	6,200.0	3,000.0	3,000.0
		実績値	1,267.4	3,401.5		
		達成率	36.2%	54.9%		

<施策の方向性（３）に関連する事務事業>						
細施策名		農業集落排水処理施設の適切な維持管理と合併処理浄化槽への転換を進めます				
取組み①	事業名	農業集落排水維持管理事業	所管部課	上下水道部下水道施設課		
	まちづくり重点施策		－			
	令和６年度の成果・実績	農業集落排水処理施設17か所とマンホールポンプ70か所の運転管理については、専門の業者への維持管理業務委託により、機械設備を点検し、適切な維持管理を行いました。 さらに、汚水管渠については、必要に応じて清掃や修繕をすることで、適切な維持管理を行いました。内訳については、マンホールポンプの清掃1件、管の清掃3件、マンホールポンプの修繕9件、マンホール蓋の交換6件、処理施設の修繕20件となります。				
	令和６年度決算額(円)	209,784,251	令和７年度当初予算額（円）	244,397,000		
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持		
	予算及び成果の方向性を判断した理由	公衆衛生の確保を目的に、農業集落排水処理施設などの下水道施設を適切に管理するために、引き続き点検や修繕、清掃等を実施していくことから、予算の方向性及び成果の方向性ともに維持としました。				
取組み②	事業名	合併処理浄化槽普及促進補助事業	所管部課	上下水道部下水道施設課		
	まちづくり重点施策		－			
	令和６年度の成果・実績	公共用水域の水質の向上を目的とし、浄化槽処理促進区域において、単独処理浄化槽等から合併処理浄化槽の転換を行っています。 市内には、まだ多くの単独処理浄化槽等があることから、合併処理浄化槽の普及促進を図るため、広報紙やホームページに掲載し、補助事業の募集を行いました。 その結果、令和6年度の転換基数は19基となりました。				
	令和６年度決算額(円)	13,092,000	令和７年度当初予算額（円）	56,856,000		
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持		
	予算及び成果の方向性を判断した理由	市内には、まだ多くの単独処理浄化槽等があることや転換費用の自己負担額が大きいことから、引き続き合併処理浄化槽への転換補助を実施していく必要があるため、予算の方向性及び成果の方向性ともに維持としました。				
活動指標名称（単位）		年度	R 5（現状値（直近））	R 6	R 7	R 8
所管部課	上下水道部下水道施設課					
合併処理浄化槽転換設置基数（基）		目標値	83	83	83	83
		実績値	61	19		
		達成率	73.5%	22.9%		

6. 行政改革に資する事業・取組み

行政改革に資する事業・取組み①						
事業名	水道事業の健全経営		所管部課	上下水道部上下水道経営課		
実施方針	水道事業の健全経営の持続に向けた取組みを推進します。					
令和6年度の 成果・実績	水道ビジョン（経営戦略）に基づく財政収支計画の検証や令和5年度決算に基づく適正な水道料金の検証を実施した上で「令和5年度久喜市水道事業の経営状況」及び「久喜市水道ビジョン（経営戦略）方策の評価」を作成し、市ホームページに公表しました。 検証の結果、健全な経営状況を保つことができたかと捉えています。					
活動指標名称（単位）		年度	R 5（現状値 （直近））	R 6	R 7	R 8
検証結果の公表（回）		目標値	1	1	1	1
		実績値	1	1		
		達成率	100.0%	100.0%		
行政改革に資する事業・取組み②						
事業名	下水道事業の健全経営		所管部課	上下水道部上下水道経営課、 上下水道部下水道施設課		
実施方針	下水道事業の健全経営に向けた取組みを推進します。					
令和6年度の 成果・実績	公共下水道区域及び農業集落排水処理区域において、整備した管渠へ接続していただけるよう、その区域の未接続世帯に、戸別訪問や促進通知を行いました。 公共下水道区域においては、未接続世帯のうち栗橋地区の一部に対して戸別訪問をし、戸別訪問以外の世帯へ促進通知を行いました。 農業集落排水処理区域においては、菖蒲地区の未接続世帯に促進通知を行いました。 その結果、令和6年度の接続件数は77件となりました。					
活動指標名称（単位）		年度	R 5（現状値 （直近））	R 6	R 7	R 8
未接続者接続切替件数（件）		目標値	150	150	150	150
		実績値	115	77		
		達成率	76.7%	51.3%		

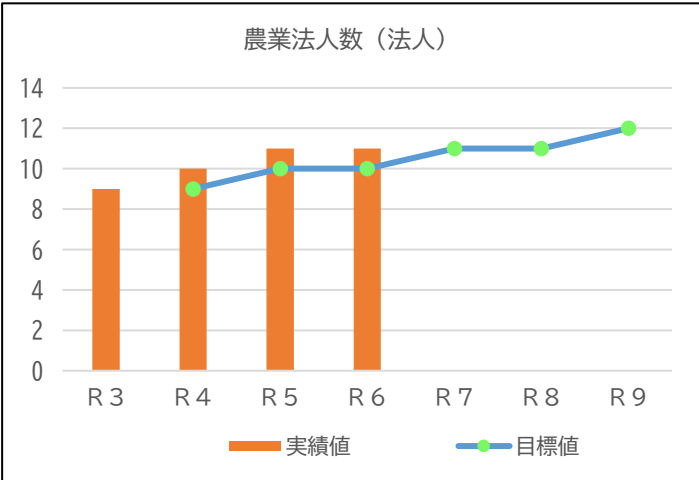
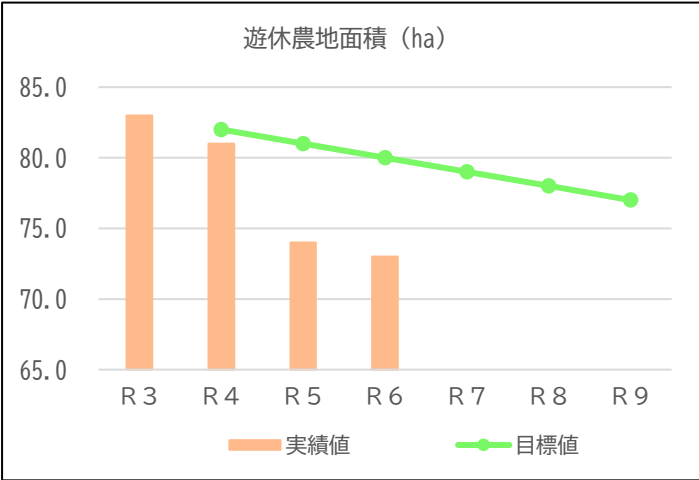
令和7年度行政評価シート

1. 前期基本計画について

基本目標	5	産業が元気で魅力と活力にあふれ働きがいのあるまちをつくる	
施策	5－1	自然の恵みを生かし豊かで持続可能な農業を守り育てる	
主管課	環境経済部農業振興課	関係課	農業委員会事務局
5年後のまちの姿			
農業生産基盤の強化、優良農地の保全により、多様な担い手の確保・育成が促進され、地域の特色を生かした農業が 守り育てられています。 また、安全・安心で付加価値の高い農業や、観光との連携、地産地消の推進が図られ、久喜市産農産物の知名度が向 上するとともに、農業への関心が高まっています。 さらに、農業分野における脱炭素に向けた取組みが進んでいます。			
施策の方向性			
(1) 農業生産基盤の強化と優良農地の保全を進めます (2) 多様な農業の担い手を確保し、育てます (3) 付加価値の高い農業、地産地消を促進します (4) スマート農業の支援とゼロカーボン技術を促進します (5) 農業振興拠点（道の駅）の整備を進めます			

2. 重要業績評価指標（KPI）について

重要業績評価指標（KPI）							
遊休農地面積（ha）							
年度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
目標値		82.0	81.0	80.0	79.0	78.0	77.0
実績値	83.0	81.0	74.0	73.0			
達成率		101.2%	108.6%	108.8%			
農業法人数（法人）							
年度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
目標値		9	10	10	11	11	12
実績値	9	10	11	11			
達成率		111.1%	110.0%	110.0%			



3. 前年度行政評価委員会の意見について

前年度行政評価委員会の意見
生産性の高い良好な耕作地となるよう、今後も農業従事者への支援を行っていただきたい。 市内農作物の魅力について発信できる体制づくりに努められたい。 農業振興拠点(道の駅)の整備について、久喜市ならではの独自性を生かして取り組んでいただきたい。
「前年度行政評価委員会の意見」に対する実施状況・今後の方向性
今後も土地改良や基盤整備を推進し、農業従事者の生産性の向上につなげていきます。 引き続き広報くきやホームページ等を活用し、市内農作物のPRに取り組みます。 農業振興拠点(道の駅)については、久喜市の特産品を販売する物販施設や農作物の収穫を行える体験農園、ランニングバイクのコース整備など、独自性を持った施設となるよう継続して検討します。

4. 施策の目標達成度、施策の主要課題及び今後の施策の方向性について

施策の目標達成度	■ A	目標・予定を達成している	令和6年度重要業績評価指標(KPI)達成率が全て100%以上である。
	□ B	目標・予定に概ね沿う成果・進捗である	令和6年度重要業績評価指標(KPI)達成率で、最も低い達成率が80%以上である。
	□ C	目標・予定を下回る成果・進捗である	令和6年度重要業績評価指標(KPI)達成率で、80%未満の指標が1つ以上ある。
施策の主要課題及び今後の施策の方向性	【施策の主要課題】 現在の農業を取り巻く課題は、担い手の高齢化や後継者不足、病害虫の発生、気候変動による自然災害の発生に加え、昨今の米価高騰など多岐に渡っており、これらの課題に対応していく必要があります。 効率的かつ安定的な農業経営を行うためには、農業生産基盤の強化と優良農地の保全が重要であることから、用排水路等の農業用施設の整備をはじめ、農業委員会と連携して耕作放棄地の削減や農地の保全管理を推進していくことが課題となっています。 また、将来に渡って継続的に農地を維持・管理するためには、農地の集積・集約化の推進が課題となっており、令和6年度に策定した地域計画を基に、地域での話し合いを継続していく必要があります。 新たな担い手の確保としては、新規就農の希望者に対して、青年就農者の就農初期段階の不安定な期間を支援し、経営の安定化を図っていく必要があります。併せて、農業の新たな受け皿として、民間企業等の農業参入や農業法人の受入れを加速させ、将来の農地管理を行う必要があります。 農作物の栽培においては、消費者ニーズに対応した、安全・安心な農作物や付加価値の高い農作物の生産の促進が課題となっています。減農薬、減化学肥料栽培等の環境に配慮した農作物をブランド化してPRするとともに、それらの食材を学校給食で利用し、地産地消の取組みを加速させていくことが求められています。 これらに加え、豊富な農業資源をはじめとする本市の地域資源を広く市内外にPRし、産業振興や交流人口の増加等を図るため、農業振興拠点(道の駅)の整備を進めていく必要があります。 【今後の方向性】 農業生産基盤の強化と優良農地の保全については、令和6年度に策定した地域計画に基づき、実行し、地域課題の共有とそれらの解決に取り組んでいきます。 多様な農業の担い手の確保については、重点作物である梨や苺の生産振興を図るための補助や各種団体への補助を継続するとともに、次世代を担う農業者になることを目指す者への支援を行っていきます。 付加価値の高い農業、地産地消の促進については、減農薬、減化学肥料栽培等の環境に配慮した環境保全型農業を引き続き推進します。 農業振興拠点(道の駅)の整備については、令和6年度に策定した基本計画で定めた導入施設や規模について、経営上の視点から検証を行い、管理運営計画の策定を予定しています。令和8年度以降はこれまでの計画等を基に、施設の整備に向け着実に進めていきます。 以上を通して、自然の恵みを生かし豊かで持続可能な農業を守り育てていきます。		
評価年月日	令和7年7月2日	評価者職氏名	環境経済部長 川名 健一

行政評価委員会の意見
市内の農業従事者の高齢化による担い手不足が深刻であるため、スピード感を持って、農業従事者の増加に向けて取り組んでいただきたい。 また、農業に関心を持ってもらうための体験会などのイベントを開催していただきたい。さらには、今後完成される農業振興拠点(道の駅)も有効活用していただきたい。

5. 主要な事務事業

＜施策の方向性（1）に関連する事務事業＞				
細施策名		農業生産基盤の強化と優良農地の保全を進めます		
取組み①	事業名	生産調整推進事業	所管部課	環境経済部農業振興課
	まちづくり重点施策	－		
	令和6年度の成果・実績	需要に応じた米生産や、遊休農地解消を目的とした転作作物の作付けを推進するため、水稻作付け農業者のうち、主食用米の生産調整を実施し、久喜市地域農業再生協議会が定めた生産上限面積を達成した農家に対して、地域農業再生協議会を通じて転作奨励金を交付しました。		
	令和6年度決算額(円)	4,539,783	令和7年度当初予算額(円)	6,152,000
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	需要に応じた主食用米の生産や水田の収益力強化に向けて、引き続き、転作作物の作付けを推進していくため、予算の方向性及び成果の方向性を維持としました。		
取組み②	事業名	農業用施設補修事業	所管部課	環境経済部農業振興課
	まちづくり重点施策	③【豊かさ】豊かな地域資源を活かし、産業の中心となるまち		
	令和6年度の成果・実績	菖蒲町菖蒲地内において用水路付帯工事を実施しました。 また、軽微な施設の補修工事は23件（久喜地区9件、菖蒲地区10件、鷲宮地区4件）、施設補修に必要な原材料の支給は9件（久喜地区4件、菖蒲地区4件、鷲宮地区1件）となっています。 補修工事により、各地区における農業生産性の向上及び農業経営の安定化を図ることができました。		
	令和6年度決算額(円)	6,028,321	令和7年度当初予算額(円)	3,600,000
	予算の方向性	縮小	成果の方向性	縮小
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性については、早急に整備を要する水路について検討を行い、整備計画の見直しを行うことから、縮小としました。 成果の方向性については、整備計画の見直しによる予算の縮小に伴い、縮小としました。		
取組み③	事業名	県費単独土地改良事業	所管部課	環境経済部農業振興課
	まちづくり重点施策	③【豊かさ】豊かな地域資源を活かし、産業の中心となるまち		
	令和6年度の成果・実績	県の補助金を活用して、太田袋地内において排水路の整備工事を実施しました。 整備工事により、当該地区における農業生産性の向上及び農業経営の安定化を図ることができました。		
	令和6年度決算額(円)	18,832,000	令和7年度当初予算額(円)	0
	予算の方向性	拡充	成果の方向性	拡大
	予算及び成果の方向性を判断した理由	令和7年度に検討を行う整備計画を基に、令和8年度は県の補助金を活用して、順次水路整備を進めていくことから、予算の方向性を拡充、成果の方向性を拡大としました。		

取組み④	事業名	土地改良施設負担金事業	所管部課	環境経済部農業振興課		
	まちづくり重点施策	③【豊かさ】豊かな地域資源を活かし、産業の中心となるまち				
	令和6年度の成果・実績	土地改良施設の整備及び維持管理に要する負担金を、土地改良区や関係市町で構成する組織に対して支払うことにより、農業生産性の向上及び農業経営の安定化を図ることができました。				
	令和6年度決算額(円)	52,539,326	令和7年度当初予算額(円)	47,669,000		
	予算の方向性	拡充	成果の方向性	維持		
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性については、当該事業は既に着手済みの事業に対する負担金となっており、今後、事業主体における事業計画により事業費の増額が見込まれることから、拡充としました。 成果の方向性については、農業生産性の向上及び農業経営の安定化を図ることを目的とした負担金であることから、維持としました。				
取組み⑤	事業名	人・農地問題解決推進事業	所管部課	環境経済部農業振興課		
	まちづくり重点施策	－				
	令和6年度の成果・実績	農地中間管理事業を活用し、農地の集積・集約を計画している地域において話し合いを行い、地域の担い手、行政職員、農業協同組合及び埼玉県農林公社のそれぞれの役割を確認しました。 また、地域の農地の集積・集約を進めた結果、採択要件を満たした団体に対し、県の協力金を交付しました。				
	令和6年度決算額(円)	13,430,400	令和7年度当初予算額(円)	15,692,000		
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持		
	予算及び成果の方向性を判断した理由	農地の集積・集約を行い、効率的な農業を推進するため、農地中間管理事業の活用を継続していくことから、予算の方向性及び成果の方向性を維持としました。				
活動指標名称(単位)		年度	R 5 (現状値 (直近))	R 6	R 7	R 8
所管部課	環境経済部農業振興課					
農地集積・集約化面積 (h a)		目標値	133.1	136.8	136.8	136.8
		実績値	226.2	291.9		
		達成率	169.9%	213.4%		

<施策の方向性（2）に関連する事務事業>				
細施策名		多様な農業の担い手を確保し、育てます		
取組み①	事業名	農業経営安定推進事業	所管部課	環境経済部農業振興課
	まちづくり重点施策	—		
	令和6年度の成果・実績	重点作物である梨を振興するために必要な事業や農業生産団体の運営費（先進技術の導入及び各種会議の開催等）に対する補助金の交付や担い手への農業制度資金の利子補給を行いました。また、令和6年6月から9月の高温による水稻への被害に対し、農業者へ補助金を交付しました。		
	令和6年度決算額(円)	7,878,750	令和7年度当初予算額(円)	8,089,000
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	重点作物である梨に対する薬剤や機材の補助をはじめ、農業生産団体の運営、担い手への農業近代化資金の利子補給など、久喜市の農業を振興するために必要な補助を継続して実施していくことから、予算の方向性及び成果の方向性を維持としました。		
取組み②	事業名	新規就農者育成総合対策事業	所管部課	環境経済部農業振興課
	まちづくり重点施策	—		
	令和6年度の成果・実績	次世代を担う農業者になることを目指す者を支援するため、新規就農者経営開始資金対象者4名に対して4,500,000円、新規就農者経営発展支援事業助成金対象者1名に7,500,000円、資金を交付しました。		
	令和6年度決算額(円)	13,500,000	令和7年度当初予算額(円)	6,750,000
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	新たな担い手を確保するため、次世代を担う農業者を目指す者への支援を令和7年度と同規模で継続していくことから、予算の方向性及び成果の方向性を維持としました。		
取組み③	事業名	しみん農園運営事業	所管部課	環境経済部農業振興課
	まちづくり重点施策	—		
	令和6年度の成果・実績	野菜作りに関する基礎的な講習や各種野菜の栽培体験を行う菜園教室を全11回開催しました。また、児童を対象としたサツマイモ堀り体験や、しみん農園利用者を対象とした品評会を行いました。		
	令和6年度決算額(円)	194,595	令和7年度当初予算額(円)	0
	予算の方向性	休廃止	成果の方向性	休廃止
	予算及び成果の方向性を判断した理由	これまでの事業により、都市住民が土に触れ親しむことで、農業や農村への理解促進を図るという目的は達成したものと考えていることに加え、さつまいもの栽培管理や、菜園教室の指導者確保などの課題もあることから、令和7年度から休廃止としています。		

取組み④	事業名	新規就農・担い手育成事業		所管部課	環境経済部農業振興課	
	まちづくり重点施策		③【豊かさ】豊かな地域資源を活かし、産業の中心となるまち			
	令和6年度の成果・実績	他自治体の動向等を調査、研究し、補助内容をまとめました。 それらの内容を基に、スマート農業技術導入支援事業補助金交付要綱及び民間企業等農業参入奨励金交付要綱を定めました。				
	令和6年度決算額(円)	0		令和7年度当初予算額（円）	2,000,000	
	予算の方向性	維持		成果の方向性	維持	
	予算及び成果の方向性を判断した理由	令和6年度に制定したスマート農業技術導入支援事業補助金交付要綱及び民間企業等農業参入奨励金交付要綱に基づき、補助金（奨励金）交付を継続して行っていくことから、予算の方向性及び成果の方向性を維持としました。				
活動指標名称（単位）		年度	R 5（現状値 （直近））	R 6	R 7	R 8
所管部課	環境経済部農業振興課					
支援する農業次世代人材数（人）		目標値	2	2	2	2
		実績値	3	5		
		達成率	150.0%	250.0%		

<施策の方向性（３）に関連する事務事業>						
細施策名		付加価値の高い農業、地産地消を促進します				
取組み①	事業名	農作物ブランド化推進事業		所管部課	環境経済部農業振興課	
	まちづくり重点施策		③【豊かさ】豊かな地域資源を活かし、産業の中心となるまち			
	令和６年度の成果・実績	久喜市産農産物のブランド化の推進を図るため、シティセールス課と連携して農産物のＰＲ動画を作成し、ＳＮＳ等に掲載しました。				
	令和６年度決算額(円)		0		令和７年度当初予算額（円）	0
	予算の方向性		維持(ゼロ予算)		成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	令和6年度以降は、ゼロ予算事業として実施しています。ホームページや各種ＳＮＳを活用して周知を図ることにより、引き続き久喜市産農産物のブランド化を推進することから、予算の方向性及び成果の方向性を維持としました。				
取組み②	事業名	環境保全型農業推進事業		所管部課	環境経済部農業振興課	
	まちづくり重点施策		③【豊かさ】豊かな地域資源を活かし、産業の中心となるまち			
	令和６年度の成果・実績	減農薬、減化学肥料栽培等の環境に配慮した農業を推進するため、農作物（米・野菜）を特別栽培方法にて栽培管理する生産者等に補助金を交付しました。 ・米 15人、1071.61a、106,941円 ・野菜 8人、82.00a、221,400円				
	令和６年度決算額(円)		328,341		令和７年度当初予算額（円）	534,000
	予算の方向性		維持		成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	減農薬、減化学肥料栽培等の環境に配慮した農業を継続して推進するため、予算の方向性及び成果の方向性を維持としました。				
活動指標名称（単位）		年度	R５（現状値（直近））	R６	R７	R８
所管部課	環境経済部農業振興課					
環境保全型農業取組面積（米、野菜）（a）		目標値	1,200.0	1,320.0	1,450.0	1,450.0
		実績値	1,351.9	1,151.4		
		達成率	112.7%	87.2%		

<施策の方向性（４）に関連する事務事業>							
細施策名		スマート農業の支援とゼロカーボン技術を促進します					
取組み①	事業名	新規就農・担い手育成事業〈再掲〉	所管部課	環境経済部農業振興課			
	まちづくり重点施策		③【豊かさ】豊かな地域資源を活かし、産業の中心となるまち				
	令和６年度の成果・実績	他自治体の動向等を調査、研究し、スマート農業に関する補助内容をまとめ、スマート農業技術導入支援事業補助金交付要綱を定めました。 本制度では、ロボット技術及び情報通信技術等を活用する農業技術を「スマート農業技術」とし、市内に住所を有する認定農業者又は認定新規就農者等を対象に、農林水産省が公表したスマート農業技術カタログに掲載されている機械等の導入経費の2分の1以内（上限100万円）を助成するものとしています。					
	令和６年度決算額(円)		0	令和７年度当初予算額（円）	2,000,000		
	予算の方向性		維持	成果の方向性	維持		
	予算及び成果の方向性を判断した理由	令和6年度に制定したスマート農業技術導入支援事業補助金交付要綱に基づき、補助金交付を継続して行っていくことから、予算の方向性及び成果の方向性を維持としました。					
活動指標名称（単位）			年度	R 5（現状値 （直近））	R 6	R 7	R 8
所管部課	環境経済部農業振興課						
スマート農業導入支援件数（件）			目標値		1	1	1
			実績値		0		
			達成率		0.0%		
令和６年度より事業開始							

＜施策の方向性（５）に関連する事務事業＞							
細施策名		農業振興拠点（道の駅）の整備を進めます					
取 組 み ①	事業名	農業振興拠点（道の駅）整備事業	所管部課	環境経済部農業振興課			
	まちづくり重点施策		③【豊かさ】豊かな地域資源を活かし、産業の中心となるまち				
	令和６年度の 成果・実績	令和5年8月に策定した農業振興拠点（道の駅）基本構想に基づき、コンセプトや基本方針、施設の導入規模やその配置等をまとめた農業振興拠点（道の駅）基本計画を令和7年3月に策定しました。					
	令和６年度決算額(円)		7,667,000	令和７年度当初予算額（円）	7,920,000		
	予算の方向性		拡充	成果の方向性	維持		
	予算及び成果 の方向性を判 断した理由	基本構想及び基本計画に加え、令和7年度策定予定の管理運営計画を基に、令和8年度は基本設計や実施設計を行っていくことから、予算の方向性を拡充としました。 なお、農業振興拠点（道の駅）の整備に向けて継続的に取り組んでいくことから、成果の方向性については維持としました。					
活動指標名称（単位）			年度	R 5（現状値 （直近））	R 6	R 7	R 8
所管部課			環境経済部農業振興課				
農業振興拠点（道の駅）整備進捗率（％）			目標値	未定	未定	未定	未定
			実績値	0.0	0.0		
			達成率	—	—		

令和7年度行政評価シート

1. 前期基本計画について

基本目標	5	産業が元気で魅力と活力にあふれ働きがいのあるまちをつくる	
施策	5－2	まちの賑わいを支える商工業を振興し経済の活性化を図る	
主管課	環境経済部商工観光課	関係課	まちづくり推進部産業拠点整備推進課
5年後のまちの姿			
中心市街地の活性化が図られ、消費活動は安定し、まちの賑わいと活力が維持・創出されています。 また、地域経済を支える中小企業の経営基盤が強化されるとともに、交通利便性を生かした新たな産業基盤が整備され、環境に配慮した優良企業の誘致と立地が進んでいます。			
施策の方向性			
(1) 賑わいと活力あふれる地域経済の活性化を推進します (2) 市内事業者の経営安定化と起業促進の環境を整備します (3) 新たな工業用地の確保と企業誘致を推進します			

2. 重要業績評価指標（KPI）について

重要業績評価指標（KPI）に係るグラフは別紙に記載

重要業績評価指標（KPI）							
ふるさと納税寄附金の寄附者数（人）							
年度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
目標値		1,800	2,000	2,200	2,400	2,600	2,800
実績値	1,555	1,488	3,767	8,541			
達成率		82.7%	188.4%	388.2%			
市内商店街のキャッシュレス化率（%）							
年度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
目標値		36.0	36.5	37.0	38.0	39.0	40.0
実績値	35.5	35.2	45.4	46.2			
達成率		97.8%	124.4%	124.9%			
新たな流通・工業系用地面積（ha）							
年度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
目標値		14.8	33.8	33.8	33.8	33.8	80.0
実績値	0.0	14.8	14.8	14.8			
達成率		100.0%	43.8%	43.8%			

3. 前年度行政評価委員会の意見について

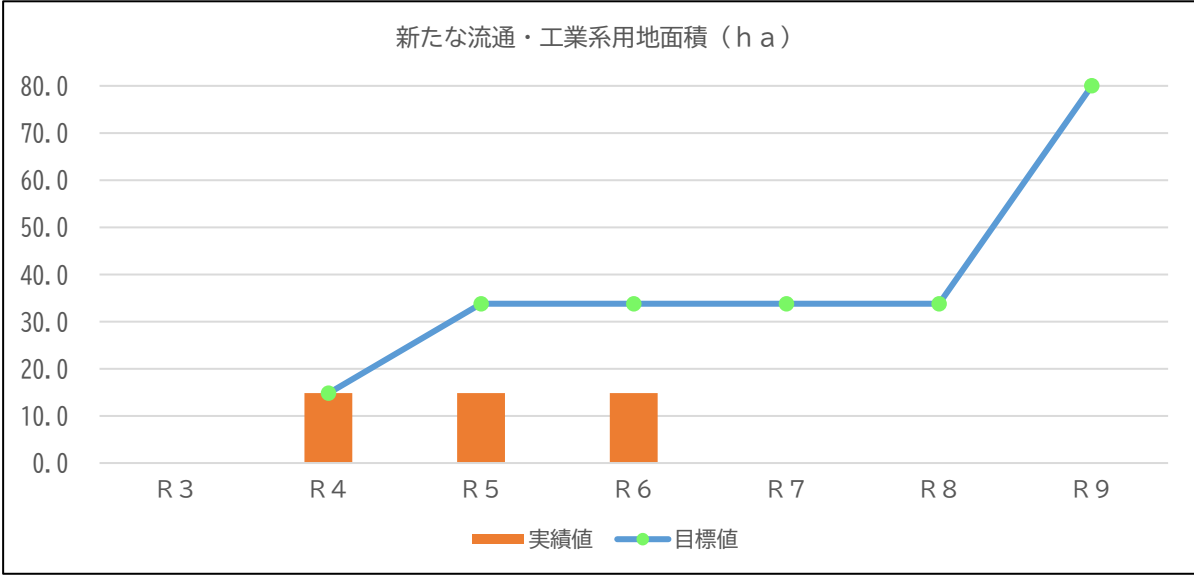
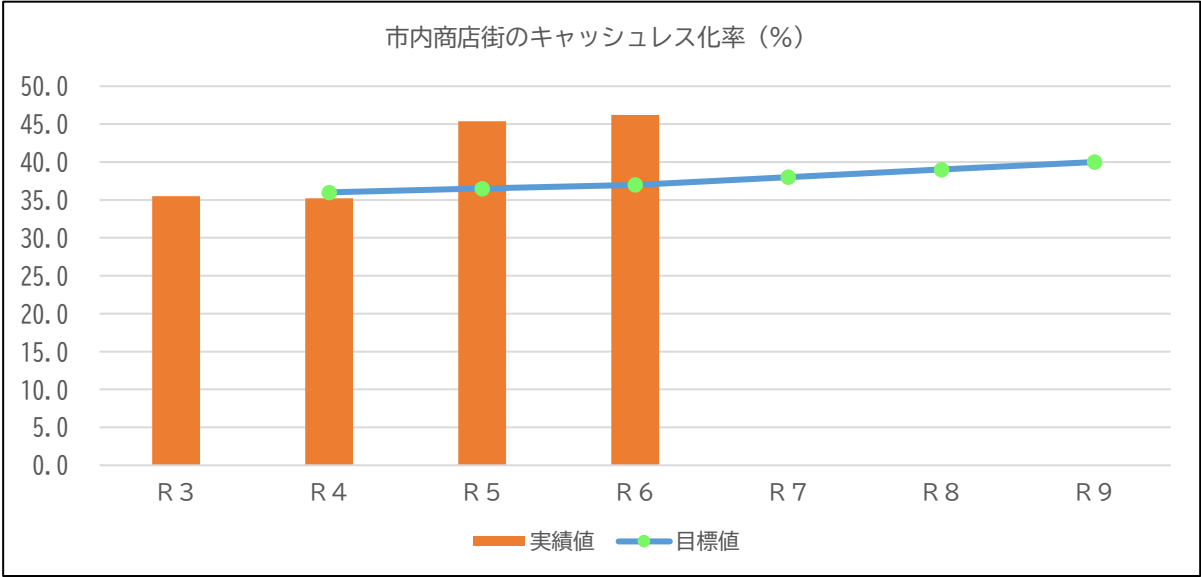
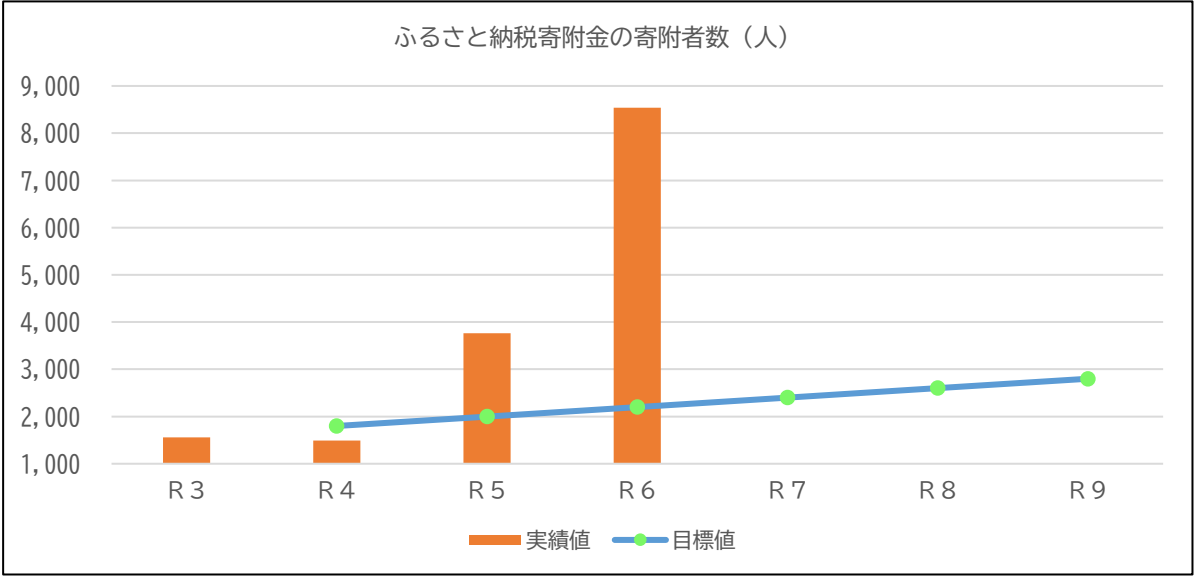
前年度行政評価委員会の意見
地域の企業やコミュニティ等と連携して、市内経済の循環の促進や新規事業を始める環境の整備を推進し、新しい企業の誘致に積極的に取り組み、街の賑わいの創出を図られたい。
「前年度行政評価委員会の意見」に対する実施状況・今後の方向性
久喜市商工会等の関係団体と連携し、市内商工業の活性化や新規創業者の支援を引き続き図っていきます。 また、企業誘致条例に基づく助成金制度の周知を図り、優良企業等の誘致を促進し、賑わいの創出に繋げていきます。

4. 施策の目標達成度、施策の主要課題及び今後の施策の方向性について

施策の目標達成度	☐ A	目標・予定を達成している	令和6年度重要業績評価指標（KPI）達成率が全て100%以上である。
	☐ B	目標・予定に概ね沿う成果・進捗である	令和6年度重要業績評価指標（KPI）達成率で、最も低い達成率が80%以上である。
	☒ C	目標・予定を下回る成果・進捗である	令和6年度重要業績評価指標（KPI）達成率で、80%未満の指標が1つ以上ある。
施策の主要課題及び今後の施策の方向性	【施策の主要課題】 賑わいと活力あふれる地域経済の活性化の推進においては、賑わいの担い手である商店街や商工会の活動を支援するため各種補助金を交付していますが、少子高齢化、後継者不足、大型商業施設の進出等による個店の廃業、商店街団体の縮小などが課題となっています。 また、ふるさと納税については、寄附件数及び寄附金額ともに大幅に増加したことから、一定の成果を挙げたと評価していますが、流出額が寄附金額を超過している現状を鑑み、返礼品の拡充や効果的なPRの実施など、寄附金額の増加に向けた実効性ある取組みを強力に推進していく必要があります。 市内事業者の経営安定化と起業促進の環境の整備においては、空き店舗を解消し、市内商工業を活性化することが課題であり、創業希望者への支援と経営の安定化に取り組む必要があります。 新たな工業用地の確保と企業誘致においては、高柳地区の開発整備を進めていますが、道路用地の一部が未買収であることから、引き続き用地の取得に向け、関係権利者と交渉をしていく必要があります。 また、企業誘致については、優良企業等の更なる誘致を推進するため、引き続き、市内外の企業へ企業誘致条例の周知を図っていく必要があります。 【今後の方向性】 賑わいと活力あふれる地域経済の活性化の推進については、商店街や商工会の活動を引き続き支援するために各種補助金を交付するとともに、商工会等と連携し、事業者の事業継続支援等に今後も取り組んでいきます。 ふるさと納税については、同制度を通じて本市の魅力や特産品等のPRを行うことができ、本市の認知度向上や地域経済の活性化が期待できることから、返礼品の拡充等の取組みを更に強化していきます。 市内事業者の経営安定化と起業促進の環境の整備については、商工会との共催による久喜市創業塾の開催や、特定創業支援等事業を受けた証明書の発行、空き店舗を活用した創業者への補助金の交付に引き続き取り組むことで、事業者の支援を図っていきます。 工業用地の確保については、今後、新たな産業団地の整備の推進に向け、埼玉県をはじめとする関係機関との協議を行います。また、高柳地区の開発整備については、産業団地内を整備している県企業局のスケジュールに遅れることのないよう、着実に進める必要があります。 企業誘致については、引き続き企業誘致条例に係る助成制度を市ホームページ等で情報発信し、更なる優良企業等の誘致を図ります。		
評価年月日	令和7年7月2日	評価者職氏名	環境経済部長 川名 健一

行政評価委員会の意見
ふるさと納税寄附金の寄附者数を大幅に増加させたPR手法等を継続するとともに、その手法を他の業務の改善に生かしていただきたい。 企業誘致条例に基づく助成金制度の周知を積極的に行うなど、優良企業等の誘致を促進されたい。

【別紙】2. 重要業績評価指標（KPI）に係るグラフについて



5. 主要な事務事業

＜施策の方向性（１）に関連する事務事業＞								
細施策名		賑わいと活力あふれる地域経済の活性化を推進します						
取組み①	事業名	商工融資事業		所管部課	環境経済部商工観光課			
	まちづくり重点施策		－					
	令和６年度の成果・実績	既存融資額の20分の1相当額を金融機関へ預託し、令和６年度末に返金されました。 一般小口資金融資制度、特別小口資金融資制度、中小企業近代化資金融資制度の3種類の融資制度がありますが、令和6年度の新規融資は無く、令和6年度末時点の既存融資もありません。						
	令和６年度決算額(円)	100,000		令和７年度当初予算額（円）	1,001,000			
	予算の方向性		維持		成果の方向性		維持	
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性については、市内中小企業者が事業経営の合理化、設備の近代化等のため資金を調達できるよう支援するため、融資制度を継続することから維持としました。 成果の方向性については、市内中小企業者に対する信用保証料補助や融資機関への預託金により、これまでの融資事業の水準を維持していくことから、維持としました。						
取組み②	事業名	商工会補助事業		所管部課	環境経済部商工観光課			
	まちづくり重点施策		③【豊かさ】豊かな地域資源を活かし、産業の中心となるまち					
	令和６年度の成果・実績	補助金交付要綱に基づき、商工会が実施する経営改善普及事業、地域総合振興事業等の事業費等に対し、予算の範囲内で補助金を交付し、商工会の円滑な事業推進及び市内商工業の振興を図りました。						
	令和６年度決算額(円)	67,651,000		令和７年度当初予算額（円）	67,651,000			
	予算の方向性		維持		成果の方向性		維持	
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性については、市内商工業の総合的な発展を図るため、久喜市商工会への補助を継続することから、維持としました。 成果の方向性については、久喜市商工会との連携及び補助金の交付により、中小企業者を対象とした相談や経営改善指導を実施し、市内商工業の活性化を図るなど、これまでの事業水準を維持していくことから、維持としました。						
取組み③	事業名	商店街活性化補助事業		所管部課	環境経済部商工観光課			
	まちづくり重点施策		③【豊かさ】豊かな地域資源を活かし、産業の中心となるまち					
	令和６年度の成果・実績	商店街団体の実施するイベントや販売促進に係る共同事業、街路灯の維持管理等に対し補助金を交付し、商店街団体の活性化や負担軽減を図りました。 なお、商店街活性化推進事業費補助金を11件、商店街街路灯電気料補助金を15件交付しました。						
	令和６年度決算額(円)	11,127,392		令和７年度当初予算額（円）	12,507,000			
	予算の方向性		維持		成果の方向性		維持	
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性については、商店街の活性化及び環境整備等のため、商店街団体等への補助を継続することから維持としました。 成果の方向性については、補助金を交付することにより商店街団体等が取り組む商店街活性化事業や環境整備事業を支援し、商店街の賑わいを創出する必要があることから、維持としました。						
活動指標名称（単位）		年度	R 5（現状値（直近））	R 6	R 7	R 8		
所管部課	環境経済部商工観光課							
商工融資件数（件）			目標値	1	1	1	1	
			実績値	0	0			
			達成率	0.0%	0.0%			

<施策の方向性（２）に関連する事務事業>						
細施策名		市内事業者の経営安定化と起業促進の環境を整備します				
取組み①	事業名	創業支援補助事業	所管部課	環境経済部商工観光課		
	まちづくり重点施策		③【豊かさ】豊かな地域資源を活かし、産業の中心となるまち			
	令和６年度の成果・実績	空き店舗を活用した新規創業を支援するため、空き店舗活用創業等支援事業補助金を５件交付しました。 また、久喜市商工会と共催による久喜市創業塾を５日間開催しました。 なお、創業塾等での創業支援を受けた者に対し、特定創業支援事業を受けた証明書を２８件発行しました。				
	令和６年度決算額(円)		2,903,000	令和７年度当初予算額（円）	2,000,000	
	予算の方向性		維持	成果の方向性	維持	
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性については、空き店舗の解消と空き店舗を活用した新規創業を支援するため、補助金の交付を継続することから維持としました。 成果の方向性については、空き店舗の解消や新規創業の支援を図るとともに、商工会等の関係機関と連携しながら、創業希望者に対する支援を継続していくことから、維持としました。				
取組み②	事業名	移動販売等導入事業費補助事業	所管部課	環境経済部商工観光課		
	まちづくり重点施策		④【安心】誰ひとり取り残さないやさしさにあふれ、安心して暮らせるまち			
	令和６年度の成果・実績	市内の買い物困難地域の更なる解消を目的に、本市と包括連携協定を締結している株式会社カスミに対し、市内で運行する移動スーパー車両の増台のための補助金を交付しました。 また、２台体制となり、１１月１４日から新たなルートでの移動スーパーの運行が開始されました。				
	令和６年度決算額(円)		1,000,000	令和７年度当初予算額（円）	0	
	予算の方向性		休廃止	成果の方向性	休廃止	
	予算及び成果の方向性を判断した理由	令和６年度に補助金を交付し、市内で運行する移動スーパーの増台を完了したため、本事業は令和７年度で休廃止としました。				
取組み③	事業名	ビジネスグランプリ事業	所管部課	環境経済部商工観光課		
	まちづくり重点施策		③【豊かさ】豊かな地域資源を活かし、産業の中心となるまち			
	令和６年度の成果・実績	一般社団法人久喜青年会議所、久喜市商工会、埼玉縣信用金庫と協力し、埼玉県久喜市ビジネスグランプリ２０２４を令和７年３月１５日に開催しました。（応募総数７件中、最優秀賞１件、優秀賞２件、アイデア賞３件）				
	令和６年度決算額(円)		255,136	令和７年度当初予算額（円）	0	
	予算の方向性		拡充	成果の方向性	維持	
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性については、隔年開催のため、次回開催を令和８年度に予定していることから、拡充としました。 成果の方向性については、潜在的な創業者を発掘するとともに、市内での起業を促すことで、引き続き市内商工業振興を図るため、維持としました。				
活動指標名称（単位）		年度	R 5（現状値（直近））	R 6	R 7	R 8
所管部課	環境経済部商工観光課					
創業支援補助金交付件数（件）		目標値	5	3	3	3
		実績値	2	5		
		達成率	40.0%	166.7%		

＜施策の方向性（３）に関連する事務事業＞						
細施策名		新たな工業用地の確保と企業誘致を推進します				
取組み①	事業名	企業等誘致事業	所管部課	環境経済部商工観光課		
	まちづくり重点施策		②【発展性】土地の高度利用や交通利便性の向上を図り、発展し続けるまち			
	令和６年度の成果・実績	優良企業等の更なる誘致を図るため、企業誘致条例に基づく助成金制度（雇用促進助成金、障がい者雇用促進助成金、太陽光発電設備設置助成金）について、市ホームページ等で周知しました。 令和6年度においては、助成金の申請・交付はありませんでした。				
	令和６年度決算額(円)		0	令和７年度当初予算額（円）	10,000,000	
	予算の方向性		維持	成果の方向性	維持	
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性については、本市で新たに創業を開始した企業に対し、企業誘致条例に基づく助成金の支給を継続することから、維持としました。 成果の方向性については、企業誘致条例に基づき雇用促進助成金や太陽光発電設備設置助成金等を支給することにより、企業活動による市民の雇用促進と環境負荷軽減が図られるため、引き続き助成水準を維持しながら企業を支援する必要があることから、維持としました。				
取組み②	事業名	高柳地区開発整備推進事業〈再掲〉	所管部課	まちづくり推進部産業拠点整備推進課		
	まちづくり重点施策		②【発展性】土地の高度利用や交通利便性の向上を図り、発展し続けるまち			
	令和６年度の成果・実績	主要地方道さいたま栗橋線から高柳産業団地に進入する南北取付道路のうち、市道栗橋675号線の工事を実施するとともに、同路線の延伸先である市道栗橋747号線の用地交渉（土地の関係権利者4名、2,622㎡）を行うことにより、周辺開発整備を推進することができました。				
	令和６年度決算額(円)		77,163,794	令和７年度当初予算額（円）	197,160,000	
	予算の方向性		維持	成果の方向性	維持	
	予算及び成果の方向性を判断した理由	高柳地区における開発整備事業を引き続き推進していくことから、予算の方向性及び成果の方向性ともに維持としました。				
活動指標名称（単位）		年度	R 5（現状値（直近））	R 6	R 7	R 8
所管部課	環境経済部商工観光課					
企業誘致助成金交付件数（件）		目標値	0	6	3	3
		実績値	0	0		
		達成率	—	0.0%		

6. 行政改革に資する事業・取組み

行政改革に資する事業・取組み①						
事業名	産業基盤の整備による自主財源の確保	所管部課	環境経済部商工観光課、まちづくり推進部産業拠点整備推進課			
実施方針	産業基盤の整備による自主財源の確保に努めます。					
令和6年度の成果・実績	ハード面においては、主要地方道さいたま栗橋線から高柳産業団地に進入する南北取付道路のうち、市道栗橋675号線の工事を実施するとともに、同路線の延伸先である市道栗橋747号線の用地交渉（土地の関係権利者4名、2,622㎡）を行うことにより、周辺開発整備を推進することができました。 また、優良企業等の更なる誘致を図るため、企業誘致条例に基づく助成金制度について、市ホームページ等で周知しました。					
活動指標名称（単位）		年度	R 5（現状値 （直近））	R 6	R 7	R 8
企業誘致助成金交付件数（件） 施策5-2（3）活動指標の再掲		目標値	0	6	3	3
		実績値	0	0		
		達成率	—	0.0%		

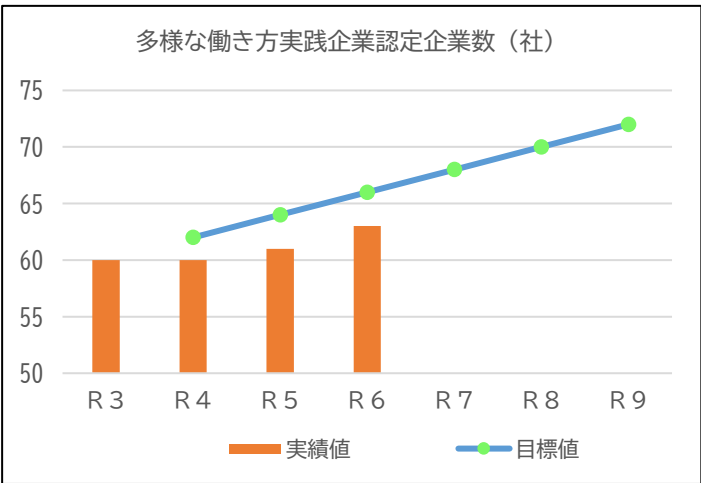
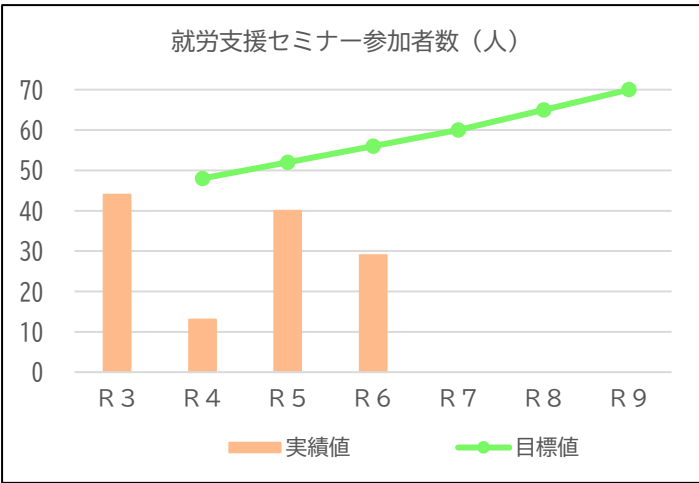
令和7年度行政評価シート

1. 前期基本計画について

基本目標	5	産業が元気で魅力と活力にあふれ働きがいのあるまちをつくる		
施策	5－3	誰もが働きがいを感じられる雇用と働きやすい環境をつくる		
主管課	環境経済部商工観光課		関係課	まちづくり推進部産業拠点整備推進課
5年後のまちの姿				
雇用機会が確保され、市内の事業所ではライフスタイルに応じた柔軟な働き方が推進されています。 また、若者や女性、障がい者、高齢者の就業が進み、市民が身近な地域で希望する働き方を選択でき、働きがいを感じることのできる就労環境が実現しています。				
施策の方向性				
(1) 雇用機会の拡大と就労支援の充実を図ります (2) 誰もが働きやすい環境をつくります (3) 新たな雇用機会を創出します				

2. 重要業績評価指標（KPI）について

重要業績評価指標（KPI）							
就労支援セミナー参加者数（人）							
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
目標値		48	52	56	60	65	70
実績値	44	13	40	29			
達成率		27.1%	76.9%	51.8%			
多様な働き方実践企業認定企業数（社）							
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
目標値		62	64	66	68	70	72
実績値	60	60	61	63			
達成率		96.8%	95.3%	95.5%			



3. 前年度行政評価委員会の意見について

前年度行政評価委員会の意見
ハローワーク等と連携し、地域においてライフスタイルに応じた就労ができるよう、働きやすい環境づくりや、より多くの就業機会の確保に努めていただきたい。
「前年度行政評価委員会の意見」に対する実施状況・今後の方向性
ハローワーク春日部と連携したふるさとハローワークの設置や内職相談の実施のほか、久喜市シルバー人材センターの活動支援を行うことで、多様な求職ニーズへの対応や高齢者の就業機会の確保を図ります。

4. 施策の目標達成度、施策の主要課題及び今後の施策の方向性について

施策の目標達成度	☐ A	目標・予定を達成している	令和6年度重要業績評価指標（KPI）達成率が全て100%以上である。
	☐ B	目標・予定に概ね沿う成果・進捗である	令和6年度重要業績評価指標（KPI）達成率で、最も低い達成率が80%以上である。
	☒ C	目標・予定を下回る成果・進捗である	令和6年度重要業績評価指標（KPI）達成率で、80%未満の指標が1つ以上ある。
施策の主要課題及び今後の施策の方向性	【施策の主要課題】 雇用機会の拡大と就労支援の充実においては、企業と求職者のミスマッチの解消が課題となっています。また、物価高騰などの社会経済情勢の変化に伴う雇用の悪化が懸念されます。誰もが働きやすい環境づくりにおいては、介護や子育てと仕事の両立の難しさなどが課題となっています。 新たな雇用機会の創出においては、優良企業等の更なる誘致と新規雇用を促進するための助成金制度を整備していますが、市内外の企業へ広く周知する必要があります。 また、高柳地区の開発整備を進めていますが、道路用地の一部が未買収であることから、引き続き用地の取得に向け、関係権利者と交渉をしていく必要があります。 【今後の方向性】 雇用機会の拡大と就労支援の充実については、シルバー人材センターへの補助を実施することで、高齢者の就業機会の確保を図ります。また、引き続きハローワーク春日部と連携し、ふるさとハローワークを市役所内に設置するほか、内職相談を実施することで、多様な求職ニーズに対応します。 誰もが働きやすい環境づくりについては、引き続き、埼玉県等と連携し、労働に関するセミナーを実施することで、求職者への情報発信や面接対策等の機会創出を図ります。 新たな雇用機会の創出については、企業誘致条例に係る助成制度を市ホームページ等で情報発信し、更なる優良企業等の誘致を図ることで、新規雇用を促進します。 また、高柳地区の開発整備については、産業団地内を整備している県企業局のスケジュールに遅れることのないよう、着実に進める必要があります。		
評価年月日	令和7年7月2日	評価者職氏名	環境経済部長 川名 健一

行政評価委員会の意見
市内の事業所等において、働き手の能力を発揮させ、働きがいを感じられる環境を作る意識改革や改善を推進されるよう周知に努めていただきたい。

5. 主要な事務事業

＜施策の方向性（１）に関連する事務事業＞						
細施策名		雇用機会の拡大と就労支援の充実を図ります				
取組み①	事業名	シルバー人材センター補助事業〈再掲〉	所管部課	環境経済部商工観光課		
	まちづくり重点施策		－			
	令和６年度の成果・実績	補助金交付要綱に基づき、シルバー人材センターが実施する、高齢者の就業機会の確保等の事業に対して補助金を交付し、シルバー人材センターの円滑な事業推進及び高齢者の就業ニーズに応えることができました。				
	令和６年度決算額(円)	13,419,000	令和７年度当初予算額（円）	13,419,000		
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持		
	予算及び成果の方向性を判断した理由	シルバー人材センターに補助金を引き続き交付することで、高齢者の雇用を促進し、企業等における人手不足の解消や高齢者の生きがいがいづくりにつなげていくことから、予算の方向性及び成果の方向性ともに維持としました。				
取組み②	事業名	雇用対策事業	所管部課	環境経済部商工観光課		
	まちづくり重点施策		－			
	令和６年度の成果・実績	内職相談員（会計年度任用職員）を1名配置し、毎週火・金曜日に内職相談を実施しました。令和6年度の求職相談件数は111件で、あっ旋者は22人でした。 また、ハローワーク春日部と連携し、市役所内で久喜市ふるさとハローワークを運営し、就業相談、職業紹介を実施しました。令和6年度の相談者数は、5,964人、就職者は551人でした。				
	令和６年度決算額(円)	210,561	令和７年度当初予算額（円）	276,000		
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持		
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性については、引き続き内職相談員による内職相談や、ふるさとハローワークを設置することにより、雇用対策を推進することから維持としました。 成果の方向性については、家庭外で働くことのできない方と企業をマッチングする内職相談や、ハローワークが主催する合同面接会を市民に周知するなど、これまでどおりの事業水準を維持することから、維持としました。				
取組み③	事業名	勤労者住宅資金貸付事業	所管部課	環境経済部商工観光課		
	まちづくり重点施策		－			
	令和６年度の成果・実績	既存融資残高及び新規融資見込み額の5分の1相当額を年度当初に金融機関へ預託し、令和6年度末に返金されました。なお、新規貸付はありませんでした。				
	令和６年度決算額(円)	3,000,000	令和７年度当初予算額（円）	3,000,000		
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持		
	予算及び成果の方向性を判断した理由	市内に居住する勤労者及び久喜市に居住しようとする勤労者の住宅確保に要する資金の貸付を継続し、安心して仕事に取り組むことができるようにする必要があることから、予算の方向性及び成果の方向性ともに維持としました。				
活動指標名称（単位）		年度	R 5（現状値（直近））	R 6	R 7	R 8
所管部課	環境経済部商工観光課					
久喜市ふるさとハローワーク利用者数（人）		目標値	8,500	9,000	9,500	9,500
		実績値	5,791	5,964		
		達成率	68.1%	66.3%		

<施策の方向性（２）に関連する事務事業>							
細施策名		誰もが働きやすい環境をつくります					
取組み①	事業名	勤労福祉センター管理事業	所管部課	環境経済部商工観光課			
	まちづくり重点施策		－				
	令和６年度の成果・実績	施設の修繕や各種管理業務委託を実施することで、施設の適切な維持管理及び利用者の利便性の向上を図りました。 施設利用者は2,548人でした。（令和5年度：3,517人）					
	令和６年度決算額(円)		2,122,507	令和７年度当初予算額（円）	2,511,000		
	予算の方向性		拡充	成果の方向性	維持		
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性については、公共施設個別施設計画において令和9年度に新ごみ処理施設付帯施設へ機能を移転・集約し、建物を除却する計画であることから、令和8年度中に解体設計業務を実施することを見込み、拡充としました。 成果の方向性については、令和8年度までは施設の維持管理を行い、現状と同水準の施設利用者が見込まれることから、維持としました。 なお、施設解体については、令和8年度以降に利用者等に対して順次周知を行っていく予定です。					
取組み②	事業名	労働会館管理事業	所管部課	環境経済部商工観光課			
	まちづくり重点施策		－				
	令和６年度の成果・実績	施設の修繕、各種管理業務委託、非常用照明の改修工事を実施することで、施設の適切な維持管理及び利用者の利便性の向上を図りました。 施設利用者は20,539人でした。（令和5年度：19,268人）					
	令和６年度決算額(円)		8,973,976	令和７年度当初予算額（円）	8,392,000		
	予算の方向性		拡充	成果の方向性	維持		
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性については、キュービクル等の設備の更新工事や施設の修繕が見込まれることから、拡充としました。 成果の方向性については、現状と同水準の施設利用者が見込まれることから、維持としました。					
活動指標名称（単位）			年度	R 5（現状値 （直近））	R 6	R 7	R 8
所管部課		環境経済部商工観光課					
勤労福祉センター利用者数（人）			目標値	3,500	3,500	3,500	3,500
			実績値	3,517	2,548		
			達成率	100.5%	72.8%		

＜施策の方向性（3）に関連する事務事業＞							
細施策名		新たな雇用機会を創出します					
取組み①	事業名	企業等誘致事業〈再掲〉	所管部課	環境経済部商工観光課			
	まちづくり重点施策		②【発展性】土地の高度利用や交通利便性の向上を図り、発展し続けるまち				
	令和6年度の成果・実績	優良企業等の更なる誘致を図るため、企業誘致条例に基づく助成金制度（雇用促進助成金、障がい者雇用促進助成金、太陽光発電設備設置助成金）について、市ホームページ等で周知しました。 令和6年度においては、助成金の申請・交付はありませんでした。					
	令和6年度決算額(円)		0	令和7年度当初予算額（円）		10,000,000	
	予算の方向性		維持	成果の方向性		維持	
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性については、本市で新たに創業を開始した企業に対し、企業誘致条例に基づく助成金の支給を継続することから、維持としました。 成果の方向性については、企業誘致条例に基づき雇用促進助成金や太陽光発電設備設置助成金等を支給することにより、企業活動による市民の雇用促進と環境負荷軽減が図られるため、引き続き助成水準を維持しながら企業を支援する必要があることから、維持としました。					
取組み②	事業名	高柳地区開発整備推進事業〈再掲〉	所管部課	まちづくり推進部産業拠点整備推進課			
	まちづくり重点施策		②【発展性】土地の高度利用や交通利便性の向上を図り、発展し続けるまち				
	令和6年度の成果・実績	主要地方道さいたま栗橋線から高柳産業団地に進入する南北取付道路のうち、市道栗橋675号線の工事を実施するとともに、同路線の延伸先である市道栗橋747号線の用地交渉（土地の関係権利者4名、2,622㎡）を行うことにより、周辺開発整備を推進することができました。					
	令和6年度決算額(円)		77,163,794	令和7年度当初予算額（円）		197,160,000	
	予算の方向性		維持	成果の方向性		維持	
	予算及び成果の方向性を判断した理由	高柳地区における開発整備事業を引き続き推進していくことから、予算の方向性及び成果の方向性ともに維持としました。					
活動指標名称（単位）			年度	R 5（現状値 （直近））	R 6	R 7	R 8
所管部課	環境経済部商工観光課						
企業誘致助成金交付件数〈再掲〉 施策5-2（3）活動指標の再掲			目標値	0	6	3	3
			実績値	0	0		
			達成率	—	0.0%		

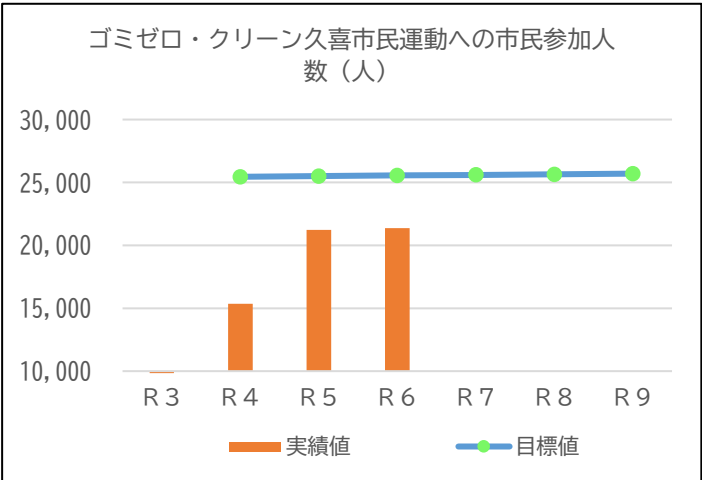
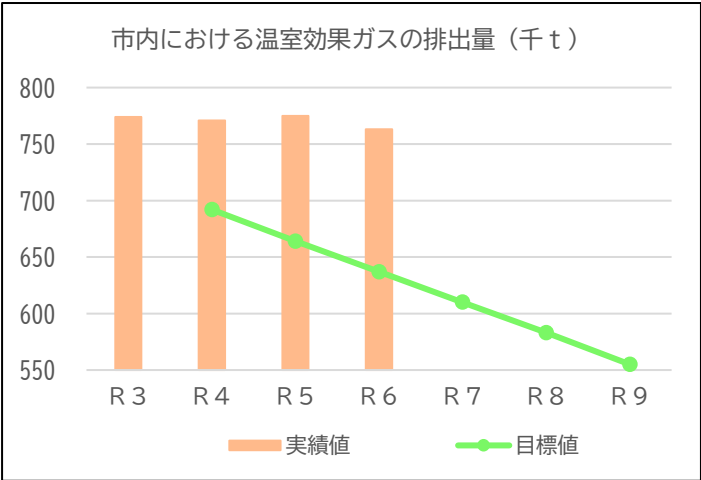
令和7年度行政評価シート

1. 前期基本計画について

基本目標	6	水や緑と共生しやすさが生まれ地球環境にやさしいまちをつくる		
施策	6－1	生物多様性の保全と快適な自然環境の創造により自然との共生社会をつくる		
主管課	環境経済部環境課		関係課	—
5年後のまちの姿				
自然の保全と創造が図られ、市民が自然環境の大切さを実感することを通じて、本市の豊かな水辺や緑が守られています。 また、市民・事業者・各種団体・行政が協働して、環境美化や公害防止対策に取り組むことにより、自然と共生する快適な生活環境が実現しています。				
施策の方向性				
(1) 自然環境と共生し生物多様性の保全を図ります (2) 快適な生活環境を創造します (3) 動物愛護と適正飼育を推進します				

2. 重要業績評価指標（KPI）について

重要業績評価指標（KPI）							
市内における温室効果ガスの排出量（千t）							
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
目標値		692	664	637	610	583	555
実績値	(R元) 774	(R2) 771	(R3) 775	(R4) 763			
達成率		88.6%	83.3%	80.2%			
ゴミゼロ・クリーン久喜市民運動への市民参加人数（人）							
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
目標値		25,450	25,500	25,550	25,600	25,650	25,700
実績値	(中止) 0	15,341	21,228	21,365			
達成率		60.3%	83.2%	83.6%			



3. 前年度行政評価委員会の意見について

前年度行政評価委員会の意見
今後も自然環境保全地区の保全活動を継続して実施し、市民が久喜市の自然に触れる機会について周知いただきたい。 また、市民の環境問題やゴミ問題に対する意識向上のため、「ゴミゼロ・クリーン久喜市民運動」を更に推進されたい。
「前年度行政評価委員会の意見」に対する実施状況・今後の方向性
自然環境保全地区で公開できる地区については、引き続き市のホームページに掲載するほか、自然観察イベントなど市民が自然に触れる機会の確保に努めています。 ゴミゼロ・クリーン久喜市民運動については、市民の環境問題やゴミ問題の意識向上を図るため、令和7年度も継続して実施し、参加者の増加を図ります。

4. 施策の目標達成度、施策の主要課題及び今後の施策の方向性について

施策の目標達成度	☐ A	目標・予定を達成している	令和6年度重要業績評価指標（KPI）達成率が全て100%以上である。
	☒ B	目標・予定に概ね沿う成果・進捗である	令和6年度重要業績評価指標（KPI）達成率で、最も低い達成率が80%以上である。
	☐ C	目標・予定を下回る成果・進捗である	令和6年度重要業績評価指標（KPI）達成率で、80%未満の指標が1つ以上ある。
施策の主要課題及び今後の施策の方向性	【施策の主要課題】 自然環境との共生と生物多様性の保全については、市民・事業者・各種団体（以下「多様な主体」）が協働して取り組んでいく必要があるため、自然の大切さや生物多様性の重要性を広く周知していくことが課題です。 快適な生活環境の創造においては、多様な主体が協働して取り組んでいく必要があるため、マナー向上や法令遵守に向けた啓発や多様な主体を巻き込んだ活動を実施することが課題です。 動物愛護と適正飼育の推進については、飼い主に終生飼養の責務、虐待防止、適正飼養に関して啓発をしていくことが課題です。 【今後の方向性】 自然環境との共生と生物多様性の保全については、自然から受ける恩恵の重要性を理解していただくために、自然観察会、野鳥観察会などを開催するとともに、埼玉県みどり自然課や埼玉県環境科学国際センター等と連携を図りながら更なる環境学習の機会の確保に努めていきます。また、環境保全活動を行う団体等への支援を継続していくとともに、活動団体の増加に努めていきます。 快適な生活環境の創造については、公害監視調査事業を継続し、市ホームページ等で情報を積極的に公表し、市民の環境保全への関心と意識の向上を図ります。 また、「ゴミゼロ・クリーン久喜市民運動」の参加者については増加傾向であり、今後についても、広報・区長会等により市民に声掛けやゴミ袋の配布による支援を通じて参加者の増加を図ります。 ポイ捨て等及び路上喫煙防止については、巡視活動を継続することにより、啓発を行っていきます。 動物愛護と適正飼育の推進については、広報やホームページはもとより、集合狂犬病予防注射や犬のしつけ方教室といった市民と直接触れあう機会を通じて周知の強化を図ります。		
評価年月日	令和7年7月2日	評価者職氏名	環境経済部長 川名 健一

行政評価委員会の意見
引き続き施策の実現に向けた取組みを実施いただきたい。

5. 主要な事務事業

＜施策の方向性（１）に関連する事務事業＞				
細施策名		自然環境と共生し生物多様性の保全を図ります		
取組み①	事業名	環境学習事業	所管部課	環境経済部環境課
	まちづくり重点施策		－	
	令和６年度の成果・実績	生物多様性の保全の重要性を周知・啓発するため、埼玉県環境科学国際センターで「こども自然観察会」（参加者25人）、栃木県小山市の渡良瀬遊水地で「野鳥観察会」（参加者17人）を実施しました。 令和6年度の自然観察イベントの参加者は合計42人で、令和5年度と比較して16人減少しました。 その他、環境講座や、高校生を対象とした気候変動問題への理解を深めるためのワークショップを開催することで、環境に対する関心や知識の向上を図ることができました。		
	令和６年度決算額(円)	37,915	令和７年度当初予算額（円）	0
	予算の方向性	維持（ゼロ予算）	成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	令和7年度から、埼玉県と協働で高校生環境ワークショップを実施することになり、その他自然観察イベントについてもゼロ予算で実施していくことから、予算の方向性及び成果の方向性ともに維持としました。		
	取組み②	事業名	自然保護事業	所管部課
まちづくり重点施策		－		
令和６年度の成果・実績		市内に残る豊かな自然環境の保全を図るため、市内自然環境保全地区（吉羽天神社周辺保全地区や栗橋内池保全地区等5地区）に対し、保全奨励金を交付しました。 また、業務委託により、狐塚地内の内池除草、八甫の森住宅隣接箇所の除草・雑木の伐採及び防草シートの設置を実施しました。		
令和６年度決算額(円)		3,578,544	令和７年度当初予算額（円）	896,000
予算の方向性		縮小	成果の方向性	維持
予算及び成果の方向性を判断した理由		予算の方向性については、八甫の森保全地区周辺の土地を私有地との交換により取得する方針であり、交換に伴う土地の鑑定のため、令和7年度のみ不動産鑑定業務委託を実施する予定であること、自然環境保全地区奨励金及び内池除草業務委託は市内環境の維持のため継続して実施することから、縮小としました。 成果の方向性について、奨励金・内池除草は例年通りに実施し、八甫の森についても職員作業による管理を継続することから、維持としました。		

施策6-1 生物多様性の保全と快適な自然環境の創造により自然との共生社会をつくる 【主要な事務事業】

取 組 み ③	事業名	地域保健衛生事業		所管部課	環境経済部環境課		
	まちづくり重点施策		－				
	令和6年度の 成果・実績	公衆衛生の回復のために、市民等から連絡を受け、市道等における犬・猫・野生鳥獣等小動物の死骸を処理しました。（死骸回収件数1,105件） また、スズメバチを駆除した市民への補助金交付を行いました。（96件）					
	令和6年度決算額(円)		18,928,518	令和7年度当初予算額（円）		19,847,000	
	予算の方向性		維持	成果の方向性		維持	
	予算及び成果 の方向性を判 断した理由	予算の方向性については、市民の生命・安全確保、公衆衛生の確保、市民の環境美化意識の向上のために事業を継続する必要があることから維持としました。 成果の方向性については、これまでと同じ水準で事業を実施する必要があることから、維持としました。					
活動指標名称（単位）			年度	R 5（現状値 （直近））	R 6	R 7	R 8
所管部課	環境経済部環境課						
環境学習の参加人数（人）			目標値	90	100	110	110
			実績値	180	140		
			達成率	200.0%	140.0%		

＜施策の方向性（２）に関連する事務事業＞						
細施策名		快適な生活環境を創造します				
取組み①	事業名	環境保全業務経費	所管部課	環境経済部環境課		
	まちづくり重点施策		－			
	令和６年度の成果・実績	ごみの散乱防止と再資源化推進の啓発を図るため、令和6年5月18日（土）から6月2日（日）までの期間において、市内全域で清掃活動を行う「ゴミゼロ・クリーン久喜市民運動」を実施しました。本事業への参加人数は、21,365人であり、令和5年度の21,228人と比べて137人増加しました。				
	令和６年度決算額(円)	458,886	令和７年度当初予算額（円）	481,000		
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持		
	予算及び成果の方向性を判断した理由	ごみの散乱防止の啓発と再資源化推進の観点から、「ゴミゼロ・クリーン久喜市民運動」などの事業を実施する予定であるため、予算の方向性及び成果の方向性ともに維持としました。				
取組み②	事業名	ポイ捨て等及び路上喫煙防止対策事業	所管部課	環境経済部環境課		
	まちづくり重点施策		－			
	令和６年度の成果・実績	ごみのポイ捨てや飼い犬のふんの放置及び路上喫煙を防止し、環境美化を促進するため、市職員と環境保全巡視員による防止重点区域のパトロールを実施しました。また、栗橋駅西口に喫煙所を設置し、新たにポイ捨て等及び路上喫煙の防止区域に指定しました。 パトロールにより、ポイ捨て及び路上喫煙防止の指導を計91件行ったほか、久喜駅周辺及び栗橋駅周辺の計13か所に路上喫煙禁止区域の路面標示を行いました。				
	令和６年度決算額(円)	9,201,698	令和７年度当初予算額（円）	1,710,000		
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持		
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性については、ポイ捨て等及び路上喫煙防止に対する環境美化を促進とする観点から維持としました。 成果の方向性については、看板や禁止区域の路面標示による周知及びパトロールの実施による啓発を図ることから、維持としました。				
取組み③	事業名	公害監視調査事業	所管部課	環境経済部環境課		
	まちづくり重点施策		－			
	令和６年度の成果・実績	市民の健康を守り生活環境を保全するため、自動車交通騒音常時監視調査（6路線）、大気汚染調査（3か所）、有害大気汚染物質調査（1か所）、水質調査（河川等29か所）、水質立入検査分析調査（16か所）、地下水常時監視調査（6か所）、大気立入検査分析調査（1か所）の各種調査を実施しました。				
	令和６年度決算額(円)	6,728,700	令和７年度当初予算額（円）	9,609,000		
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持		
	予算及び成果の方向性を判断した理由	公害監視に関する各種調査の事務委託や職員による簡易調査を実施していくことから、予算の方向性及び成果の方向性ともに維持としました。				
活動指標名称（単位）		年度	R 5（現状値（直近））	R 6	R 7	R 8
所管部課	環境経済部環境課					
ポイ捨て等パトロール実施回数（回）		目標値	321	321	321	321
		実績値	316	341		
		達成率	98.4%	106.2%		

<施策の方向性（３）に関連する事務事業>							
細施策名		動物愛護と適正飼育を推進します					
取組み①	事業名	自然保護事業〈再掲〉	所管部課	環境経済部環境課			
	まちづくり重点施策		－				
	令和６年度の成果・実績	市内に残る豊かな自然環境の保全を図るため、市内自然環境保全地区（吉羽天神社周辺保全地区や栗橋内池保全地区等5地区）に対し、保全奨励金を交付しました。 また、業務委託により、狐塚地内の内池除草、八甫の森住宅隣接箇所の除草・雑木の伐採及び防草シートの設置を実施しました。					
	令和６年度決算額(円)		3,578,544	令和７年度当初予算額（円）	896,000		
	予算の方向性		縮小	成果の方向性	維持		
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性については、八甫の森保全地区周辺の土地を私有地との交換により取得する方針であり、交換に伴う土地の鑑定のため、令和7年度のみ不動産鑑定業務委託を実施し、自然環境保全地区奨励金及び内池除草業務委託は市内環境の維持のため継続して実施することから、縮小としました。 成果の方向性について、奨励金・内池除草は例年通りに実施し、八甫の森についても職員作業による管理を継続することから、維持としました。					
取組み②	事業名	畜犬対策事業	所管部課	環境経済部環境課			
	まちづくり重点施策		－				
	令和６年度の成果・実績	畜犬登録を推進するとともに、集合狂犬病予防注射（市内18会場で実施、注射済票を1,017頭分交付）や犬のしつけ方教室（市内4会場で実施、参加者数計82人）を実施することで、飼い犬の狂犬病予防注射の接種率や飼い主のモラルを向上させ、公衆衛生の後退を防ぎました。					
	令和６年度決算額(円)		880,957	令和７年度当初予算額（円）	863,000		
	予算の方向性		維持	成果の方向性	維持		
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性については、集合狂犬病予防接種や犬のしつけ方教室をこれまでと同様に実施することから維持としました。 成果の方向性については、引き続き犬の所有者の負担軽減や公衆衛生の向上を引き続き図る必要があることから、維持としました。					
活動指標名称（単位）			年度	R 5（現状値 （直近））	R 6	R 7	R 8
所管部課		環境経済部環境課					
犬のしつけ方教室実施回数（回）			目標値	4	4	4	4
			実績値	4	4		
			達成率	100.0%	100.0%		

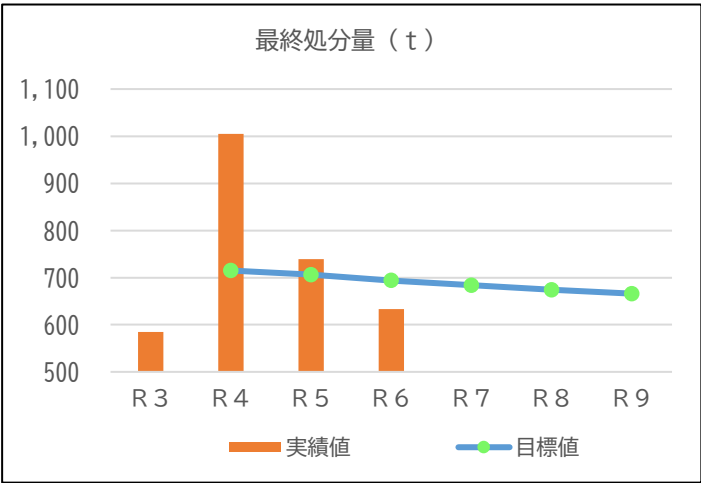
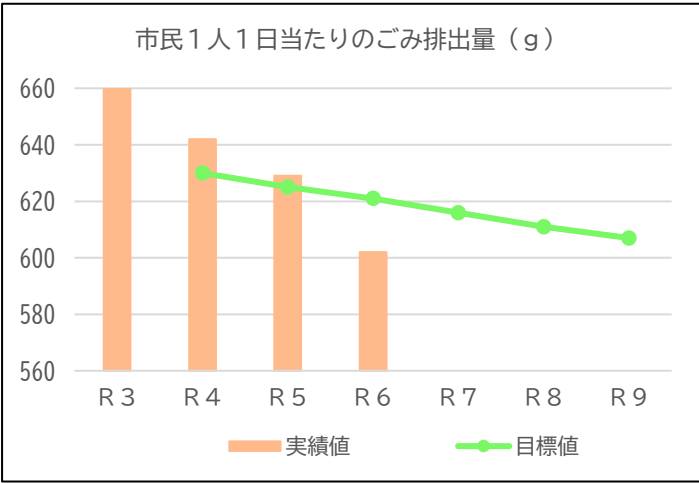
令和7年度行政評価シート

1. 前期基本計画について

基本目標	6	水や緑と共生しやすさが生まれ地球環境にやさしいまちをつくる		
施策	6－2	廃棄物の適正処理と効果的な資源循環を推進する		
主管課	環境経済部資源循環推進課		関係課	こども未来部こども育成課
5年後のまちの姿				
新たなごみ処理施設の稼働や、し尿処理施設の集約化により、衛生的で効率的なごみ処理・し尿処理が実現しています。 また、環境学習等の啓発活動を通じて、市民や事業者・団体と協力したごみの減量化と効果的な資源化が進められています。 さらに、ごみ焼却時に発生する熱や電気を市内の公共施設で活用することにより、エネルギーの有効利用が図られ、地域循環社会が実現しています。				
施策の方向性				
(1) ごみの減量化と適正処理を図ります (2) ごみ・し尿処理体制の充実を図ります				

2. 重要業績評価指標（KPI）について

重要業績評価指標（KPI）							
市民1人1日当たりのごみ排出量（g）							
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
目標値		630	625	621	616	611	607
実績値	(R2) 660	(R3) 642	(R4) 629	(R5) 602			
達成率		98.1%	99.4%	103.1%			
最終処分量（t）							
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
目標値		715	706	694	684	674	666
実績値	(R2) 585	(R3) 1,005	(R4) 739	(R5) 633			
達成率		59.4%	95.3%	108.8%			



3. 前年度行政評価委員会の意見について

前年度行政評価委員会の意見
ごみの排出量を削減できるよう、久喜市ごみ分別アプリの周知を図るなど、ごみの分別やリサイクルの推進に更に努められたい。 新ごみ処理施設を予定どおり稼働できるよう準備を進め、住民や企業に対して稼働に伴う変更点を周知してもらいたい。
「前年度行政評価委員会の意見」に対する実施状況・今後の方向性
ごみ排出量の削減のため、今後も広報紙やホームページ、ごみ分別アプリを通じて啓発を実施していきます。 新ごみ処理施設の稼働に向けて、施設等の整備を進めるとともに、ごみの分別方法や排出方法の見直しについて、市民や事業者等に対し、機会をとらえて丁寧に周知を図っていきます。

4. 施策の目標達成度、施策の主要課題及び今後の施策の方向性について

施策の目標達成度	■ A	目標・予定を達成している	令和6年度重要業績評価指標（KPI）達成率が全て100%以上である。
	□ B	目標・予定に概ね沿う成果・進捗である	令和6年度重要業績評価指標（KPI）達成率で、最も低い達成率が80%以上である。
	□ C	目標・予定を下回る成果・進捗である	令和6年度重要業績評価指標（KPI）達成率で、80%未満の指標が1つ以上ある。
施策の主要課題及び今後の施策の方向性	【施策の主要課題】 ごみの減量化については、広報紙やホームページ、ごみ分別アプリを通じて、ごみ排出量の削減やリサイクルの推進に向けた啓発を実施しました。引き続き、ごみの減量化に向け、効果的な啓発を実施していく必要があります。 ごみの適正処理については、ごみ処理事務の担い手である久喜宮代衛生組合において、本市が拠出する負担金等を基に、ごみ処理施設の安定した運営がなされ、適正に処理しました。今後も、令和9年度の新ごみ処理施設稼働までの間、久喜宮代衛生組合において、適正にごみを処理する必要があります。 新ごみ処理施設については、令和9年度からの稼働に向けて、施設及び周辺道路の整備工事を実施しています。今後も、工事計画に基づき、着実に整備を行うことが必要です。 また、地区ごとに、ごみの分別方法や排出方法が異なっているため、新ごみ処理施設の稼働に向けて、統一を図ることが課題です。 し尿の適正処理については、令和6年4月から八甫清掃センターし尿処理施設において、市内のし尿全量を処理しています。今後も施設を円滑かつ安定的に稼働し、適正に処理を行う必要があります。 【今後の方向性】 ごみの減量化については、ごみ排出量の削減やリサイクル推進のため、引き続き広報紙やホームページ、ごみ分別アプリを通じて啓発を実施していきます。 ごみの適正処理については、令和9年度の新ごみ処理施設稼働までの間、久喜宮代衛生組合において、ごみ処理施設の安定した運営が行われることで、適正に処理していきます。 新ごみ処理施設については、令和9年度の稼働に向けて、引き続き施設や周辺道路等の整備工事を実施していきます。 また、新ごみ処理施設の稼働に向けて、地区ごとに異なるごみの分別方法や排出方法を統一するにあたり、関係機関との協議・調整を行うとともに、市民や事業者等に対し、丁寧に周知していきます。 し尿処理については、施設の運転管理事業者と連絡・調整を密にし、安定した運営を行い、適正に処理していきます。		
評価年月日	令和7年7月2日	評価者職氏名	環境経済部長 川名 健一

行政評価委員会の意見
KPI「市民1人1日当たりのごみ排出量」及び「最終処分量」について、引き続き目標値を達成できるよう、取り組みを継続いただきたい。 令和9年度開業予定の新ごみ処理施設や余熱利用施設及び（仮称）本多静六記念市民の森・緑の公園について、施設の魅力等の情報発信により力を入れていただきたい。また、施設稼働後のごみの分別方法の変更について十分に周知されたい。

5. 主要な事務事業

＜施策の方向性（１）に関連する事務事業＞							
細施策名		ごみの減量化と適正処理を図ります					
取 組 み ①	事業名	久喜宮代衛生組合負担金事業	所管部課	環境経済部資源循環推進課			
	まちづくり重点施策		－				
	令和６年度の 成果・実績	ごみ処理事務の担い手である久喜宮代衛生組合において、本市が拠出する負担金等を基に、ごみ処理施設の安定した運営がなされ、適正に処理しました。 なお、ごみ収集事務については、令和５年度まで久喜宮代衛生組合で実施していましたが、事務移管により、令和６年度から本市で実施しています。					
	令和６年度決算額(円)		1,698,459,000	令和７年度当初予算額（円）	1,909,910,000		
	予算の方向性		縮小	成果の方向性	維持		
	予算及び成果 の方向性を判 断した理由	予算の方向性については、令和８年度の久喜宮代衛生組合のごみ処理施設の修繕費が、令和７年度と比較して減少すること等に伴い、組合負担金が減額となる見込みであることから、縮小としました。 成果の方向性については、今後も久喜宮代衛生組合の構成市として、ごみ処理施設の運営経費負担金を拠出し、ごみの適正処理を維持するものとしていることから、維持としました。					
活動指標名称（単位）			年度	Ｒ５（現状値 （直近））	Ｒ６	Ｒ７	Ｒ８
所管部課	環境経済部資源循環推進課						
ごみ減量適正啓発実施回数（回）			目標値	４	４	４	４
			実績値	４	９		
			達成率	100.0%	225.0%		

<施策の方向性（２）に関連する事務事業>						
細施策名		ごみ・し尿処理体制の充実を図ります				
取組み①	事業名	久喜宮代衛生組合負担金事業〈再掲〉	所管部課	環境経済部資源循環推進課		
	まちづくり重点施策		－			
	令和６年度の成果・実績	ごみ処理事務の担い手である久喜宮代衛生組合において、本市が拠出する負担金等を基に、ごみ処理施設の安定した運営がなされました。 なお、し尿処理については、令和５年度まで久喜宮代衛生組合で実施していましたが、事務移管により、令和６年度から本市で実施しています。				
	令和６年度決算額(円)	1,698,459,000	令和７年度当初予算額（円）	1,909,910,000		
	予算の方向性	縮小	成果の方向性	維持		
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性については、令和８年度の久喜宮代衛生組合のごみ処理施設の修繕費が、令和７年度と比較して減少すること等に伴い、組合負担金が減額となる見込みであることから、縮小としました。 成果の方向性については、今後も久喜宮代衛生組合の構成市として、ごみ処理施設の運営経費負担金を拠出し、充実したごみ処理体制を維持するものとしていることから、維持としました。				
取組み②	事業名	ごみ処理施設整備推進事業	所管部課	環境経済部資源循環推進課		
	まちづくり重点施策		⑥【環境】ゼロカーボンシティの実現を目指す環境にやさしいまち			
	令和６年度の成果・実績	新ごみ処理施設の整備に伴う道路整備工事の設計・測量・補償業務委託を実施し、道路用地の買収を進めるとともに、周辺道路の整備工事を実施しました。 また、令和４年度に締結した新ごみ処理施設の整備請負契約に基づき、新ごみ処理施設の整備工事を実施しました。				
	令和６年度決算額(円)	2,128,807,756	令和７年度当初予算額（円）	8,438,026,000		
	予算の方向性	拡充	成果の方向性	維持		
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性については、令和４年度に締結した新ごみ処理施設の整備請負契約に基づく支払額が増額となることから、拡充としました。 成果の方向性については、令和７年度から継続して、令和９年４月の供用に向けて、新ごみ処理施設や周辺道路等の整備工事を予定していることから、維持としました。				
取組み③	事業名	余熱利用施設及び(仮称)本多静六記念 市民の森・緑の公園一体整備事業〈再掲〉	所管部課	環境経済部資源循環推進課		
	まちづくり重点施策		⑥【環境】ゼロカーボンシティの実現を目指す環境にやさしいまち			
	令和６年度の成果・実績	令和６年３月１９日に契約締結した余熱利用施設及び（仮称）本多静六記念 市民の森・緑の公園一体整備運営事業に関する事業契約に基づき、余熱利用施設及び公園の設計業務を行いました。 また、同事業が要求水準書や提案書どおりに進んでいるか確認するため、業務委託によりモニタリング業務を実施しました。 その他、公園内への記念樹木の植栽を目的として、記念樹木の挿木苗８８本の育成管理業務を行いました。				
	令和６年度決算額(円)	62,919,252	令和７年度当初予算額（円）	479,799,000		
	予算の方向性	拡充	成果の方向性	維持		
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性について、ＰＦＩ事業契約に基づく支払額が増額となることから拡充としました。 成果の方向性は、余熱利用施設及び公園について令和７年度から継続して、令和９年４月の供用開始に向けた建設・工事監理業務等を予定していることから、維持としました。				
活動指標名称（単位）		年度	R 5（現状値（直近））	R 6	R 7	R 8
所管部課	環境経済部資源循環推進課					
新ごみ処理施設整備率（％）		目標値	3.0	9.7	35.9	94.5
		実績値	3.0	9.7		
		達成率	100.0%	100.0%		

6. 行政改革に資する事業・取組み

行政改革に資する事業・取組み①					
事業名	食品ロス削減の推進	所管部課	環境経済部資源循環推進課、こども未来部こども育成課		
実施方針	食品ロス削減を推進します。				
令和6年度の成果・実績	令和6年10月27日と28日の2日間で、市と久喜市社会福祉協議会との共催により、フードドライブを実施しました。また、フードポストを公共施設や郵便局の計8か所に常時設置し、寄付いただいた食品を市内のフードパントリー活動団体やこども食堂に無償で提供することにより、食品ロスの削減及びこどもの貧困対策を推進しました。				
活動指標名称（単位）	年度	R 5（現状値 （直近））	R 6	R 7	R 8
フードドライブ実施回数（回）	目標値	1	1	1	1
	実績値	1	1		
	達成率	100.0%	100.0%		

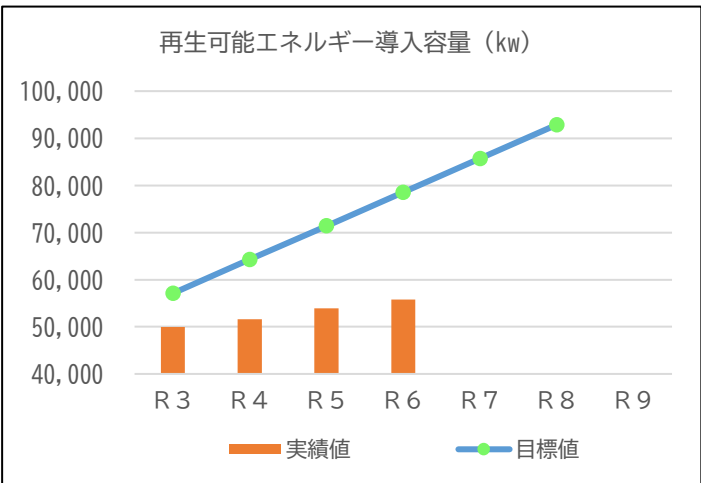
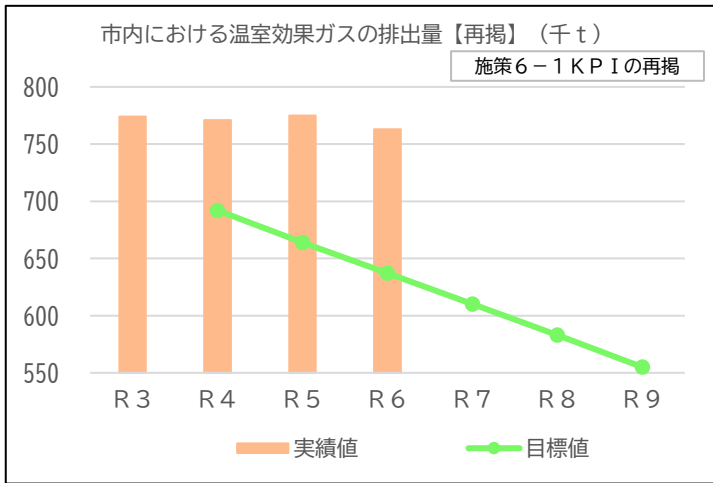
令和7年度行政評価シート

1. 前期基本計画について

基本目標	6	水や緑と共生しやすさが生まれ地球環境にやさしいまちをつくる	
施策	6-3	地球環境問題に対応したゼロカーボンシティを目指す	
主管課	環境経済部環境課	関係課	総務部管財課、まちづくり推進部都市計画課
5年後のまちの姿			
再生可能エネルギーや省エネルギー等の普及に向けた取組みを市民・事業者・団体・行政が一体となり市全体で展開し、地域新電力事業等の地球環境問題に対応したゼロカーボンシティ実現に向けた取組みを力強く推進しています。			
施策の方向性			
(1) 脱炭素型ライフスタイルへの転換を促進します (2) 再生可能エネルギー・省エネルギーを積極的に推進します (3) 地域新電力事業を推進します (4) 次世代自動車の普及を促進します			

2. 重要業績評価指標（KPI）について

重要業績評価指標（KPI）							
市内における温室効果ガスの排出量【再掲】（千t）					※施策6-1 KPIの再掲		
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
目標値		692	664	637	610	583	555
実績値	(R元) 774	(R2) 771	(R3) 775	(R4) 763			
達成率		88.6%	83.3%	80.2%			
再生可能エネルギー導入容量（kw）							
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
目標値		57,106	64,260	71,414	78,568	85,721	92,875
実績値	(R2) 49,952	(R3) 51,615	(R4) 53,891	(R5) 55,806			
達成率		90.4%	83.9%	78.1%			



3. 前年度行政評価委員会の意見について

前年度行政評価委員会の意見
環境問題に関する世界的な動向を注視し、市の環境への取組みに適切に反映されたい。 脱炭素化に向けて、公用車における電気自動車の導入以外の取組みも推進されたい。
「前年度行政評価委員会の意見」に対する実施状況・今後の方向性
温室効果ガスの総排出量を2013(平成25)年度と比較して、2030(令和12)年度までに50%削減するために再生可能エネルギーの導入調達や公共施設照明設備のLED化及び森林整備によるカーボンオフセットに取り組んでいきます。 令和6年度末時点の低公害車の導入は169台、導入率97.7%です。

4. 施策の目標達成度、施策の主要課題及び今後の施策の方向性について

施策の目標達成度	☐ A	目標・予定を達成している	令和6年度重要業績評価指標(KPI)達成率が全て100%以上である。
	☐ B	目標・予定に概ね沿う成果・進捗である	令和6年度重要業績評価指標(KPI)達成率で、最も低い達成率が80%以上である。
	☒ C	目標・予定を下回る成果・進捗である	令和6年度重要業績評価指標(KPI)達成率で、80%未満の指標が1つ以上ある。
施策の主要課題及び今後の施策の方向性	【施策の主要課題】 脱炭素型ライフスタイルへの転換の促進においては、各公共施設に緑のカーテンの設置を行ったほか、令和5年3月に策定した「第3次久喜市環境保全率実行計画」の目標達成に向けた進行管理を行いました。全庁的に環境負荷の軽減と温室効果ガスの削減を図るため、環境マネジメントシステムの効率的な運用が課題となっています。 再生可能エネルギー・省エネルギーの積極的な推進においては、再生可能エネルギー機器等の購入を促進するため、「ゼロカーボン推進補助金」を市民に交付しました。より脱炭素化に資する制度内容となるよう継続して見直していくことが課題です。 地域新電力事業の推進においては、令和6年11月に地域新電力会社を設立しました。再生可能エネルギーの調達方法などが今後の課題となっています。 次世代自動車の普及促進においては、電気自動車を購入する選択の後押しとなるよう「ゼロカーボン推進補助金」を市民に交付しました。電気自動車の充電インフラを整備することが、今後の課題です。 【今後の方向性】 温室効果ガスの総排出量を2013(平成25)年度と比較して、2030(令和12)年度までに50%削減する目標を達成するために、再生可能エネルギー機器等の購入促進、地域新電力会社による再生可能エネルギーの調達、埼玉県森林CO2吸収量認定取得により、CO2等の削減に向けて取り組みます。 「ゼロカーボン推進補助金」を継続し、再生可能エネルギー機器や電気自動車の購入・促進に取り組めます。 また、地域新電力会社は再生可能エネルギーの電源を優先して調達し、令和7年度に小売電力事業を開始し、順次公共施設を中心とした市内の施設、家庭への電力供給を行う予定です。		
評価年月日	令和7年7月2日	評価者職氏名	環境経済部長 川名 健一

行政評価委員会の意見
市は地域新電力に関する目標や取組状況について、市民に対して積極的に情報発信してほしい。 また、電気自動車の導入のほか、脱炭素化を推進する事業に、より一層取り組んでいただきたい。

5. 主要な事務事業

＜施策の方向性（１）に関連する事務事業＞						
細施策名		脱炭素型ライフスタイルへの転換を促進します				
取組み①	事業名	緑のカーテン事業	所管部課	環境経済部環境課		
	まちづくり重点施策		－			
	令和６年度の成果・実績	市内公共施設17施設に、つる性の植物で建物の壁を覆う「緑のカーテン」を設置しました。「緑のカーテン」の設置により、直射日光を遮り、冷房の利用温度を抑制できるため、節電効果が生まれ、地球温暖化防止に寄与することができました。				
	令和６年度決算額(円)		1,400,000	令和７年度当初予算額（円）		1,200,000
	予算の方向性		維持	成果の方向性		維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	緑化の推進やヒートアイランド現象の緩和に市が取り組むことで、地球温暖化防止に寄与できると判断したため、予算の方向性及び成果の方向性ともに維持としました。				
取組み②	事業名	環境マネジメントシステム運用事業	所管部課	環境経済部環境課		
	まちづくり重点施策		－			
	令和６年度の成果・実績	令和5年3月に策定した「第2次久喜市環境基本計画」及び「第3次久喜市環境保全率先実行計画」に掲げた、温室効果ガス排出量の削減目標達成に向け、市の事務事業から排出される温室効果ガスの排出抑制に資する取組み等を定めました。 定めた取組みについて、研修による全職員への周知、内部監査による実施状況の確認、外部団体による施設の省エネ最適化診断の実施を行い、取組み結果を最高責任者（市長）まで共有して、課題の整理等を実施することで、PDCAサイクルにより改善を図る環境マネジメントシステムを運用することができました。				
	令和６年度決算額(円)		16,940	令和７年度当初予算額（円）		17,000
	予算の方向性		維持	成果の方向性		維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	温室効果ガスの総排出量を2013（平成25）年度と比較して、2030（令和12）年度までに50%削減するため、市が取り組む手法として環境マネジメントシステムを継続して実施する必要性があると判断したため、予算の方向性及び成果の方向性ともに維持としました。				
活動指標名称（単位）		年度	R 5（現状値（直近））	R 6	R 7	R 8
所管部課	環境経済部環境課					
エコライフDAY参加者数（人）		目標値	1,025	1,050	1,075	1,075
		実績値	1,658	2,835		
		達成率	161.8%	270.0%		

＜施策の方向性（２）に関連する事務事業＞						
細施策名		再生可能エネルギー・省エネルギーを積極的に推進します				
取組み①	事業名	ゼロカーボン推進事業（再掲）	所管部課	環境経済部環境課		
	まちづくり重点施策		⑥【環境】ゼロカーボンシティの実現を目指す環境にやさしいまち			
	令和６年度の成果・実績	ゼロカーボンシティの実現に向け、再生可能エネルギー機器や省エネルギー機器を購入する市民に対し、394件19,698,000円の補助金を交付しました。 これにより、地球温暖化防止に寄与するとともに、市民の環境保全意識を高めることができました。				
	令和６年度決算額(円)	19,698,000	令和７年度当初予算額（円）	22,561,000		
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持		
	予算及び成果の方向性を判断した理由	令和5年3月に策定した「第2次久喜市環境基本計画」に温室効果ガス排出量を2030（令和12）年度までに50％削減（2013（平成25）年度比）する目標を掲げており、この目標を達成するには市民による電気やガスの節約や利用の効率化などの取り組みを推進する必要があるため、予算の方向性及び成果の方向性ともに維持としました。				
取組み②	事業名	南栗橋８丁目周辺地区整備事業（再掲）	所管部課	まちづくり推進部都市計画課		
	まちづくり重点施策		②【発展性】土地の高度利用や交通利便性の向上を図り、発展し続けるまち			
	令和６年度の成果・実績	産官学連携のまちづくりプロジェクト「BRIDGE LIFE Platform構想」に基づき、トヨタホーム株式会社により、先進技術を活用したスマートタウンの取組みが行われており、太陽光発電パネルやホームエネルギーマネジメントシステムを導入した住宅（ＺＥＨ）が、令和6年度末時点において全172棟建設予定のうち、98棟の建築が完了しました。				
	令和６年度決算額(円)	186,273,200	令和７年度当初予算額（円）	148,476,000		
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持		
	予算及び成果の方向性を判断した理由	引き続き、スマートタウンの整備を通じて、環境に配慮したまちづくりを進めていく必要があると判断したため、予算の方向性及び成果の方向性ともに維持としました。				
活動指標名称（単位）		年度	R 5（現状値（直近））	R 6	R 7	R 8
所管部課	環境経済部環境課					
ゼロカーボン推進補助金交付件数（件）		目標値	382	415	448	448
		実績値	372	394		
		達成率	97.4%	94.9%		

<施策の方向性（３）に関連する事務事業>							
細施策名		地域新電力事業を推進します					
取 組 み ①	事業名	地域新電力事業	所管部課	環境経済部環境課			
	まちづくり重点施策		⑥【環境】ゼロカーボンシティの実現を目指す環境にやさしいまち				
	令和６年度の 成果・実績	令和6年11月21日に、市とホームタウンエナジー株式会社、ケーブルテレビ株式会社は官民連携による地域新電力会社「久喜新電力株式会社」を設立しました。 令和7年10月からの電力供給開始に向けた準備を進めました。					
	令和６年度決算額(円)		5,100,000	令和７年度当初予算額（円）	0		
	予算の方向性		休廃止	成果の方向性	休廃止		
	予算及び成果 の方向性を判 断した理由	令和6年度に地域新電力会社を設立したことから、事業としては休廃止としています。 なお、令和7年度以降は、久喜新電力株式会社が小売電力事業を行い、市は株主として事業に参画し、再生可能エネルギーである太陽光発電や卒FIT等の地域内再生可能エネルギーの電源を優先して調達し、地域内電力の地産地消を目指します。					
活動指標名称（単位）			年度	R５（現状値 （直近））	R６	R７	R８
所管部課		環境経済部環境課					
電力供給量（Mwh）			目標値	未定	未定	未定	未定
			実績値	0.0	0.0		
			達成率	—	—		

＜施策の方向性（４）に関連する事務事業＞						
細施策名		次世代自動車の普及を促進します				
取組み①	事業名	ゼロカーボン推進事業〈再掲〉	所管部課	環境経済部環境課		
	まちづくり重点施策		⑥【環境】ゼロカーボンシティの実現を目指す環境にやさしいまち			
	令和６年度の成果・実績	ゼロカーボンシティの実現に向け、再生可能エネルギー機器や省エネルギー機器を購入する市民に対し、394件19,698,000円の補助金を交付しました。 補助対象機器のうち電気自動車の補助件数は22件であり、補助金の交付により、消費者の電気自動車の購入を後押しし、次世代自動車の普及につなげることができました。電気自動車の補助件数は、令和5年度と比較し11件減少しました。				
	令和６年度決算額(円)	19,698,000	令和７年度当初予算額（円）	22,561,000		
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持		
	予算及び成果の方向性を判断した理由	令和5年3月に策定した「第2次久喜市環境基本計画」に温室効果ガス排出量を2030（令和12）年度までに50%削減（2013（平成25）年度比）する目標を掲げており、この目標を達成するには市民による電気自動車購入などの取組みを推進する必要があるため、予算の方向性及び成果の方向性ともに維持としました。				
取組み②	事業名	低公害車購入事業	所管部課	総務部管財課		
	まちづくり重点施策		⑥【環境】ゼロカーボンシティの実現を目指す環境にやさしいまち			
	令和６年度の成果・実績	使用期間が13年以上経過した公用車を低公害車に買い替えた結果、電気自動車（公用車）の保有台数が8台となり、脱炭素化を推進しました。 特殊車両を除く公用車173台中、低公害車169台。低公害車の導入率97.7%				
	令和６年度決算額(円)	3,848,726	令和７年度当初予算額（円）	4,767,000		
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持		
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性及び成果の方向性については、計画的に電気自動車の導入を継続的に進めていくことから、維持としました。				
活動指標名称（単位）		年度	R 5（現状値（直近））	R 6	R 7	R 8
所管部課	総務部管財課					
電気自動車（公用車）の台数（台）		目標値	7	9	11	13
		実績値	7	8		
		達成率	100.0%	88.9%		

6. 行政改革に資する事業・取組み

行政改革に資する事業・取組み①					
事業名	次世代自動車の普及推進	所管部課	総務部管財課		
実施方針	脱炭素化を推進するため、公用車の電気自動車への切り替えを進めます。				
令和6年度の 成果・実績	計画的に公用車の切り替えを進めた結果、電気自動車の保有台数が7台から8台となり、脱炭素化を推進しました。				
活動指標名称（単位）	年度	R 5（現状値 （直近））	R 6	R 7	R 8
電気自動車（公用車）の台数（台）〈再掲〉 施策6-3（4）活動指標の再掲	目標値	7	9	11	13
	実績値	7	8		
	達成率	100.0%	88.9%		

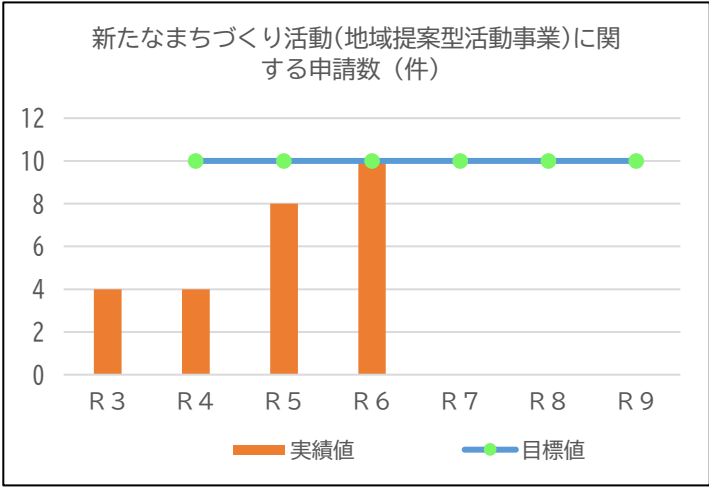
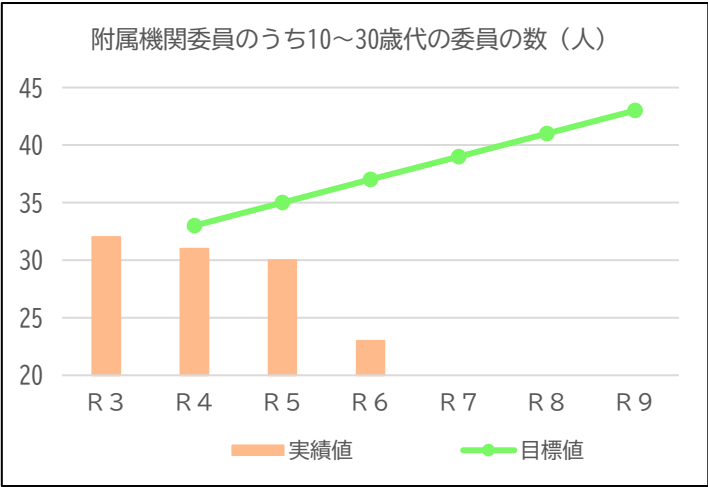
令和7年度行政評価シート

1. 前期基本計画について

基本目標	7	市民一人ひとりが主役！絆を大切にし協働・共創のまちをつくる	
施策	7－1	地域コミュニティと協働のまちづくりを推進し絆を深める	
主管課	市民部市民生活課		関係課 市民部各行政センター
5年後のまちの姿			
町内会や自治会、地区コミュニティ協議会、NPOやボランティア団体等によるまちづくり活動が活発で、地域課題の解決に向けた取組みが市民主体で進んでいます。 また、様々な事業や計画策定過程等への市民参加が行われ、市民・事業者・関係団体・行政等による協働・共創のまちづくりが実現しています。			
施策の方向性			
(1) 地域課題の解決に向けた市民主体の取組みを応援します (2) 市民団体・ボランティア団体の活動を支援します (3) 幅広く市民参加の機会を確保し、協働のまちづくりを進めます			

2. 重要業績評価指標（KPI）について

重要業績評価指標（KPI）							
附属機関委員のうち10～30歳代の委員の数（人）							
年度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
目標値		33	35	37	39	41	43
実績値	32	31	30	23			
達成率		93.9%	85.7%	62.2%			
新たなまちづくり活動(地域提案型活動事業)に関する申請数（件）							
年度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
目標値		10	10	10	10	10	10
実績値	4	4	8	10			
達成率		40.0%	80.0%	100.0%			



3. 前年度行政評価委員会の意見について

前年度行政評価委員会の意見
地域の人が世代や立場を超えて交流し、知識や経験を共有して、街づくりに関わることができるよう取り組んでほしい。 コミュニティセンターについては、市民にとって利便性が高い施設であるよう努めてほしい。
「前年度行政評価委員会の意見」に対する実施状況・今後の方向性
幅広い世代や立場の市民が参加できるよう、市民参加推進員制度（まちづくりサポーター）について、令和7年3月下旬に無作為抽出した市民700名に案内通知を送付しました。 コミュニティセンターについては、市民活動の拠点となる施設であることから、安全かつ快適な環境を維持するため、施設の適正な管理及備品等の計画的な更新に努めます。

4. 施策の目標達成度、施策の主要課題及び今後の施策の方向性について

施策の目標 達成度	☐ A	目標・予定を達成している	令和6年度重要業績評価指標（KPI）達成率が全て100%以上である。
	☐ B	目標・予定に概ね沿う成果・進捗である	令和6年度重要業績評価指標（KPI）達成率で、最も低い達成率が80%以上である。
	☒ C	目標・予定を下回る成果・進捗である	令和6年度重要業績評価指標（KPI）達成率で、80%未満の指標が1つ以上ある。
施策の主要課題 及び今後の施策 の方向性	【施策の主要課題】 地域課題の解決に向けた市民主体の取組みの応援、及び、協働のまちづくりの推進については、久喜市市民参加条例に基づき、各種行政計画等の策定段階において、適切に市民参加を求め、市民・事業者・関係団体等との協働によるまちづくりの推進を図ることが必要ですが、若い世代の市民参加が少なく、幅広い世代の市民参加に繋がっていない状況が課題となっています。幅広い年齢層の市民が市政に関わる機会を増やすべく、オンラインでの市民参加の手続きの利用拡大を図るとともに、デジタル技術等の活用により、特に若い世代の市民参加を促す取組みについて検討する必要があります。令和6年度においては、無作為抽出した市民700名に対してまちづくりサポーターの登録を啓発する通知を実施しました。 市民団体への活動支援として、市民活動推進補助金の交付を行い、市民が主役となっていく様々な活動の実施によって、地域の課題解決やコミュニティの活性化を図ることができました。 より市民に対して身近で申請しやすい形での支援を行うため、制度の見直しを図ることが求められています。		
	【今後の方向性】 協働のまちづくりの推進については、幅広い年齢層、特に若い世代の市民参加を促す取組みとして、引き続き、まちづくりサポーターの登録の啓発に積極的に取り組むとともに、附属機関の会議等をオンラインで開催するなど、市民が参加しやすく、意見を出しやすい会議の進め方について具体的に検討していきます。また、今後も若い世代の意見を市政に反映することを目的として、市長と若い世代との座談会を開催します。 市民団体への活動支援については、引き続きコミュニティ協議会や地域固有のコミュニティ活動に対する支援を行うことにより、地域のコミュニティ活動の活性化を図るとともに、新たな地区コミュニティ協議会の設立を支援します。		
評価年月日	令和7年7月2日	評価者職氏名	市民部長 小澤 敦子

行政評価委員会の意見
10～30歳代の若い世代が審議会委員として参加しやすくするため、会議の開催方法を工夫するなど、早急な改善に努められたい。

5. 主要な事務事業

＜施策の方向性（１）に関連する事務事業＞				
細施策名		地域課題の解決に向けた市民主体の取組みを応援します		
取組み①	事業名	自治行政区運営事業	所管部課	市民部市民生活課、市民部各行政センター
	まちづくり重点施策	－		
	令和6年度の成果・実績	市行政区を円滑に推進するため、令和6年4月と9月に各地区ごとに区長会議を開催し、区長への依頼・報告事項等を市や関係機関等から説明しました。 市政への協力者として、区長及び区長代理に報償金63,443,621円を支給しました。 また、円滑な自治行政区運営を促進し、住民の福祉を推進するため、自治行政区260区に対して、区運営補助金38,511,816円を交付しました。		
	令和6年度決算額(円)	102,392,467	令和7年度当初予算額(円)	104,228,000
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	市行政を円滑に推進するため、地域と行政との橋渡しで役である行政区長に多くの業務を依頼している状況と、自治行政区運営補助金が地域での様々な活動に活用され、地域の活性化に貢献している状況を鑑み、予算の方向性及び成果の方向性は維持としました。		
取組み②	事業名	コミュニティ協議会運営事業	所管部課	市民部市民生活課、市民部各行政センター
	まちづくり重点施策	－		
	令和6年度の成果・実績	市民の連携と協働による自主的なコミュニティ活動や人と人とのつながりづくりを促進するため、財政的支援として、コミュニティ推進協議会（久喜・菖蒲・栗橋・鷲宮）をはじめ、各地区のコミュニティ協議会（小学校区）に補助金を交付するなど、コミュニティづくりの支援を行いました。 住みよい地域社会を進めることを目的に、顕彰事業（シラコバト賞）などの活動を行っている彩の国コミュニティ協議会の会員として、負担金を支出しました。 ・コミュニティ推進協議会（4地区） 1,000,000円 ・コミュニティ協議会（13地区） 2,600,000円 ・彩の国コミュニティ協議会負担金 10,000円		
	令和6年度決算額(円)	4,010,000	令和7年度当初予算額(円)	4,010,000
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	引き続き、コミュニティづくりの目的や課題を共有し、相互に役割を分担して活動できるよう地区コミュニティの組織化を推進、強化する必要があります。 コミュニティづくりの推進を図るため、コミュニティ協議会や地域固有のコミュニティ活動に対する財政的支援等を通じて、地域のコミュニティ活動の活性化に取り組むとともに、地区コミュニティ協議会の設立を支援を維持していくことから、予算の方向性及び成果の方向性ともに維持としました。		

取組み③	事業名	コミュニティ施設管理事業		所管部課	市民部市民生活課、市民部各行政センター		
	まちづくり重点施策		①【全市民】市民一人ひとりが主役の住みやすいまち				
	令和6年度の成果・実績	コミュニティの推進と市民活動の拠点となる施設を安全かつ快適な環境に保全するため、コミュニティセンター13施設について、維持管理及び整備を行いました。 また、令和6年10月にオープンした桜田コミュニティセンターについても、適切に維持管理を行いました。					
	令和6年度決算額(円)		335,241,643	令和7年度当初予算額(円)	259,696,000		
	予算の方向性		維持	成果の方向性	維持		
	予算及び成果の方向性を判断した理由	今後も、コミュニティセンターの施設設備、備品等の計画的な更新等により、快適で安心できる市民活動拠点の維持を図るため、予算の方向性及び成果の方向性ともに維持としました。					
活動指標名称(単位)			年度	R 5 (現状値(直近))	R 6	R 7	R 8
所管部課	市民部市民生活課						
コミュニティセンター利用者数(人)			目標値	477,698	477,698	477,698	477,698
			実績値	349,422	372,505		
			達成率	73.1%	78.0%		

＜施策の方向性（２）に関連する事務事業＞						
取組み①	細施策名	市民団体・ボランティア団体の活動を支援します				
	事業名	市民活動推進事業	所管部課	市民部市民生活課		
	まちづくり重点施策		－			
	令和６年度の成果・実績	令和6年度から地域提案型活動事業補助金と統合し、市民活動団体を支援するため、市民活動推進補助金の活用事業を公募し、補助対象事業を行う15団体に交付しました。 補助金による財政的支援を行うことで、市民活動団体の特性を生かした事業を実施することができました。				
	令和６年度決算額(円)	7,101,450	令和７年度当初予算額（円）	6,640,000		
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持		
予算及び成果の方向性を判断した理由	高齢者福祉や子育て支援、防災・防犯・交通安全活動など、地域の行政サービスに対するニーズは多様化かつ高度化しており、地域コミュニティと市の協働による地域の課題解決に向けた取組みが今後ますます重要となります。 市民活動団体の活動初期から規模の大きな活動まで、引き続き幅広く財政的な支援を行うことにより、地域のコミュニティ活動の活性化を図ることから、予算の方向性及び成果の方向性ともに維持としました。					
取組み②	事業名	コミュニティ助成事業	所管部課	市民部市民生活課		
	まちづくり重点施策		－			
	令和６年度の成果・実績	自治体や町内会等の地域活動を行っている団体を対象に、コミュニティ助成事業補助金（祭り用備品の整備）として1団体（令和5年度：1団体）、地域活動の拠点整備事業補助金（集会施設の修繕・備品整備）として21団体（令和5年度：14団体）に補助金の交付を行いました。				
	令和６年度決算額(円)	11,656,000	令和７年度当初予算額（円）	15,000,000		
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持		
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性及び成果の方向性ともに、これまでと同様に、地域活動を行う団体に対して補助金交付を行うことから、維持としました。				
活動指標名称（単位）		年度	R 5（現状値（直近））	R 6	R 7	R 8
所管部課	市民部市民生活課					
市民活動推進補助金申請件数（件）		目標値	12	12	12	12
		実績値	6	15		
		達成率	50.0%	125.0%		

<施策の方向性（3）に関連する事務事業>						
細施策名		幅広く市民参加の機会を確保し、協働のまちづくりを進めます				
取組み①	事業名	若い世代の市民参加促進事業	所管部課	市民部市民生活課		
	まちづくり重点施策		①【全市民】市民一人ひとりが主役の住みやすいまち			
	令和6年度の成果・実績	広報くき、市ホームページ、市民参加コーナー、市SNS、市民参加推進員（まちづくりサポーター）への通知などの方法により、市民参加の情報及び機会の提供、啓発を実施しました。 附属機関への付議やパブリックコメント等、事業や計画策定過程等への市民参加導入件数は56件でした。市民参加推進員（まちづくりサポーター）については、募集チラシにQRコードを記載し、電子申請を活用することで登録者は100名となり、令和5年度と比較し35名増となりました。また、新たな取組みとして、無作為抽出した16歳以上の市民700名を対象に、市民参加推進員の登録を促す通知を送付しました。 若年層の市民参加の促進を図るため、令和5年度から引き続き、若い世代と市長との座談会を実施し、令和6年度に二十歳の成人式を迎えた8名が参加しました。				
	令和6年度決算額(円)		70,361	令和7年度当初予算額（円）	0	
	予算の方向性		拡充	成果の方向性	維持	
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性としては、引き続き、若い世代と市長との座談会をゼロ予算で実施し、また、無作為抽出による若い世代の市民参加促進事業を令和7年度以降隔年で実施する予定であるため、拡充としました。 成果の方向性としては、若い世代を含む幅広い年齢層の市民参加を促進するため、デジタル技術等をうまく活用することで、オンラインでの市民参加の手続きの利用拡大が見込まれることから、維持としました。				
活動指標名称（単位）		年度	R 5（現状値 （直近））	R 6	R 7	R 8
所管部課	市民部市民生活課					
事業や計画策定過程等への市民参加導入件数（件）		目標値	84	90	90	90
		実績値	80	56		
		達成率	95.2%	62.2%		

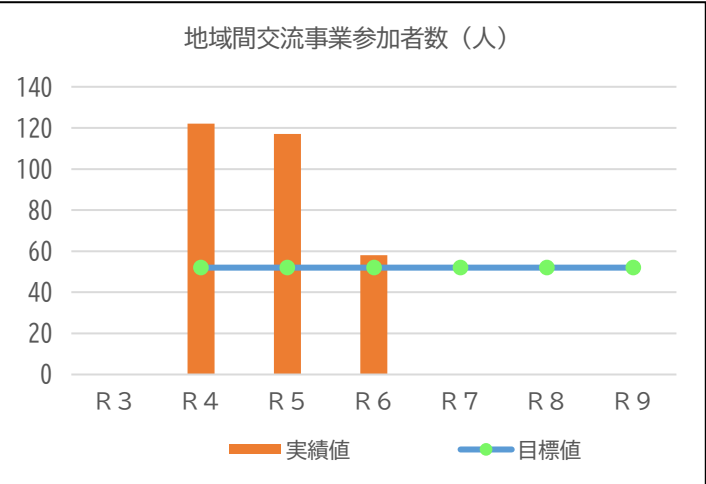
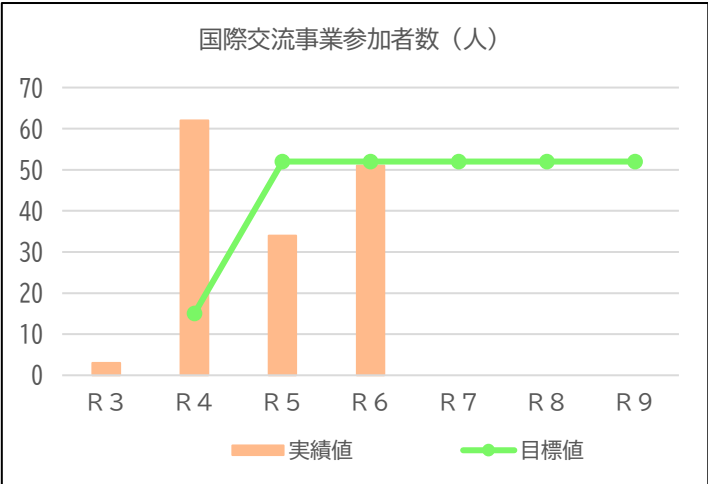
令和7年度行政評価シート

1. 前期基本計画について

基本目標	7	市民一人ひとりが主役！絆を大切にし協働・共創のまちをつくる	
施策	7-2	地域間や国外との幅広い交流を促し出会いを大切にする	
主管課	市民部市民生活課	関係課	環境経済部商工観光課、 市民部鷺宮行政センター
5年後のまちの姿			
友好都市や姉妹都市をはじめ、国内外の地域との交流が活発に行われています。 また、異なる文化や価値観、産物等に触れることにより、市民の心の豊かさが養われるとともに、多文化共生のまちづくりが進んでいます。			
施策の方向性			
(1) 多様な国内の地域との地域間交流を進めます (2) 多様な国外の地域との国際交流を進めます (3) 市民・団体・事業者等による地域間交流・国際交流を支援します			

2. 重要業績評価指標（KPI）について

重要業績評価指標（KPI）							
国際交流事業参加者数（人）							
年度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
目標値		15	52	52	52	52	52
実績値	3	62	34	51			
達成率		413.3%	65.4%	98.1%			
地域間交流事業参加者数（人）							
年度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
目標値		52	52	52	52	52	52
実績値	(中止) 0	122	117	58			
達成率		234.6%	225.0%	111.5%			



3. 前年度行政評価委員会の意見について

前年度行政評価委員会の意見
海外の姉妹都市との交流において、児童生徒や学生が参加する場合は、文化や価値観の違い等、こどもの人生に影響を与えるような経験を積むことのできる交流を目指していただきたい。
「前年度行政評価委員会の意見」に対する実施状況・今後の方向性
中学生等について、ローズバーグ市との派遣と受入れを毎年交互に実施しています。いずれの場合も、市内見学や体験活動、ホームステイを通じて、お互いの文化や価値観等の違いに対する理解や友情を深めています。令和7年度も、国際化の進展する社会における望ましい交流のあり方を身につけ、国際人としての資質を養い、世界で活躍できる人材の育成を図っていきます。

4. 施策の目標達成度、施策の主要課題及び今後の施策の方向性について

施策の目標達成度	☐ A	目標・予定を達成している	令和6年度重要業績評価指標（KPI）達成率が全て100%以上である。
	☒ B	目標・予定に概ね沿う成果・進捗である	令和6年度重要業績評価指標（KPI）達成率で、最も低い達成率が80%以上である。
	☐ C	目標・予定を下回る成果・進捗である	令和6年度重要業績評価指標（KPI）達成率で、80%未満の指標が1つ以上ある。
施策の主要課題及び今後の施策の方向性	【施策の主要課題】 友好都市である青森県野辺地町との交流は、平成25年（2013年）8月に友好都市提携協定の締結後、相互に行き来をして特産品の販売を行う産業交流を継続してきました。今後は、文化やスポーツ等を含めた幅広い交流について、両市町の関係団体や事業者等と連携し推進していくことが課題です。 姉妹都市であるアメリカ合衆国オレゴン州ローズバーグ市との交流について、令和6年度は中学生等の派遣、成人訪問団の受入れを行いました。令和7年度（2025年度）には姉妹都市提携10周年を迎えます。今後も両市の交流を継続し、さらに発展していくため、協定書にある、文化、産業、経済などその他新たな分野での交流について、久喜市・ローズバーグ協会や事業者等と連携し、具体的な検討を進めていく必要があります。 【今後の方向性】 友好都市との交流については、相互に訪問し、特産品の販売を行う事業を継続して実施していきます。また、令和6年1月に両市町の商工会が友好商工会提携協定を締結したことに伴い、一層の人的交流やイベント出店などを通じた経済振興を図るため、関係団体と連携し、両市町の交流を推進していきます。 姉妹都市との交流については、今後も、相互理解と友情を深めるため、引き続き姉妹都市との交流を深めていきます。 また、令和7年度（2025年度）に姉妹都市提携10周年を迎えることから、今後も両市が一層の相互理解を深め、両市の友情を未来の世代に継承していくため、久喜市・ローズバーグ協会やローズバーグ市及び姉妹都市交流協会と連携を図り、姉妹都市提携10周年記念事業として、市長のローズバーグ市への訪問や記念植樹等を実施する予定です。		
評価年月日	令和7年7月2日	評価者職氏名	市民部長 小澤 敦子

行政評価委員会の意見
国際交流活動などを通じて、多文化共生社会の実現に向けた取組みを進めていただきたい。

5. 主要な事務事業

＜施策の方向性（１）に関連する事務事業＞						
細施策名		多様な国内の地域との地域間交流を進めます				
取組み①	事業名	産業交流事業	所管部課	環境経済部商工観光課		
	まちづくり重点施策		－			
	令和６年度の成果・実績	交流事業を推進するため、青森県野辺地町の漁業協同組合、商工会、町職員や長野県青木村の農業協同組合、森林組合、町職員が菖蒲産業祭等に参加し、特産品の販売を行いました。 また、久喜市の観光協会、商工会、市職員等が野辺地町を訪問し、祭りにおいて特産品の販売を行いました。				
	令和６年度決算額(円)	300,914	令和７年度当初予算額（円）	339,000		
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持		
	予算及び成果の方向性を判断した理由	青森県野辺地町等との交流を継続して実施し、特産品の販売を今後も実施していくことから、予算の方向性及び成果の方向性ともに維持としました。				
取組み②	事業名	姉妹・友好都市事業〈再掲〉	所管部課	市民部市民生活課		
	まちづくり重点施策		－			
	令和６年度の成果・実績	姉妹都市であるアメリカ合衆国オレゴン州ローズバーグ市からの成人訪問団の受入れ（久喜市・ローズバーグ協会主催）を後援しました。 受入期間：令和6年10月3日～10月11日 参加者数：19人				
	令和６年度決算額(円)	97,400	令和７年度当初予算額（円）	1,437,000		
	予算の方向性	縮小	成果の方向性	維持		
	予算及び成果の方向性を判断した理由	姉妹都市との市民（成人）の交流事業（派遣・受入れ）については、令和7年度は姉妹都市提携10周年記念事業として実施し、令和8年度については姉妹・友好都市として実施します。 予算の方向性としては、10周年記念事業である植樹等の催しを行わないことから縮小としました。 成果の方向性としては、今後も同様の規模で継続して実施していくことから維持としました。				
活動指標名称（単位）		年度	R 5（現状値（直近））	R 6	R 7	R 8
所管部課	市民部市民生活課					
友好都市との交流事業数（事業）		目標値	4	3	3	3
		実績値	4	3		
		達成率	100.0%	100.0%		

＜施策の方向性（２）に関連する事務事業＞						
細施策名		多様な国外の地域との国際交流を進めます				
取組み①	事業名	姉妹・友好都市事業〈再掲〉	所管部課	市民部市民生活課		
	まちづくり重点施策		－			
	令和６年度の成果・実績	姉妹都市であるアメリカ合衆国オレゴン州ローズバーグ市からの成人訪問団の受入れ（久喜市・ローズバーグ協会主催）を後援しました。 受入期間：令和6年10月3日～10月11日 参加者数：19人				
	令和６年度決算額(円)		97,400	令和７年度当初予算額（円）	1,437,000	
	予算の方向性		縮小	成果の方向性	維持	
	予算及び成果の方向性を判断した理由	姉妹都市との市民（成人）の交流事業（派遣・受入れ）については、令和7年度は姉妹都市提携10周年記念事業として実施し、令和8年度については姉妹・友好都市として実施します。 予算の方向性としては、10周年記念事業である植樹等の催しを行わないことから縮小としました。 成果の方向性としては、今後も同様の規模で継続して実施していくことから維持としました。				
取組み②	事業名	中学生派遣・受入事業〈再掲〉	所管部課	市民部市民生活課		
	まちづくり重点施策		－			
	令和６年度の成果・実績	令和6年7月22日から8月1日の11日間、久喜市内の中学生及び高校生14人、引率者4人を姉妹都市であるアメリカ合衆国オレゴン州ローズバーグ市へ派遣しました。 体験活動や市内の施設見学、ホームステイを通じてお互いの生活習慣や文化に触れるとともに、双方の学生が関わりあうことで、異文化理解を深めることができました。また、英語でコミュニケーションをとることにより語学力の向上を図ることができました。				
	令和６年度決算額(円)		1,764,000	令和７年度当初予算額（円）	1,264,000	
	予算の方向性		維持	成果の方向性	維持	
	予算及び成果の方向性を判断した理由	姉妹都市であるローズバーグ市との相互交流を通じて、異文化理解を深め、グローバルな視点を持った人材育成の推進に大きく貢献していると考えられることから、今後も事業を同規模で継続していくため、予算の方向性及び成果の方向性ともに維持としました。				
活動指標名称（単位）		年度	R 5（現状値（直近））	R 6	R 7	R 8
所管部課	市民部市民生活課					
姉妹都市との交流事業数（事業）		目標値	2	2	2	2
		実績値	2	2		
		達成率	100.0%	100.0%		

＜施策の方向性（３）に関連する事務事業＞							
細施策名		市民・団体・事業者等による地域間交流・国際交流を支援します					
取 組 み ①	事業名	国際・国内交流事業		所管部課	市民部市民生活課		
	まちづくり重点施策		－				
	令和６年度の 成果・実績	久喜市近隣に在住する外国人の日本語支援と交流を目的とした活動を実施する鷲宮国際交流協会に補助金を支出しました。					
	令和６年度決算額(円)		45,000	令和７年度当初予算額（円）		723,000	
	予算の方向性		休廃止	成果の方向性		休廃止	
	予算及び成果 の方向性を判 断した理由	国際・国内交流事業としては、令和7年度から外国籍市民支援事業に統合したため休廃止としました。令和7年度以降も外国籍市民支援事業において補助金交付を継続します。					
活動指標名称（単位）			年度	R 5（現状値 （直近））	R 6	R 7	R 8
所管部課	市民部市民生活課						
国際・国内交流活動団体数（団体）			目標値	4	5	5	5
			実績値	5	6		
			達成率	125.0%	120.0%		

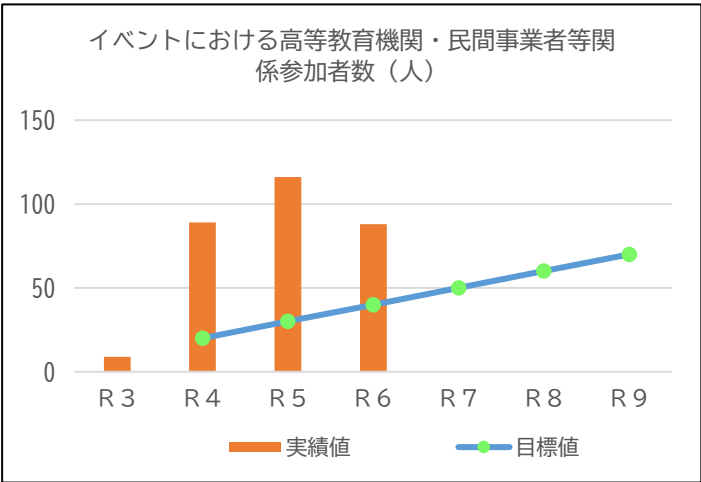
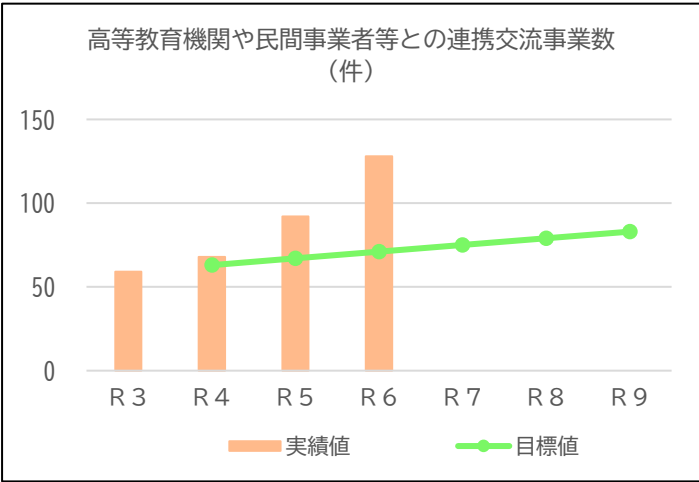
令和7年度行政評価シート

1. 前期基本計画について

基本目標	7	市民一人ひとりが主役！絆を大切にし協働・共創のまちをつくる		
施策	7－3	多種多様なステークホルダーと連携する		
主管課	総合政策部企画政策課		関係課	まちづくり推進部都市計画課
5年後のまちの姿				
高等教育機関や事業者、関係団体等の多種多様なステークホルダー（関係者）と本市が効果的に連携・協力することで、複雑化かつ多様化する課題へ共に対応し地域活性化に取り組む、絆を大切にした協働・共創のまちづくりが実現しています。				
施策の方向性				
(1) 高等教育機関との連携によるまちづくりを進めます (2) 民間事業者等との連携によるまちづくりを進めます (3) 民間活力を生かした行政サービスの向上を図ります				

2. 重要業績評価指標（KPI）について

重要業績評価指標（KPI）							
高等教育機関や民間事業者等との連携交流事業数（件）							
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
目標値		63	67	71	75	79	83
実績値	59	68	92	128			
達成率		107.9%	137.3%	180.3%			
イベントにおける高等教育機関・民間事業者等関係参加者数（人）							
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
目標値		20	30	40	50	60	70
実績値	9	89	116	88			
達成率		445.0%	386.7%	220.0%			



3. 前年度行政評価委員会の意見について

前年度行政評価委員会の意見
行政サービス向上のため、高等教育機関や民間事業者と積極的に連携して、地域における人の繋がりを生む機会を創出するなど、民間活力を生かした施策を更に推進されたい。 事業者の審査を多角的に適正に行ったうえで、PFIやPPP等の官民連携の手法を積極的に取り入れ、民間の創意工夫を有効的に活用し、行政の効率化に努められたい。
「前年度行政評価委員会の意見」に対する実施状況・今後の方向性
各種イベント等において高等教育機関や民間事業者との連携により、民間活力を生かした事業を実施しました。 また、行政効率化のため、官民連携の手法等の情報を収集可能な、埼玉県PFIプラットフォームのイベントに参加しました。 今後においても、官民連携の推進を図り、多種多様なステークホルダーとの連携に努めてまいります。

4. 施策の目標達成度、施策の主要課題及び今後の施策の方向性について

施策の目標達成度	■ A	目標・予定を達成している	令和6年度重要業績評価指標（KPI）達成率が全て100%以上である。
	□ B	目標・予定に概ね沿う成果・進捗である	令和6年度重要業績評価指標（KPI）達成率で、最も低い達成率が80%以上である。
	□ C	目標・予定を下回る成果・進捗である	令和6年度重要業績評価指標（KPI）達成率で、80%未満の指標が1つ以上ある。
施策の主要課題及び今後の施策の方向性	【施策の主要課題】 高等教育機関や民間事業者等との令和6年度の連携交流事業数は、目標数を大きく超える128件でした。引き続き、本市の活性化及び市民サービス向上のため、高等教育機関や民間事業者等との様々な連携交流事業の実施を図っていく必要があります。 また、活気に満ちあふれるまちを実現するため、協定を希望する相手先や協定を締結した相手先との情報交換を密にするとともに、協定を全庁で積極的に活用し、様々な機会を設けて、協働・共創のまちづくりを実現していくことが求められています。 厳しい財政状況の中で、新たな事業機会の創出や民間投資の喚起による経済成長を実現していくために、様々な分野でPPP/PFI手法の導入を全庁で積極的に検討していく必要があります。 令和6年12月から令和7年1月に、民間活力を生かした行政サービスの向上や命名された公共施設の維持管理やサービス向上の財源として活用するため、新たな募集手法として、施設を特定してネーミングライツパートナーの公募を行いました。応募はありませんでした。令和7年3月末時点のネーミングライツ導入施設数は2施設であり、導入施設数の増加に向けた募集手法や周知方法の見直しは課題となっています。 【今後の方向性】 高等教育機関や事業者、関係団体等との連携によるまちづくりの推進については、連携協定先と情報共有を密にし、これまで実施した協働の取組を継続して実施することや新たな取組を積極的に進めていくことで、本市の活性化と市民サービスの向上、交流・関係人口の増加に繋がっていきます。また、新たな高等教育機関や民間事業者等との連携を模索し、協定の締結や全庁での積極的な活用に努めます。 民間活力を生かした行政サービスの向上のため、ネーミングライツパートナーの募集を引き続き行っていきます。募集周知方法を工夫し、応募件数や導入件数の増加を目指します。 産官学連携のまちづくりプロジェクト「BRIDGE LIFE Platform構想」においては、引き続き5者間で連携を密に図りながら、先進技術を活用した様々な取組を進めていきます。		
評価年月日	令和7年7月2日	評価者職氏名	総合政策部長 関口 康好

行政評価委員会の意見
引き続き施策の実現に向けた取組を実施いただきたい。

5. 主要な事務事業

＜施策の方向性（１）に関連する事務事業＞						
細施策名		高等教育機関との連携によるまちづくりを進めます				
取組み①	事業名	高等教育機関連携事業〔ゼロ予算事業〕	所管部課	総合政策部企画政策課		
	まちづくり重点施策		－			
	令和６年度の成果・実績	「平成国際大学との連携に関する基本協定」に基づく事業を12件、「大東文化大学との連携協力に関する基本協定」に基づく事業を5件、「女子栄養大学との包括連携協力に関する協定」に基づく事業を4件、「日本工業大学との包括連携協定」に基づく事業を5件、その他の大学等と連携した事業を11件で、合計37件の事業を実施し、高等教育機関の持つ知見の活用や、学生と地域の交流を図ることができました。 ※産官学の連携1件あり				
	令和６年度決算額(円)		0	令和７年度当初予算額（円）	0	
	予算の方向性		維持(ゼロ予算)	成果の方向性	維持	
	予算及び成果の方向性を判断した理由	引き続きゼロ予算事業として、既に連携が図られている取組みを継続展開するとともに、連携協定先と新たな取組みを検討・実施し、また、新たな高等教育機関との連携協定の締結について情報収集に努めることから、予算の方向性及び成果の方向性ともに維持としました。				
取組み①	事業名	SDGs推進事業	所管部課	総合政策部企画政策課		
	まちづくり重点施策		①【全市民】市民一人ひとりが主役の住みやすいまち			
	令和６年度の成果・実績	「久喜市SDGs取組方針」に基づき、SDGs達成につながる主体的な取組みを行う市民や企業等を「SDGs推進パートナー」として登録しました。 高等教育機関については登録に至っておりませんが、令和6年度においては、市民や企業等24者を「SDGs推進パートナー」として登録し、それぞれの取組み内容を公表しました。 令和6年度末時点の「SDGs推進パートナー」の累計は90者になりました。 また、連携協定先の民間事業者に講師を依頼し、職員向けのSDGsワークショップを実施しました。				
	令和６年度決算額(円)		0	令和７年度当初予算額（円）	0	
	予算の方向性		維持(ゼロ予算)	成果の方向性	維持	
	予算及び成果の方向性を判断した理由	引き続きゼロ予算事業として、SDGsに関する様々な情報を周知し、普及啓発を行うとともに、主体的にSDGsの実現に取組む団体等を認定する「久喜市SDGs推進パートナー登録制度」を継続することで市民等のステークホルダー（関係者）とともにSDGsの推進に努めることから、予算の方向性及び成果の方向性ともに維持としました。				
活動指標名称（単位）		年度	R 5（現状値（直近））	R 6	R 7	R 8
所管部課	総合政策部企画政策課					
高等教育機関包括連携協定締結数（累計）（件）		目標値	5	5	6	6
		実績値	5	5		
		達成率	100.0%	100.0%		

＜施策の方向性（２）に関連する事務事業＞				
細施策名		民間事業者等との連携によるまちづくりを進めます		
取組み①	事業名	民間事業者等連携事業〔ゼロ予算事業〕	所管部課	総合政策部企画政策課
	まちづくり重点施策		－	
	令和６年度の成果・実績	民間事業者等が有する資源やノウハウを最大限有効に活用し、本市の施策をより効果的なものとするため、「官民連携窓口“クキコラ”」を開設し、連携事業の情報共有等を図りました。 また、民間事業者等との連携協定に基づく事業を63件、連携協定以外の事業を29件、合計92件の事業を実施しました。 民間イベントでのブース展示による市の魅力発信や携帯電話会社等によるスマートフォン講座によるＤＸの推進など、市の施策をより効果的なものとするため、各民間事業者等と連携しました。 ※産官学の連携1件あり		
	令和６年度決算額(円)	0	令和７年度当初予算額（円）	0
	予算の方向性	維持(ゼロ予算)	成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	引き続きゼロ予算事業として、既に連携が図られている取組みを継続展開するとともに、連携協定先と新たな取組みを検討・実施し、また、新たな民間事業者等との連携協定の締結について情報収集に努めることから、予算の方向性及び成果の方向性ともに維持としました。		
取組み②	事業名	南栗橋８丁目周辺地区整備事業〈再掲〉	所管部課	まちづくり推進部都市計画課
	まちづくり重点施策		②【発展性】土地の高度利用や交通利便性の向上を図り、発展し続けるまち	
	令和６年度の成果・実績	産官学連携のまちづくりプロジェクト「BRIDGE LIFE Platform構想」に基づき、先進技術を取り入れたスマートタウンの整備が進められ、自動配送ロボット等の社会実装に向けた走行実験を実施しました。 また、同プロジェクトを広くＰＲするための取組みとして、街びらき2周年記念イベント及びイルミネーションイベントを連携5者の共同により開催したほか、埼玉県知事のふれあい訪問の受入れにより、本地区の取組みを地域活性化モデルとして、県内外に広く周知することができました。		
	令和６年度決算額(円)	186,273,200	令和７年度当初予算額（円）	148,476,000
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	引き続き、民間事業者等と連携しながらプロジェクトを推進していくため、予算の方向性及び成果の方向性をともに維持としました。		

取組み③	事業名	SDG s 推進事業〈再掲〉		所管部課	総合政策部企画政策課		
	まちづくり重点施策		①【全市民】市民一人ひとりが主役の住みやすいまち				
	令和6年度の成果・実績	「久喜市SDG s 取組方針」に基づき、SDG s 達成につながる主体的な取組みを行う市民や企業等を「SDG s 推進パートナー」として登録しました。 令和6年度においては、市民や企業等24者を「SDG s 推進パートナー」として登録し、それぞれの取組み内容を公表しました。 令和6年度末時点の「SDG s 推進パートナー」の累計は90者になりました。 また、連携協定先の民間事業者に講師を依頼し、職員向けのSDG s ワークショップを実施しました。					
	令和6年度決算額(円)		0		令和7年度当初予算額(円)	0	
	予算の方向性		維持(ゼロ予算)		成果の方向性	維持	
	予算及び成果の方向性を判断した理由	引き続きゼロ予算事業として、SDG s に関する様々な情報を周知し、普及啓発を行うとともに、主体的にSDG s の実現に取組む団体等を認定する「久喜市SDG s 推進パートナー登録制度」を継続することで市民等のステークホルダー（関係者）とともにSDG s の推進に努めることから、予算の方向性及び成果の方向性ともに維持としました。					
	活動指標名称（単位）			年度	R 5（現状値 （直近））	R 6	R 7
所管部課	総合政策部企画政策課						
民間事業者等包括連携協定締結数（累計） （件）			目標値	15	17	18	18
			実績値	17	22		
			達成率	113.3%	129.4%		

＜施策の方向性（３）に関連する事務事業＞							
細施策名		民間活力を生かした行政サービスの向上を図ります					
取組み①	事業名	P F I 等手法推進事業〔ゼロ予算事業〕	所管部課	総合政策部企画政策課			
	まちづくり重点施策		－				
	令和６年度の成果・実績	内閣府民間資金等活用事業推進室が運営する公的不動産（P R E）ポータルサイトに市の官民連携事業の掲載依頼を行い情報発信を行いました。 また、埼玉県P P P／P F I 地域プラットフォームの設立に伴い、埼玉県が開催したP P P／P F I 事業化等における課題についての講演やサウンディングなどのイベントに参加しました。 官民連携やP P P／P F I 等手法での施設整備を検討する所管課を支援するため、庁内における情報発信等を実施しました。					
	令和６年度決算額(円)		0		令和７年度当初予算額（円）	0	
	予算の方向性		維持(ゼロ予算)		成果の方向性	維持	
	予算及び成果の方向性を判断した理由	引き続きゼロ予算事業として、官民連携やP P P／P F I 手法に関する情報の周知を行い、各所属所における検討の支援を行うことから、予算の方向性及び成果の方向性ともに維持としました。					
取組み②	事業名	指定管理者推進事業	所管部課	総合政策部企画政策課			
	まちづくり重点施策		－				
	令和６年度の成果・実績	指定管理者による令和5年度の管理運営について、施設所管課による一次評価と、市の副部長級職員で構成する公の施設管理運営検討委員会による二次評価の結果を取りまとめ、市民への情報公開を行いました。併せて、指定管理者に評価結果や委員会での意見を通知することで、今後の業務改善や施設の適正な維持管理を促しました。 また、指定管理者制度の導入済み施設及び導入を予定している施設の所管課の支援を行いました。令和6年度は、障がい者福祉施設と高齢者福祉施設の指定管理者の更新、菖蒲運動公園の指定管理者の新規導入にあたり、学識経験者と市職員で構成する指定管理者候補者選定委員会を開催し、それぞれの施設について、指定管理者候補者が選定されました。					
	令和６年度決算額(円)		72,000		令和７年度当初予算額（円）	48,000	
	予算の方向性		維持		成果の方向性	維持	
	予算及び成果の方向性を判断した理由	指定管理事業者制度導入済みの施設所管課や導入を検討している施設所管課の支援を継続し、指定管理者候補者選定委員会などの事務や、指定管理者の評価を引き続き実施することから、予算の方向性及び成果の方向性ともに維持としました。					
活動指標名称（単位）			年度	R 5（現状値 （直近））	R 6	R 7	R 8
所管部課		総合政策部企画政策課					
P F I 等手法導入件数（累計）（件）			目標値	2	2	2	2
			実績値	2	2		
			達成率	100.0%	100.0%		

施策7-3 多種多様なステークホルダーと連携する・

6. 行政改革に資する事業・取り組み

行政改革に資する事業・取り組み①						
事業名	官民連携の推進		所管部課	総合政策部企画政策課		
実施方針	P P P 事業や包括連携協定企業との連携を推進します。					
令和6年度の 成果・実績	民間事業者等が有する資源やノウハウを最大限有効に活用し、本市の施策をより効果的なものとするため、「官民連携窓口“クキコラ”」を開設し、連携事業の情報共有等を図りました。 また、P P P / P F I 等手法での施設整備を検討する所管課を支援するため、庁内における情報発信等を実施しました。 さらに、包括連携協定に関する取組みとして、スポーツイベントの開催や、市の事業周知への協力など、民間事業者等との連携協定に基づく事業を63件実施しました。 これらの取組みなどにより、市民や事業者、関係機関などと効果的な連携や協力を行うことで、共に地域の活性化に取り組むことができました。					
活動指標名称（単位）		年度	R 5（現状値 （直近））	R 6	R 7	R 8
P F I 等手法導入件数（累計）（件）		目標値	2	2	2	2
		実績値	2	2		
		達成率	100.0%	100.0%		
施策7-3（3）活動指標の再掲						

令和7年度行政評価シート

1. 前期基本計画について

基本目標	7	市民一人ひとりが主役！絆を大切にし協働・共創のまちをつくる	
施策	7－4	広く久喜をPRして賑わいを創出しまちの魅力を高める	
主管課	市長公室シティセールス課		関係課 環境経済部資源循環推進課、 環境経済部農業振興課、環境経済部商工観光課、 教育部文化振興課
5年後のまちの姿			
多様な媒体を通じた戦略的なシティプロモーションが展開され、久喜の魅力が広く浸透・認知され、市民の地元への誇りや愛着も高まっています。 また、各種イベントや祭りのほか、交通利便性や自然環境等の本市の多様な魅力について効果的かつ戦略的なシティプロモーションを図ることで、企業立地や交流人口・関係人口が増加し、移住・定住が促進され、まちの賑わいが創出されています。			
施策の方向性			
(1) 戦略的なシティプロモーションを推進します (2) 久喜の魅力を発掘し活用します (3) 本多静六博士の功績を生かしたまちづくりを進めます			

2. 重要業績評価指標（KPI）について

重要業績評価指標（K P I）				重要業績評価指標（K P I）に係るグラフは別紙に記載			
人口推移における社会動態の増加数（人）							
年度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
目標値		10	40	70	100	120	140
実績値	△ 25	540	1, 331	1, 190			
達成率		5, 400. 0%	3, 327. 5%	1, 700. 0%			
年間観光入込客数（人）							
年度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
目標値		1, 535, 000	1, 708, 000	1, 881, 000	2, 054, 000	2, 227, 000	2, 400, 000
実績値	1, 362, 206	1, 769, 541	1, 893, 402	1, 988, 089			
達成率		115. 3%	110. 9%	105. 7%			
ふるさと納税寄附金の寄附者数【再掲】（人）					※施策５－２ K P I の再掲		
年度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
目標値		1, 800	2, 000	2, 200	2, 400	2, 600	2, 800
実績値	1, 555	1, 488	3, 767	8, 541			
達成率		82. 7%	188. 4%	388. 2%			

3. 前年度行政評価委員会の意見について

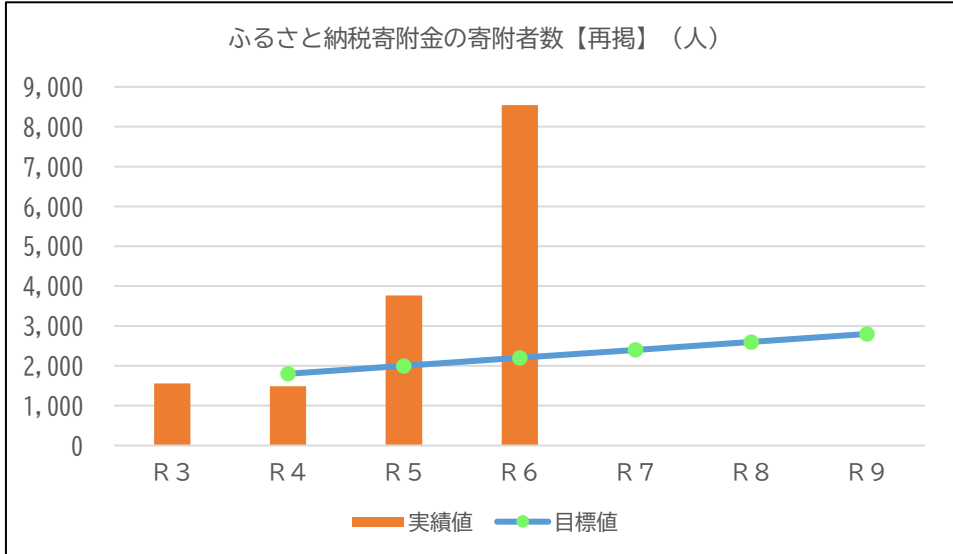
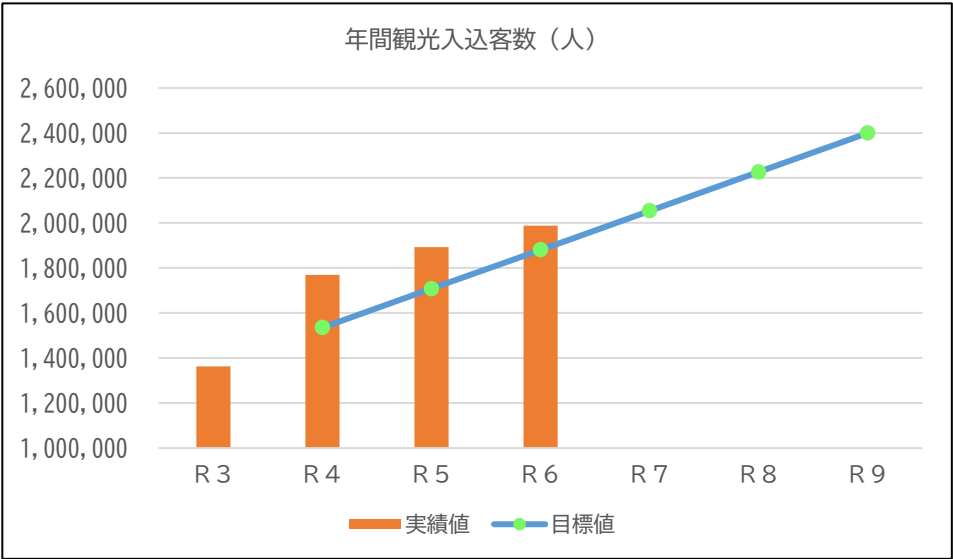
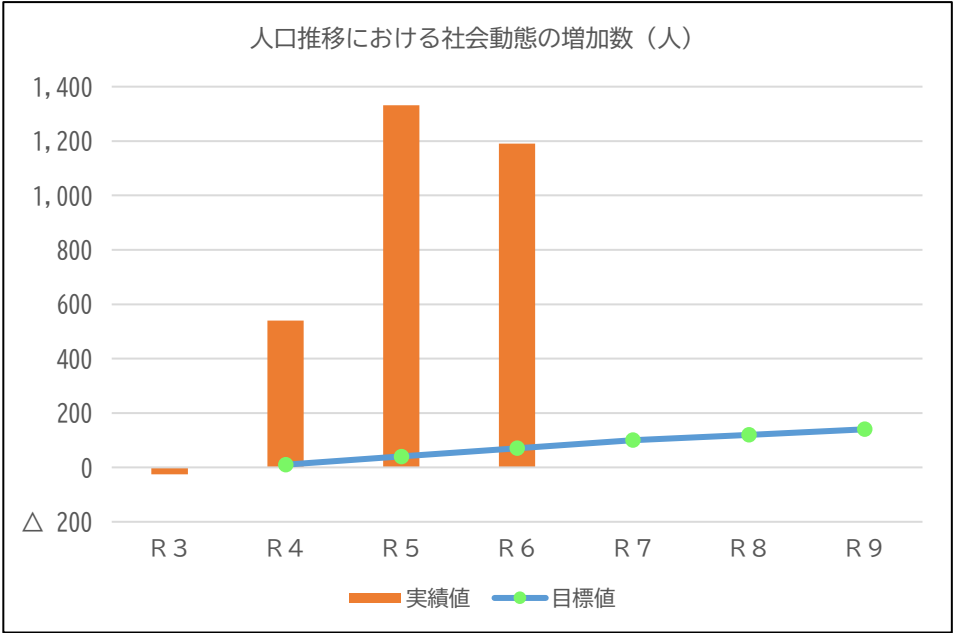
前年度行政評価委員会の意見
市のサービスや施設についてプロモーション活動を積極的に行い、市民の増加に繋がりたい。 コスモスフェスタなど花資源を活用したイベントをより魅力的なものとし、来場者の増加に努められたい。 本多静六博士の功績を市内外に発信し続けていただきたい。
「前年度行政評価委員会の意見」に対する実施状況・今後の方向性
市内外におけるPRイベントや移住相談会への出席を通じて、市のプロモーション活動を実施しました。今後においても、各種催事へ積極的に参加しプロモーション活動を強化していきます。 コスモスフェスタなどの花資源を活用したイベントの更なる賑わいを創出するため、多様化する情報発信ツールを使い分け、イベントの魅力を市内外へ効果的に発信できるよう努めていきます。 本多静六記念館の展示をはじめ、本多静六通信の発行、本多静六博士ゆかりの地訪問、市ホームページによる周知などを通じて、今後も博士の功績を市内外に発信し続けていくよう努めていきます。

4. 施策の目標達成度、施策の主要課題及び今後の施策の方向性について

施策の目標達成度	■ A	目標・予定を達成している	令和6年度重要業績評価指標（KPI）達成率が全て100%以上である。
	□ B	目標・予定に概ね沿う成果・進捗である	令和6年度重要業績評価指標（KPI）達成率で、最も低い達成率が80%以上である。
	□ C	目標・予定を下回る成果・進捗である	令和6年度重要業績評価指標（KPI）達成率で、80%未満の指標が1つ以上ある。
施策の主要課題及び今後の施策の方向性	【施策の主要課題】 令和6年度の人口動態については、1,190人の社会増を記録しましたが、自然減がそれを上回り50人の減少となりました。全国的な傾向と同様に人口減少は避けられないものと認識していますが、こうした事態を最小限に留めるためにも、移住・定住の促進に向けた施策は重要な取り組みの一つと考えています。 豊かな自然と都市的環境が調和したゆとりある街並みや充実した交通インフラ、買い物等の利便性が高い環境など、本市が有する地域資源を全面的に打ち出したプロモーションを実施しながら、住みやすい街としての認知拡大を図るため、更なる努力が必要であると考えています。 観光協会補助事業は、当該協会の運営資金において、補助金の占める割合が高いことから、観光商品の開発等、自主財源の確保が課題となっています。 また、花資源活用推進事業において、観光協会主催のオープンガーデンを支援していますが、久喜市全域への更なる庭主参加に対して支援する必要があります。 本多静六博士の功績を生かしたまちづくりについては、顕彰事業を引き続き行うとともに、令和9年4月に供用開始を予定している（仮称）本多静六記念 市民の森・緑の公園の整備を着実に進める必要があります。 ふるさと納税については、寄附件数及び寄附金額ともに大幅に増加したことから、一定の成果を挙げたと評価していますが、流出額が寄附金額を超過している現状を鑑み、返礼品の拡充や効果的なPRの実施など、寄附金額の増加に向けた実効性ある取組みを強力に推進していく必要があります。 【今後の方向性】 シティプロモーションについては、令和6年度に作成した住みやすさガイドを市内外のイベントにおいて引き続き配布するとともに、各広報媒体の効果的な活用、新たな施策を企画立案し実践することで、関係・交流人口の増加及び地域への誇りや愛着の醸成を図り、移住・定住に繋げていきます。また、令和6年度に実施した市ホームページの更改で機能強化したSNS等との連携を十分に活用し、市政情報の発信力を更に高めていきます。 コスモスふれあいロード維持管理事業及びあやめ・ラベンダー植栽維持管理事業については、適宜、管理方法の見直しを行いながら、花の鑑賞に訪れた方々に、憩いの場を提供していきます。 本多静六博士の功績を生かしたまちづくりについては、引き続き、博士の功績を市内外に発信していくとともに、（仮称）本多静六記念 市民の森・緑の公園整備工事を令和9年4月の供用開始に向けて進めていきます。 ふるさと納税については、同制度を通じて本市の魅力や特産品等のPRを行うことができ、本市の認知度向上や地域経済の活性化が期待できることから、返礼品の拡充等の取組みを更に強化していきます。		
評価年月日	令和7年7月2日	評価者職氏名	市長公室長 渡辺 文勝

行政評価委員会の意見
将来のまちづくりについてビジョンやコンセプトを改めて対外的に示すなど、市民を盛り上げるプロモーションを実施いただきたい。

【別紙】2. 重要業績評価指標（KPI）に係るグラフについて



施策5-2
KPIの再掲

5. 主要な事務事業

＜施策の方向性（１）に関連する事務事業＞				
取組み①	細施策名	戦略的なシティプロモーションを推進します		
	事業名	ホームページ事業	所管部課	市長公室シティセールス課
	まちづくり重点施策	－		
	令和6年度の成果・実績	ホームページの閲覧方法がパソコンからスマートフォンに移行しつつあるため、市ホームページの更改を実施し、スマートフォンからの閲覧及び操作を意識した画面構成としました。また、SNSとの連携機能やAI検索機能、手続き案内サービス、イベント情報投稿機能等を導入しました。なお、更改にあたっては、従来のホームページと比較して総ページ数の削減も実施しており、必要な情報を見つけやすいホームページの仕様としました。 時代の変化に対応し、市政情報に加えて市の魅力を伝える電子媒体として、閲覧者や職員にとって利便性の高いホームページに更改することができました。 ※令和6年度久喜市ホームページ年間アクセス件数 6,899,433件		
	令和6年度決算額(円)	2,598,552	令和7年度当初予算額(円)	4,090,000
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	市ホームページの更改において機能の充実を図っており、引き続きそれらの機能を継続して利用し、効果検証を行うため予算の方向性及び成果の方向性ともに維持としました。		
取組み②	事業名	広報発行事業	所管部課	市長公室シティセールス課
	まちづくり重点施策	－		
	令和6年度の成果・実績	市政運営に対する理解と協力をいただくため、様々な情報を掲載した広報紙（広報くき）を毎月1日に発行し、区長等を通じて市内全戸へ配布しました。特に、新たな施策の周知や注目事業については特集ページを組み、関係者のインタビューを入れるなどして、より詳しくお知らせしました。これにより、様々な市政情報を市民へ提供することができました。 また、全国広報コンクールの埼玉県審査において、組み写真部門の特賞を受賞しており、市の魅力を伝える広報紙の作成に努めた成果であると評価しています。 ※令和6年度広報紙（広報くき）発行部数 延べ751,350部		
	令和6年度決算額(円)	24,135,188	令和7年度当初予算額(円)	27,544,000
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持
取組み③	予算及び成果の方向性を判断した理由	広報配布に係る区長等の負担軽減やSDGsの観点及びゼロカーボンシティ宣言等を踏まえ、ページ数の見直しに取り組みました。引き続き必要な情報を周知するためには、現在のページ数を確保する必要があるため、予算の方向性及び成果の方向性ともに維持としました。		
	事業名	シティプロモーション推進事業	所管部課	市長公室シティセールス課
	まちづくり重点施策	－		
	令和6年度の成果・実績	久喜市公式動画チャンネルにて、久喜市のプロフィール、久喜提燈祭り「天王様」の動画を投稿するとともに、新たな取組みとして、SNSと親和性が高いショート動画の投稿を開始しました。 Instagramの公式アカウントでは、四季折々の花が咲く幻想的な景色が広がるスポットや屋内型こどもの遊び場、地域の伝統行事等の紹介を213件投稿し、市の魅力を発信しました。 また、プロモーション活動の一環として、令和6年11月に東京スカイツリーで開催されたイベントや市内商業施設で実施されたイベントに出展したほか、市内イベントにくき親善大使が出席し、市内外への情報発信にご協力をいただきました。		
	令和6年度決算額(円)	394,283	令和7年度当初予算額(円)	443,000
取組み③	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	市内外で開催されるイベントへの積極的な参加やショート動画の制作・公開等によって、市のプロモーションを継続することから、予算の方向性及び成果の方向性ともに維持としました。		

取組み④	事業名	婚活支援事業		所管部課	市長公室シティセールス課	
	まちづくり重点施策		①【全市民】市民一人ひとりが主役の住みやすいまち			
	令和6年度の成果・実績	久喜中央コミュニティセンターにおいて、SAITAMA出会いサポートセンター（愛称：恋たま）出張登録会を3回開催するとともに、ホームページや広報紙において、同サポートセンターの案内を行い、登録者数は令和5年度と比較して65名増の534名となりました。 また、婚活支援事業補助金を活用した婚活イベントを支援することで、結婚を希望する市民等が活動しやすい環境づくりを推進することができました。				
	令和6年度決算額(円)		134,000		令和7年度当初予算額（円）	147,000
	予算の方向性		拡充		成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性については、過年度の交付実績を踏まえて、令和8年度に婚活支援事業補助金の交付を再開することから拡充としました。 成果の方向性については、3市3町における広域連携による周辺自治体で開催される結婚支援イベントに関する情報の相互掲載、恋たま出張登録会の開催会場をより利便性の高い場所に変更するなどの対応を行い、これまでの水準を保つことから、維持としました。				
取組み⑤	事業名	特急券購入補助金交付事業		所管部課	市長公室シティセールス課	
	まちづくり重点施策		①【全市民】市民一人ひとりが主役の住みやすいまち			
	令和6年度の成果・実績	移住及び定住を促進し人口の流出を抑制するため、東武鉄道株式会社の運行する特別急行列車を通勤又は通学のために利用する者19名に対し、合計406,000円の補助金を交付しました。 また、事業開始にあたり、ホームページへの掲載、転入手続きを行う窓口等におけるチラシの配布等を行い、補助制度の周知を図りました。				
	令和6年度決算額(円)		406,000		令和7年度当初予算額（円）	1,800,000
	予算の方向性		拡充		成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性については、対象者1名につき3年の補助を可能としており、事業開始から年数が経過することで、より多くの市民が本制度を活用することが見込まれるため、拡充としました。 成果の方向性については、現行の制度を継続し、これまでの水準を保つことから、維持としました。				
活動指標名称（単位）		年度	R 5（現状値（直近））	R 6	R 7	R 8
所管部課	市長公室シティセールス課					
公式SNS等フォロワー数（累計）（人）		目標値	42,500	44,000	45,500	47,000
		実績値	42,371	42,985		
		達成率	99.7%	97.7%		

＜施策の方向性（２）に関連する事務事業＞				
取組み①	細施策名	久喜の魅力を発掘し活用します		
	事業名	コスモスふれあいロード維持管理事業	所管部課	環境経済部農業振興課
	まちづくり重点施策		③【豊かさ】豊かな地域資源を活かし、産業の中心となるまち	
	令和６年度の成果・実績	葛西用水路両岸のコスモスふれあいロード沿いにコスモス及びポピーを栽培し、花の鑑賞に訪れた方々に、憩いの場を提供することができました。 また、葛西用水路管理者との管理業務委託協定に基づき、管理料として年間150万円の収入がありました。		
	令和６年度決算額(円)	2,856,703	令和７年度当初予算額（円）	2,623,000
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性については、消耗品や燃料などの高騰が考えられるところですが、適宜、消耗品の購入数量やコスモスふれあいロードの管理方法の見直しを行うことから、維持としました。 成果の方向性については、適宜、管理方法の見直しを行うことにより、これまでの水準を維持できるものと判断し、維持としました。		
取組み②	事業名	あやめ・ラベンダー植栽維持管理事業	所管部課	環境経済部農業振興課
	まちづくり重点施策		③【豊かさ】豊かな地域資源を活かし、産業の中心となるまち	
	令和６年度の成果・実績	菖蒲城趾あやめ園及び菖蒲行政センター周辺に、あやめ（花しょうぶ）やラベンダーの植え付け及び除草等の適正な維持管理を行うことで、花の鑑賞に訪れた方々に、憩いの場を提供することができました。		
	令和６年度決算額(円)	6,938,076	令和７年度当初予算額（円）	6,785,000
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性については、消耗品や燃料などの高騰が考えられるところですが、適宜、消耗品の購入数量や管理方法の見直しを行うことから、維持としました。 成果の方向性については、適宜、管理方法の見直しを行うことにより、これまでの水準を維持できるものと判断し、維持としました。		
取組み③	事業名	観光協会補助事業	所管部課	環境経済部商工観光課
	まちづくり重点施策		③【豊かさ】豊かな地域資源を活かし、産業の中心となるまち	
	令和６年度の成果・実績	観光事業の振興により市の繁栄を図るとともに、観光資源の創造と地域社会の発展に貢献するため、補助金交付要綱に基づき、観光協会に補助金を交付しました。		
	令和６年度決算額(円)	32,941,000	令和７年度当初予算額（円）	33,713,000
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	引き続き観光事業の振興を図るため、観光協会への補助金を同規模で交付することから、予算の方向性及び成果の方向性ともに維持としました。		

取組み④	事業名	観光情報発信事業		所管部課	環境経済部商工観光課		
	まちづくり重点施策		－				
	令和6年度の成果・実績	観光情報を広く発信し、交流人口の増加を図るため、市内で行われる祭りやイベントに関する情報をホームページ等で周知しました。また、観光ガイド「ことりっぴ」、「栗橋宿ガイドマップ」を公共施設等に配架し、観光事業の振興を図ることができました。					
	令和6年度決算額(円)		55,000	令和7年度当初予算額（円）		0	
	予算の方向性		拡充	成果の方向性		維持	
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性については、令和8年度に観光ガイド「ことりっぴ」、「栗橋宿ガイドマップ」を作成する見込みであることから、拡充としました。 成果の方向性については、引き続き観光情報の発信を実施することから、これまでの水準を維持するとしてしました。					
取組み⑤	事業名	花資源活用推進事業		所管部課	環境経済部商工観光課		
	まちづくり重点施策		③【豊かさ】豊かな地域資源を活かし、産業の中心となるまち				
	令和6年度の成果・実績	市民相互の交流促進や市内外へのPRを図るため、コスモスフェスタやオープンガーデンなどの花資源を活用した事業を実施しました。					
	令和6年度決算額(円)		1,836,705	令和7年度当初予算額（円）		1,764,000	
	予算の方向性		維持	成果の方向性		維持	
	予算及び成果の方向性を判断した理由	令和8年度以降も同規模で花資源を活用したイベントを開催する見込みであるため、予算の方向性及び成果の方向性ともに維持としました。					
活動指標名称（単位）		年度	R 5（現状値 （直近））	R 6	R 7	R 8	
所管部課	環境経済部商工観光課						
コスモスフェスタ、ブルーフェスティバル入場者数（人）			目標値	70,000	106,000	142,000	178,000
			実績値	21,000	19,500		
			達成率	30.0%	18.4%		

＜施策の方向性（３）に関連する事務事業＞						
細施策名		本多静六博士の功績を生かしたまちづくりを進めます				
取組み①	事業名	本多静六博士顕彰事業	所管部課	教育部文化振興課		
	まちづくり重点施策		－			
	令和６年度の成果・実績	郷土の偉人である本多静六博士の功績等を紹介する顕彰事業を実施しています。令和６年度は、「本多静六通信第33号」の発行や「本多静六博士の森」の管理、「本多静六博士ゆかりの地訪問」を「本多静六博士を顕彰する会」へ委託して実施しました。 「本多静六博士ゆかりの地訪問」は、令和6年11月7日に実施し、日比谷公園及び明治神宮の森を訪問しました。参加者数は定員上限の25人で、令和5年度と同数でした。 本多静六博士の功績等を紹介することで、本多静六博士に対する市民の理解を深めることができました。				
	令和６年度決算額(円)		996,154	令和７年度当初予算額（円）	358,000	
	予算の方向性		維持	成果の方向性	維持	
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性及び成果の方向性については、引き続き、本多静六博士の功績等を市内外に紹介していく必要があることから維持としました。				
取組み②	事業名	余熱利用施設及び(仮称)本多静六記念 市民の森・緑の公園一体整備事業〈再掲〉	所管部課	環境経済部資源循環推進課		
	まちづくり重点施策		⑥【環境】ゼロカーボンシティの実現を目指す環境にやさしいまち			
	令和６年度の成果・実績	令和6年3月19日に契約締結した余熱利用施設及び（仮称）本多静六記念 市民の森・緑の公園一体整備運営事業に関する事業契約に基づき、余熱利用施設及び公園の設計業務を行いました。 また、同事業が要求水準書や提案書どおりに進んでいるか確認するため、業務委託によりモニタリング業務を実施しました。 その他、公園内への記念樹木の植栽を目的として、記念樹木の挿木苗88本の育成管理業務を行いました。				
	令和６年度決算額(円)		62,919,252	令和７年度当初予算額（円）	479,799,000	
	予算の方向性		拡充	成果の方向性	維持	
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性について、PFI事業契約に基づく支払額が増額となることから、拡充としました。 成果の方向性は、余熱利用施設及び公園について令和7年度から継続して、令和9年4月の供用開始に向けた建設・工事監理業務等を予定していることから、維持としました。				
活動指標名称（単位）		年度	R５（現状値（直近））	R 6	R 7	R 8
所管部課	教育部文化振興課					
博士ゆかりの地訪問参加者数（人）		目標値	25	25	25	25
		実績値	25	25		
		達成率	100.0%	100.0%		

6. 行政改革に資する事業・取組み

行政改革に資する事業・取組み①						
事業名	シティプロモーションの推進		所管部課	市長公室シティセールス課		
実施方針	市の魅力のさらなるPRとブランドイメージの確立を図ります。また、効率的・効果的に市政情報を発信します。					
令和6年度の成果・実績	久喜市公式動画チャンネルにて、久喜市のプロフィールや久喜提燈祭り「天王様」の動画を投稿するとともに、新たな取組みとして、SNSと親和性が高いショート動画の投稿を開始しました。Instagramの公式アカウントでは、四季折々の花が咲く幻想的な景色が広がるスポット、屋内型こどもの遊び場及び地域の伝統行事等の紹介を213件投稿し、市の魅力を発信しました。また、プロモーション活動の一環として、令和6年11月に東京スカイツリーで開催されたイベントや市内商業施設で実施されたイベントに出展したほか、市内イベントにくき親善大使が出席し、市内外への情報発信にご協力をいただきました。					
活動指標名称（単位）		年度	R5（現状値（直近））	R6	R7	R8
公式SNS等フォロワー数（累計）（人） 〈再掲〉		目標値	42,500	44,000	45,500	47,000
		実績値	42,371	42,985		
		達成率	99.7%	97.7%		
行政改革に資する事業・取組み②						
事業名	ふるさと納税の受入れ推進		所管部課	市長公室シティセールス課		
実施方針	市のPRや自主財源の確保のため、ふるさと納税の受入れを推進します。					
令和6年度の成果・実績	魅力ある返礼品の拡充、ポータルサイトのページ改善並びに新規運用などの取組みによって、8,464件、138,975,750円（クラウドファンディング型ふるさと納税含む）の寄附金を受け入れ、市の魅力や地元特産品のPR及び自主財源の確保を図ることができました。また、令和6年奥能登豪雨による被災自治体のふるさと納税受入れに係る事務負担の軽減を図るため、令和6年9月30日から令和7年3月31日まで、石川県珠洲市に対するふるさと納税の代理寄附を受付し、77件、1,494,762円の寄附金を受け入れました。さらに、本市の地方創生に資する取組みのPRを行って企業版ふるさと納税を募り、12社から合計5,900,000円の寄附金並びに衛星携帯電話及びバスケットボールを受け入れました。					
活動指標名称（単位）		年度	R5（現状値（直近））	R6	R7	R8
ふるさと納税寄附金の寄附者数（人）〈再掲〉		目標値	2,000	2,200	2,400	2,600
		実績値	3,767	8,541		
		達成率	188.4%	388.2%		

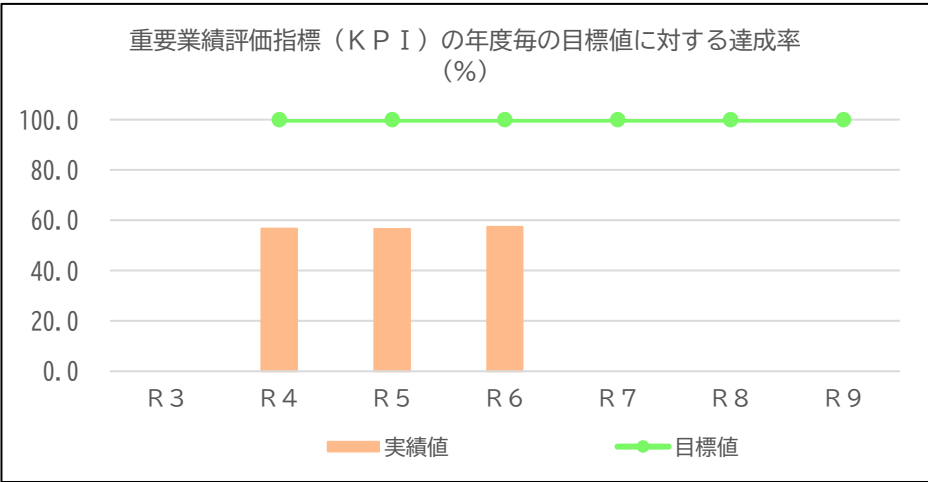
令和7年度行政評価シート

1. 前期基本計画について

基本目標	8	持続可能でスマートな行政を運営し市民生活を支えるまちをつくる	
施策	8－1	時代に順応した行政改革を推進する	
主管課	総合政策部企画政策課		関係課 総合政策部財政課、総合政策部情報推進課、 総合政策部アセットマネジメント推進課、 総務部人事課、総務部管財課、 市民部各行政センター、施設所管課
5年後のまちの姿			
社会経済情勢の著しい変化や複雑化かつ多様化する課題に的確に対応した、効率的で効果的な行政運営、継続的な行政改革を実行しています。 また、市が保有する施設について、アセットマネジメントの観点から配置の適正化や、長寿命化を進めています。			
施策の方向性			
(1) 効率的・効果的で柔軟な行政運営を推進します (2) 市民とともに考え判断し責任を持って行動する職員を育成します (3) 公共施設の配置の適正化・長寿命化等と未利用地の活用を図ります			

2. 重要業績評価指標（K P I）について

重要業績評価指標（K P I）							
重要業績評価指標（K P I）の年度毎の目標値に対する達成率（％）							
年度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実績値	—	56.7	56.5	57.4			
達成率		56.7%	56.5%	57.4%			



3. 前年度行政評価委員会の意見について

前年度行政評価委員会の意見
P D C Aサイクルの更なる推進を図り、施策の実現に向けた行政運営を図るべく、行政評価の方法を再度検討いただきたい。 行政組織の質の向上のため、市職員一人ひとりが能力を向上し、業務の改善や効率化を進めていただきたい。
「前年度行政評価委員会の意見」に対する実施状況・今後の方向性
より効率的な行政運営を図るため、令和7年度の行政評価において評価の実施時期の見直しを行いました。 今後も事業や事務分掌における課題を踏まえて組織機構改革を実施し、職員に対して職位に応じた研修を計画的に実施することで、行政運営の改善を進めてまいります。

4. 施策の目標達成度、施策の主要課題及び今後の施策の方向性について

施策の目標達成度	☐ A	目標・予定を達成している	令和6年度重要業績評価指標（K P I）達成率が全て100%以上である。
	☐ B	目標・予定に概ね沿う成果・進捗である	令和6年度重要業績評価指標（K P I）達成率で、最も低い達成率が80%以上である。
	☒ C	目標・予定を下回る成果・進捗である	令和6年度重要業績評価指標（K P I）達成率で、80%未満の指標が1つ以上ある。
施策の主要課題及び今後の施策の方向性	【施策の主要課題】 効率的・効果的で柔軟な行政運営については、財源や人材等の行政資源に限りがある中で、近年の社会や経済の情勢に対応して事業を行うことが求められています。 組織に即した業務分担により効率的な業務を行い、的確かつきめ細かな行政サービスを提供していくため、定員適正化計画を踏まえた職員採用や職務に必要な能力の向上を図り、市民とともに考え判断し責任を持って行動する職員を育成する機会を設けることが必要です。 過去に整備した公共施設の老朽化が進んでおり、改修や建替えに際し、多額の費用が必要となっています。また、1市3町の合併前に整備した公共施設を新市に引き継いだ影響で、将来的に余剰となる施設の発生が見込まれています。 【今後の方向性】 効率的・効果的で柔軟な行政運営のため、行政評価システムを引き続き適切に運用し、全庁的に施策や事業の課題を把握して改善を行う体制を推進していきます。 また、近年の社会や経済情勢の大きな変化に対応するため、行政組織内の事務の効率化や組織機構の見直しを引き続き実施し、職員が能力を発揮できる体制を整え、時代に応じた行政サービスを提供できるよう努めていきます。 職員の採用にあたっては、採用活動全般について適宜見直しを図りながら、引き続き、人材確保に努めます。また、職員の人材育成にあたっては、社会の動向や環境変化、職員のニーズを捉えながら職員研修の充実を図るとともに、限られた予算の中で必要な研修を実施できるよう、内部講師の養成にも努めていきます。 統合型地理情報システムについては、各課で取り扱う地図情報をシステム上で管理し、地図データを全庁的に共有することで、業務効率化を図っています。このため、当該システムの活用を継続していく必要があります。 市が管理する公共施設の配置適正化及び長寿命化を推進し、将来更新費用の削減を図ります。また、公共施設跡地の有効活用に向け、民間事業者への売却等に関する検討を進めます。		
評価年月日	令和7年7月2日	評価者職氏名	総合政策部長 関口 康好

行政評価委員会の意見
達成率の低い「重要業績評価指標（K P I）の年度毎の目標値に対する達成率」に対する要因の解析、課題解決、改善を図り、P D C Aサイクルの推進、目標の設定についても再考されたい。

5. 主要な事務事業

＜施策の方向性（１）に関連する事務事業＞						
細施策名		効率的・効果的で柔軟な行政運営を推進します				
取組み①	事業名	行政評価推進事業	所管部課	総合政策部企画政策課		
	まちづくり重点施策		－			
	令和６年度の成果・実績	令和６年度は、第２次久喜市総合振興計画前期計画における３０施策と第２次久喜市総合振興計画実施計画〈令和５～７年度〉において設定された２６８事業を対象に行政評価を実施しました。 令和５年度事務事業実施状況と令和６年度行政評価シートの２段階に分けて評価を実施し、令和６年１２月２０日に評価結果を公表しました。				
	令和６年度決算額(円)		192,000	令和７年度当初予算額（円）	132,000	
	予算の方向性		拡充	成果の方向性	維持	
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性については、令和７年度の行政評価委員会は２回開催しますが、令和８年度は答申を含めて３回開催する見込みであることから、拡充としました。 成果の方向性については、行政評価を引き続き適切に実施していくことから、維持としました。				
活動指標名称（単位）		年度	Ｒ５（現状値 （直近））	Ｒ６	Ｒ７	Ｒ８
所管部課	総合政策部企画政策課					
Ａ評価施策割合（％）		目標値	100.0	100.0	100.0	100.0
		実績値	33.3	36.7		
		達成率	33.3%	36.7%		

＜施策の方向性（２）に関連する事務事業＞						
細施策名		市民とともに考え判断し責任を持って行動する職員を育成します				
取 組 み ①	事業名	職員研修事業	所管部課	総務部人事課		
	まちづくり重点施策		－			
	令和６年度の 成果・実績	職員研修実施計画に基づき、職員研修を計画的に実施したほか、各種研修に職員を派遣することで、職員一人ひとりの職務遂行能力の向上等、資質の向上を図ることができました。 ・市独自研修として13研修を実施し、1,331人が受講しました。 【内訳】新規採用職員研修30人、新規採用職員人権研修30人、新規採用職員体験研修（衛生組合施設体験）27人、消防体験研修31人、手話研修（基礎）33人、手話研修（実践）16人、普通救命講習会14人、管理職人権問題研修200人、職員全体研修794人、人事評価研修17人、働く女性のためのステップアップ研修21人、マネジメント研修26人、ハラスメント防止研修92人 ・三市一町共同研修会が実施する共同研修を137人が受講しました。 ・彩の国さいたま人づくり広域連合が実施する研修に248人を派遣しました。 ・市町村職員中央研修所へ5人、自治大学校へ1人を派遣しました。				
	令和６年度決算額(円)	2,823,617	令和７年度当初予算額（円）	2,243,000		
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持		
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性については、外部に委託して実施している研修や派遣研修について一部見直し令和7年度の予算を縮減したところであり、令和8年度に向けては維持としました。 成果の方向性については、研修内容や研修方法を見直すことで、これまでの水準を維持するものとしているため、維持としました。				
活動指標名称（単位）		年度	R 5（現状値 （直近））	R 6	R 7	R 8
所管部課	総務部人事課					
市独自研修実施数（種類）		目標値	13	13	13	13
		実績値	13	13		
		達成率	100.0%	100.0%		

＜施策の方向性（３）に関連する事務事業＞							
細施策名		公共施設の配置の適正化・長寿命化等と未利用地の活用を図ります					
取 組 み ①	事業名	公共施設アセットマネジメント推進事業	所管部課	総合政策部アセットマネジメント推進課、施設所管課			
	まちづくり重点施策		①【全市民】市民一人ひとりが主役の住みやすいまち				
	令和６年度の成果・実績	令和6年3月に久喜市公共施設個別施設計画を改訂したことに伴い、将来更新費用に変化が生じたため、上位計画である久喜市公共施設等総合管理計画に反映させるための時点修正を行いました。また、各施設における取組みの進捗を把握するため、進行管理表を作成しました。 公共施設の跡地活用については、菖蒲学校給食センター跡地を民間事業者売却するとともに、菖蒲南中学校に係る不動産鑑定を実施しました。					
	令和６年度決算額(円)		385,000	令和７年度当初予算額（円）		930,000	
	予算の方向性		維持	成果の方向性		維持	
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性については、用途を廃止した公共施設の有効活用に向け、施設跡地の不動産鑑定を実施することから、維持としました。 成果の方向性については、今後、菖蒲南中学校跡地等の売却等を進めていく予定であり、これまでの水準を維持するものであることから、維持としました。					
活動指標名称（単位）			年度	R 5（現状値（直近））	R 6	R 7	R 8
所管部課	総合政策部 アセットマネジメント推進課						
公共建築物の総延床面積（㎡）			目標値	未定	330,180.42	326,951.01	330,494.49
			実績値	335,335.78	335,271.75		
			達成率	—	98.5%		

6. 行政改革に資する事業・取組み

行政改革に資する事業・取組み①						
事業名	効率的・効果的な組織機構の構築		所管部課	総合政策部企画政策課		
実施方針	行政需要に柔軟に対応した組織機構となるよう見直しを行います。					
令和6年度の成果・実績	各所属所を対象に組織ヒアリングを実施し、実施中の事業や事務分掌における課題、今後予定している新規事業等について確認を行いました。 また、令和7年度組織機構改革として、令和5年度と令和6年度の2か年で実施した組織機構改革の効果をより発揮できるように組織を見直しました。					
活動指標名称（単位）		年度	R 5（現状値（直近））	R 6	R 7	R 8
組織ヒアリングに基づく検討回数（回）		目標値	1	1	1	1
		実績値	1	1		
		達成率	100.0%	100.0%		
行政改革に資する事業・取組み②						
事業名	行政評価システムの推進		所管部課	総合政策部企画政策課		
実施方針	PDCAサイクルによる効果的・効率的な質の高い市政運営を推進します。					
令和6年度の成果・実績	令和6年度は、第2次久喜市総合振興計画前期計画と第2次久喜市総合振興計画実施計画を対象とした行政評価を初めて実施しました。 評価の過程で得られた反省点を基に、行政評価シートや評価時期の見直しを実施するなど、行政評価システムの改善を図りました。					
活動指標名称（単位）		年度	R 5（現状値（直近））	R 6	R 7	R 8
A評価施策割合（％）〈再掲〉 施策8-1（1）活動指標の再掲		目標値	100.0	100.0	100.0	100.0
		実績値	33.3	36.7		
		達成率	33.3%	36.7%		
行政改革に資する事業・取組み③						
事業名	人材育成の推進		所管部課	総務部人事課		
実施方針	計画的な人材育成を行い、職員のモチベーションの向上と組織の活性化を図ります。					
令和6年度の成果・実績	令和6年度の市独自研修については、13研修を実施し、当初目標を達成することができました。予算、人員に限りがある中、より効率的で効果的な研修を実施するため、研修内容や研修方法の見直しを実施しました。					
活動指標名称（単位）		年度	R 5（現状値（直近））	R 6	R 7	R 8
市独自研修実施数（種類）〈再掲〉 施策8-1（2）活動指標の再掲		目標値	13	13	13	13
		実績値	13	13		
		達成率	100.0%	100.0%		

行政改革に資する事業・取組み④						
事業名	職員数の適正管理		所管部課	総務部人事課		
実施方針	安定した組織力の保持のため、職員数の適正管理を図ります。					
令和6年度の成果・実績	定員適正化計画で定める職員数を確保するため、退職者等の減要因を一定数見込み採用予定者数を決定しました。年々採用試験の受験者数が減っている現状を踏まえ、オンライン面接の導入やホームページ等を活用した情報発信を行うなど人材確保に努めました。 令和6年度の職員数実績は、見込みより退職者数が多かったことから目標値に達しませんでした。住民サービスの低下を招かないよう、全体の職員数を踏まえたうえで、各部署に必要な人員を配置するよう努めました。					
活動指標名称（単位）		年度	R 5（現状値（直近））	R 6	R 7	R 8
職員数（人）		目標値	919	929	933	933
		実績値	916	921		
		達成率	99.7%	99.1%		
行政改革に資する事業・取組み⑤						
事業名	時間外勤務の削減		所管部課	総務部人事課		
実施方針	時間外勤務を削減し、職員のワークライフバランス（仕事と生活の調和）の向上を図ります。					
令和6年度の成果・実績	令和5年度に引き続きノー残業デーの徹底や、ゆう活を実施することで、ワークライフバランスの向上につながる取組みを進めました。活動指標については、目標値には達しなかったものの、年間で1,352時間の時間外勤務を削減することができました。					
活動指標名称（単位）		年度	R 5（現状値（直近））	R 6	R 7	R 8
年間時間外勤務時間数（時間）		目標値	88,229	89,813	89,813	89,813
		実績値	92,342	90,990		
		達成率	95.3%	98.7%		
行政改革に資する事業・取組み⑥						
事業名	電子入札の拡充		所管部課	総合政策部財政課		
実施方針	電子入札の対象となる公共工事等を拡充します。					
令和6年度の成果・実績	引き続き電子入札の推進について庁内周知を図るとともに、対応事業者の拡大を図るため、電子入札の準備を行うよう登録案内において事業者へ呼びかけたことのほか、施設の施設改修工事等に集中的に取り組み、電子入札で入札を執行した結果、実施件数が72件増加しました。					
活動指標名称（単位）		年度	R 5（現状値（直近））	R 6	R 7	R 8
電子入札実施件数(件)		目標値	270	300	310	315
		実績値	361	433		
		達成率	133.7%	144.3%		

行政改革に資する事業・取組み⑦						
事業名	統合型地理情報システムの活用促進		所管部課	総合政策部情報推進課		
実施方針	統合型地理情報システムの活用を促進します。					
令和6年度の成果・実績	職員による活用の促進を図るため、システム業者の社員を講師とし、初心者向けの操作研修会を実施しました。さらに、より高度な活用を促進するため、システムを効率的に活用する手法等を個別に相談できる相談会を実施しました。 また、通常業務においては、各課職員からのシステム利用・操作に関する相談等を情報推進課が窓口となり、必要に応じてシステム業者へ展開するなど、地理情報を効率的に活用できる体制を整えました。					
活動指標名称（単位）		年度	R 5（現状値（直近））	R 6	R 7	R 8
システムに搭載されている地図の種類（種類）		目標値	100	105	110	114
		実績値	95	104		
		達成率	95.0%	99.0%		
行政改革に資する事業・取組み⑧						
事業名	市有財産の有効活用の推進		所管部課	総務部管財課、市民部各行政センター		
実施方針	市有財産の有効活用を推進します。					
令和6年度の成果・実績	未利用地の処分や貸付などを実施し、有効活用を図りました。 「随意契約」久喜地区…9件16筆 売却額14,100,230円 面積1685.01㎡ 菖蒲地区…1件1筆 売却額1,962,360円 面積77.64㎡ 「賃貸借」久喜地区…21件3,161,932円、菖蒲地区…7件223,561円、栗橋地区…7件1,447,267円、鷲宮地区…20件5,014,331円					
活動指標名称（単位）		年度	R 5（現状値（直近））	R 6	R 7	R 8
市有地の年間処分面積（㎡）		目標値	1,500	1,500	1,500	1,500
		実績値	4,070	1,763		
		達成率	271.3%	117.5%		
行政改革に資する事業・取組み⑨						
事業名	公共施設アセットマネジメントの推進		所管部課	総合政策部アセットマネジメント推進課、施設所管課		
実施方針	公共施設アセットマネジメントを推進します。					
令和6年度の成果・実績	令和6年3月に久喜市公共施設個別施設計画を改訂したことに伴い、公共施設の将来更新費用に変化が生じたため、上位計画である久喜市公共施設等総合管理計画に反映させるための時点修正を行いました。また、各施設における取組みの進捗を把握するため、進行管理表を作成しました。 公共施設の跡地活用については、菖蒲学校給食センター跡地を民間事業者に売却するとともに、菖蒲南中学校に係る不動産鑑定を実施しました。					
活動指標名称（単位）		年度	R 5（現状値（直近））	R 6	R 7	R 8
公共建築物の総延床面積（㎡）〈再掲〉		目標値	未定	330,180.42	326,951.01	330,494.49
		実績値	335,335.78	335,271.75		
		達成率	—	98.5%		
施策8-1（3）活動指標の再掲						

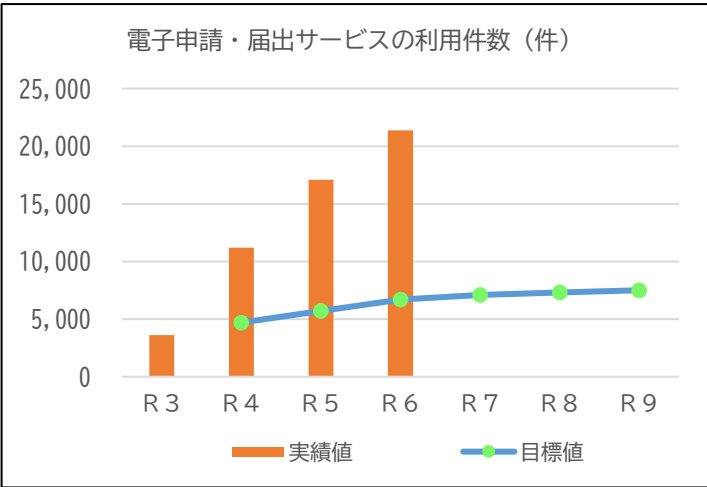
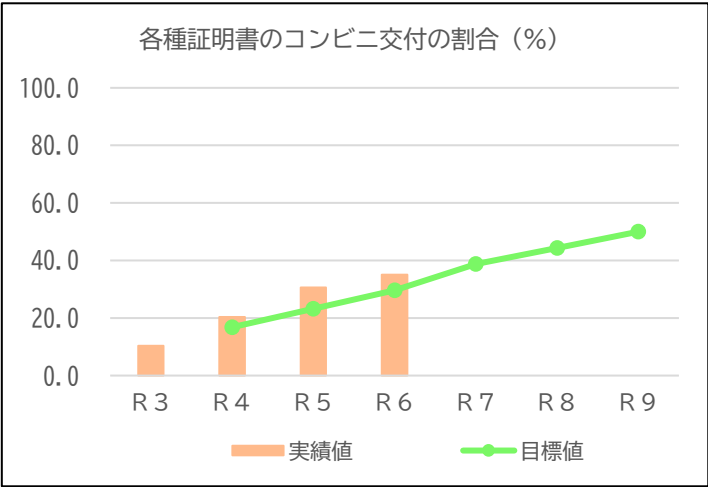
令和7年度行政評価シート

1. 前期基本計画について

基本目標	8	持続可能でスマートな行政を運営し市民生活を支えるまちをつくる	
施策	8－2	D Xによる行政のデジタル化を推進し市民の利便性を高める	
主管課	総合政策部情報推進課	関係課	総務部市民税課、市民部市民課（総合窓口）、まちづくり推進部都市計画課
5年後のまちの姿			
自治体D X(デジタル・トランスフォーメーション)による行政のデジタル化が実現し、業務の効率化を図ることできめ細かなサービスを提供しているほか、行政手続きのオンライン化により市民の利便性が大きく向上しています。 また、デジタル化を通じ、市民・事業者・各種団体・行政等の多様な主体との連携が進み、最先端技術等を活用した新たなまちづくりが展開され、「誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化」が着実に進んでいます。			
施策の方向性			
(1) デジタル化による行政(窓口)サービスの向上と行政運営の効率化を図ります (2) 最先端技術等を活用したまちづくりを進めます (3) 自治体D X推進に向けた体制を確立します			

2. 重要業績評価指標（K P I）について

重要業績評価指標（K P I）							
各種証明書のコンビニ交付の割合（％）							
年度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
目標値		16.8	23.2	29.6	38.8	44.3	50.0
実績値	10.4	20.4	30.6	35.0			
達成率		121.4%	131.9%	118.2%			
電子申請・届出サービスの利用件数（件）							
年度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
目標値		4,700	5,700	6,700	7,100	7,300	7,500
実績値	3,621	11,198	17,096	21,376			
達成率		238.3%	299.9%	319.0%			



3. 前年度行政評価委員会の意見について

前年度行政評価委員会の意見
市のサービスについて、オンラインでの申請が可能になり、利便性が格段に向上しているため、今後も電子申請システムの拡充に期待する。 また、審議会等において、オンライン会議や電子媒体で資料を配布するなどICT技術を活用いただきたい。 産官学連携のまちづくりプロジェクトに参加し、最先端の街づくりに関わった市職員の知見を、他事業への活用や市職員の人材育成に活かしてほしい。
「前年度行政評価委員会の意見」に対する実施状況・今後の方向性
電子申請・届出サービスの機能向上や手続き拡充の取組み強化による利用者の利便性の向上に努めた結果、電子申請を行うことのできる手続き件数及び利用件数が増加しました。また、オンライン会議の実施等、各課においてICT技術の活用が進んでいる状況のため、引き続き実施に向けて支援に努めます。加えて、各課にデジタル推進員を配置し、各課のデジタル化の取組みを庁内で共有・横展開する仕組みを構築しており、引き続き庁内全体でデジタル化を通じた業務効率化を進めます。

4. 施策の目標達成度、施策の主要課題及び今後の施策の方向性について

施策の目標達成度	■ A	目標・予定を達成している	令和6年度重要業績評価指標（KPI）達成率が全て100%以上である。
	□ B	目標・予定に概ね沿う成果・進捗である	令和6年度重要業績評価指標（KPI）達成率で、最も低い達成率が80%以上である。
	□ C	目標・予定を下回る成果・進捗である	令和6年度重要業績評価指標（KPI）達成率で、80%未満の指標が1つ以上ある。
施策の主要課題及び今後の施策の方向性	【施策の主要課題】 デジタル化による行政（窓口）サービスの向上と行政運営の効率化については、現在、各種証明書のコンビニ交付サービスや、電子申請・届出サービスを活用したオンライン手続きによって、時間や場所にとらわれることなく証明書の取得や、各種申請等の手続きを行うことができます。新たな手法による利便性の周知や、オンライン手続きが可能な手続き数を増やすことで、更なる利便性の向上を図っていく必要があります。 また、窓口業務では、ICTを活用し、来庁者の負担軽減及び業務の効率化を目指した窓口にしていく必要があります。「書かない窓口」などの先進自治体の取組みを参考に、本市での実現方法を継続して検討していく必要があります。 産官学連携のまちづくりプロジェクト「BRIDGE LIFE Platform構想」については、次世代モビリティの走行実験に関し、より高度な実験を通じてモビリティの安全性や有用性の検証を行うことに向け、道路交通法における規制緩和や規制改革について、連携5者で協議していく必要があります。 自治体DX推進に向けた取組みについては、職員は、デジタル技術の進歩や自治体を取り巻く環境の変化に対応していく必要があります。自治体DXを推進していくために必要な研修等の受講機会拡大を図り、職員の情報リテラシー向上に努めていくことが今後の課題となっています。 【今後の方向性】 デジタル化による行政（窓口）サービスの向上と行政運営の効率化については、コンビニ交付サービスの操作説明動画を広報紙へQRコードを用いて掲載し、利便性をPRするとともに、窓口より100円引き下げているコンビニ交付手数料についても、目にとまるようなポスターを掲示するなど、更なる利用促進に向けて、引き続き周知していきます。 また、ICTを活用した窓口サービスの効率化について、「書かない窓口」を導入している先進自治体の視察を行うとともに、先進自治体の事例を参考に、窓口における端末等の設置スペースの確保や既存システムとの連携方法、運用方法などの課題について、継続して検討していきます。 次世代モビリティについては、現行の道路交通法に定められている基準を満たさない車両の走行実験に当たり、個別に許可や緩和認定を受けるため、埼玉県警察本部等との協議を継続します。 自治体DX推進に向けた取組みについては、電子申請・届出サービスを活用した行政手続のオンライン化をより一層推進することで市民の利便性向上に努めるとともに、国の動向を注視しながら基幹系業務システムの標準化・共通化への移行を進めていきます。併せて、自治体DXの推進・情報セキュリティ対策等の視点を踏まえ、職員に対して研修等を受講する機会の拡大を図り、情報リテラシーの向上に努めていきます。		
評価年月日	令和7年7月2日		評価者職氏名 総合政策部長 関口 康好

行政評価委員会の意見
生成AIを積極的に活用して、市民の利便性を向上し、職員が業務の効率化を進め、創造性を発揮できる環境を整備されたい。

5. 主要な事務事業

＜施策の方向性（１）に関連する事務事業＞				
取組み①	細施策名	デジタル化による行政(窓口)サービスの向上と行政運営の効率化を図ります		
	事業名	コンビニ交付事業	所管部課	総務部市民税課、 市民部市民課（総合窓口）
	まちづくり重点施策	－		
	令和6年度の 成果・実績	個人番号カード（マイナンバーカード）を使用して、各種証明書を取得できるコンビニ交付サービスは、交付場所の拡充や交付時間帯の拡大が図られ、市民の利便性を高める事業となっています。また、市民サービスの向上を図り、交付窓口の混雑解消につなげる取組みとして、コンビニ交付手数料を窓口での手数料よりも100円の引き下げを行っています。 コンビニ交付サービスの利用促進を図る広報活動として、広報紙やHP、SNSでの発信に加えて、市内各公共施設等へポスターの掲示を行い、「二十歳の成人式」においてもチラシの配布を行い周知に努めました。また、個人番号カード（マイナンバーカード）新規取得者にもチラシを配布し、コンビニ交付サービスを利用していただけよう案内しています。 マイナンバーカードをお持ちの方が、窓口へ各種証明書を取得に来庁された場合は、庁舎内に設置している証明書交付端末機を案内し、操作方法を説明するなど、利用促進につなげるための啓発を実施しました。 令和6年度のコンビニ交付の件数は49,134件で、令和5年度から4,400件増加しました。		
	令和6年度決算額(円)	15,019,383	令和7年度当初予算額（円）	23,925,000
	予算の方向性	拡充	成果の方向性	維持
	予算及び成果の 方向性を判断した理由	予算の方向性については、システムのリプレースや、システムの標準化・共通化に係る業務委託料が増加することから、拡充としました。 成果の方向性については、これまでコンビニ交付サービスの利用促進を図る広報活動や、啓発活動を実施してきた結果、コンビニ交付の件数が年々増加しており、今後も新たな広報活動等を実施していくことで、これまでの増加傾向を維持できるものと見込んでいることから、維持としました。		
取組み②	事業名	デジタル推進事業	所管部課	総合政策部情報推進課
	まちづくり重点施策	①【全市民】市民一人ひとりが主役の住みやすいまち		
	令和6年度の 成果・実績	電子申請・届出サービスは、機能向上や手続き拡充の取組みにより、利用者の利便性の向上に努めた結果、同サービスの利用件数が21,376件となり、令和5年度と比較し4,280件増加となりました。 また、AIによる会議録システムやZoom等によるオンライン会議を活用して業務の効率化を図ることができました。 職員に対しては、情報セキュリティ対策のほか、自治体DXを推進していくために必要な研修等の受講機会を提供し、情報リテラシーの向上に寄与することができました。		
	令和6年度決算額(円)	234,286,100	令和7年度当初予算額（円）	638,829,000
	予算の方向性	拡充	成果の方向性	維持
	予算及び成果の 方向性を判断した理由	これまでの取組みに加えて、システム標準化・共通化への移行に伴いガバメントクラウド（政府が提供する共通のクラウドサービス環境）の利用が本格化することから、利用料の増額が見込まれるため、成果の方向性は維持しつつも予算の方向性は拡充としました。		
取組み③	事業名	公衆無線LAN運用事業	所管部課	総合政策部情報推進課
	まちづくり重点施策	①【全市民】市民一人ひとりが主役の住みやすいまち		
	令和6年度の 成果・実績	各庁舎及び新たに開設した桜田コミュニティセンターや屋内型こどもの遊び場等の公共施設22施設に設置した公衆無線LANを運用し、市民等の利便性向上を図ることができました。		
	令和6年度決算額(円)	2,007,025	令和7年度当初予算額（円）	777,000
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持
	予算及び成果の 方向性を判断した理由	現在設置している公衆無線LANを引き続き運用していくため、予算の方向性及び成果の方向性をともに維持としました。		

取組み④	事業名	内部情報系システム維持管理事業		所管部課	総合政策部情報推進課	
	まちづくり重点施策		①【全市民】市民一人ひとりが主役の住みやすいまち			
	令和6年度の成果・実績	庁舎ネットワークの管理、財務会計システムや職員ポータル等の各種システムの運用保守、サーバーや端末等の機器賃貸借により、内部情報系システムの維持管理を行いました。機器の管理やシステム運用を適正に行うことで、業務の効率化及びセキュリティの確保を図ることができました。				
	令和6年度決算額(円)		129,461,928		令和7年度当初予算額（円）	180,711,000
	予算の方向性		維持		成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	情報セキュリティの向上を図りながら業務効率を高めていく必要があるため、各システムの更改や端末等機器の賃貸借に係る更改、複合機の新規導入等を進めます。また、財務会計システムのクラウド化を行うことで管理負担の軽減等を図ります。成果の方向性及び予算の方向性については、これまでのシステム管理運用を引き続き行うため、維持としました。				
取組み⑤	事業名	個人番号通知書・個人番号カード交付事業		所管部課	市民部市民課（総合窓口）、市民部各行政センター	
	まちづくり重点施策		－			
	令和6年度の成果・実績	出生などによる新規の個人番号は、地方公共団体情報システム機構（J－L I S）を通じて、個人番号通知書を送付しました。 個人番号カード（マイナンバーカード）は、交付希望者本人の申請に基づき交付しました。また、電子証明書の有効期限を迎える方や再設定が必要な方などについても、適切に対応しました。 個人番号カード（マイナンバーカード）の特急発行について、乳児（満1歳未満）等の速やかな交付が必要となる方を対象に、迅速な対応に努めました。 【令和6年4月1日から令和7年3月31日まで】 ・個人番号カード申請件数 16,295件（令和5年度 6,729件） ・個人番号カード交付件数 13,682件（令和5年度 18,891件）				
	令和6年度決算額(円)		720,804		令和7年度当初予算額（円）	2,277,000
	予算の方向性		維持		成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性については、これまでの水準を維持しながら事業を継続できると考えられるため、維持としました。 成果の方向性については、個人番号カード（マイナンバーカード）の交付等は、これまでの水準で推移すると見込んでいることから、維持としました。				
活動指標名称（単位）		年度	R 5（現状値（直近））	R 6	R 7	R 8
所管部課	総務部市民税課、市民部市民課（総合窓口）					
コンビニ交付サービス交付件数（件）		目標値	32,200	58,300	67,500	67,500
		実績値	44,734	49,134		
		達成率	138.9%	84.3%		

<施策の方向性（２）に関連する事務事業>						
細施策名		最先端技術等を活用したまちづくりを進めます				
取 組 み ①	事業名	南栗橋８丁目周辺地区整備事業〈再掲〉	所管部課	まちづくり推進部都市計画課		
	まちづくり重点施策		②【発展性】土地の高度利用や交通利便性の向上を図り、発展し続けるまち			
	令和６年度の成果・実績	産官学連携のまちづくりプロジェクト「BRIDGE LIFE Platform構想」において、早稲田大学大学院小野田研究室が進める、次世代モビリティの社会実装に向けた走行実験に関して、埼玉県警察本部をはじめとする関係機関と協議を行いました。 また、本地区内における自律走行型資源回収ロボットの実証実験に向け、同研究室とイオンリテール株式会社で、資源回収拠点の構築などの協議が行われました。				
	令和６年度決算額(円)		186,273,200	令和７年度当初予算額（円）	148,476,000	
	予算の方向性		維持	成果の方向性	維持	
	予算及び成果の方向性を判断した理由	次世代モビリティの走行実験を円滑に進めていくに当たり、関係機関との協議を継続していく必要があると判断したため、予算の方向性及び成果の方向性をともに維持としました。				
	活動指標名称（単位）		年度	R 5（現状値 （直近））	R 6	R 7
所管部課	まちづくり推進部都市計画課					
南栗橋８丁目周辺地区整備進捗率（％） 〈再掲〉		目標値	49.6	49.6	69.6	69.6
		実績値	49.6	49.6		
		達成率	100.0%	100.0%		
施策４-１（２）活動指標の再掲						

＜施策の方向性（３）に関連する事務事業＞						
細施策名		自治体DX推進に向けた体制を確立します				
取組み①	事業名	デジタル推進事業〈再掲〉	所管部課	総合政策部情報推進課		
	まちづくり重点施策		①【全市民】市民一人ひとりが主役の住みやすいまち			
	令和６年度の成果・実績	電子申請・届出サービスは、機能向上や手続き拡充の取組みにより、利用者の利便性の向上に努めた結果、同サービスの利用件数が22,062件となり、令和５年度と比較し4,966件増加となりました。 また、ＡＩによる会議録システムやＺｏｏｍ等によるオンライン会議を活用して業務の効率化を図ることができました。 職員に対しては、情報セキュリティ対策のほか、自治体DXを推進していくために必要な研修等の受講機会を提供し、情報リテラシーの向上に寄与することができました。				
	令和６年度決算額(円)	234,286,100	令和７年度当初予算額（円）	638,829,000		
	予算の方向性	拡充	成果の方向性	維持		
	予算及び成果の方向性を判断した理由	これまでの取組みに加えて、システム標準化・共通化への移行に伴いガバメントクラウド（政府が提供する共通のクラウドサービス環境）の利用が本格化することから、利用料の増額が見込まれるため、成果の方向性は維持しつつも予算の方向性は拡充としました。				
活動指標名称（単位）		年度	Ｒ５（現状値 （直近））	Ｒ６	Ｒ７	Ｒ８
所管部課	総合政策部情報推進課					
国・Ｊ－ＬＩＳ主催の研修受講者数（人）		目標値	2,600	3,100	3,200	3,200
		実績値	3,024	2,911		
		達成率	116.3%	93.9%		

6. 行政改革に資する事業・取組み

行政改革に資する事業・取組み①						
事業名	I C Tを活用した窓口サービスの効率化		所管部課	総合政策部情報推進課、市民部市民課（総合窓口）		
実施方針	I C Tを活用し、窓口業務の効率化を図り、市民サービスの向上に繋がります。					
令和6年度の成果・実績	令和6年10月に、I C Tを活用した窓口サービスの先進自治体である春日部市を視察して、「書かない窓口」の状況を確認しました。窓口での具体的な運用方法や導入の効果、実績や課題、今後の展望について説明を受け、行政窓口機能の充実について知見を広げることができました。 本市での「書かない窓口」の運用には、窓口における端末等の設置スペースの確保や既存システムとの連携方法や運用方法などが課題としてあげられ、引き続き検討が必要な状況となっています。					
活動指標名称（単位）		年度	R 5（現状値（直近））	R 6	R 7	R 8
先進地視察に基づく検討回数（回）		目標値	1	1	1	1
		実績値	1	1		
		達成率	100.0%	100.0%		
行政改革に資する事業・取組み②						
事業名	電子申請の拡充		所管部課	総合政策部情報推進課		
実施方針	電子申請の拡充を図ることで、市民サービスの向上に繋がります。					
令和6年度の成果・実績	電子申請・届出サービスの機能向上や手続き拡充の取組み強化により、利用者の利便性の向上に努めた結果、手続き件数及び利用件数が増加しました。 職員向けに電子申請・届出サービスの操作研修会を実施し、また他課の好事例を横展開するなどした結果、令和5年度と比較して手続きを増やすことができました。					
活動指標名称（単位）		年度	R 5（現状値（直近））	R 6	R 7	R 8
システムで利用可能な手続き数（種類）		目標値	200	400	450	475
		実績値	394	472		
		達成率	197.0%	118.0%		

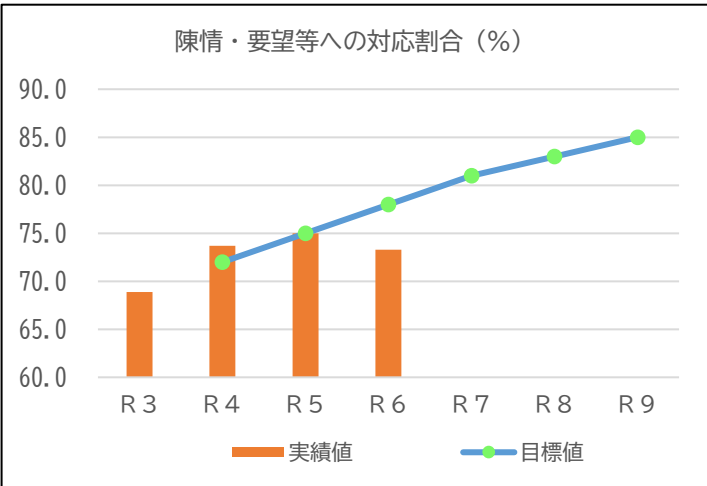
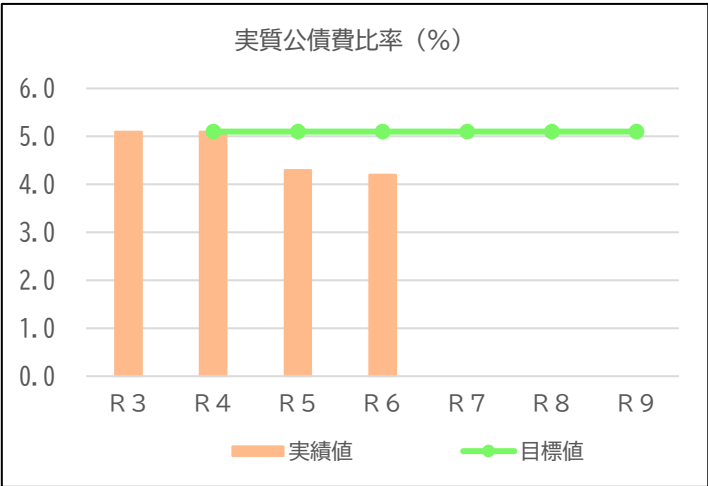
令和7年度行政評価シート

1. 前期基本計画について

基本目標	8	持続可能でスマートな行政を運営し市民生活を支えるまちをつくる	
施策	8－3	持続可能で健全な財政運営と透明性の高い行政運営を確立する	
主管課	総合政策部財政課	関係課	市長公室シティセールス課、総合政策部企画政策課、総務部庶務課、総務部収納課、出納室
5年後のまちの姿			
自主財源の安定的な確保や、事業の選択と集中による財源の有効活用により、持続可能で健全な財政運営を確保しています。 また、情報公開や広聴制度等を通じて透明性の高い行政運営を推進し、市民との間に信頼関係が築かれています。			
施策の方向性			
(1) 健全な財政運営に取り組めます (2) 効率的・効果的な財政運営を推進します (3) 透明性の高い行政運営を推進し市民との信頼関係を築きます			

2. 重要業績評価指標（K P I）について

重要業績評価指標（K P I）							
実質公債費比率（％）							
年度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
目標値		5.1(以下)	5.1(以下)	5.1(以下)	5.1(以下)	5.1(以下)	5.1(以下)
実績値	(R2) 5.1	(R3) 5.1	(R4) 4.3	(R5) 4.2			
達成率		100.0%	115.7%	117.6%			
陳情・要望等への対応割合（％）							
年度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
目標値		72.0	75.0	78.0	81.0	83.0	85.0
実績値	68.9	73.7	75.0	73.3			
達成率		102.4%	100.0%	94.0%			



3. 前年度行政評価委員会の意見について

前年度行政評価委員会の意見
公文書の情報公開請求等に適切に対応し、透明性の高い行政運営に努めていただきたい。
「前年度行政評価委員会の意見」に対する実施状況・今後の方向性
公文書の情報公開請求等に対しては、対象公文書の特定及び公開決定にあたり、制度担当の公文書館から担当課へ条例の解釈と運用についての情報提供や助言を行うなど、適切な対応に努めました。今後も引き続き担当課と連携を図りながら透明性の高い行政運営を図っていきます。

4. 施策の目標達成度、施策の主要課題及び今後の施策の方向性について

施策の目標達成度	☐ A	目標・予定を達成している	令和6年度重要業績評価指標（KPI）達成率が全て100%以上である。
	☒ B	目標・予定に概ね沿う成果・進捗である	令和6年度重要業績評価指標（KPI）達成率で、最も低い達成率が80%以上である。
	☐ C	目標・予定を下回る成果・進捗である	令和6年度重要業績評価指標（KPI）達成率で、80%未満の指標が1つ以上ある。
施策の主要課題及び今後の施策の方向性	【施策の主要課題】 健全な財政運営の取り組みについては、適正な納税管理を行うため、市税の収納データ、督促状及び還付データ等作成の電算処理を行っています。令和6年度と令和5年度を比較すると、市税の収納率は同率であり、収納率の目標値に至っておらず、重点取組債権の目標値を達成した債権の割合も減少している状況にあります。財源の確保に向け、市税の収入未済額を圧縮するため、滞納者の納税能力に応じた滞納整理を適切に実施し、全庁的に税外債権の収入未済額についても圧縮を図っていく必要があります。 効率的、効果的な財政運営については、毎年度PDCAサイクルを通じて財政状況や時代に見合った予算を編成しています。財政調整基金をはじめとした各種基金残高が減少傾向にある中で、持続可能な財政運営を行っていくためには、予算編成の方法も適宜見直しを図っていくことが必要です。 また、財政運営の説明責任及び透明性を確保するため、市のホームページを活用し予算編成の過程を公表しています。公表対象事業の査定理由は透明性を高めるためにも、よりわかりやすく明記する必要があります。 透明性の高い行政運営を推進し市民との信頼関係を築くためには、市からの「広報」だけでなく、市民から意見等を寄せていただく「広聴」制度も重要です。市民ニーズが多様化している中、市と市民とのコミュニケーションの強化を図り、意見等の趣旨を把握し、行政運営に的確に反映するためにも、所管部署と連携して速やかに対応する必要があります。 市の諸活動を市民に説明する責任を全うするため、原則公開を理念として公文書の公開を行い、市政に関する情報を市民へ提供しています。今後も市の行政情報の積極的な公開と市が保有する個人情報の保護及び適正な取扱いのバランスを図りながら、情報公開制度を運用していく必要があります。 【今後の方向性】 健全な財政運営の取り組みについては、令和7年度予算において、新ごみ処理施設や義務教育学校の整備が本格化するため、過去最高の予算額となっており、今後の適正な行財政に向けて、より一層の財源確保が必要となります。 このことから、安定的な税収確保のため、引き続き適正な納税管理と滞納整理を実施、収入未済額の圧縮に努めるとともに、更なる自主財源確保のため、ふるさと納税（個人版、企業版、クラウドファンディング）や国県補助金などの積極的な活用に取り組んでいきます。 効率的、効果的な財政運営については、各種基金や地方債に依存することなく、最少の経費で最大の効果をあげられるよう、これまで以上に関係各課と連携し、事業内容を精査する必要があります。 また、財政運営の説明責任及び透明性を確保するため、公表内容をよりわかりやすくし、引き続き市のホームページを活用した事業内容の公表に努めます。 透明性の高い行政運営を推進し市民との信頼関係を築くため、広聴制度についての情報を積極的に発信し、お寄せいただいた陳情・要望や市民の声に対し、引き続き速やかに対応します。 情報公開制度については、条例に基づく適正な運用を図り、市の諸活動を市民に説明する責任を全うしていきます。		
評価年月日	令和7年7月2日	評価者職氏名	総合政策部長 関口 康好

行政評価委員会の意見
重点取組債権について目標値を達成できるよう、適切な手法で債権の回収に取り組んでいただきたい。 幅広く市民の声や提案を受ける機会を設け、市政運営に活かしていただきたい。また市政に関する情報を積極的に発信していただきたい。

5. 主要な事務事業

＜施策の方向性（１）に関連する事務事業＞						
細施策名		健全な財政運営に取り組みます				
取組み①	事業名	市税収納事業	所管部課	総務部収納課、出納室		
	まちづくり重点施策		－			
	令和６年度の成果・実績	市税の収納データ、督促状及び還付データ等作成の電算処理を行い、正確な収納管理を行いました。 未納者に対しては督促状を発送し、早期納入を促しました。 市税の修正・更正の手続きや誤納により、過誤納が発生した場合については、過誤納金・還付加算金を還付しました。 市税の収入済額は23,563,985,462円で、定額減税の影響により令和５年度と比べ89,215,276円減額となりましたが、市税の徴収率は令和5年度と同じ98.2%でした。				
	令和６年度決算額(円)		113,843,884	令和７年度当初予算額（円）	119,749,000	
	予算の方向性		維持	成果の方向性	維持	
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性については、地方税法に基づいた課税により日常的に発生する収納管理業務であるため、維持としました。 成果の方向性については、納税者に様々な納税手段を提供し安定的な税収確保のため、維持としました。				
活動指標名称（単位）		年度	R 5（現状値 （直近））	R 6	R 7	R 8
所管部課	総務部収納課、出納室					
市税の収納率（％）		目標値	98.3	98.4	98.5	98.5
		実績値	98.2	98.2		
		達成率	99.9%	99.8%		

＜施策の方向性（２）に関連する事務事業＞						
細施策名		効率的・効果的な財政運営を推進します				
取組み①	事業名	予算編成事業〔ゼロ予算事業〕	所管部課	総合政策部財政課		
	まちづくり重点施策		－			
	令和６年度の成果・実績	令和7年度予算を編成するうえで、歳入・歳出を的確に見積り、適切な予算編成方法により当初予算を調製しました。 また、予算編成過程の公表は、市民への説明責任と財政運営の透明性を確保するため、「まちのつくり方改革・2ndステージ」を推進するために実施する事業や新規事業、所属所ごとに事業費が多い上位3つの事業等を公表しています。 令和6年度は、公表対象事業の選定方法の見直し（関係各課による公表対象事業の選定から、財政課にて一括して公表対象事業を選定する方法に変更）を行い、関係各課の事務量軽減を図りつつ、令和5年度と比べて19件多くの事業を公表しました。 このことにより、市民への説明責任を果たすとともに、更なる財政運営の透明化に資することができました。				
	令和６年度決算額(円)	0	令和７年度当初予算額（円）	0		
	予算の方向性	維持（ゼロ予算）	成果の方向性	維持		
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性については、財務会計システムを活用し、これまでと同様にゼロ予算での事業公表が可能であることから維持としました。 成果の方向性については、令和5年度に実施した公表対象事業の見直しに加え、令和6年度に実施した公表対象事業の選定方法の見直しにより、公表事業数は目標件数に達し、引き続き透明性のある予算編成過程の公表に努めることから維持としました。				
活動指標名称（単位）		年度	R 5（現状値 （直近））	R 6	R 7	R 8
所管部課	総合政策部財政課					
予算編成過程での公表事業数（件）		目標値	250	255	260	265
		実績値	277	296		
		達成率	110.8%	116.1%		

＜施策の方向性（３）に関連する事務事業＞				
取組み①	細施策名	透明性の高い行政運営を推進し市民との信頼関係を築きます		
	事業名	広報広聴業務経費	所管部課	市長公室シティセールス課
	まちづくり重点施策		－	
	令和６年度の成果・実績	市民の声事業として、市民（市内の居住者、通学者、在勤者、事業主）からの市政への意見や要望を、手紙やＦＡＸ、Ｅメールを通じて市長に直接お寄せいただき回答することで、市民参加の促進となり、市民に対して透明性を持った情報提供を行うことができました。また、市民の市政に対する意識を把握するとともに、意見や提案を市政運営の参考にすることができました。 ※令和6年度の受理件数 306件 （手紙によるもの 107件、ＦＡＸによるもの 1件、Ｅメールによるもの 198件）		
	令和６年度決算額(円)	1,164,380	令和７年度当初予算額（円）	1,156,000
	予算の方向性	拡充	成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	返信用封筒は隔年で作成していますが、現在使用している封筒の使用期限が令和8年4月までであり、令和8年度に予算要求を予定していることから、予算の方向性は拡充としました。 成果の方向性については、引き続き市民からお寄せいただいたご意見等に対し回答するとともに、市政運営の参考とさせていただくことから、維持としました。		
取組み②	事業名	市政情報提供事業	所管部課	総務部庶務課
	まちづくり重点施策		－	
	令和６年度の成果・実績	情報公開制度を適切に運用することで、市政への参加の促進と開かれた市政の推進を図ることができました。また、個人情報保護制度を的確に運用することで、個人の権利利益の保護が図られました。 令和6年度実績 ・公文書の公開請求 受付件数 85件 決定件数 157件 ・個人情報等の開示請求 受付件数 40件 決定件数 40件 ・個人情報の簡易開示請求 開示件数 19件 ・審査請求 受付件数 1件 裁決件数 1件		
	令和６年度決算額(円)	854,288	令和７年度当初予算額（円）	903,000
	予算の方向性	維持	成果の方向性	維持
	予算及び成果の方向性を判断した理由	透明性の高い行政運営を推進するには、条例に基づく情報公開制度及び法律に基づく個人情報保護制度の適正な運用を行う必要があります。 また、適正な運用にあたっては、情報公開・個人情報保護運営審議会と情報公開・個人情報保護審査会への諮問・答申や国の個人情報保護委員会への助言を求めることなどにより、これまでの水準を維持していく必要があります。 そのため予算の方向性及び成果の方向性については、ともに維持としました。		

取組み③	事業名	公文書館活動事業		所管部課	総務部庶務課		
	まちづくり重点施策		－				
	令和６年度の成果・実績	公文書のライフサイクルの全ての段階で適切な保存管理を行いました。また、特定歴史公文書として市民・職員等が利用できるよう評価選別を行いました。令和６年度は歴史公文書の所蔵件数が4,225件増加し、45,630件となりました。 また、成果の一部を周知するため常設展及び企画展「歴史公文書から見た昭和の大合併「菖蒲地区編」～評価選別の成果と行政資料の数々～」を実施しました。					
	令和６年度決算額(円)		2,176,097		令和７年度当初予算額（円）	1,820,000	
	予算の方向性		維持		成果の方向性	維持	
	予算及び成果の方向性を判断した理由	予算の方向性については、公文書を適切に保存管理するために引き続き現状の制度を維持していく必要があることから、維持としました。 成果の方向性については、公文書のライフサイクルを維持し、特定歴史公文書として評価選別したものを市民・職員等が利用できるようにしていくなど、これまでの水準を引き続き維持していくことから、維持としました。					
	活動指標名称（単位）			年度	R 5（現状値 （直近））	R 6	R 7
所管部課	総務部庶務課						
歴史公文書の所蔵件数（件）			目標値	39,500	43,500	47,000	49,000
			実績値	41,405	45,630		
			達成率	104.8%	104.9%		

６．行政改革に資する事業・取り組み

行政改革に資する事業・取り組み①						
事業名	財政調整基金の確保		所管部課	総合政策部財政課		
実施方針	財政調整基金を標準財政規模の10%以上を確保します。					
令和6年度の 成果・実績	令和6年度は、人事院勧告に基づく国家公務員の給与改定等に準じた一般職職員の給与改定等の実施に財政調整基金を活用しました。 財政調整基金の確保に努めた結果、年度末財政調整基金残高の標準財政規模に対する割合が令和5年度と比べ1.4ポイント増加し、引き続き標準財政規模の10%以上を確保できました。					
活動指標名称（単位）		年度	R 5（現状値 （直近））	R 6	R 7	R 8
年度末財政調整基金残高（％）		目標値	標準財政規模 の10.0%以上	標準財政規模 の10.0%以上	標準財政規模 の10.0%以上	標準財政規模 の10.0%以上
		実績値	10.5	11.9		
		達成率	105.0%	119.0%		
行政改革に資する事業・取り組み②						
事業名	重点取組債権の適正な管理		所管部課	総務部収納課		
実施方針	市の債権を適正に管理します。					
令和6年度の 成果・実績	市の債権管理を適切に行うために、久喜市債権管理庁内連絡会議等において、重点取組債権を選定の上、それぞれの債権で目標値を定めています。 令和6年度の重点取組債権は24件で、目標を達成した債権数は5件です。令和5年度は重点取組債権数が23件で、目標を達成した債権数が5件であったため、目標を達成した債権の割合は、減少しました。					
活動指標名称（単位）		年度	R 5（現状値 （直近））	R 6	R 7	R 8
全ての債権のうち目標を達成した債権の割合 （％）		目標値	77.2	77.4	77.6	77.6
		実績値	21.7	20.8		
		達成率	28.1%	26.9%		

施策８－３ 持続可能で健全な財政運営と透明性の高い行政運営を確立する【行政改革に資する事業・取り組み】

行政改革に資する事業・取り組み③						
事業名	有料広告等の推進	所管部課	総合政策部企画政策課			
実施方針	有料広告等を推進します。					
令和6年度の 成果・実績	有料広告による収入として、広告付庁舎地図案内板、雑誌スポンサー事業、ネーミングライツ等の媒体から計11,477,490円の実績額がありました。 そのほか、市民課（総合窓口）カウンターにおける番号券発券システムの費用をモニター広告放映により賄うなど、久喜市役所本庁舎・第2庁舎・鷺宮行政センターへの広告付きAEDの設置、菖蒲図書館・鷺宮図書館へのMamaroの設置等、システム運用や事業実施の費用を広告収入で賄うことで、市の財政負担を抑えた事業の実施に取り組むことができました。					
活動指標名称（単位）		年度	R5（現状値 （直近））	R6	R7	R8
有料広告継続募集媒体数（媒体）		目標値	10	11	12	12
		実績値	10	11		
		達成率	100.0%	100.0%		